

科目ナンバリング： CGS002  
授業形態： 講義  
科目名： 日本国憲法  
担当教員： 金子 匡良(KANEKO Masayoshi)

#### 【授業の紹介】

この授業では、日本国憲法の土台をなす立憲主義およびそれを生み出した歴史的背景について理解した上で、日本国憲法の構造および主要な規定内容について学んでいく。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	短期大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

#### 【到達目標】

この授業は、以下の事項を修得することを目標とする。  
憲法の土台をなす立憲主義の内容について理解し、それを説明することができる。  
立憲主義が誕生した歴史的背景と立憲主義の変遷について理解し、それを説明することができる。  
日本国憲法の制定経緯について理解し、それを説明することができる。  
日本国憲法の構造および主要な規定内容について理解し、それを説明することができる。  
憲法の知識を通じて現代社会の諸問題を分析することができる。

#### 【成績の評価】

成績評価は、定期試験の点数に基づいて行う（100％）。試験後に試験内容についてフィードバックを行う。

#### 【使用テキスト】

なし。毎回の授業時に配布するプリントに基づいて授業を進める。

#### 【参考文献】

長谷部恭男(解説)『日本国憲法』（岩波文庫、2019年）

#### 【実務経験】

有り

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

国会議員政策担当秘書の実務経験がある。それを生かし、講義の中で憲法と現実政治との関係についても触れる。

#### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	【憲法の意義と機能】 立憲主義の意義と憲法の規範構造について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
2	【憲法の歴史：近代憲法の成立】 近代憲法が成立した経緯について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
3	【憲法の歴史：近代憲法の変遷と現代憲法の成立】 近代憲法の変遷と現代憲法の成立について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
4	【日本国憲法の概要】 日本国憲法の全体構造と特徴について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
5	【国民主権】 国民主権の意義、およびその規範的意味について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
6	【天皇制】 象徴天皇制の概要と天皇の国事行為について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
7	【平和主義】 平和主義の意義と憲法9条に関する解釈・判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
8	【平等権】 平等権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
9	【表現の自由】 表現の自由の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
10	【参政権】 参政権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
11	【社会権】 社会権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
12	【権力分立】 権力分立の意義およびその現代的変容について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
13	【違憲審査制】 違憲審査制の意義とその限界について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
14	【司法権の独立】 司法権の独立の意義とそれを脅かす要因につ	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	いて学ぶ。	復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
15	【授業のまとめ】 授業内容を振り返るとともに、試験を行った上でフィードバックを行う。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CG1001  
授業形態： 講義  
科目名： 人権教育  
担当教員： 金子 匡良(KANEKO Masayoshi)

### 【授業の紹介】

私たちは「人権」という言葉をよく耳にしますが、では「人権」とはいったい何なのかと問われると、うまく説明できない人が多いのではないのでしょうか。そこでこの授業では、まず人権とは何かについて説明していきます。次に、日常生活の中で起こりやすい差別問題を取りあげ、なぜ差別が起こるのか、差別をなくすために何が必要なのかを考えていきます。それに続けて、女性の人権や障害者の人権といった具体的なテーマを取り上げ、日本や世界にどのような人権問題があるのか考えます。また、日本に古くから存在する部落差別（同和問題）についても取り上げます。

この授業はGoogle Classroomを用いたオンライン授業で行います。受講者は毎週金曜日にアップロードされる授業のプリントを見ながら動画を視聴して、自己学習をした上で、1週間後までに課題を提出してください。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	短期大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

### 【到達目標】

人権の意味や役割を理解し、他人の権利や人格を尊重することができる。  
様々な人権問題の内容や沿革を正しく理解し、自分なりの言葉で説明することができる。  
現代社会を人権という観点から分析し、問題点を発見し、自分でその解決策を考案することができる。

### 【成績の評価】

成績評価は、毎回の課題の提出状況とその点数に基づいて行います（100％）。課題提出後に課題内容についてフィードバックを行います。なお、課題の提出回数が9回以下の場合は、成績評価の対象にならないので注意してください。

### 【使用テキスト】

アジア・太平洋人権情報センター（編）『人権ってなんだろう？』（解放出版社・2018年）

### 【参考文献】

適宜指示します。

### 【実務経験】

有り

### 【実務経験と授業科目の関係性】

国会議員政策担当秘書の実務経験があります。その経験を生かし、講義の中で現実政治と人権問題の関わりについても触れます。

### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	【人権の意味】 人権の定義と構成要素について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
2	【人権の内容と役割】 人権の具体的な権利内容とその機能について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
3	【平等と差別：平等の意義と種類】 平等の定義と種類について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
4	【平等と差別：差別の種類と解消方法】 差別の定義と種類、および差別の種類に応じた解消方法について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
5	【人権を守る仕組み】 人権救済の方法、および国内人権機関について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
6	【差別の構造と要因】 差別の構造とそれが生まれるメカニズムについて学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
7	【差別の解消方法】 差別の解消方法、特に偏見の低減方法について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
8	【女性の人権】 女性の人権の歴史と日本の女性の社会的地位について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
9	【女性の人権】 女性の人権の歴史と日本の女性の社会的地位について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
10	【女性の人権】 女性に対するDV、セクハラ、就労差別等について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
11	【女性の人権】 男女雇用機会均等法の内容と意義について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
12	【女性の人権】 男女雇用機会均等法成立までの経緯とそれに携わった関係者の努力について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
13	【部落差別】 部落差別の内容とその特徴、歴史的経緯について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
14	【部落差別】 部落差別の実態と課題について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
15	【ハンセン病元患者の人権】 ハンセン病問題の歴史的経緯と残された課題について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CGH002  
授業形態： 講義  
科目名： 地域と社会  
担当教員： 溝淵 利博(MIZOBUCHI Toshihiro)

### 【授業の紹介】

現在、様々な領域で「地域」の重要性が再認識されています。特に日本の地域社会では、経済のグローバル化や産業構造の変化等に伴って大きな社会変動が起こり、少子高齢化や地域経済の停滞などの多くの諸課題が山積しています。現代社会の特徴は、過去との比較や将来への展望なくして、その本質や課題解決策を見付けることはできません。この授業科目は、地域社会の現状と課題を明らかにするとともに、相互に意見を出し合うグループワークやアクティブラーニング等で地方創生や地域活性化に向けた新たな取り組みについて主体的に考える力を身に付けることで、自他の尊厳を重んじる豊かな人間性を培い、社会人としての幅広い教養を養います。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	短期大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

### 【到達目標】

1. 自分たちが同時並行で体験している現代社会が、一体どのような時代的特色を持っているかについて、自ら多面的構造的に考えることができる。
2. 客観的なものの見方や自分の生き方と結び付けて将来を展望できる力を身につけることができる。
3. 地域社会の様々な課題について自ら気づき、考え、よりよく解決する判断力や表現力を培うことができる。
4. 地域社会の諸課題を解決するための柔軟な思考力や想像力を育み、将来に亘って社会に貢献できる力を身に付ける。

### 【成績の評価】

授業への参加意欲や受講態度を重視するとともに、質問事項への応答内容や主体的な学習状況の度合いなど(10%)に加え、毎授業時間後に提出するリフレクションシート(10%)、ユニットごとの小テスト(20%)及び学修ノート(20%)・レポート(40%)の成績を総合して評価する。小テストについては、その都度、模範解答を示して講評し、授業時に返却してフィードバックする。遅刻5回で欠席1回とみなします。

### 【使用テキスト】

森岡清志編『地域の社会学』(有斐閣、2008年)

### 【参考文献】

三浦典子・横田尚俊・速水聖子編『地域再生の社会学』(学文社、2017年) 袖井孝子編『「地方創生」へのまちづくり、ひとづくり』(ミネルヴァ書房、2016年) 丸尾直美・宮垣元・矢口和宏編『コミュニティの再生』(中央経済社、2016年) 大江正章『地域に希望あり、まち・人・仕事を創る』(岩波新書、2015年) 若林靖永・樋口恵子編『2050年超高齢社会のコミュニティ構想』(岩波書店、2015年)ほか、必要に応じて授業の中で適宜紹介する。

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、現代社会とは何か	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
2	地域を考える：混乱する＜地域＞のイメージ～なぜ＜地域＞は重要なのか（P.3～P.20）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
3	地域社会とはなんだろう～新しい地域社会の概念（P.21～P.43）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
4	地域を枠づける制度と組織～政治とマスメディア（P.45～P.70）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
5	地域に生きる集団とネットワーク～人と制度をつなぐもの（P.71～P.91）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
6	第1回～第5回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。地域の歴史を考える～調査研究の具体的な手続きと着手点（P.93からP.116）	第1回～第5回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
7	地域がなぜ大切か：見直される地域～「共」の再構築（P.117～P.137）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
8	地域を見る：子育てと地域社会～1980年代以降に見られる家族の変質（P.141～P.153）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
9	1980年代以降の育児環境の変化～育児環境とその変革のさまざまな試み（P.154～P.170） 現地学修会を第9回～第14回の際に1回実施する予定。	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
10	学校と地域：子どもを育てるといふこと～教育の自由化といふこと（P.171～P.196）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
11	第6回～第10回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。自営業者たちと地域社会：自営業者とは誰か～挑戦を続ける自営業者（P.197～P.220）	第6回～第10回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
12	高齢化と地域社会：日本社会における高齢化の特徴～地域の重要性の増大（P.221～P.245）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
13	エスニック集団と地域社会：地域社会における異質性の高まり～協働関係の模索（P.247～P.270）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
14	地域社会の未来：コミュニティ行政の限界と遺産～新しいコミュニティ形成に伴う諸問題（P.271～P.296）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
15	第11回～第14回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。これまでの授業のまとめと質疑応答～少子高齢化とグローバル化の進展する地域社会は今後どうあるべきかを考える～	第11回～第14回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。復習として、これまでの授業内容を踏まえて、地域と社会の現状と今後の課題解決等について自ら研究したことを「研究レポート」にまとめて提出すること。（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CGH003  
授業形態： 講義  
科目名： 芸術文化  
担当教員： 毛利 直子(MOURI Naoko)

【授業の紹介】

創造都市・高松における文化芸術の拠点の一つ「高松市美術館」の活動を始め公私に及んだ取組を通して、多様な文化芸術（美術、音楽、演劇、映画等）の魅力を知り、それらを楽しむことで自らの感性を広げ、心の豊かさが育まれることをめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	短期大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】

- 1．美術館の歴史や役割、活動内容を理解することができる。
- 2．高松で展開されている様々な文化芸術活動に関心を高めることができる。
- 3．アートを通して、他者とのコミュニケーションを主体的に創造的に楽しむことができる。

【成績の評価】

毎回の授業内容へのコメント（40％）、学外授業のレポート（60％）。  
レポートにコメントを付して返却することでフィードバックを行う。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	美術館に行ったことある？ - 自己紹介、高松市美術館全般の活動について	（復習内容）授業で初出の専門用語の意味を2個以上を調べ、次回の授業の前に提出すること。（4時間）	
2	瀬戸内国際芸術祭の魅力 - 瀬戸内国政芸術祭の位置づけ、歴史等概略	（復習内容）授業で初出の専門用語の意味を2個以上を調べ、次回の授業の前に提出すること。（4時間）	
3	瀬戸内国際芸術祭とのつながり - 市美術館と瀬戸内国際芸術祭の連携について		
4	高松市美術館特別展「巨大ロボット展」の鑑賞	本展鑑賞後に与えられた課題によるレポート1,000字程度を期限までに提出のこと。（8時間）	
5	美術作品の鑑賞教育 - 「見る」ってなんだろう？	（復習内容）授業で初出の専門用語の意味を2個以上を調べ、次回の授業の前に提出すること。（4時間）	
6	常設展について 美術館の収集・保存・研究から展示へ	（復習内容）授業で初出の専門用語の意味を2個以上を調べ、次回の授業の前に提出すること。（4時間）	
7	学校等との連携について 子どもたちの鑑賞する力を伸ばすためのプログラム	（復習内容）授業で初出の専門用語の意味を2個以上を調べ、次回の授業の前に提出すること。（4時間）	
8	文化芸術で創造都市高松を発信！ 高松国際ピアノコンクール、芸術士派遣事業、アートリンク事業など	（復習内容）授業で初出の専門用語の意味を2個以上を調べ、次回の授業の前に提出すること。（4時間）	
9	アート県かがわの文化芸術施設を知ろう！ イサム・ノグチ庭園美術館、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、香川県庁など	（復習内容）紹介した文化芸術施設を訪れてレポート提出すること。（8時間）	
10	手による鑑賞って？ 視覚障がい者と共に口ダンの《考える人》を見て、感じ、考えたこと	（復習内容）授業で初出の専門用語の意味を2個以上を調べ、次回の授業の前に提出すること。（4時間）	
11	市美術館における芸術的催し物について 音楽コンサート、ダンス公演、映画上映会など		
12	協力して作ってみよう！ ぼくらのペーパーテント村 グループで協力し、新聞紙でテントを立てよう！		
13	中学生キュレーターについて 2018年に続く2022年のキュレーターのためごを紹介	（復習内容）授業で初出の専門用語の意味を2個以上を調べ、次回の授業の前に提出すること。（4時間）	
14	高松市塩江美術館の魅力 山あいの豊かな自然に恵まれた環境に立地する美術館の紹介	（復習内容）授業で初出の専門用語の意味を2個以上を調べ、次回の授業の前に提出すること。（4時間）	
15	高松市美術館特別展「谷川俊太郎の世界」（仮称）の鑑賞	本展鑑賞後に与えられた課題によるレポート1000字程度を期限までに提出のこと。（8時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CGH004  
授業形態： 講義  
科目名： 歴史  
担当教員： 溝渕 利博(MIZOBUCHI Toshihiro)

#### 【授業の紹介】

グローバル化が進展する中、今、「日本とは何か」が問われています。日本人一人ひとりへの問いかけがなされています。「過去を知らなければ、未来を語ることはできない」とよく言われます。未来は、過去を振り返ることによってのみ明らかになってきます。日本には先人が生み育ててきた長い文化の歴史があり、この授業科目は、文化史の視点に立って改めて日本の歴史を振り返り、日本文化の特質とその歴史的な性格について学び理解することができます。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	短期大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

#### 【到達目標】

1. 日本の身近な文化財や伝統文化を通して、それらが生まれてきた風土や歴史的背景を理解できる。
2. 日本や日本文化に対する関心を高め、歴史的なものの見方や考え方を習得できる。
3. 新たな時代に相応しい日本文化を創造していく力を身に付けることができる。
4. 日本の文化の成り立ちや特色について関心を高めるとともに、自らの郷土や国家の歴史・文化及び先人の努力等について理解を深めることができる。

#### 【成績の評価】

授業への参加意欲や受講態度を重視するとともに、質問事項への応答内容・主体的な学習状況の度合い等（10%）に加え、毎授業後に提出のリフレクションペーパー（10%）、ユニットごとの小テスト（20%）及び学修ノート（20%）・レポート（40%）の成績を総合して評価する。小テストについては、その都度、模範解答を示して講評し、授業時に返却してフィードバックする。遅刻5回で欠席1回とみなします。

#### 【使用テキスト】

尾藤正英著『日本文化の歴史』（岩波新書、2000年）

#### 【参考文献】

家永三郎『日本文化史（第二版）』（岩波新書、1982年）佐々木高明著『日本文化の多重構造』（小学館、1997年）阿部猛・西垣晴次編『日本文化史ハンドブック』（東京堂出版、2002年）村井康彦著『日本の文化』（岩波ジュニア新書、2002年）大久保喬樹著『日本文化論の系譜』（中央新書、2003年）遠山淳他編『日本文化論キーワード』（有斐閣、2009年）ほか、必要に応じて授業の中で適宜紹介する。

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・文化史とは何か	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
2	日本文化の源流（P.1～P.14）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
3	古代国家の形成と日本神話（P.15～P.39）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
4	仏教の受容とその発展（P.41～P.54）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
5	漢風文化から国風文化へ（P.55～P.72）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
6	第1回～第5回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。平安時代の仏教文化（P.73～P.83）	第1回～第5回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
7	鎌倉仏教文化の成立（P.85～P.110）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
8	内乱期の文化（P.111～P.124）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
9	国民的宗教の成立（P.125～P.136）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
10	近世国家の成立と歴史思想（P.137～P.156）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
11	第6回～第10回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。元禄文化（P.157～P.173）	第6回～第10回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
12	儒学の日本的展開（P.175～P.185）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
13	国学と洋学・明治維新における公論尊重の理念（P.187～P.212）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
14	近代日本における西洋化と伝統文化（P.213～P.229）	予習として、シラバスで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として、毎回の授業内容や講義レジュメ等について「なぜ」（疑問）と思ったことや自ら調べて考えたことなどを学修ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
15	第11回～第14回までの範囲に関する小テスト（基礎知識と小論文）。これまでの授業のまとめと質疑応答～日本文化史から日本文化論へ～	第11回～第14回までの学修ノートを提出して内容の確認・評価を受けること。復習として、これまでの授業内容を踏まえて、日本文化史について自ら研究したことを「研究レポート」にまとめて提出すること。（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CG0001  
授業形態： 講義  
科目名： 香川学  
担当教員： 西岡 達哉(NISHIOKA Tatsuya)

#### 【授業の紹介】

授業の趣旨は、香川県の地理、歴史、人物、文化芸術などを教材として、香川県で生まれたこと、香川県で育ったこと、香川県で学んでいること、これから香川県で暮らし続けることなどの意味について理解させるとともに、職業人として必須の香川県に関する深層的な知識を身に付けさせることです。

まずは、香川県の特徴ある風土や、香川県人の優れた知恵や技術、日本の歴史における香川県の位置などについての「気付き」の機会をつくります。

そして、個々の事象について深く教授することにより、学生自らが将来にわたってこれらを継承するために必要な感性や創造・企画力などを育成していきます。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	短期大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

#### 【到達目標】

1. 現代人の暮らしが先人の知恵や工夫によってかたちづけられていることを知ることができる。
2. 香川県の風土や人々の知恵や技術などが全国に誇れるものであることを知ることができる。
3. 将来の職業人として、香川県出身であることや香川県で働くことに大いなる意義を実感するとともに、香川県らしさを発揮した創意や工夫が生まれる素質を身に付けることができる。

#### 【成績の評価】

授業における発表（10%）、授業におけるレポート（10%）、定期試験（80%）  
成績の評価については、個人面談などを行うことにより口頭でフィードバックを行う。

#### 【使用テキスト】

なし

#### 【参考文献】

1. 大学的香川ガイド（守田逸人編、昭和堂、2022年）
2. 忘れられた日本人（宮本常一著、岩波文庫、1984年）

#### 【実務経験】

有り

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

教育委員会における文化財保護や文化財調査、博物館及び美術館における文化芸術活動などの経験を活かして、香川県の気候、地形、人物、産業、美術工芸、建築、交通、歴史上の出来事などについて、具体的な事例を紹介します。

#### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（授業の趣旨や計画などの説明） 香川の気候・地形1（内海と島、阿讃山脈とメサとビュート）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	
2	香川の地形2（扇状地、川、出水、ため池）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	
3	香川の人1（空海から松平頼重まで）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	
4	香川の人2（大久保謙之丞から大平正芳まで）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	
5	香川の産業1（第1次産業の歴史的及び文化的特徴）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	
6	香川の産業2（第2次産業の歴史的及び文化的特徴）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	
7	香川の産業3（第3次産業の歴史的及び文化的特徴）	居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間） 香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	香川の美術工芸1（美術）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	
9	香川の美術工芸2（工芸）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	
10	香川の建築1（古建築）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	
11	香川の建築2（モダニズム建築）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	
12	香川の交通1（瀬戸大橋架橋以前）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	
13	香川の交通2（瀬戸大橋架橋以降）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	
14	日本史における香川の重大事件1（崇徳院配流、源平合戦以前）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいりしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたいり、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	日本史における香川の重大事件2（細川氏による支配以降）	<p>居住地、通学路、学校などの周囲にある古いものや珍しいものなどについて、所有者に質問をしてみたり、図書館、博物館、資料館などで調べてみたいしてください。また、祖父母や近所の高齢者などから古い時代の話聞いてみてください。（2時間）</p> <p>香川県の地理や歴史、人物などについての図書を読んでみたい、インターネットで検索してみたりしてください。（2時間）</p>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CG1002  
授業形態： 講義  
科目名： 人間と環境  
担当教員： 西本 真(NISHIMOTO Makoto)

### 【授業の紹介】

現在世界中が気候変動問題について対策を取っていく中、日本でも脱炭素社会の実現に向けて2050年に温室効果ガス排出0を目指す方針が打ち出されました。このことにより、環境に対する国民の関心は、年々高まっており、自然環境への配慮や保全等が強く求められています。

この授業科目では、地球環境問題の現状とその発生要因やメカニズムを理解し、今後の各個人の生活の在り方を考えます。

具体的には持続可能な開発目標「SDGs」を理解し、それぞれの専門分野の講師から自然環境や気候変動と人間との関わりについて学び、私たちの行動、特に環境への対策がどこに繋がりとどう広がっていくかを考え、脱炭素社会を目指した対策を取りながら持続可能な社会に向けた行動ができる力を習得するとともに、学んだことを伝える力を身に付けます。

また、質問等を随時受け付け授業中に回答します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	短期大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

### 【到達目標】

- (1) 人間と環境との関わり合いについて理解できる。
- (2) 持続可能な社会を実現するために、今、私たちが考えなければならないこと、しなければならないことについて、自分なりの見解を持ち、実践できる素養を身に付けるとともに人に伝える力を身につけることができる。
- (3) 授業は正しい解が教えられるものではなく、考える習慣や感性を身につけるものであることを理解し、実践することができる。

### 【成績の評価】

成績の評価は、各講義のあとの確認テストとレポート(30分以内で記入)を提出してもらいます。問題の回答とレポート内容60%、人に伝える資料内容(プレゼンテーション)30%、授業への参加状況(出席ではなくディスカッションへの参加状況、意見発表、質問など)10%とします。また、レポート・試験答案等は、希望する者に、返却します。各授業に公社職員が同行し評価をします。

### 【使用テキスト】

なし

### 【参考文献】

・新しい環境学(環境問題の基礎知識をマスターする) 著者 鈴木孝弘

・IPCC第6次評価報告書統合報告書政策決定者向け要約他  
<https://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/ipcc/ar6/index.html>

その他適宜各講師により紹介

### 【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業のガイダンス 授業の目的・内容・進め方、レポート及びプレゼンテーション等について	無し	（公財）香川県環境保全公社 地球温暖化防止コミュニケーター 西本 真
2	SDGs（持続可能な開発目標）について 社会の様々な課題（特に環境問題）とSDGsとの繋がりを理解し、持続可能な世界を築くために私たちがすべきことなどを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	SDGsコンサルタント 三村 寛
3	脱炭素社会に向けて国の動向等について 世界中で気候変動対策が実施される中、脱炭素社会に向けて日本が目指す方向性や具体策などを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	環境省中国四国環境事務所四国事務所職員
4	地球温暖化による気候変動について（香川県の気候について） 地球温暖化の基礎知識や香川県での気候について現在どのように変化が起きているかなど、気象庁の具体的なデータや事例をもとに学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	気象庁高松气象台職員
5	地球温暖化と生活防災について 地球の温暖化の影響はすでに日本でも起きている。地震だけでなく集中豪雨や台風といった気候変動による影響に私たちが備えるべきことを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	地球温暖化防止活動推進員・防災士 古井 秀樹
6	再生可能エネルギーの今とこれから 今後の脱化石燃料に向けたエネルギー源の転換を念頭に国内の電源構成や再生可能エネルギーの普及等について学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	経済産業省四国経済産業局エネルギー対策課職員
7	プラスチックごみと食品ロスの問題と対策について 近年問題になっているプラスチックごみやまだ食べられるのに捨てられている食品ロスを中心に香川県でのごみ対策について学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	香川県循環型社会推進課職員
8	エシカル消費について 地域の活性化や雇用なども含む、人や社会・環境に配慮した消費行動「倫理的消費(エシカル消費)」について学び自分のことだけでなく、自分以外の人や社会、環境のことを考える	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	地球温暖化防止活動推進員・消費生活アドバイザー 片山 仁子
9	地域を元気にする農業の取組みについて 地球温暖化で起きている農作物への影響を知ること、また生産者から消費者へ直接供給する産直などで地域を元気にする取組などを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	香川県農業協同組合中央会職員
10	自然環境と持続可能な地域社会について 県内で自然環境の保全に取り組む事例や自然保護に取り組みながら持続可能な地域を目指す具体的な取り組みを学び地域活動を考える	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	森林インストラクター・農学博士 横山 昌太郎

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	省エネ住宅設備 身近でできる住まいの省エネ 脱炭素社会に向けて切り離せない私たちの住まい、省エネ住宅（ZEH）や住宅設備の省エネ化及び家庭でできる取組みを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	地球温暖化防止活動推進員・(株)LIXIL 釘宮 貴志
12	家電の今昔について ここ10年あまりで急激に技術開発されている家電、昔の家電とのエネルギー消費の違いや正しい家電の使い方が省エネにつながることを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	地球温暖化防止活動推進員・省エネ普及指導員 滝口 隆男
13	香川県での環境活動について 香川県地球温暖化防止活動推進センター及び地球温暖化防止活動推進員等が取り組んでいる活動の事例や普及啓発活動などを学ぶ	予習：事前配布した資料の確認（1時間） 復習：学んだことを身近な人に伝えて感想を聞く（2時間）	（公財）香川県環境保全公社 地球温暖化防止コミュニケーター 西本 真
14	個人ワークまたはグループワーク（ディスカッション等） 第2～13回の講義テーマを1つ選択し個人もしくは各グループでプレゼンテーション（短時間で人に伝えられる）ができるように各テーマについて資料を作成する	予習：これまでの講義のふりかえり（4時間） 復習：伝えるための資料作成（10時間）	（公財）香川県環境保全公社 地球温暖化防止コミュニケーター 西本 真
15	学生によるプレゼンテーション及び人間と環境まとめ 個人もしくは各グループ3分程度でプレゼンテーションを行い（人数により時間を変更します）全講座を通しての気づきや学びを振り返る	予習：伝えるための資料作成（10時間）	（公財）香川県環境保全公社 地球温暖化防止コミュニケーター 西本 真
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CGS003

授業形態： 演習

科目名： ボランティア

担当教員： 西岡 達哉(NISHIOKA Tatsuya),佐藤 麻衣(SATOU Mai)

#### 【授業の紹介】

この授業の趣旨は、学生自らが企業や公的機関などにおいて、主体的にボランティア活動に取り組むことにより、社会に貢献できる実践力を養成します。

学生は、ボランティア活動を通じて、職業人に不可欠な広い視野や柔軟かつ強い精神力などを身に付けます。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	短期大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

#### 【到達目標】

- 1．自ら考え行動できるようになる。
- 2．問題を発見し、他者と協力して解決できるようになる。
- 3．関わる人々と良好なコミュニケーションを取ることができるようになる。
- 4．高い倫理観と責任感、忍耐力を備え、礼節をわきまえた行動ができるようになる。

#### 【成績の評価】

ボランティア活動内容（80％）、ボランティア活動報告書（発表含む）（20％）

成績の評価については、活動報告書に基づき、個人面談などを行うことにより口頭でフィードバックを行う。

#### 【使用テキスト】

なし

#### 【参考文献】

ボランティアってなんだっけ？（猪瀬浩平著、岩波書店、2020年）

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業の趣旨についての説明	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
2	ボランティアの意味（概論）	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
3	学生によるボランティア活動計画の作成 1 日程等	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
4	学生によるボランティア活動計画の作成 2 活動内容等	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
5	<p>学生によるボランティア活動1 オリエンテーション等</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
6	<p>学生によるボランティア活動2 オリエンテーション等</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
7	<p>学生によるボランティア活動3 指示された活動</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
8	<p>学生によるボランティア活動4 指示された活動</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
9	<p>学生によるボランティア活動5 自主的な活動</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
10	<p>学生によるボランティア活動6 自主的な活動</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	学生によるボランティア活動7 自主的な活動	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
12	学生によるボランティア活動の経過報告1	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
13	学生によるボランティア活動8 自主的な活動	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
14	学生によるボランティア活動9 自主的な活動	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	
15	<p>学生によるボランティア活動10 自主的な活動</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	
16	<p>学生によるボランティア活動11 自主な活動</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	
17	<p>学生によるボランティア活動12 自主的な活動</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	
18	<p>学生によるボランティア活動13 自主的な活動</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	
19	<p>学生によるボランティア活動14 自主的な活動</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	
20	<p>学生によるボランティア活動の経過報告 2</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
21	学生によるボランティア活動15 自主的な活動	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
22	学生によるボランティア活動16 自主的な活動	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
23	学生によるボランティア活動17 自主的な活動	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大切です。</p>	
24	学生によるボランティア活動18 自主的な活動	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	
25	学生によるボランティア活動19 活動の総括	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	
26	学生によるボランティア活動20 活動の総括	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	
27	学生によるボランティア活動報告書の作成 1	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	
28	<p>学生によるボランティア活動報告書の作成 2</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	
29	<p>学生によるボランティア活動の報告・討論 1 企業編</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	
30	<p>学生によるボランティア活動の報告・討論 2 公的機関編</p>	<p>現代社会は、「ボランティア社会」とも呼ばれるほどに、私たちの周囲にはさまざまなボランティア活動が存在しています。日常生活においても、身近なボランティア活動に関心をもつように心がけてください。</p> <p>自己のボランティア活動については、まずは「何に取り組むのか」「どのような方法で取り組むのか」「準備に問題ないか」などについて日々の活動の前に計画を策定してください。（1時間）</p> <p>そして、日々の活動が終了したときには、その日のうちに必ず「振り返り」を行ってください。しっかりとした早期の「振り返り」が問題解決の有効手段です。（1時間）</p> <p>多くのボランティア活動には、既成の「流れ」が存在します。わからないことをそのまま放置しておく、重大事に繋がることにもなりかねません。わからないことが発生したときは、活動以外の時間を使ってでも熟練者などに聞くことが大事です。</p>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CBL001  
授業形態： 演習  
科目名： 日本語表現基礎  
担当教員： 采野 友啓 (UNENO Tomohiro)

### 【授業の紹介】

社会で活動するうえで、言葉（日本語）によるコミュニケーションは欠かせません。「日本語表現」は、日本語の基礎力を高め、社会で活躍するための土台をつくる授業です。語彙を増やし、表現力を高め、考える力や読み解く力を養います。書く力、言葉で表現する力を鍛えれば、今後の学生生活にも就職活動にも、社会で活躍するうえでも、必ず役に立ちます。自分の考えや気持ちをどう伝えれば、相手に届くのか？「伝えるための伝え方」を身につけていきましょう。口頭表現（話す力）の向上を目標に展開する「日本語表現基礎」も含めて、受講してください。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	短期大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

### 【到達目標】

1. 語彙を増やし、的確な言葉で表現できる
2. 敬語の正しい使い方を覚え、幅広い年代の人と多様なコミュニケーションができる
3. 相手に伝える伝え方ができる
4. 目的に合わせて、的確な文章を書くことができる
5. 社会の動きや出来事を敏感にとらえることができる

### 【成績の評価】

積極的な発表や発言など授業に対する姿勢 レポートなどの提出物への取り組み姿勢と内容 (70%)  
定期試験の成績 (30%)

提出物については、感想や意見を付けて各自にフィードバックします。  
定期試験の模範解答は、教務課で閲覧可能にします。

### 【使用テキスト】

なし

### 【参考文献】

「教養の語彙力 3240」 西東社編集部編 2021年発行  
「マジ 文章書けないんだけど」 前田安正著 2020年発行  
など。  
参考文献は、授業の際に適宜紹介します。

### 【実務経験】

有り

### 【実務経験と授業科目の関係性】

民間放送のアナウンサーや報道記者として活動した経験を活かし、具体的で実践的な授業を展開します。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	「自己紹介と授業の概要説明」 受講者、教員の自己紹介に続いて、 授業の目的や内容について詳しく話をします。	これから何を学んでいくのかを復習し、自分の課題を考える。 身につけたいこと、向上させたい力を書き出す。 (1時間)	
2	「敬語をマスターする」 社会生活の大切な要素である敬語の 基本ルールと誤った使い方について 学びます。	基本ルールを復習し、覚える。 誤った使い方をしていたら、それに気付き、 正しい使い方を覚える。 (1時間)	
3	「敬語をマスターする」 接客や電話対応、挨拶など、人間関係の構築 に大切な敬語を、ケース別・シーン別に学び ます。	授業で学んだ敬語と正しい使い方を復習し、 日常生活に当てはめて、イメージトレーニング をする。 (1時間)	
4	「語彙を増やす」 ついつい出てしまう日常の若者言葉を 大人の言葉づかいにどう言い換えるか ？言い換え方を学びます。	授業で学んだ言い換えを復習。 イメージトレーニングをする。 (1時間)	
5	「語彙を増やす」 社会では、あらたまった言葉づかいも 必要になります。言い方を覚えます。	授業で学んだ「大人の言葉づかい」を復習。 自分が使えるように頭に入れる。 その言葉を使って、イメージトレーニングを する。 (1時間)	
6	「語彙を増やす」 仕事の場で上司や先輩などがよく使う言葉 を知り、意味や使い方を覚えます。	授業で学んだ「大人がよく使う言葉」を復習 し、覚えて使えるように、イメージトレーニング をする。 (1時間)	
7	「語彙を増やす」 社会でよく使われる熟語の意味を知って、身 につけましょう。	授業で学んだ熟語を復習し、意味を覚える。 自分も使えるようにイメージトレーニングを する。 (1時間)	
8	「語彙を増やす」 現代社会でよく使われる外来語の意味を知っ て、覚えて、使えるようになりましょう。	授業で学んだ外来語の意味を復習して覚え、 聞いて理解できるように、自分でも使えるよ うに イメージトレーニングをする。 (復習) (1時間)	
9	「文章を書く」 話し言葉と書き言葉の違いを認識し、 文章の作り方の基本を覚えます。	課題に即して、短い文章を書く。 授業で学んだ書き方の基礎を身につける。 (復習) (1時間)	
10	「文章を書く」 あらたまったメールや文書は、仕事をするう えで大事な要素。 ビジネス文書やビジネスメールの基本を覚え ます。	課題に即して、基本的な文書を書いてみる。 実際に文書を書くことで、書き方を身につけ る。 (復習) (1時間)	
11	「文章を書く」 1年生のうちから覚えておきたいエントリーシ ート(ES)の書き方。 ESの持つ意味や書き方の基本を学びます。	課題に即して、ESを書くシミュレーションを してみる。 実際に書くことで、自分の考え方や感じ方も 自覚する。 (1時間30分)	
12	「文章を書く」	課題に即して、「ミニ小論文」を書いてみ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	多くの企業や事業所、自治体などが就職試験に取り入れている小論文。その役割を知り、書き方の基本を学ぶ。	る。実際に書いてみることで、自分の思考や感情を「見える化」する。 (復習) (1時間30分)	
13	「文章を書く」 保育実習やインターンシップに備え、自己紹介文や報告文書の書き方を学びます。	課題に即して、自己紹介文、報告文を書いてみる。実際に書くことで、基本を身につける。 (復習) (1時間30分)	
14	「後期に向けて」 後期の「日本語表現基礎」で学ぶ口頭表現(=話す)の概要を学びます。	「話す」ことの重要性を再認識し、後期に向けての心構えをつくる。 (復習) (30分～1時間)	
15	「日本語表現基礎 のまとめ」 前期で学んだ内容のおさらいをします。	前期の定期試験に備えて、重点項目を復習。 (1時間～2時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： CBL002  
授業形態： 演習  
科目名： 日本語表現基礎  
担当教員： 采野 友啓 (UNENO Tomohiro)

### 【授業の紹介】

様々なコミュニケーションの中でも、圧倒的に多いのは「話す」こと。口頭表現です。話し方の良し悪しは、社会生活をするうえで非常に重要な力です。生涯にわたって影響を及ぼします。「伝えたいことがしっかり伝わる話し方」を身につければ、学生生活でも、仕事でも、私生活でも、この先ずっと必ず役に立ちます。多くの人と豊かな人間関係を築くことができます。「日本語表現基礎」では、話し方・伝え方の基本とトレーニング方法を学んでいきます。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	短期大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

### 【到達目標】

1. 「話し方」についての意識を高める
2. スピーチやプレゼンテーションの基本を身につける
3. 会話力、雑談力 (= 聞く力、話す力) を高める
4. コミュニケーションに対する自信を養う

### 【成績の評価】

授業中の積極的な発言や意見発表、課題としての発表などに取り組む姿勢、レポート等の提出物への取り組みと内容

(70%)

### 【使用テキスト】

なし

教員が作成するレジユメを使って授業を行います。  
レジユメは、教材として保管してください。

### 【参考文献】

「言語化力」 三浦嵩宏著 SBクリエイティブ 2020年発行  
「世界最高の話し方」 岡田純子著 東洋経済新聞社 2020年発行 他

参考文献については、授業の際に適宜紹介します。

### 【実務経験】

有り

### 【実務経験と授業科目の関係性】

民間放送のナウンサーや報道記者、ディレクターなどの経験を活かして、具体的で実践的な授業を展開します。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	「口頭表現の基本」 口頭表現（＝話し方）は、意識の持ち方で大きく変わります。 今後の授業内容について説明します。	授業の内容を復習し、これまでの自分の話し方について振り返ってみる。 自分の話し方の欠点やクセについて考え、気が付いたことをメモしておく。 これから授業で身につけたいことを整理しておく。 （復習）1時間	
2	「口頭表現の基礎1 呼吸と発声」 話すことの土台になるのは発声です。 声のメカニズムと磨き方を学びます。	授業の内容を復習し、学んだ呼吸法と発声を練習する。 自分の中の「イイ声」を見つけ、それが身につくように反復する。 （復習） 1時間～2時間	
3	「口頭表現の基礎2 発音と活舌」 明瞭な発音と活舌の良さは、人の印象を左右します。訓練法を覚えます。	授業の内容を復習し、学んだ方法を練習する。 自分の中の「イイ声」を見つけ、それが身につくように反復する。 （復習） 1時間～2時間	
4	「話す技術1 わかりやすさ」 わかりやすい話し方、相手に伝わる話し方のコツを学びます。	授業の内容を復習し、自分の話し方について振り返ってみる。 自分の話し方の欠点やクセについて考え、気が付いたことをメモしておく。 （復習） 1時間	
5	「話す技術2 説明のコツ」 よくわかる説明には「型（パターン）」があります。 基本の型を学びます。	授業の内容を復習し、自分の説明について振り返ってみる。 学んだ型を日常生活に活かせるように、イメージトレーニングをする。 自分の説明の仕方の欠点やクセについて考え、気が付いたことをメモしておく。（復習） 1時間 実習の準備をする。（予習）1時間	
6	「説明の実習 その 」 実際に何かを説明する実習です。 身近なテーマを選び、人にわかるように説明をします。	実習での自分の説明について振り返ってみる。 指摘された点について考え、メモしておく。 他の人の説明を聞いて気が付いたことも書き留めておく。（復習）1時間 次回の授業でやる人は、授業内容を踏まえて準備しておく。（予習）1時間	
7	説明の演習 その 」 前回の続きです。実習は全員が行います。	実習での自分の説明について振り返ってみる。 指摘された点について考え、メモしておく。 他の人の説明を聞いて気が付いたことも書き留めておく。（復習）1時間	
8	「話す技術3 プレゼンテーションのコツ」 意見発表や提案に必要なプレゼンの技術。相手を説得するコツを学びます。	授業の内容を復習し、コツを覚える。 気が付いたことをメモしておく。（復習）1時間 実習の準備をする。（予習）1時間	
9	「プレゼンテーション実習 その 」 テーマを決めて、実際にプレゼンを行います。 実習を通して、コツを身につけます。	実習での自分のプレゼンについて振り返ってみる。指摘された点について考え、メモしておく。 他の人の説明を聞いて気が付いたことも書き留めておく。（復習）1時間 次回の授業でやる人は、授業内容を踏まえて準備しておく。（予習）1時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
10	「プレゼンテーション実習 その 」 テーマを変えて、プレゼンをします。実習を通して、さらにコツを身につけていきます。	実習での自分のプレゼンについて振り返ってみる。指摘された点について考え、メモしておく。 他の人のプレゼンを聞いて気が付いたことも書き留めておく。（復習）1時間	
11	「電話の対応」 苦手な人が多い職場での電話対応。かけ方、取り次ぎ方などの基本を学びます。	授業の内容を復習し、コツを覚える。 気が付いたことをメモしておく。 アルバイトやインターンシップなどに活かせるように、イメージトレーニングをする。 （復習）1時間	
12	「挨拶やスピーチのコツ」 挨拶やスピーチ、意見発表など、人前で話すことには、コツがあります。 基本を学びます。	授業の内容を復習し、コツを覚える。 気が付いたことをメモしておく。 アルバイトやインターンシップなどに活かせるように、イメージトレーニングをする。 （復習）1時間 実習に備えて、準備をする。 （予習 1時間）	
13	「スピーチの演習」 学んだコツを活かして、ショートスピーチをします。	実習での自分のスピーチについて振り返ってみる。指摘された点について考え、メモしておく。 他の人のスピーチを聞いて気が付いたことも書き留めておく。（復習）1時間	
14	「会話が上手になるコツ」 会話は人間関係のカギ。 上手な会話のコツを学びます。	授業の内容を復習し、コツを覚える。 気が付いたことをメモしておく。 自分の日常生活に活かせるように、イメージトレーニングをする。 （復習）1時間	
15	「後期の授業のまとめ」 話し方の良し悪しで、自分を取り巻く環境は変わります。無意識にやってきた「話し方」を意識することで、未来は良くなっていきます。 後期のポイントを復習します。	授業の内容を復習し、確認する。 気が付いたことをメモしておく。 定期試験に備えて、授業内容を振り返っておく。 （復習） （予習）2時間	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： CBM001  
授業形態： 講義  
科目名： 数学基礎  
担当教員： 土井 理裕(DOI Masahiro)

#### 【授業の紹介】

この授業は、身近な生活の中にある課題や古典的課題に対して、数学のさまざまな考え方をを用いて、根拠を基に筋道立てて考え、その解決方法を見つけるために、あなたが考え、あなたが解決する時間です。じっくりと考えること、多面的に考えることの面白さを体験し、数学的思考を高めていきましょう。この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：difmhj5)を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	短期大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

#### 【到達目標】

1. 与えられた課題を理解し、解決方法を見つけることができる。
2. 各自の考えた解決策を相互に検討し、解答を導くことができる。
3. 自分のアイデアや解法をみんなに分かるように説明(証明)することができる。

#### 【成績の評価】

受講態度(10%) 課題レポート(80%) 最終課題レポート(10%)  
・毎回の授業の最後に、課題レポートを提出する(解説等を添付して返却します)。  
・最終課題(「数学を学ぶ意義 身近な生活の中にある数学」についてのレポート)を作成し、第15回の最終授業時に提出する。

#### 【使用テキスト】

毎回、授業プリントを配布します。

#### 【参考文献】

- ・「数学」はこんなところで役に立つ(白取春彦, 青春出版社, 2005)
- ・大人のための数学勉強法 - どんな問題も解ける10のアプローチ(永野裕之, ダイヤモンド社, 2012)
- ・算数から数学まで まるごと8時間でわかる本(何森仁, 小沢健一, 明日香出版社, 2014)
- ・本当はすごい小学算数(小田敏弘, 日本実業出版社, 2015)
- ・算数少女ミカ 割合なんて、こわくない!(石原清貴, 日本評論社, 2018)
- ・改訂版 中学校3年間の数学が1冊でしっかりわかる本(小杉 拓也, かんき出版, 2021)

#### 【実務経験】

有り

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校・特別支援学校での学校現場指導を活かし、具体的な数学に関する事例を示しながら授業していきます。

#### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス、はじめの問題	はじめの問題（Google Classroomに提示）を解き、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
2	数と式	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
3	数の性質（1）：倍数と約数	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
4	数の性質（2）：小数と分数、n進数	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
5	方程式と不等式の解法	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
6	方程式と不等式の応用	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
7	割合	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
8	生活の中の数学（1）：お金に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
9	生活の中の数学（2）：濃度に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
10	生活の中の数学（3）：変化に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
11	生活の中の数学（4）：量に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
12	数の規則性	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	進めるための予習が重要です。
13	場合の数と確率	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
14	図形の性質（1）：角度に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
15	図形の性質（2）：面積等に関する話題	授業内容を確認し、それに関連したことを調べ、ノート等にまとめておく。（2時間） 授業プリントの復習を行う。また、返却された課題レポートの復習も行う。（2時間）	積み重ねのための復習と主体的に学習を進めるための予習が重要です。
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CCI101

授業形態： 演習

科目名： 情報基礎演習【保】

担当教員： 林 敏浩(HAYASHI Toshihiro)

### 【授業の紹介】

この授業は、情報リテラシーの知識・技能を修得するために、開講される授業科目で、座学・演習を組み合わせた授業形式になっています。情報リテラシーとは、単にコンピュータや特定のソフトウェアが使えるというだけではなく、その技術を利用して、さまざまな情報を収集・分析し、適切に判断する能力、それらをモラルに則って活用する能力のことです。特に、この授業では、文書作成のためのワープロ（Microsoft Word）の機能について学習し、さらにその間に「情報と社会」というテーマを挿入する形で、情報化社会で適切に行動するために必要な知識について学習します。また、毎回、学習した内容をワープロを用いてレポート（課題）作成しながら、ワープロに関するスキルアップを図ります。また、「数理・データサイエンス」の基礎知識についても併せて学習します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学科が示す専門的知識や技能および実践的能力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	短期大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学科が示す専門的知識や技能および実践的能力	

### 【到達目標】

1. パソコンの代表的な基本ソフトであるWindowsの基本操作ができる。
2. Microsoft Wordを対象としてワープロの主要な機能を使うことができる。
3. ワープロを用いて指定された形式で文書が作成・編集できる。
4. 個人情報保護、情報倫理・情報モラル、知的財産権、ネット犯罪について説明できる。
5. 数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

### 【成績の評価】

成績は必須課題（75%）と追加課題（25%）により評価します。また、優良な授業態度（演習時の他の学生サポートなど）に対しては加点する場合があります。毎回の課題については受理時に個々に一次講評し、さらに次の授業時間で総評することによりフィードバックを行います。希望者には電子メールで詳細な講評をして、フィードバックを行います。

### 【使用テキスト】

杉本くみ子，大澤栄子著『30時間アカデミック office2021版』（実教出版株式会社，2022）ISBN:9784407359435

テキストに沿って説明したり、テキスト内の実習問題を課題とする場合がありますので必ず授業に持参ください。

### 【参考文献】

なし

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス、Windowsの基本操作と日本語入力	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は当該回の予習などです（第1回目は高校まででどんな情報の学びをしたかまとめておいてください）。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
2	文書作成（1） 基本操作と印刷	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
3	情報と社会（1） 電子メールによるコミュニケーション	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
4	文書作成（2） 表の作成	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
5	文書作成（3） 書式の設定	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
6	情報と社会（2） 個人情報保護	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
7	文書作成（4） 図・画像などの挿入	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習は自分のその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
8	文書作成（5） Webブラウザとの連携	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習は自分のその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
9	数理・データサイエンス（1） 数理・データサイエンスとは何か？	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
10	情報と社会（3） 情報倫理・情報モラル	準備学習1時間、事後学習1時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
11	情報と社会（４） 知的財産権	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
12	文書作成（６） 図の作成と編集	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
13	文書作成（７） 縦書き、PDF変換	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
14	情報と社会（５） ネット犯罪	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
15	数理・データサイエンス（２） 身の周りの数理・データサイエンス	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、インターネットでその回に関係する情報を調べ学習することが挙げられます。	
	定期試験(実施しない)		授業の進捗状況により各回の授業内容を調整する場合があります。

科目ナンバリング： CCI102  
授業形態： 演習  
科目名： 情報応用演習【保】  
担当教員： 林 敏浩(HAYASHI Toshihiro)

#### 【授業の紹介】

この授業は、情報リテラシーの知識・技能を修得するために、開講される授業科目で、座学・演習を組み合わせた授業形式になっています。情報リテラシーとは、単にコンピュータや特定のソフトウェアが使えるというだけでなく、その技術を利用して、さまざまな情報を収集・分析し、適切に判断する能力、それらをモラルに則って活用する能力のことです。特に、この授業の前半で、表計算のためのソフトウェア（Microsoft Excel）の機能について学習し、さらに後半で、プレゼンテーションのためのソフトウェア（Microsoft PowerPoint）の機能について学習します。また、「数理・データサイエンス」の基礎知識についても併せて学習します。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学科が示す専門的知識や技能および実践的能力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	短期大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学科が示す専門的知識や技能および実践的能力	

#### 【到達目標】

1. Microsoft Excelを対象として表計算ソフトの主要な機能を使うことができる。
2. 表計算ソフトを用いて指定された形式でデータを加工できる。
3. Microsoft PowerPointを対象としてプレゼンテーションソフトの主要な機能を使うことができる。
4. プレゼンテーションソフトを用いて種々のプレゼンテーション資料を作成できる。
5. 数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

#### 【成績の評価】

成績は必須課題（75%）と追加課題（25%）により評価します。また、優良な授業態度（演習時の他の学生サポートなど）に対しては加点する場合があります。毎回の課題については受理時に個々に一次講評し、さらに次の授業時間で総評することによりフィードバックを行います。希望者には電子メールで詳細な講評をして、フィードバックを行います。

#### 【使用テキスト】

杉本くみ子，大澤栄子著『30時間アカデミック office2021版』（実教出版株式会社，2022）ISBN:9784407359435

テキストに沿って説明したり、テキスト内の実習問題を課題とする場合がありますので必ず授業に持参ください。

#### 【参考文献】

なし

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス、表計算（１） 基本操作と印刷	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は当該回の予習などです（第 1 回目は前期の情報基礎演習などのような情報の学びをしたかまとめておいてください）。事後学習は自分のその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
2	表計算（２） 表の作成	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
3	表計算（３） 基本編集	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
4	表計算（４） 表の書式設定と印刷	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
5	表計算（５） 数式（１） 絶対参照と相対参照、基本関数	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
6	表計算（６） 数式（２） 順位取得、条件判断	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
7	表計算（７） 数式（３） 表参照によるデータ取得、端数処理	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
8	表計算（８） 数式（４） エラー回避、文字列操作	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
9	数理・データサイエンス（１） データは人を騙す	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
10	数理・データサイエンス（２） Excelを使ったデータ処理の基礎	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
11	プレゼンテーション（１） 基本操作と印刷	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
12	プレゼンテーション（２） 図やオブジェクトの挿入	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
13	プレゼンテーション（３） SmartArt、グラフ、表の挿入	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
14	プレゼンテーション（４） 作図機能を用いた複雑な図の作成	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
15	プレゼンテーション（５） 特殊効果と自動実行	準備学習 1 時間、事後学習 1 時間程度の自学自習を推奨します。準備学習は前回の振り返りや当該回の予習などです。事後学習はその回の復習をしたり、自分のPCを用いてその回の内容を再度行ってみることが挙げられます。	
	定期試験(実施しない)		授業の進捗状況により各回の授業内容を調整する場合があります。

科目ナンバリング： CCE101  
授業形態： 演習  
科目名： 英語 【保】  
担当教員： 藤井 昭洋(FUJII Akihiro)

#### 【授業の紹介】

本授業では、英語の文法力のさらなる定着を図るとともに、卒業後の社会において求められる英語でのコミュニケーション力の強化のために必要となる聴解力と読解力の強化に努めます。家庭では予習と復習が求められ、その確認のため毎回授業のはじめに小テストを行います。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学科が示す専門的知識や技能および実践的能力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	短期大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学科が示す専門的知識や技能および実践的能力	

#### 【到達目標】

バランスの取れた英語力の習得のためには、当然のことながら文法・語法の理解は不可欠です。この授業で目指すものは、以下の三つです。

英語の文法を確実に理解し、使うことができる。  
まとまった長さの英文を読み、内容を理解することができる。  
実用英語技能検定試験準2級程度の英文を聞き、理解することができる。

#### 【成績の評価】

小テスト(40%)、宿題(10%)および定期試験(50%)の結果を総合的に判断して行ないます。毎時間行なう小テストは、その直後に解答を解説します。また宿題としての提出物は、評価したものをその後の授業時に返却し、解説します。

#### 【使用テキスト】

佐藤哲三、他 English Primer 「大学生の英語入門」(南雲堂)

#### 【参考文献】

オリエンテーションの時、指示します。

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・英語のbe動詞	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
2	一般動詞（現在）+ Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
3	一般動詞（過去）+ Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
4	進行形 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
5	未来形 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
6	助動詞 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
7	名詞・冠詞 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
8	代名詞 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
9	前置詞 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
10	形容詞・副詞+ Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		分)	
11	比較 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
12	命令文・感嘆文 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
13	接続詞( ) + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
14	不定詞( )・動名詞( ) + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
15	受動態 + Reading & Listening	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： CCE102  
授業形態： 演習  
科目名： 英語 【保】  
担当教員： 藤井 昭洋(FUJII Akihiro)

#### 【授業の紹介】

英語 に引き続き、この授業では文法力のさらなる定着を図るとともに、身近な話題を扱いながら、英語の4技能の運用能力をさらに高め、将来社会人として最低限必要な英語力の涵養に努めます。また、実用英語技能検定試験やTOEICの問題にあたりながら、英語による問題解決能力の向上をもめざします。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学科が示す専門的知識や技能および実践的能力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	短期大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学科が示す専門的知識や技能および実践的能力	

#### 【到達目標】

1. 基本的な英文法を理解し、使うことができる。
2. 平易な英文の読解ができる。
3. 日常的な英文を聞いて、概要をつかむことができる。
4. 英検準2級の問題は、ほぼ解くことができる。

#### 【成績の評価】

小テスト(40%)、提出物(10%)および定期試験(50%)の結果を総合的に判断して行ないます。小テストは直後に解答を解説し、また提出物は、評価したものを次の授業時に返却し、解説します。

#### 【使用テキスト】

前期の進度により、後期に使用するテキストは、前期の最後に指示します。

#### 【参考文献】

オリエンテーションの時、指示します。

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・前期の復習	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
2	完了形（1） - 現在完了 -	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
3	完了形（2） - 未来完了・過去完了 -	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
4	接続詞（2）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
5	5つの基本文型	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
6	各種疑問文	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
7	不定詞（2）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
8	Itの特別用法	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
9	現在分詞	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
10	過去分詞	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		分)	
11	動名詞（２）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
12	関係代名詞（１） - 主格・目的格 -	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
13	関係代名詞（２） - 所有格 -	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
14	仮定法過去	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
15	仮定法過去完了・未来完了	1. 毎時間初めに行なう小テストのために、前回の授業内容を復習すること。（１５分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（１５分） 3. 次回の授業の予習をすること。（３０分）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： CHH001  
授業形態： 講義  
科目名： 健康とスポーツ  
担当教員： 宮本 賢作(MIYAMOTO Kensaku)

#### 【授業の紹介】

成長期から成人期に移行するこの時期に、正しいヘルスリテラシーを身につけるとともに、今後起こりうる健康問題について理解することで、その予防としての運動、食事、休養の重要性と、それをサポートする社会的なシステムについて理解する。またこれらを主体的かつ科学的に捉え、行動変容を意識した実践力と、その基盤となるエビデンスに基づいた健康づくりについて考察する。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	短期大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

#### 【到達目標】

健康な生活を営む上で必要な基礎知識の理解を深めることができる。  
ヒトの生涯のさまざまな場面で生じる疾病の予防および健康の維持と生体機能の関係について理解を深めることができる。

#### 【成績の評価】

成績の評価は学期末試験（60%）、レポート・ミニテスト（30%）、学習態度（10%）によって行い、総計60%以上を合格とします。なお、レポートについては講評や添削を行い返却（フィードバック）します。

#### 【使用テキスト】

なし

#### 【参考文献】

シンプル衛生公衆衛生学2022（南江堂）  
これからの健康とスポーツの科学 第5版（講談社）

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・健康（及び疾病）の概念とヘルスプロモーション	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
2	健康を取り巻く環境についての理解	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
3	健康情報とヘルスリテラシー	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
4	幼少期～成長期の健康問題	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
5	成人期の健康問題	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
6	高齢期の健康問題	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
7	死生観と生命倫理	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
8	健康と運動・労働	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着す	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		るよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
9	健康と食事・栄養	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
10	健康と休養・睡眠	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
11	喫煙，飲酒，薬物乱用，メディアリテラシーと健康	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
12	運動の科学と健康	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
13	体力の評価と分析	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
14	エビデンスに基づいた医療と健康づくり&持続可能な健康づくり	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
15	まとめ（生涯にわたる健康増進とスポーツライフの継続を目指して）	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： CHH002  
授業形態： 実習  
科目名： 健康とスポーツ実習【保】  
担当教員： 奥田 直希(OKUDA Naoki)

### 【授業の紹介】

この授業の目的は、生涯にわたってスポーツを楽しむ知識・態度・技能を養うことです。そのため、授業のはじめには、文化としてスポーツを捉えることの必要性を説明あるいは表現するとともに、新スポーツの創造活動におけるグループワークやプレゼンテーションを通して、スポーツの文化性についての理解を深めます。次に、ゴール型スポーツ（主にアルティメット、フラッグフットボール）、ネット型スポーツ（主にバドミントン、インディアカ）、ターゲット型スポーツ（主にユニカール、グラウンドゴルフ）といった様々なスポーツを題材として、スポーツの楽しさを理解し、より深くその楽しさを味わう技能を学びます。そして、これらスポーツ活動を通して、他者と協力しながらスポーツを楽しむ態度を身につけます。

なお、この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：bottidj）を活用した双方向型授業を実施します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	短期大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		3．学科が示す専門的知識や技能および実践的能力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	短期大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		学科が示す専門的知識や技能および実践的能力	

### 【到達目標】

- 1．文化としてのスポーツの捉え方を理解できる
- 2．新スポーツを企画・実行できる
- 3．スポーツの楽しさを理解し表現できる
- 4．他者と協力しスポーツを楽しむことができる

### 【成績の評価】

- ・プレゼンテーションに関する課題 30%
- ・グループワークに関する課題 40%
- ・小レポート 30%

《フィードバックの方法》

プレゼンテーションに関する課題およびグループワークに関する課題については、授業時間中に講評を行うことでフィードバックを実施します。小レポートについては、第15回終了後、オフィスアワーを活用してフィードバックを実施します。

### 【使用テキスト】

なし

### 【参考文献】

中村敏雄著『スポーツとは何か』（ポプラ・ブックス，1982年） 図書館に配架

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	【予習】GoogleClassroomに参加し、事前アンケートに回答する。（30分） 【復習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（30分）	
2	新スポーツ創造の意義	【予習】GoogleClassroomを通じて配布される事前アンケートに回答する。（30分） 【復習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（30分）	
3	新スポーツの創造：発案	【予習】GoogleClassroomを通じて配布される事前アンケートに回答する。（30分） 【復習】新スポーツの創造に関するアイデアを検討し、ノートにまとめておく。（30分）	
4	新スポーツの創造：計画	【予習】GoogleClassroomを通じて配布される事前アンケートに回答する。（30分） 【復習】新スポーツの実行可能性を検討する。（30分）	
5	新スポーツの創造：修正	【復習】新スポーツの創造に関するプレゼンテーション資料を作成する。（1時間）	
6	新スポーツの創造：発表	【復習】新スポーツの実践に伴う準備事項を検討する。（1時間）	
7	新スポーツの創造：実践	【復習】新スポーツの創造に関する活動を振り返り、レポートにまとめて提出する。（1時間）	
8	アルティメット（1）：ルールを理解する	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
9	アルティメット（2）：競技を楽しむ	【復習】GoogleClassroomを通じて配布される事後アンケートに回答する。（1時間）	
10	フラッグフットボール（1）：ルールを理解する	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
11	フラッグフットボール（2）：競技を楽しむ	【復習】GoogleClassroomを通じて配布される事後アンケートに回答する。（1時間）	
12	ネット型競技（1）：バドミントンの実践	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
13	ネット型競技（2）：インディアカの実践	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
14	ターゲット型競技（1）：グラウンドゴルフの実践	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
15	ターゲット型競技（2）：ユニカールの実践	【予習】実施する競技のルールや成り立ちを調べてノートにまとめる。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ECE101  
授業形態： 講義  
科目名： 教育の原理と制度  
担当教員： 相馬 宗胤(SOMA Munetane)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、教育について考える授業です。教育を考えるための基本概念や基本枠組み、教育の歴史、思想、制度などを学び、理解することを通して、より良い教育・保育について考えるだけでなく、保育者をめざしている自分自身の在り方も考えていって欲しいと思っています。

本授業科目は、保育学科の卒業必修科目です。また、幼稚園教諭二種免許状、保育士資格取得のための必修科目でもあります。また、本授業科目の単位を認定されていることが1年次後期の「保育実習」「観察参加」を履修するための条件となっています。

本授業科目では、授業に関する連絡・相談、課題の指示・受付などのためにGoogle Classroomを使用します。クラスコードは第1回授業時に連絡します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		規範意識	1
		自律心	1
		指針・要領の理解	1
		保育に関わる専門的知識の習得	3
		洞察・判断する力	3

### 【到達目標】

1. 教育の基本概念や重要な理論・思想について、その意味・内容を正しく理解できている。
2. 今日の日本の教育がどのような理念、制度、体制の下で行われているのかについて、その特徴や歴史的な展開、課題という観点から理解している（「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育保育要領」の理解も含む）。
3. 現代教育をめぐる諸課題について例示することができる。

### 【成績の評価】

- ・各回の授業後課題の総得点（60%）
- ・定期試験の得点（40%）

授業後課題の得点は、採点后、都度メール等でフィードバックします。  
定期試験の結果や総合成績は、採点后、メール等でフィードバックします。

### 【使用テキスト】

- ・『保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典』（中坪史典・山下文一・松井剛太・伊藤嘉余子・立花直樹編、ミネルヴァ書房、2021年）。

### 【参考文献】

- ・「保育所保育指針」（厚生労働省、2017年3月告示）。
- ・「幼稚園教育要領」（文部科学省、2017年3月告示）。
- ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示）。

その他、授業時に適宜紹介します。

**【実務経験】**

無し

**【実務経験と授業科目の関係性】**

**【科目等履修生の受入】**

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業の説明／教育の基本枠組み 教育学について	教育と	【授業後】授業後課題（理解度を確認する問題や記述問題など）を提示するので、それに取り組む（1.5時間）。
2	教育の基本枠組み 教育的関係について		【授業前】授業前課題（使用テキストを使った調べ学習）を提示するので、それに取り組む（2時間）。 【授業後】授業後課題（理解度を確認する問題や記述問題など）を提示するので、それに取り組む（1.5時間）。
3	教育の基本枠組み 教育の形態について	同上。	
4	学校教育の構造 思想について	学校の歴史と公教育思想	同上。
5	学校教育の構造	学校教育行政について	同上。
6	学校教育の構造 連法規について	現代日本の学校教育関	同上。
7	学校教育の構造 （地域連携、安全対策など）について	学校教育の課題（地域	同上。
8	教育の現代的課題 安全教育について		同上。
9	教育実践の基礎理論 中心に	カリキュラムを中	同上。
10	教育実践の基礎理論 中心に	教授・学習理論を	同上。
11	教育実践の基礎理論	評価を中心に	同上。
12	様々な教育思想 ペスタロッチー	コメニウス、ルソー、	同上。
13	様々な教育思想	ヘルバルト、デューイ	同上。
14	様々な教育思想	ポストモダンの教育思想	同上。
15	教育の現代的課題 教育DXについて		【授業前】授業前課題（使用テキストを使った調べ学習）を提示するので、それに取り組む（2時間）。 【授業後】授業後課題（理解度を確認する問題や記述問題など）を提示するので、それに取り組む（1.5時間）。また、定期試験に向けて、資料を整理し、全学習内容の復習を行う（10時間）。
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ECE102  
授業形態： 講義  
科目名： 保育者論  
担当教員： 相馬 宗胤(SOMA Munetane)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、保育者（保育士、幼稚園教諭、保育教諭）について多面的・多角的に学ぶものです。保育者の職務内容や保育の歴史など、他の授業科目で既に学んだことや実習を通して知ったことを再確認するだけでなく、これから保育者として現場に出て人生を歩んでいこうとする上で、知っておくべきことや考えておくべきことなどについても取り上げます。

本授業科目は、幼稚園教諭二種免許状、保育士資格取得のための必修科目です。

本授業科目では、授業に関する連絡・相談、課題の指示・受付などのためにGoogle Classroomを使用します。クラスコードは第1回授業時に連絡します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		望ましい行動	1
		規範意識	2
		温かさ	1
		指針・要領の理解	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		洞察・判断する力	2

### 【到達目標】

1. 保育者に関する知識（職務内容、制度的基盤、求められる資質・能力など）を理解できている。
2. 保育者が直面する問題の複雑さやそこで経験する葛藤や判断について、多面的・多角的に想像することができる。
3. 保育者として生きようとするのが自分にとってどのような意味を持つのかを説明することができる。

### 【成績の評価】

- ・ 授業後課題の総得点（60%）
- ・ 授業レポートの得点（40%）

授業後課題の得点は、採点后、都度メール等でフィードバックします。

授業レポートの得点や総合成績は、採点后、メール等でフィードバックします。

### 【使用テキスト】

テキストは使用しません。授業で使用する資料は適宜配布します。

### 【参考文献】

- ・ 「保育所保育指針」（厚生労働省、2017年3月告示）。
- ・ 「幼稚園教育要領」（文部科学省、2017年3月告示）。
- ・ 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示）。

その他、授業時に適宜紹介します。

**【実務経験】**

無し

**【実務経験と授業科目の関係性】**

**【科目等履修生の受入】**

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業の説明／保育職の特質	【授業後】授業後課題（理解度を確認する問題や記述問題など）を提示するので、それに取り組む（1.5時間）。	
2	保育者の職務内容／保育者に求められている資質・能力の概観	【授業前】授業前課題（調べ学習や記述課題）を提示するので、それに取り組む（2時間）。 【授業後】授業後課題（理解度を確認する問題や記述問題など）を提示するので、それに取り組む（1.5時間）。	
3	保育者像の変遷／保育者に求められている今日的役割	同上。	
4	保育者を支える制度 養成、身分、処遇など	同上。	
5	保育者を支える制度 服務、人事、保障など	同上。	
6	子どもとの関わりにおける保育者の専門性	同上。	
7	専門職としての意識・責任・倫理	同上。	
8	保育者に求められるチームワーク	同上。	
9	保育者が行う安全対策	同上。	
10	保育者による子育て支援	同上。	
11	保育の質向上のための取り組み	同上。	
12	保育者が行う研究／研修	同上。	
13	保育労働	同上。	
14	保育者として成長すること	【授業前】授業前課題（調べ学習や記述課題）を提示するので、それに取り組む（2時間）。 【授業後】授業後課題（理解度を確認する問題や記述問題など）を提示するので、それに取り組む（1.5時間）。また、授業レポートの作成に取り組む（5時間）。	
15	保育者として生きること	同上。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ECE111  
授業形態： 講義  
科目名： 保育原理  
担当教員： 相馬 宗胤(SOMA Munetane)

### 【授業の紹介】

本授業科目では、保育に関する知識や心構えを習得する第一歩として、保育の概念、我が国の保育制度、保育の歴史や保育をめぐる思想などについて学習します。これらの事項の学習を通して、保育者に必要な基礎知識を習得しつつ、良い保育について考えるための思考力を養うことをめざします。

本授業科目は、保育学科の卒業必修科目です。また、保育士資格取得のための必修科目でもあります。

本授業科目では、授業に関する連絡・相談、課題の指示・受付などのためにGoogle Classroomを使用します。クラスコードは第1回授業時に連絡します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		自律心	2
		温かさ	1
		指針・要領の理解	3
		保育に関わる専門的知識の習得	3

### 【到達目標】

1. 保育の制度・思想・歴史などの基本的事項の学習を通して、保育者として持つべき規範意識や態度（倫理観、自律心、他者と向き合う姿勢など）を考えることができる。
2. 保育の制度・思想・歴史に関わるキーワードや理論・思想について、その意味・内容を説明できる。
3. 保育所保育指針の役割や構成について理解している。また、特に第1章「総則」に書かれてある内容について理解している。

### 【成績の評価】

- ・毎回の授業後課題の得点（60%）
- ・定期試験の得点（40%）

授業後課題の得点は、採点后、都度メール等でフィードバックします。  
定期試験の結果や総合成績は、採点后、メール等でフィードバックします。

### 【使用テキスト】

- ・『保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典』（中坪史典・山下文一・松井剛太・伊藤嘉余子・立花直樹編、ミネルヴァ書房、2021年）。

### 【参考文献】

- ・「保育所保育指針」（厚生労働省、2017年3月告示）。
- ・「幼稚園教育要領」（文部科学省、2017年3月告示）。
- ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示）。

その他、授業時に適宜紹介します。

### 【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業の説明／保育の理念・概念	【授業後】授業後課題（理解度を確認する問題や記述問題など）を提示するので、それに取り組む（1.5時間）。	
2	保育の社会的役割と責任	【授業前】授業前課題（使用テキストを使った調べ学習）を提示するので、それに取り組む（2時間）。  【授業後】授業後課題（理解度を確認する問題や記述問題など）を提示するので、それに取り組む（1.5時間）。	
3	保育の制度	同上。	
4	保育の実施体系	同上。	
5	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領	同上。	
6	保育の目標・方法	同上。	
7	保育の計画・記録・省察・評価	同上。	
8	前半のまとめ 学習内容の振り返り	同上。	
9	3歳未満児の保育	同上。	
10	3歳以上児の保育	同上。	
11	欧米の保育の思想・歴史	同上。	
12	日本の保育の思想・歴史	同上。	
13	諸外国の保育	同上。	
14	保育の現代的課題	同上。	
15	後半のまとめ 学習内容の振り返り	【授業前】授業前課題（使用テキストを使った調べ学習）を提示するので、それに取り組む（2時間）。  【授業後】授業後課題（理解度を確認する問題や記述問題など）を提示するので、それに取り組む（1.5時間）。また、定期試験に向けて、資料を整理し、これまでに学習した内容の復習を行う（10時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： ECE212  
授業形態： 講義  
科目名： 保育原理  
担当教員： 相馬 宗胤(SOMA Munetane)

### 【授業の紹介】

本授業科目では、保育に関するテーマをピックアップし、そのテーマについて理論的に探究することを通して、保育という営み・現象に対する理解を深めることをめざします。対象のテーマについて講義を行った上で、受講生にはエッセイの執筆・相互添削、ディスカッション、ディベートなどの学習活動を課します。また、第14～15回では、これまでの学びを踏まえて、自分なりの保育理念を執筆していくことで、この授業での学びを保育者に求められる使命感や倫理観、そして人間性へと繋げていきます。

本授業科目は、保育士資格取得のための選択必修科目です。

受講生には多くの課題およびグループワークを課すため、積極的・主体的に活動に取り組むことを求めます。なお、授業でピックアップするテーマや進め方は、受講人数や、受講生の関心や卒業研究のテーマに応じて、「授業計画」に記載されてある内容から変更することがあります。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		指針・要領の理解	3
		保育に関わる専門的知識の習得	3
		洞察・判断する力	3

### 【到達目標】

1. 保育に関するテーマについて、関連するキーワードの意味・内容、指針・要領での位置づけ、展開される論点などを理解している。
2. 保育に関するテーマについて、自分なりに論点を立てて、考えを深めることができている。
3. 自身の保育理念について考えていくことを通して、保育者として求められる使命感・倫理観を深めることができている。

### 【成績の評価】

- ・テーマエッセイの得点（15%×3=45%）
- ・最終エッセイの得点（25%）
- ・授業への参加度（30%）

すべてのエッセイを提出していることが合格の条件です。テーマエッセイと最終エッセイへのフィードバックは、授業時間内、もしくはメール等で行います。

「授業への参加度」とは、出席数のことではありません。授業に出席した上で、授業内活動にどれだけ参加し、貢献しているかを教員が判断し、評価したものです。

### 【使用テキスト】

テキストは使用しません。授業で使用する資料は適宜配布します。

### 【参考文献】

- ・『保育・幼児教育・子ども家庭福祉辞典』（中坪史典・山下文一・松井剛太・伊藤嘉余子・立花直樹編、ミネルヴァ書房、2021年）。
- ・『保育学講座1 保育学とは 問いと成り立ち』（日本保育学会編、東京大学出版会、2016年）。
- ・『教育的思考の作法3 進化する子ども学』（小笠原道雄編、福村出版、2009年）。

その他、授業時に適宜紹介します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業の説明／保育に関わる概念の整理	【授業前】シラバスを読んでおく（0.5時間）。 【授業後】授業で学んだことをノート等にまとめておく（2時間）。	
2	授業テーマについての話し合い	【授業前】興味のある保育問題について調べ、発表できるように資料をまとめておく（2時間）。 【授業後】授業で学んだことをノート等にまとめておく（2時間）。	
3	テーマ1の学習 「遊び（例）」をめぐる議論から保育を再考する。	【授業前】題材となったテーマについて調べ、発表できるように資料をまとめておく（2時間）。 【授業後】授業で学んだことをノート等にまとめておく（2時間）。	
4	テーマ1の学習 「遊び（例）」をテーマにディスカッションを行い、考えを深める。	同上。	
5	テーマ1の学習 「遊び（例）」について書いたエッセイをレビューする。	【授業前】題材となったテーマについてのエッセイを書く（2時間）。 【授業後】授業の中で得られたコメントを踏まえて、エッセイを書き直す（2時間）。	
6	テーマ2の学習 「メディア（例）」をめぐる議論から保育を再考する。	【授業前】題材となったテーマについて調べ、発表できるように資料をまとめておく（2時間）。 【授業後】授業で学んだことをノート等にまとめておく（2時間）。	
7	テーマ2の学習 「メディア（例）」をテーマにディスカッションを行い、考えを深める。	同上。	
8	テーマ2の学習 「メディア（例）」について書いたエッセイをレビューする。	【授業前】題材となったテーマについてのエッセイを書く（2時間）。 【授業後】授業の中で得られたコメントを踏まえて、エッセイを書き直す（2時間）。	
9	テーマ3の学習 「物語（例）」をめぐる議論から保育を再考する。	【授業前】題材となったテーマについて調べ、発表できるように資料をまとめておく（2時間）。 【授業後】授業で学んだことをノート等にまとめておく（2時間）。	
10	テーマ3の学習 「物語（例）」をテーマにディスカッションを行い、考えを深める。	同上。	
11	テーマ3の学習 「物語（例）」について書いたエッセイをレビューする。	【授業前】題材となったテーマについてのエッセイを書く（2時間）。 【授業後】授業の中で得られたコメントを踏まえて、エッセイを書き直す（2時間）。	
12	テーマ4の学習 「理論と実践（例）」をめぐる議論から保育を再考する。	【授業前】題材となったテーマについて調べ、発表できるように資料をまとめておく（2時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		【授業後】授業で学んだことをノート等にまとめておく（2時間）。	
13	テーマ4の学習 「理論と実践（例）」をテーマにディスカッションを行い、考えを深める。	同上。	
14	これまでの授業をまとめ、自らの保育理念を考える。	【授業前】自らの保育理念について考え、それを表現したエッセイを書く。（3時間）。 【授業後】授業の中で得られたコメントを踏まえて、エッセイを書き直す（2時間）。	
15	フィードバックを踏まえて、自らの保育理念を深める。	同上。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ECE213  
授業形態： 講義  
科目名： 保育環境論  
担当教員： 田中 弓子(TANAKA Yumiko)

#### 【授業の紹介】

この科目は、「保育学と教育学」に関する科目を発展的・応用的に学ぶ科目である。具体的には、保育や子育て支援に関わる現代的あるいは本質的課題について多彩な視点から理解を深めていく。たとえば、保育者ではないヒトたち（社会）は、保育や子育て支援をどのように見ているのだろうか？このように、保育や子育て支援を取り巻くわが国の「環境（人的、物的、自然や社会）」の特徴や傾向についてアクティブラーニング等を用いて深く論究していく（テキスト・外国文献資料等の精読/長期間にわたる参与観察等質的調査/研究発表・討議の実施）。

本授業科目は保育士資格取得のための選択必修科目である。

本授業科目では課題の提示や提出にあたりGoogle Classroomを使用することがある。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	保育に関わる専門的知識の習得	10

#### 【到達目標】

1. 保育や教育を支える基礎理論（保育の原理）に関する継続的学習を通して人間性を育むことができる。
2. 保育や教育の原理に関する専門的知識や的確な洞察力や判断力を習得することができる。

#### 【成績の評価】

希望者は、まず履修（授業開始）前に必ず相談にきた上で、第1回目を必ず履修すること。無断欠席者には履修を認めない。授業で出す毎回の課題の提出で判断する。課題に関する解説は、次の回の授業で行う。

#### 【使用テキスト】

小堀哲郎編『社会のなかの子どもと保育者』（創成社、2011年）  
保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）  
幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

#### 【参考文献】

適宜、紹介。

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 保育の環境を考えると何か？	予習内容：テキストの指定部分を読む（2時間）。 復習内容：授業内容に関する課題に取り組み提出する（2時間）。	
2	「保育の環境を考える」という捉え方の理解	同上	
3	「保育の環境」を通して浮かび上がる問題の理解	同上	
4	結婚と家族形成からみた保育の問題の理解	同上	
5	結婚と家族形成からみた保育の問題をめぐる討議	同上	
6	子育てからみた保育の問題の理解	同上	
7	子育てからみた保育の問題をめぐる討議	同上	
8	保育政策からみた保育の問題の理解	同上	
9	保育政策からみた保育の問題をめぐる討議	同上	
10	現代的な社会問題と保育との関連	同上	
11	子どもの育ちを支える環境（構成）の意義理解	同上	
12	子どもの育ちを支える環境の諸問題をめぐる討議	同上	
13	子どもの育ちを支える環境の諸問題の理解	同上	
14	子どもの育ちのためによりよい環境に関する討議	同上	
15	保育環境のあり方をまとめる	予習内容：テキストの指定部分を読む。 復習内容：これまで提出してきた課題を読み直す（2時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ECE121  
授業形態： 講義  
科目名： 乳児保育  
担当教員： 野町 真知子(NOMACHI Machiko)

#### 【授業の紹介】

乳児期は子どもはもちろん保護者も初めての連続の中で過ごしています。子どもたちは著しい成長を遂げる時期であり、保護者は色々な初めてと直面し、喜んだり悩んだりしながら徐々に親として子どもと一緒に成長していきます。

共働き世帯や核家族世帯の増加など、社会状況の変化に伴い多様なニーズがある乳児保育の意義、目的を理解し、歴史的背景を知った上で、3歳未満児の発達、保育内容、保護者や地域との連携の仕方についてなど乳児保育の基礎的な内容について学びます。また、グループワークや事例の検討を通して保育現場での実践の基礎を学びます。

この授業は、保育士資格を取得するための必修科目です。Google classroom(クラスコード：73kgxj5)を使用します。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者 に温かく接することのできる豊かな人 間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	2
		温かさ	2
		指針・要領の理解	2
		保育に関わる専門的知識の習得	4

#### 【到達目標】

1. 乳児保育の意義・目的・歴史・役割等について理解することができる。
2. 多様な保育の場での乳児保育の現状と課題について理解することができる。
3. 子どもの発達過程を理解し、それに適した保育のねらいや内容について理解することができる。
4. 子どもの発達に応じた生活・遊びを行うための環境構成について理解することができる。

#### 【成績の評価】

授業中の態度、授業シートの記入内容(40%)、ワークシート(課題)やレポートの記入内容(40%)、小テスト(20%)により評価する。

小テスト、ワークシートは、次の授業時に返却しフィードバックを行う。

#### 【使用テキスト】

よくわかる!保育士エクササイズ 乳児保育演習ブック〔第2版〕(ミネルヴァ書房 2019年)

#### 【参考文献】

保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園 教育・保育要領 解説とポイント 汐見稔幸/無藤隆監修 (ミネルヴァ書房 2018年)

改訂 乳児保育の基本 阿部和子編 (萌文書林)

はじめて学ぶ乳児保育 第二版 志村聡子編 (同文書院)

#### 【実務経験】

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は実務経験のある教員による授業科目です。保育所、こども園で保育士、主任保育士をしてきた中で乳児保育に携わってきた経験をもとに乳児保育の実践に必要な知識、技術について授業を行います。

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 乳児保育とはなにか	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。(2時間) 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、授業で出されたワークシートを行い、次回の授業開始前に提出すること。(2時間)	
2	乳児保育の理念	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。(2時間) 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、授業で出されたワークシートを行い、次回の授業開始前に提出すること。(2時間)	
3	乳児保育の歴史	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。(2時間) 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、授業で出されたワークシートを行い、次回の授業開始前に提出すること。(2時間)	
4	保育所、認定こども園における乳児保育	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。(2時間) 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、授業で出されたワークシートを行い、次回の授業開始前に提出すること。(2時間)	
5	乳児院などにおける乳児保育	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。(2時間) 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、授業で出されたワークシートを行い、次回の授業開始前に提出すること。(2時間)	
6	乳児保育の基礎知識 発達	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。(2時間) 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、授業で出されたワークシートを行い、次回の授業開始前に提出すること。(2時間)	
7	乳児保育の基礎知識 乳児保育のねらいと内容	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。(2時間) 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、授業で出されたワークシートを行い、次回の授業開始前に提出すること。(2時間)	
8	乳児保育の基礎知識 保育に関わる配慮事項	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。(2時間) 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、授	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		業で出されたワークシートを行い、次回の授業開始前に提出すること。（2時間）	
9	6ヶ月未満の子どもの育ちと保育内容	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（2時間） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、授業で出されたワークシートを行い、次回の授業開始前に提出すること。（2時間）	
10	6ヶ月から1歳未満の子どもの育ちと保育内容	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（2時間） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、授業で出されたワークシートを行い、次回の授業開始前に提出すること。（2時間）	
11	1歳から2歳未満の子どもの育ちと保育内容	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（2時間） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、授業で出されたワークシートを行い、次回の授業開始前に提出すること。（2時間）	
12	2歳から3歳未満の子どもの育ちと保育内容	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（2時間） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、授業で出されたワークシートを行い、次回の授業開始前に提出すること。（2時間）	
13	保護者との連携	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（2時間） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、まとめレポートの作成を行い、15回目の授業開始前に提出すること。（2時間）	
14	職員間の連携 地域の関係機関との連携	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（2時間） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。また、まとめレポートの作成を行い、15回目の授業開始前に提出すること。（2時間）	
15	乳児保育の現状と課題	予習として、次回授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（2時間） 復習として乳児保育の授業を通して新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ECE222  
授業形態： 演習  
科目名： 乳児保育  
担当教員： 宮脇 智子

### 【授業の紹介】

本授業科目は、保育の現場で求められる保育者像を理解し、保育者として、乳児との生活を作り上げていくために必要な知識と技術を身につけることを目的とする。授業内容としては、演習形式をとり、ビデオ、DVD、写真等を使用し、様々な事例紹介をしながら考えていく中で、保育者の責務について具体的に学び、保育者としての資質能力の習得を目指す。

なお、本授業科目では課題の指示や提出にあたりGoogle Classroomを使用する。

また、保育士資格取得のための必修科目です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	保育学科	使命感	3
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		洞察・判断する力	2
		保育を計画する力	3

### 【到達目標】

1. 乳児の発達や援助を考えることを通して保育者の仕事を理解し、子どもの成長を促すため、誠実に努力していく使命感や倫理観を習得することができる。

2. 事例研究や演習問題を通して、乳児保育に関する専門的な知識や技術などを理解習得し、保育実践力を高めることができる。

3. 乳児期の発達を踏まえ、乳児保育における課題を分析する中で、豊かな人間性を育み、援助となる具体的な手立てを習得していくことを通して、教育・保育について多角的に考えることができるようになる。

4. 保育者として保育を計画的に創造していくために、教材研究や指導案の記入など基礎技能を基盤とした実践力を習得することができる。

### 【成績の評価】

小テスト・演習問題（40％）提出物（40％）授業態度や発表（20％）の割合で総合的に判断する。

小テスト等は、添削して次回授業時に返却する。また、その都度、結果を講評し、フィードバックを行う。

10分以上の遅刻は欠席とみなす。

### 【使用テキスト】

なし。授業中適宜資料を配布する。

### 【参考文献】

0・1・2歳児マニュアル (川原佐公編著、ひかりのくに、2008年)  
発達がわかれば保育ができる (川原佐公編著、ひかりのくに、2016年)  
現代保育学8 乳児保育 (待井和江、福岡貞子編著、ミネルヴァ書房、2012年)  
保育所保育指針 (平成29年3月告示、厚生労働省)  
高松っ子いきいきプラン (高松市・高松市教育委員会 令和2年3月)

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育所現場での保育士及び所長の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
2	乳児の発達 身体的発達について	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
3	乳児の発達 言語の発達について ビデオ視聴・小テスト	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
4	乳児のあそび グループ活動 うたあそび創作	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
5	乳児のあそび グループ活動 うたあそび発表	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
6	乳児保育の内容と方法 グループ活動 人形を使って実技指導	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
7	乳児保育の計画と記録 指導計画・月案・日案について	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
8	乳児保育の計画と記録 保育案作成	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
9	乳児のあそび グループ活動 小麦粉粘土作製・製作活動	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		などをノートなどにまとめておく。（30分）	
10	乳児のあそび いないいないばあ人形製作	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
11	乳児保育の環境 物的環境について 写真、DVD視聴・演習問題	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
12	乳児保育の環境 人的環境について 写真、DVD視聴・演習問題	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
13	施設・家庭の連携 連絡帳の書き方について 演習問題	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
14	乳児の健康と安全 病気、怪我の対応について 演習問題	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
15	まとめ 保育者と子どもの関係について	予習として、授業内容について、テキストで指定されている範囲を読み、分からない用語などは事前に調べ、各自のノートなどにまとめておくこと。（30分） 復習として、授業内で新たに知った専門用語などをノートなどにまとめておく。（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ECE231  
授業形態： 演習  
科目名： 特別支援教育・保育  
担当教員： 川田 人包(KAWATA Hitokane)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、幼稚園教諭二種免許状、そして保育士資格取得のための必修科目です。  
「特別支援教育・保育」の内容は、特別な支援を必要とする多様化した子ども一人ひとりを正しく理解しニーズに応じた指導や支援が行える実践的な保育力を養います。また、乳幼児期の課題や望ましい支援のあり方では、保護者や専門機関と連携・協働して課題解決していく力を養います。  
学びを通して対人援助者として必要な愛情や熱意、努力することを培い人間力の向上を図ります。  
本授業科目は、課題の提示やレポートの提出にあたり「Google Classroom」を活用します。  
クラスコードは「61fvqnf」です。事前に登録しておいてください。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		温かさ	1
		協働・連携する力	2
		指針・要領の理解	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		洞察・判断する力	2

### 【到達目標】

1. インクルーシブ教育の基本的な考え方を学び、保育者として問題意識や人権意識を高める。
2. 障がいのある子どもの保育・教育の意義と理念を、指針や要領との関連で理解する。
3. 特別な支援を必要とする子どもの様々な特性を理解し、一人ひとりの実態把握が望ましい支援につながることを理解する。
4. 家庭や専門機関等との連携や協働のあり方について学びチーム・アプローチの大切さを理解する。
5. 特別支援教育の対象となる疾患や特性等について理解を深め、その内容を説明できる。

### 【成績の評価】

受講態度(30%)、提出物(30%)、小筆記試験(40%)を総合して成績を評価します。  
なお、提出物については、事前に課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しておくので、予習した内容を簡潔にレポートして授業当日に提出を求めます(1時間)。また、その都度講評し、フィードバックを行います。小筆記試験に対してもフィードバックを行います。

### 【使用テキスト】

「よくわかる障害児保育」尾崎康子他編著 ミネルヴァ書房(2018年)

### 【参考文献】

適宜レジュメや資料を配付します。参考文献は必要に応じて授業内で紹介します。

### 【実務経験】

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。担当教員が特別支援教育に取り組んできた経験を活かして、多様な子どもを正しく理解して一人ひとりに応じた実践的な支援方法や内容を解説します。また、様々なワークを通して共体験を味わいながら学んでいただきます。

**【科目等履修生の受入】**

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
2	特別支援教育について - 歴史と現状 -	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
3	インクルーシブ保育の意義と課題	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
4	ICFと「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
5	幼児の理解と支援 運動発達と認知発達	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
6	幼児の理解と支援 発達課題	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
7	幼児の理解と支援 視覚障害児・聴覚障害児	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
8	幼児の理解と支援 知的障害児	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
9	幼児の理解と支援 病弱虚弱児・肢体不自由児	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
10	幼児の理解と支援 重度・重複障害児 - 医療的ケア対象児を含む	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返り	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		シート）の作成を求めます	
11	幼児の理解と支援 発達障害児 - 自閉症スペクトラム障害児等	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
12	幼児の理解と支援 発達障害児 - LD児・AD/HD児等	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
13	幼児の理解と支援 被虐待児、生活困窮児等	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
14	幼児の理解と支援 家族支援と就学支援	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
15	専門機関との連携と協働	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ECE232  
授業形態： 演習  
科目名： 特別支援教育・保育  
担当教員： 川田 人包(KAWATA Hi tokane)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、幼稚園教諭二種免許状、そして保育士資格取得のための必修科目です。「特別支援教育・保育」では、「特別支援教育・保育」の学びをふまえ、保育・教育現場の事例検討やグループ討議、実技指導等の演習を通して、特別な教育的ニーズのある幼児児童に対する実態把握に基づき具体的な支援の内容や方法を実践的に学ぶことができるように解説します。また、様々な理論や方法に関する演習を通して洞察力や子どもの行動を分析する力を養います。学びを通して対人援助者として必要な愛情や熱意、努力することを培い人間力の向上を図ります。

本授業科目は、課題の提示や提出にあたり「Google Classroom」を活用します。クラスコードは、「lgyq5tt」です。事前に登録をしておいてください。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者 に温かく接することのできる豊かな人 間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎 技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		温かさ	2
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		洞察・判断する力	2
		保育を計画する力	2

### 【到達目標】

1. インクルーシブ教育や特別支援教育の基本概念について、その意味や内容を説明できる。
2. 効果的な指導法や理論を通して特別支援教育に係る専門的な知識や技術を培うことができる。
3. 特別な支援を必要とする幼児等の保育や教育における「個別の教育支援計画」や「個別の指導計画」の意義を学び、継続的に偏りのない支援に向けて実際に作成して活用ができる。
4. 保護者への支援や専門機関との連携、特別支援教育コーディネーターの役割等について学び、一人ひとりの子どもが健やかに育つユニバーサルな環境やチームアプローチに向けて実践力を培うことができる。

### 【成績の評価】

受講態度（30%）、提出物（30%）、小筆記試験（40%）を総合して成績を評価します。なお、提出物については、事前に課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しておくので、予習した内容を簡潔にレポートして授業当日に提出を求めます（1時間）。また、その都度講評し、フィードバックを行います。小筆記試験に対してもフィードバックを行います。

### 【使用テキスト】

「よくわかる障害児保育」尾崎康子他編著 ミネルヴァ書房（2018年）

### 【参考文献】

適宜レジュメや資料を配付し、必要に応じて「Google Classroom」や講義内で紹介する。

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。担当教員が特別支援教育に取り組んできた経験を活かして、多様な子どもを正しく理解して一人ひとりに応じた実践的な支援方法や内容を解説します。また、様々な発達支援の技法を通して共体験を味わいながら学びます。

**【科目等履修生の受入】**

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
2	障害児保育・特別支援教育の理念と役割	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
3	アセスメントについて	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
4	観察法・面接法・心理検査等	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
5	「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の作成	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
6	ユニバーサルデザインによる環境づくり、授業づくり	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
7	モンテッソーリ法について	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
8	ソーシャルスキルトレーニング	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
9	感覚運動遊び - ムーブメント教育 -	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	
10	セルフコントロール - 臨床動作法 -	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます（1時間） また、授業終了後にワークシート（振り返りシート）の作成を求めます	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		シート)の作成を求めます	
11	コミュニケーション	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます(1時間) また、授業終了後にワークシート(振り返りシート)の作成を求めます	
12	療育や発達支援に関わる専門家との連携と協働	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます(1時間) また、授業終了後にワークシート(振り返りシート)の作成を求めます	
13	事例検討 ~発達障害児への対応	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます(1時間) また、授業終了後にワークシート(振り返りシート)の作成を求めます	
14	事例検討 ~積極的な行動支援(応用行動分析:ABA)	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます(1時間) また、授業終了後にワークシート(振り返りシート)の作成を求めます	
15	からだところ - ストレスマネジメント教育 -	事前に、課題や授業内容を「Google Classroom」に投稿しますので、使用テキスト等を活用して予習した内容を簡潔にレポートして提出を求めます(1時間) また、授業終了後にワークシート(振り返りシート)の作成を求めます	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ECE241  
授業形態： 講義  
科目名： 幼保専門教養発展講義  
担当教員： 相馬 宗胤(SOMA Munetane)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、公立保育施設への就職をめざす学生を対象に、筆記試験対策として実施するものです。保育・幼児教育の専門的知識を確認・再確認し、繰り返し問題を解くことを通して、知識の定着を図ります。また、自学自習の習慣を身に付けることも授業の目標としています。受講生には、授業への積極的な参加はもちろん、授業時間外での学習（自学自習）にもしっかり取り組むことを求めます。

本授業科目は、基本的に公立保育施設への就職をめざし、公務員試験を受験する学生を対象としています。また、志望する自治体の試験内容に応じて、面接試験対策に焦点化した「幼保専門教養発展演習」、実技試験対策に焦点化した「保育の表現技術発展演習」を合わせて受講してください。

なお、本授業科目は、保育士資格取得のための選択必修科目となっています。

本授業科目では「幼保専門教養発展演習」「保育の表現技術発展演習」と共通のGoogle Classroomを使用します。Google Classroomを使用して、授業に関する連絡・相談、公務員試験に関する情報提供、課題の指示・受付などを行います。また、クラスコードは第1回授業時に連絡します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2．自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	自律心	3
		指針・要領の理解	2
		保育に関わる専門的知識の習得	5

### 【到達目標】

- 1．目標を立て、そのために必要な学習内容や学習量を把握し、計画的に学習に取り組むことができる。
- 2．教育・保育に関する専門的知識について、今まで学んできた内容を再確認することを通して、その理解を定着させている。また、未学習の内容については、問題に取り組むことを通して、基本的な事柄を理解している。
- 3．保育所保育指針、幼稚園教育要領、及び幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容を再確認することを通して、その理解を定着させている。

### 【成績の評価】

- ・「学習の記録」に基づく評価（60%）
- ・授業時間中の学習課題の評価（40%）

「学習の記録」や学習課題に対しては、授業中にフィードバックします。

### 【使用テキスト】

- ・『2025年度版 保育士・幼稚園教諭 採用試験問題集&論作文・面接対策』（保育士試験研究会編、実務教育出版、2024年）。

### 【参考文献】

- ・「保育所保育指針」（厚生労働省、2017年3月告示）。
- ・「幼稚園教育要領」（文部科学省、2017年3月告示）。
- ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示）。

その他、授業時に適宜紹介します。

### 【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業の説明／公務員試験について理解し、必要な勉強の習慣を確認する。	【授業後】使用テキストや配布教材などを使って毎日勉強をし、取り組んだ内容を「学習の記録」に書いておく（4時間）。	
2	保育における歴史上の重要人物について確認をする。	同上。	
3	保育・教育の原理に関する重要概念を学ぶ。	同上。	
4	保育の心理学に関する重要概念を学ぶ。	同上。	
5	社会福祉、子ども家庭福祉、社会的養護に関する重要概念を学ぶ。	同上。	
6	子どもの保健、食と栄養に関する重要概念を学ぶ。	同上。	
7	保育内容、法規に関する重要概念を学ぶ。	同上。	
8	中間の課題に取り組み、これまで学んできたことの定着の程度を確かめる。	同上。	
9	保育における歴史上の重要人物について復習し、さらに多くの人物を学ぶ。	同上。	
10	保育・教育の原理、保育の心理学に関する学びを振り返り、定着させる。	同上。	
11	社会福祉、子ども家庭福祉、社会的養護に関する学びを振り返り、定着させる。	同上。	
12	子どもの保健、食と栄養に関する学びを振り返り、定着させる。	同上。	
13	保育内容、法規に関する学びを振り返り、定着させる。	同上。	
14	総復習課題に取り組む。筆記試験の感覚をつかみ、理解不十分な内容をはっきりさせる。	同上。	
15	総復習課題に取り組む。これまで学んだことの定着をめざし、本番の筆記試験までの学習計画を立てる。	同上。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： ECE242

授業形態： 演習

科目名： 幼保専門教養発展演習

担当教員： 佐々木 利子(SASAKI Toshiko),有馬 則子(ARIMA Noriko)

### 【授業の紹介】

「幼保専門教養発展演習」は、公立保育施設への就職をめざす学生を対象に、自治体への採用試験対策として進められます。これまで様々な授業科目で学んできた保育に関する専門的知識や保育実践技術を学び直し、確実に身に付けていくとともに、地域に貢献する保育者として相応しい人間性や保育実践力を身に付けることをめざします。

授業内容としては、主に面接試験対策を行います。これまで授業や実習等で学んできた知識、保育に関する自分の考え方を、他の人に言葉で的確にわかりやすく伝えるための思考力や社会的スキルを身に付ける授業です。また、伝える内容についてまとめる過程を通して、自身の保育者としての資質能力を確認します。

受講生には、授業への積極的な参加と自学自習など、高い意識が求められます。また、本授業科目と「幼保専門教養発展講義」「保育の表現技術発展演習」は連関して進められますので、原則として、他の2科目も受講してください。

なお、本授業科目では課題の指示や提出にあたりGoogleClassroomを使用します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	3
		望ましい行動	2
		規範意識	1
		協働・連携する力	1
		洞察・判断する力	3

### 【到達目標】

1. 保育を支える基礎理論に関する継続的学習を通して保育者としての使命感について考え、人間性を育むことができる。
2. 保育の原理に関する専門的知識や洞察・判断する力を修得し、規範意識や倫理観に基づく望ましい行動をすることができる。
3. 保育を支える基礎理論の修得により、豊かな保育実践の基礎を培うとともに、保育者集団として連携することの重要性が理解できる。

### 【成績の評価】

授業への参加意欲・態度（30%）、授業内での質疑応答（70%）。授業内での質疑応答について、その都度講評することでフィードバックする。

### 【使用テキスト】

保育所保育指針解説（厚生労働省 フレーベル館 2018年）

幼稚園教育要領解説（文部科学省 フレーベル館 2018年）

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館 2018年）

### 【参考文献】

適宜プリントを配布します

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業です。保育現場及び行政の現場での保育業務の経験を生かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	当科目の授業のルール、進め方、評価方法について理解する	配布された事前学習シートに、自分なりに考えたり調べたりした各項目内容を記載すること(1時間)	
2	基礎的所作を学ぶ。自分自身について振り返るための基礎的内容を理解する	予習として、事前周知された授業の内容について関連資料を探し、自分なりに発表内容をまとめノートに記載すること(30分) 復習として、発表に対する講評を基に、発表内容について見直しを行い、修正した内容をまとめノートに記載すること(30分)	
3	自分自身について語る（1）自分を振り返り、まとめる	同上	
4	自分自身について語る（2）学生生活での取組	同上	
5	自分自身について語る（3）自分の良さと課題	同上	
6	公務員・保育者をめざすものとしての質問に答える（1）将来をイメージする	同上	
7	公務員・保育者をめざすものとしての質問に答える（2）目指す保育者像	同上	
8	公務員・保育者をめざすものとしての質問に答える（3）保護者支援	同上	
9	公務員・保育者をめざすものとしての質問に答える（4）公務員としての意義・役割	同上	
10	保育の専門性に関する質問に答える（1）自分の目標	同上	
11	保育の専門性に関する質問に答える（2）具体的保育場面から	同上	
12	保育の専門性に関する質問に答える（3）保護者連携	同上	
13	保育の行政的取組に関する質問に答える（各市町での取組内容の確認）	同上	
14	保育の時事的話題に関する質問に答える（注目する話題への考え）	同上	
15	授業の振り返り これまでの授業を通して自分に足りないものを再確認、検討する	同上	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PSW101  
授業形態： 講義  
科目名： 子ども家庭支援の心理学  
担当教員： 中村 多見(NAKAMURA Tami)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、生涯発達における乳幼児期の心身の発達と、それを支える環境（家庭や園、地域、社会）の在り方について学びます。人間の心身は、生まれてから死ぬまでの一生涯を通じて発達（＝変化）しつづけます。特に、乳幼児期の発達は一生涯のなかで最も著しく、量的にも質的にも大きな変化を示します。将来、保育者をめざす学生にとって、生涯発達への理解ある視座を持ち、乳幼児の心身の発達について正しい専門的知識を得ることは、発達に応じた子どもへの働きかけや調和のとれた子どもの育ちを支える保育実践力を身に付ける上で大変重要です。

本授業科目は、保育士資格を取得するための必修科目です。  
本授業科目は、Google Classroomを使用したメディア授業です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	2
		望ましい行動	1
		自律心	2
		温かさ	2
		保育に関わる専門的知識の習得	3

### 【到達目標】

1. 子どもの健やかな心身の発達を支える保育者の仕事を理解し、使命感や倫理観を高めることができる。
  2. 子どもの健やかな心身の発達を支える保育者らしい温かで共感的な人間性を育むことができる。
  3. 主として人間の心身の発達、ならびに心身の発達を支える保育に関する専門的知識や思考力を身につけることができる。
  4. 健やかな心身の発達を支える保育実践の基礎を培うことができる。
- 以上を通じて、保育の対象となる乳幼児の心身の発達を生涯発達を踏まえた知識として身につけ、健やかな乳幼児の心身の発達を支える保育環境を作り出すための基礎となる考え方を理解することができます。

### 【成績の評価】

成績は、毎回の授業内容のまとめ（10％）と小テストの結果（10％）、定期試験の結果（80％）で総合的に評価します。

授業内容のまとめと小テストはすべて点検・返却することでフィードバックします。

### 【使用テキスト】

使用しません。

### 【参考文献】

- ・松本峰雄監修 大野雄子・小池庸生・小林 玄・前川洋子著『よくわかる！保育士エクササイズ 保育の心理学演習ブック〔第2版〕』（ミネルヴァ書房、2021年）
- ・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）
- ・保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

**【実務経験】**

無し

**【実務経験と授業科目の関係性】**

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション / 子どもの発達と保育	予習内容：履修ガイド及びシラバスを予め確認する（0.5時間）。 復習内容：本授業の内容をまとめ、提出する（1時間）。また、小テストに解答する（1時間）。	計2.5時間
2	生涯発達 - 胎生期から乳幼児期	予習内容：授業スライドを確認し、内容をプリントにまとめる（1.5時間）。 復習内容：本授業の内容をまとめ、提出する（1時間）。小テストの結果を見て、復習する（1時間）。	計3.5時間
3	生涯発達 - 児童期から青年期	同上	計3.5時間
4	生涯発達 - 成人期から高齢期	同上	計3.5時間
5	身体・運動の発達	同上	計3.5時間
6	認知の発達	同上	計3.5時間
7	言語・コミュニケーションの発達	同上	計3.5時間
8	感情の発達	同上	計3.5時間
9	気質・性格の発達	同上	計3.5時間
10	親子関係の発達	同上	計3.5時間
11	きょうだい・仲間関係の発達	同上	計3.5時間
12	遊びの発達	同上	計3.5時間
13	道徳性の発達	同上	計3.5時間
14	発達障害の理解 - 種類と特徴	同上	計3.5時間
15	発達障害の理解 - 保育の視点	予習内容：授業スライドを確認し、内容をプリントにまとめる（1時間）。 復習内容：本授業の内容をまとめ、提出する（1時間）。小テストの結果を見て、復習する（1時間）。また、定期試験に向けて、試験勉強をする（9時間）。	計12時間
	定期試験(実施する)		合計60時間

科目ナンバリング： PSW102  
授業形態： 講義  
科目名： 子どもの発達と教育の心理学  
担当教員： 中村 多見(NAKAMURA Tami)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、「子どもたちが生き生きと主体的に学ぶことを支える」ために保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達を捉える視点について理解することを目的とします。特に、乳幼児期の子どもたちは遊びのなかで、できることを少しずつ増やして、自らの自由や可能性を大いに広げていくため、養護及び教育の一体性や発達に即した援助を基本とできるような子ども理解が求められます。この授業では、子どもの知的発達と学びのしくみを理解することはもちろん、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解し、その上で「子どもたちが生き生きと主体的に学ぶことを支える」保育者をめざして学びます。

本授業科目は、卒業必修科目です。加えて、本授業科目は幼稚園教諭二種免許状および保育士資格取得のための必修科目です。

本授業科目では、授業前後の課題や資料等を配信・提出するにあたりGoogle Classroomを使用します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者 に温かく接することのできる豊かな人 間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		望ましい行動	2
		自律心	1
		指針・要領の理解	3
		保育に関わる専門的知識の習得	3

### 【到達目標】

1. 子どもの知的発達を支える保育者の使命感や倫理観を高めることができる。
  2. 主として人間の知的発達に関する継続的学習を通して保育者らしい人間性を育むことができる。
  3. 主として人間の知的発達、ならびに知的発達を支える保育に関する専門的知識や思考力を身に付けることができる。
  4. 知的発達を支える保育実践の基礎を培うことができる。
- 以上を通じて、保育の対象となる乳幼児の心身の発達及び学習の過程についての知識を身につけ、心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解することができます。

### 【成績の評価】

成績は、毎回の授業内容のまとめ（10％）とレポート課題3つ（10％）、定期試験の結果（80％）で総合的に評価します。

授業内容のまとめとレポート課題はすべて点検・返却することでフィードバックします。

### 【使用テキスト】

使用しません。

### 【参考文献】

- ・松本峰雄監修 大野雄子・小池庸生・小林 玄・前川洋子著『よくわかる！保育士エクササイズ 保育の心理学演習ブック〔第2版〕』（ミネルヴァ書房、2021年）
- ・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）
- ・保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション / 子どもの発達と教育の心理学を学ぶ意義	予習内容：履修ガイド及びシラバスを予め確認する（0.5時間）。 復習内容：本授業の内容をまとめ、提出する（1.5時間）。	計2時間
2	子どもの発達と教育 - 発達に応じた教育	予習内容：次回授業のスライドを確認し、内容をプリントにまとめる（2時間）。 復習内容：本授業の内容をまとめ、提出する（1時間）。また、レポート課題に取り組み、次回授業で提出する（3時間）。	計6時間
3	子どもの発達と教育 - 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	予習内容：次回授業のスライドを確認し、内容をプリントにまとめる（2時間）。 復習内容：本授業の内容をまとめ、提出する（1時間）。	計3時間
4	知的能力の発達	同上	計3時間
5	行動主義からみた学習のしくみ	同上	計3時間
6	認知主義からみた学習のしくみ	同上	計3時間
7	記憶の成り立ち	同上	計3時間
8	思考の活用	同上	計3時間
9	学びの動機づけ	同上	計3時間
10	保育・教育における評価	予習内容：次回授業のスライドを確認し、内容をプリントにまとめる（2時間）。 復習内容：本授業の内容をまとめ、提出する（1時間）。また、レポート課題に取り組み、次回授業で提出する（3時間）。	計6時間
11	子どもを取り巻く地域福祉問題の現状 - 養育環境	予習内容：次回授業のスライドを確認し、内容をプリントにまとめる（2時間）。 復習内容：本授業の内容をまとめ、提出する（1時間）。	計3時間
12	子どもを取り巻く地域福祉問題の現状 - 児童虐待（法制度と現状）	予習内容：次回授業のスライドを確認し、内容をプリントにまとめる（2時間）。 復習内容：本授業の内容をまとめ、提出する（1時間）。また、レポート課題に取り組み、次回授業で提出する（3時間）。	計6時間
13	子どもを取り巻く地域福祉問題の現状 - 児童虐待（影響と対策）	予習内容：次回授業のスライドを確認し、内容をプリントにまとめる（2時間）。 復習内容：本授業の内容をまとめ、提出する（1時間）。	計3時間
14	子どもを取り巻く地域福祉問題の現状 - 保育対応	同上	計3時間
15	就学に向けて（小学校との連携・接続）	予習内容：次回授業のスライドを確認し、内容をプリントにまとめる（2時間）。 復習内容：本授業の内容をまとめ、提出する（1時間）。また、定期試験に向けて、プリントや授業内容のまとめを整理し、復習する（7時間）。	計10時間

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	定期試験(実施する)		合計60時間

科目ナンバリング： PSW203  
授業形態： 講義  
科目名： 発達心理学  
担当教員： 中村 多見(NAKAMURA Tami)

#### 【授業の紹介】

本授業科目は、1年前期の「子ども家庭支援の心理学」と1年後期の「子どもの発達と教育の心理学」を振り返りながら、人間の発達について生涯を通じた連続性ある全人的な知識へと深めていきます。また、発達上の問題や障害のある子どもについての専門的知識を習得し、子どもへの理解ある適切なかわり方や保護者への子育て支援等で発揮される保育実践力についても考えていきます。

本授業科目は、保育士資格取得のための選択必修科目です。

本授業科目では、授業前後の課題や資料等を配信・提出するにあたりGoogle Classroomを使用します。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	指針・要領の理解	5
		保育に関わる専門的知識の習得	5

#### 【到達目標】

1. 子どもの知的発達を支える保育者の使命感や倫理観を高めることができる。
  2. 主として人間の知的発達に関する継続的学習を通して保育者らしい人間性を育むことができる。
  3. 主として人間の知的発達、ならびに知的発達を支える保育に関する専門的知識や思考力を身に付けることができる。
  4. 知的発達を支える保育実践の基礎を培うことができる。
- 以上を通じて、この授業では、生涯発達における乳幼児期の意義を踏まえた保育の専門的知識を深め、多彩な保育実践につなげる思考力・応用力を培うことができます。

#### 【成績の評価】

成績は、毎回の授業プリントの内容（10%）と確認テストの結果（90%：最終回のレポート作成・発表を含む）で総合的に評価します。

授業プリントと確認テストは毎回点検・採点し、返却することでフィードバックします。

#### 【使用テキスト】

テキストは使用しません。

#### 【参考文献】

- ・松本峰雄監修 大野雄子・小池庸生・小林 玄・前川洋子著『よくわかる！保育士エクササイズ 保育の心理学演習ブック〔第2版〕』（ミネルヴァ書房、2021年）
- ・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）
- ・保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習内容：1年次の「子ども家庭支援の心理学」と「子どもの発達と教育の心理学」の授業プリントを準備・持参する（1時間）。 復習内容：今後の授業計画に沿って、1年次の授業プリントを整理する（3時間）。	計4時間
2	胎生期	予習内容：キーワードを整理し、調べる（2時間）。 復習内容：確認テストの結果を見て、復習する（2時間）。	計4時間
3	乳児期（新生児期を含む）	同上	計4時間
4	幼児期前期	同上	計4時間
5	幼児期後期	同上	計4時間
6	児童期	同上	計4時間
7	成人期	同上	計4時間
8	高齢期	同上	計4時間
9	生涯発達における乳幼児期の意義	同上	計4時間
10	乳幼児の発達上の問題と障害	同上	計4時間
11	乳幼児の発達障害における支援と指導 - 自閉スペクトラム症	同上	計4時間
12	乳幼児の発達障害における支援と指導 - 注意欠如多動症	同上	計4時間
13	乳幼児の発達障害における支援と指導 - 限局性学習症	同上	計4時間
14	乳幼児の発達障害における支援と指導 - 二次障害・三次障害の予防	同上	計4時間
15	授業のまとめ	予習内容：これまでの確認テストとその復習内容を確認し、レポートをまとめる（3時間）。 復習内容：発表で得たレポートの講評をまとめ、提出する（1時間）。	計4時間
	定期試験(実施しない)		合計60時間

科目ナンバリング： PSW111  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもの理解と援助  
担当教員： 田中 弓子(TANAKA Yumiko)

### 【授業の紹介】

子ども理解は、保育のあらゆる営みの基本となるものである。  
幼稚園等における子どもの生活や遊びの実態に即して、子どもの発達や学びおよび、その過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応の方法を考えることなどを授業にて行う。その上で、子どもおよび保護者と温かく接することができる温かな人間性をはぐくむ態度を修得する。  
本授業科目は、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得のための必修科目である。また、本授業科目の単位を認定されることが、2年次前期の「教育実習」を履修するための条件となっている。  
本授業科目では課題の提示や提出にあたりGoogle Classroomを使用することがある。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		自律心	1
		協働・連携する力	2
		指針・要領の理解	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		洞察・判断する力	2

### 【到達目標】

1. 幼稚園教育要領および保育所保育指針を理解した上で、子ども理解についての専門的知識を習得することができる。
2. 発達や学びを捉える原理や意義や教師の基礎的姿勢や資質（使命感、倫理観、教育的愛情、温かな人間性など）ならびに洞察力・判断力を身に付けることができる。
3. 観察と記録を基軸とする子ども理解の意義と方法を多彩な視点（子ども個々の特性、個と個の関わり、個と集団との関わり、家庭・地域など）から具体的に理解することができる。

### 【成績の評価】

学習シートへの記入内容（20%）、個人記録の作成・提出（20%）、最終のまとめ（60%）  
定期試験の結果はオフィスアワーの際に解説する。

### 【使用テキスト】

幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）  
保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）

### 【参考文献】

適宜紹介する

### 【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	子ども理解の必要性について	予習内容：なし 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
2	子ども理解と子どもの発達について	予習内容：事前に資料を提示しますので、読んでくる（30分）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
3	子ども理解と内面理解について	予習内容：事前に資料を提示しますので、読んでくる（30分）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
4	子ども理解における保育者の基本姿勢について	予習内容：事前に資料を提示しますので、読んでくる（30分）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
5	子どもの様々な観察方法について	予習内容：事前に資料を提示しますので、読んでくる（30分）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
6	個人記録の作成方法について	予習内容：事前に資料を提示しますので、読んでくる（30分）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
7	個人記録の作成と記録の共有について	予習内容：なし。 復習内容：個人記録の作成（1時間）。	
8	子ども理解の深化にむけた学生自身の課題について	予習内容：事前に資料を提示しますので、読んでくる（30分）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
9	子どもにとっての他者の関係と影響について	予習内容：事前に資料を提示しますので、読んでくる（30分）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
10	実践例をもとに、子どもの背景理解について	予習内容：事前に資料を提示しますので、読んでくる（30分）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
11	子どもの気になる言動とその背景理解について	予習内容：事前に資料を提示しますので、読んでくる（30分）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
12	保育者の立ち位置から子ども理解の影響について	予習内容：事前に資料を提示しますので、読んでくる（30分）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
13	保護者の置かれている現状について	予習内容：事前に資料を提示しますので、読んでくる（30分）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
14	保護者理解と保育者の価値観について	予習内容：事前に資料を提示しますので、読んでくる（30分）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	最終のまとめ：要点の整理・質疑応答	予習内容：最終のまとめに向けて、これまでの学習シートすべての振り返り（1時間）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PSW221  
授業形態： 講義  
科目名： 子ども家庭福祉  
担当教員： 瀧本 逸誠(TAKIMOTO Issei)

### 【授業の紹介】

子ども家庭福祉は、子どもの福祉の増進とともに、「子どものより良き適応を援助する」だけでなく、子どもの家庭を含めて支援する体制や仕組みが必要となっています。また、現代社会における子ども・家庭問題は、少子化の中で、児童虐待をはじめ、危機的状況に立たされています。このような現状と課題に加えて、子ども家庭福祉の専門職として、子どもの最善の利益、保護者対応、子どもの人権擁護や貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応等について学習します。  
本授業科目は、保育士資格を取得するための必修科目です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	協働・連携する力	3
		保育に関わる専門的知識の習得	4
		洞察・判断する力	3

### 【到達目標】

1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史的変遷について理解できる。
2. 子どもの人権擁護について理解できる。
3. 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解できる。
4. 子ども家庭福祉の現状と課題について理解できる。
5. 子ども家庭福祉の動向と展望について理解できる。

### 【成績の評価】

定期試験（70％）、レポート（30％）  
レポートについては、次回の授業時に講評し、フィードバックを行う。

### 【使用テキスト】

テキストは使用しない。テーマに沿ってレジュメ又はスライド資料を用意する。

### 【参考文献】

- 『子ども家庭福祉』（吉田眞理著、萌文書林、2023年）
- 『子ども家庭福祉』（児童育成協会監修、新保幸男・小林理編集、中央法規 2023年）
- 『保育者のための児童家庭福祉データブック2022』（西郷泰之・宮島清編集、中央法規 2021年）
- 『民生委員・児童委員必携 第64集』（全国社会福祉協議会発行、2020年）
- 『民生委員・児童委員必携 第67集』（全国社会福祉協議会発行、2023年）

### 【実務経験】

有り

### 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は実務経験（児童相談所、児童自立支援施設、障害児施設、発達障害者支援センター、不登校等各種委員、民生児童委員など）のある教員による授業科目です。担当教員の現場経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	子ども家庭福祉の理念と概念	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
2	子ども家庭福祉の歴史 - イギリス、アメリカ	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
3	子ども家庭福祉の歴史 - 日本	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
4	現代社会と子ども家庭福祉	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
5	子どもの人権擁護 - 歴史的変遷	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
6	子どもの人権擁護 - 子どもの権利条約	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
7	子ども家庭福祉の制度と法体系	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
8	児童福祉施設と専門職	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
9	少子化と地域子育て支援	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
10	多様な保育ニーズへの対応	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容(時間)/復習内容(時間)	備考
		間)。	
11	子ども虐待・DVとその防止	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
12	障害のある子どもへの対応	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
13	少年非行等への対応	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
14	貧困家庭、外国籍の子どもとその家族への対応	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
15	次世代育成支援と子ども家庭福祉の推進	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： PSW222  
授業形態： 講義  
科目名： 社会福祉  
担当教員： 瀧本 逸誠(TAKIMOTO Issei)

#### 【授業の紹介】

社会福祉の基本「福祉とは何か」を共に考えていきます。社会福祉は子どもから高齢者まで、すべての人の生活に大きく関係していることを理解し、自分自身の生活と結び付けて学びを深めていきます。社会福祉の考え方や、社会福祉を取り巻く現状・課題を学習したうえで、子ども家庭福祉の視点について理解していきます。社会福祉の制度や実施体系、共生社会の実現と障害者施策、また、相談援助等の社会福祉全般に関する理解を深めます。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	2
		協働・連携する力	2
		保育に関わる専門的知識の習得	4
		洞察・判断する力	2

#### 【到達目標】

1. 現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭福祉の視点について理解できる。
2. 社会福祉の制度や実施体制について理解できる。
3. 社会福祉における相談援助について理解できる。
4. 社会福祉における利用者保護に関わる仕組みについて理解できる。
5. 社会福祉の動向と課題について理解できる。

#### 【成績の評価】

定期試験（70％）レポート（30％）  
レポートについては、次回の授業時に講評し、フィードバックを行う。

#### 【使用テキスト】

テキストは使用しない。テーマに沿ってレジュメ又はスライド資料を用意する。

#### 【参考文献】

- 『新版社会福祉』（吉田眞理著、青鞞社、2023年）
- 『社会福祉とわたしたち』（一瀬早百合著、萌文書林、2022年）
- 『社会福祉』（直島正樹・原田旬哉編著、萌文書林、2015年）
- 『社会福祉』（松原康雄・坏洋一・金子充編、中央法規、2023年）
- 『社会福祉』（新川康弘・宮野安治編、青鞞社、2020年）
- 『民生委員・児童委員必携第64集』（全国社会福祉協議会発行、2020年）
- 『民生委員・児童委員必携第67集』（全国社会福祉協議会発行、2023年）

#### 【実務経験】

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は実務経験(児童相談所、障害者支援施設、発達障害者支援センター、民生児童委員、引きこもり対策検討委員、短期大学学生相談室など)のある教員による授業科目です。福祉現場の経験を活かし、具体例を示しながら授業を行います。

**【科目等履修生の受入】**

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	社会福祉の理念と概念	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
2	社会福祉の歴史の変遷 - イギリス、アメリカ、スウェーデン	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
3	社会福祉の歴史の変遷 - 日本	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
4	子ども家庭福祉と社会福祉	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
5	社会福祉の制度と法体系	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
6	社会福祉行財政と実施機関	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
7	社会福祉施設と福祉専門職	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
8	社会保障及び関連制度の概要	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
9	相談援助の意義	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
10	相談援助の理論と方法	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容(時間)/復習内容(時間)	備考
		間)。	
11	相談援助の対象と技術	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
12	利用者の保護～権利擁護と苦情解決等	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
13	現代の福祉問題 - 少子化社会における子育て支援	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
14	現代の福祉問題 - 共生社会の実現と障害者施策	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
15	社会福祉の動向と課題 - 在宅福祉・地域福祉の推進	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(2時間) 復習として配布されたプリントを使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(2時間)。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： PSW131  
授業形態： 講義  
科目名： 社会的養護  
担当教員： 久利 文代(KURI Fumiyo)

#### 【授業の紹介】

近年多様かつ複雑な家庭環境の増加及び社会全体における家庭の子育ての潜在力が小さくなり、社会的養護を必要とする子どもが増加しています。

本講義では、社会的養護を要する子どもの現状と課題及び施設養護の現状について学び、子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解します。そして、児童福祉施設の援助者としての基礎知識、技術、倫理観、特に「思考力・判断力」や「保育実践力」を習得します。

なお、本授業科目は、保育士資格取得のための必修科目です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	2
		自律心	2
		温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	4
		子どもと関わる力	1

#### 【到達目標】

1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史的変遷について理解できる。
2. 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解できる。
3. 社会的養護の制度や実施体系等について理解できる。
4. 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解できる。
5. 虐待を受けた子どもの言動の特徴を学び、援助の方法や関係機関との連携の在り方を理解し、保育士として多角的に考えることができるようになる。
6. 社会的養護の現状と課題について理解できる。

#### 【成績の評価】

- ・レポート30%（定期試験日に添削して返却します）
- ・定期試験70%（模範解答はクラスルームで表示します）によって評価します。

#### 【使用テキスト】

児童の福祉を支える社会的養護＜第3版＞ 吉田眞里編著 萌文書林 2,160円 2020年

#### 【参考文献】

なし

#### 【実務経験】

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。社会福祉の現場での児童福祉司、精神保健福祉士の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

**【科目等履修生の受入】**

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
2	社会的養護の歴史の変遷	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
3	児童の権利擁護と社会的養護	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
4	児童家庭福祉の一分野としての社会的養護	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
5	施設養護における養育	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
6	児童相談所の役割と連携	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
7	家庭からの保護	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
8	虐待された子どもの理解と対応（児童虐待について）	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
9	虐待された子どもの理解と対応（虐待された子どもの理解と対応）	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
10	社会的養護の制度と実施体系	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
11	児童福祉施設援助者の資質	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
12	施設養護の現状（乳児院、児童養護施設、障害児入所施設）	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
13	施設養護の現状（児童心理治療施設、児童自立支援施設、自立援助ホーム等）	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
14	家庭養護の実際	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
15	社会的養護の現状と課題	次回の授業内容を確認し、専門用語等2時間の予習、受講後レポートのまとめ等2時間の復習	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： PSW232  
授業形態： 演習  
科目名： 社会的養護  
担当教員： 瀧本 逸誠(TAKIMOTO Issei)

#### 【授業の紹介】

現代では、子どもの健全な生存・成長を担うには、家庭だけでは十分にその機能が果たせないために、多くの子どもに社会的養護が必要になってきています。施設養護や家庭養護において、どのような支援がおこなわれているかを学び、子どもの虐待防止や家庭支援、相談援助等に必要な方法・技術の習得を目指します。さらに、支援計画・記録・評価の実際について、事例検討を通して理解します。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2．自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	3
		協働・連携する力	2
		保育に関わる専門的知識の習得	3
		洞察・判断する力	2

#### 【到達目標】

- 1．子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解できる。
- 2．施設養護及び家庭養護の実際について理解できる。
- 3．社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解できる。
- 4．社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解できる。
- 5．社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解できる。

#### 【成績の評価】

期末テスト(50%)、ショートレポート(50%)  
ショートレポートについては、次回の授業時に講評し、フィードバックを行う。

#### 【使用テキスト】

テキストは使用しない。テーマに沿ったレジュメやスライド資料を用意する。

#### 【参考文献】

- 『保育士を目指す人の社会的養護内容』(辰巳隆・岡本眞幸編著、みらい 2011年)
- 『社会的養護内容』(福永博文編著、北大路書房、2013年)
- 『社会的養護』(吉田眞理編著、萌文書林 2023年)
- 『子どもの発達・アセスメントと養育・支援プラン』(犬塚峰子編、明石書店 2013年)
- 『社会的養護』(相沢仁・村井美紀・大竹智編、中央法規、2019年)
- 『社会的養護』(杉山宗尚・原田田旬編著、萌文書林、2021年)

#### 【実務経験】

有り

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は実務経験(障害児者支援施設、児童自立支援施設、児童相談所、発達障害者支援センター、心身障害児就学指導委員など)のある教員による授業科目です。相談や施設経験を活かし、具体例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション （児童福祉施設の体系と概要）	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
2	子どもの最善の利益と権利擁護	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
3	社会的養護における保育士の専門性	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
4	家庭で生活できない子ども ～入所施設各論「乳児院」～	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
5	家庭で生活できない子ども ～入所施設各論「児童養護施設」～	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
6	家庭で生活できない子ども ～入所施設各論「障害児入所施設」～	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
7	家庭で生活できない子ども ～児童自立支援施設 ・児童心理治療施設～	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
8	里親制度の特徴とその実際	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
9	虐待された子どもへの支援	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
10	養護の具体的内容・方法 ～入所中の支援「親子関係の調整」～	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
11	養護の具体的内容・方法 ～入所中の支援 「地域・学校との関係づくり」～	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
12	養護の具体的内容・方法 ～入所中の支援 「自立への支援」～	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
13	入所後から退所後に至る支援	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
14	社会的養護にかかわる 相談援助の技術と活用	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
15	社会的養護の課題と展望～地域連携	予習として配布資料の中で、気づいたこと、疑問に思ったことは図書館等で調べ、ノートにまとめておくこと。(30分) 復習として配布されたプリント（レジュメ又はスライド資料）を使って授業内容の整理をし、記録しておくこと(30分)。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： PSW241  
授業形態： 演習  
科目名： 子育て支援  
担当教員： 田中 弓子(TANAKA Yumiko)

### 【授業の紹介】

本授業は、保育に関する専門的知識・技術や倫理・価値観等子どもの保育に関する専門性に基礎をおいた保育士の保護者支援について学ぶものであり、保育所保育指針第4章子育て支援について、理論的に実践的に検討します。演習やグループでワークショップをしながら、課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力を養い、子育て支援の知識と技術を身に付ける授業です。

本授業科目は、保育士資格取得のための必修科目です。

本授業科目は、課題の提示や提出にあたりGoogle Classroomを使用することがあります。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		望ましい行動	2
		温かさ	2
		協働・連携する力	1
		指針・要領の理解	1
		保育に関わる専門的知識の習得	1
		洞察・判断する力	2

### 【到達目標】

1. 子育て支援の意義と原則についての理解を通して、保育者の使命感や倫理観を確かなものにできる。
2. 保護者支援の基本を理解することにより、保護者に寄り添うことができる豊かな人間性を高めることができる。
3. 子育て支援の実際を学び、内容や方法を習得し、保育士の専門的な知識に基づいた判断ができる。
4. 保護者支援の実際について理解し、保育所等の福祉施設や地域の機関との連携がとれるようになる。

### 【成績の評価】

授業の学習シートの内容（40％）、提出物（10％）、最終のまとめ（50％）  
成績評価に関するフィードバックは、オフィスアワーに行う。

### 【使用テキスト】

なし

### 【参考文献】

- 亀崎美沙子著『保育の専門性を生かした子育て支援「子どもの最善の利益」をめざして』（わかば社、2018年）  
笠師千恵・小橋明子著『相談援助、保育相談支援』（中山書店、2014年）  
伊藤嘉余子著『子どもと社会の未来を拓く 保育相談支援』（青踏社、2013年）  
厚生労働省編『保育所保育指針解説』（フレーベル館、2018年）  
内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館、2018年）  
文部科学省編『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館、2018年）

**【実務経験】**

無し

**【実務経験と授業科目の関係性】**

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 子育て支援とは	予習内容：本授業に関連する保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領を確認し、分からない言葉は調べ、ノートにまとめておく（30分）。 復習内容：学習シートの内容を読み直す（30分）	
2	子育て支援の意義	同上	
3	子育て支援の基本 子どもの最善の利益	同上	
4	子育て支援の基本 保育所の特性を生かした支援	同上	
5	子育て支援の基本 相談の対応 聴き方について考える	同上	
6	子育て支援の基本 地域の関係機関との連携・協力	同上	
7	子育て支援の実際 保育所保育指針第4章から考える	同上	
8	子育て支援の実際 保護者支援の内容	同上	
9	子育て支援の実際 事例 保護者の立場になって考えよう	同上	
10	子育て支援の実際 子どもの育ちを伝える	同上	
11	子育て支援の実際 子どもの育ちを伝える 連絡帳のかき方	同上	
12	子育て支援の実際 連絡帳のかき方 ワークショップ	同上	
13	各実施機関における保育の相談援助・支援の実際	予習内容：本授業に関連する保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領を確認し、分からない言葉は調べ、ノートにまとめておく（30分）。 復習内容：授業で説明した支援機関以外の業務をまとめ提出する（30分）。	
14	児童福祉施設における子育て支援	予習内容：本授業に関連する保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領を確認し、分からない言葉は調べ、ノートにまとめておく（30分）。 復習内容：学習シートの内容を読み直す（30分）	
15	最終のまとめ：要点の整理・質疑応答	同上	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PSW242  
授業形態： 講義  
科目名： 子ども家庭支援論  
担当教員： 田中 弓子(TANAKA Yumiko)

#### 【授業の紹介】

子ども家庭支援論では、私的領域であった家庭内の子育てを、社会全体で支えるようになった背景について理解し、職業使命感と倫理観を高める。その上で、保育所・こども園・幼稚園を利用する親子のみならず、地域の親子までを視野に入れた支援のあり方に関する専門的知識を身に付け、保育実践力向上へと導いていく。

本授業科目は保育士資格取得のための必修科目である。

本授業科目では課題の提示や提出にあたりGoogle Classroomを使用することがある。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	指針・要領の理解	3
		保育に関わる専門的知識の習得	7

#### 【到達目標】

1. 学生は、子育て家庭への支援者として保育所保育指針を理解した上で、教育・保育職の意義を習得することによって使命感や倫理観を高めることができる。
2. 学生は、家庭ならびに子育て家庭への支援に関する専門的知識や判断力を習得することができる。

#### 【成績の評価】

学習シートの記入・提出（30%）、レポート（10%）、最終のまとめ（60%）の合計点で評価し、単位認定をする。学習シートおよびレポートの返却をもってフィードバックとする。最終のまとめのフィードバックは、授業時に行う。

#### 【使用テキスト】

幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）

保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）

幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

#### 【参考文献】

改訂2版 新 保育士養成講座第10巻 家庭支援論 家庭支援と保育相談支援（平成27年 全国保育士養成講座編纂委員会 全国社会福祉協議会）

実践 家庭支援論【第3版】（平成29年 松本園子、永田陽子、福川須美、堀口美智子著 ななみ書房）

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	家族の今とむかし	予習内容：本授業に関連する保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領を確認し、分からない言葉は調べ、ノートにまとめておく（2時間）。 復習内容：学習シートに記載の事例内容を再度読み返し理解を深める（2時間）。	
2	家族の機能	同上	
3	現代家族の状況（1）結婚	同上	
4	現代家族の状況（2）家族の変化	同上	
5	現代家族の状況（3）子育てにおける問題	予習内容：本授業に関連する保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領を確認し、分からない言葉は調べ、ノートにまとめておく（2時間）。 復習内容：現代家族の状況（1）～（3）を踏まえ、家族が抱える問題をまとめ、提出する（2時間）。	
6	子育て支援政策	予習内容：本授業に関連する保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領を確認し、分からない言葉は調べ、ノートにまとめておく（2時間）。 復習内容：学習シートに記載の事例内容を再度読み返し理解を深める（2時間）。	
7	家庭支援の基本姿勢	同上	
8	保育所保育指針における家庭支援	同上	
9	こども園教育・保育要領における家庭支援	同上	
10	幼稚園教育要領における家庭支援	同上	
11	子育て家庭の理解（専業主婦・働く母親）	同上	
12	要保護児童・家庭への支援	同上	
13	特別な支援を必要とする子ども・家庭への支援	同上	
14	さまざまな子育て支援サービスが抱える問題	予習内容：本授業に関連する保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領、幼稚園教育要領を確認し、分からない言葉は調べ、ノートにまとめておく（2時間）。 復習内容：これまでの授業で用いたすべての学習シートを振り返る	
15	今後の家庭支援のあり方 最終のまとめ：要点の整理・質疑応答	予習内容：これまでの授業で用いたすべての学習シートを振り返る（2時間）。 復習内容：本日の学習内容を振り返る（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PSW243  
授業形態： 講義  
科目名： 教育相談  
担当教員： 有馬 則子 (ARIMA Noriko)

### 【授業の紹介】

現在、核家族化や少子化に伴い、子育て不安や育児の悩みをもつ保護者、対人関係・コミュニケーション・虐待等の問題が生じている保護者も増え、教育・保育相談事業の重要性が高まっています。

本授業では、カウンセリングの基礎理論を学ぶとともに、日常的なかかわりの中で子ども、保護者、職員間での教育・保育相談の在り方を、具体的な場面を想定しながら学習し、専門的知識と思考力を身に付け、実践に生かせるようにしていきます。そのため、授業の中で、ロールプレイによる簡単なカウンセリング・エクササイズやグループワークを行います。

本授業科目は、幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目です。

授業の連絡にあたりGoogle Classroomを使用します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者 に温かく接することのできる豊かな人 間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	規範意識	2
		温かさ	2
		協働・連携する力	2
		保育に関わる専門的知識の習得	4

### 【到達目標】

1. 幼稚園等における教育・保育相談の意義と理論を理解することによって、使命感や倫理観を高めることができる。
2. 教育・保育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関する基礎的事柄を含む)を理解し、保育者として相手を思う気持ちやコミュニケーション力など、豊かな人間性を育むことができる。
3. 教育・保育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取り組みや連携の必要性を理解し、子ども理解に基づいた適切な対応をすることができる。

### 【成績の評価】

- ・事例演習やグループ学習を含め、授業への参加意欲及び態度(20%)、学習シート等への記入や課題提出(40%)、定期試験(40%)を合わせて総合的に評価します。
- ・前回までの学習シートを添削して返却し、振り返りを行うことでフィードバックします。
- ・15回の授業のうち12回以上の出席が必要です。なお授業態度として、授業開始のチャイムが鳴り終わるまでに着席していることと、長時間の居眠り等が無いことが出席の条件です。

### 【使用テキスト】

- ・子どもの理解と保育・教育相談第2版(小田豊・秋田喜代美編(株)みらい 2021年1月)
- ・幼稚園教育要領解説(文部科学省、平成30年3月)
- ・保育所保育指針解説(厚生労働省、平成30年3月)
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(内閣府・文部科学省・厚生労働省、平成30年3月)

### 【参考文献】

授業の中で適宜紹介します。

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。幼稚園・こども園で教員や園長として保護者対応や職員の相談を行った経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 教育相談の意義及び基礎的理論・概念について	復習として、授業内容を自分なりにまとめて、教育相談に関する課題を明確にしておくこと(4時間)。	
2	基礎的知識と技法：傾聴と共感	予習として、専門用語などの意味を調べ、配付された事前学習シートに記載して授業時に提出すること(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
3	傾聴と及び共感の事例演習	予習として、教科書の事前に指示したページに目を通し、読み取ったことを事前学習シートに記載して授業時に提出すること(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
4	基礎的知識と技法：ポジティブメッセージとリフレーミング	予習として、専門用語などの意味を調べ、配付された事前学習シートに記載して授業時に提出すること(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
5	ポジティブメッセージ及びリフレーミングの事例演習	予習として、事前に出された課題について、自分の意見や考えを事前学習シートに記載して授業時に提出すること(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
6	基礎的知識と技法：メタフォリカルアプローチとチューニング	予習として、専門用語などの意味を調べ、配付された事前学習シートに記載して授業時に提出すること(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
7	メタフォリカルアプローチ及びチューニングの事例演習	予習として、専門用語などの意味を調べ、配付された事前学習シートに記載して授業時に提出すること(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
8	保護者面談の実際について 保護者面談の事例演習：子ども同士のトラブルについて	予習として、教科書の事前に指示したページに目を通し、読み取ったことを事前学習シートに記載して授業時に提出すること(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
9	保護者面談の事例演習：保護者の子どもへの関わりについて	予習として、教科書の事前に指示したページに目を通し、読み取ったことを事前学習シートに記載して授業時に提出すること(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
10	保護者面談の事例演習：虐待が疑われる場合について	予習として、教科書の事前に指示したページに目を通し、読み取ったことを事前学習シートに記載して授業時に提出すること(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
11	発達に課題をもつ子どもとその保護者への 関わり	予習として、専門用語などの意味を調べ、配付された事前学習シートに記載して授業時に提出すること(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
12	発達に課題をもつ子どもとその保護者への 関わり	予習として、専門用語などの意味を調べ、配付された事前学習シートに記載して授業時に提出すること(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
13	園内研修・保育カンファレンスと同僚性	予習として、専門用語などの意味を調べ、配付された事前学習シートに記載して授業時に提出すること(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
14	園内研修・保育カンファレンスの事例演習 とアサーション及びアンガーマネジメント	予習として、専門用語などの意味を調べ、配付された事前学習シートに記載して授業時に提出すること(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
15	時事的教育課題、専門機関との連携	予習として、事前に出された課題について、自分の意見や考えをまとめて事前学習シートに記載し、授業時にグループワークの中で発表できるようにしておくこと(2時間)。 復習として、授業内容に関する教科書や配付資料に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(2時間)。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： HNS101  
授業形態： 講義  
科目名： 子どもの保健  
担当教員： 磯部 健一(ISOBE Kenichi)

#### 【授業の紹介】

子どもの保健は、保育士資格取得のための必修科目です。授業では胎生期から新生児期、乳児期、幼児期、学童期、思春期までの小児期全体を対象としますが、特に胎生期から乳幼児までを重点的に扱います。成長発達の途上において各臓器にはさまざまな臨界期が存在しており、一度それが障害されると一生を決定づける非可逆的な変化が引き起されます。子どもの健全な成長発達とその病的な面だけでなく、生理的な面の知識を習得することが重要です。これらの知識を基本として、三つの健康（身体の健康、心の健康、社会性の健康）を重視する視点を学習し、子どもの教育・保育にあたるための理論と実践力を修得します。

この授業では、Google Classroom(クラスコード：yynvphj )を使用して参考資料などを配布することができます。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者 に温かく接することのできる豊かな人 間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		望ましい行動	1
		規範意識	1
		自律心	1
		保育に関わる専門的知識の習得	5
		洞察・判断する力	1

#### 【到達目標】

1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の概念を理解できる。
2. 子どもの身体的な発育・発達と保健の内容について理解できる。
3. 子どもの心身の健康状態とその把握の実際の方法について理解できる。
4. 子どもの疾病とその予防法の適切な対応について理解できる。

#### 【成績の評価】

授業参加状況・ミニレポート（10%）、小テスト（20%）、定期試験（70%）の成績により総合的に判断する。ミニレポートと小テストは授業時に返却し解説する。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにする。。

#### 【使用テキスト】

小林美由紀 編著『子どもの保健テキスト 改訂第2版』（診断と治療社、2023年）

#### 【参考文献】

小林美由紀 編著『子どもの健康と安全演習ノート 改訂第2版』（診断と治療社、2022年）  
平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本（内閣府  
文部科学省 厚生労働省、チャイルド本社、2017年）

#### 【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	子どもの健康と保健の意義	授業内容についてのレポート作成を課題とする（2時間）。次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間）。	
2	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題	次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間）。授業内容についてのレポート作成を課題とする（2時間）。	
3	地域における保健活動と子ども虐待防止	次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間）。授業内容についてのレポート作成を課題とする（2時間）。	
4	身体発育及び運動機能	次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間）。授業内容についてのレポート作成を課題とする（2時間）。	
5	生理機能の発達 - 1（呼吸・循環・体温・免疫・消化器・排泄）	次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間）。授業内容についてのレポート作成を課題とする（2時間）。	
6	生理機能の発達 - 2（水分代謝・内分泌・睡眠・感覚・神経）	次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間）。授業内容についてのレポート作成を課題とする（2時間）。	
7	健康状態の観察	次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間）。授業内容についてのレポート作成を課題とする（2時間）。	
8	発育・発達の把握と健康診断	次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間）。授業内容についてのレポート作成を課題とする（2時間）。	
9	主な疾病の特徴-1（新生児、先天性疾患）	次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間）。授業内容についてのレポート作成を課題とする（2時間）。	
10	主な疾病の特徴-2（呼吸器、循環器、血液、消化器疾患）	次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間）。授業内容についてのレポート作成を課題とする（2時間）。	
11	主な疾病の特徴-3（アレルギー、免疫、内分泌、代謝疾患）	次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと（2時間）。授業内容についてのレポート作成を課題とする（2時間）。	
12	主な疾病の特徴-4（神経、腎・泌尿器、その他の疾患）	次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。授業内容についてのレポート作成を課題とする(2時間)。	
13	主な疾病の特徴-5(感染症)	次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。授業内容についてのレポート作成を課題とする(2時間)。	
14	子どもの疾病の予防と適切な対応	次回の講義内容に関する範囲を教科書で指定するので事前に読み、専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと(2時間)。授業内容についてのレポート作成を課題とする(2時間)。	
15	まとめ：要点の整理・質疑応答	講義内容の重要なポイントを資料として配布する。質疑応答を行うのでまとめたノートを持参すること。(予習と復習で各々2時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： HNS202

授業形態： 演習

科目名： 子どもの健康と安全

担当教員： 磯部 健一(ISOBE Kenichi),辰野 浩美(TATSUNO Hiromi)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、保育士資格取得のための必修科目です。保育所保育指針などに基づいて、保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助、子どもの健康や安全に係る実施体制や保健活動の計画および評価について理解し、乳児期・幼児期の発達段階に応じた子どもの健康の保持増進や保育現場において起こりうる健康上の問題についての専門的知識と思考力を修得します。保育におけるアレルギーや感染症対策及び教育・保育施設における事故防止・対応などの各種ガイドライン等を踏まえ、子どもの病気とその予防およびその対応、事故防止と救急時の対応についての専門的知識と技能を修得し、保育に当たるための理論と実践力を身につけます。

この授業では、Google Classroom(クラスコード：w45egvx )を使用して参考資料などを配布することがあります。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1.子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		2.自分に厳しく、子どもと保護者 に温かく接することのできる豊かな人 間性
		3.高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		温かさ	1
		協働・連携する力	1
		指針・要領の理解	3
		保育に関わる専門的知識の習得	3
		洞察・判断する力	1

### 【到達目標】

1. 指針・要領及び関連する各種ガイドライン等に基づいた保育環境や援助を理解できる。
2. 保育における衛生管理、事故防止、災害対策等の内容について具体的に理解できる。
3. 体調不良等や感染症対策の理論について具体的に理解できる。
4. 子どもの状態に即して個別かつ多面的な対応が理解できる。

### 【成績の評価】

学習態度(10%)、演習記録などの提出物(20%)、定期試験(70%)によって総合的に評価する。なお、提出物は、評価して後日返却する。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにする。

### 【使用テキスト】

小林美由紀 編著『子どもの健康と安全演習ノート 改訂第2版』(診断と治療社、2022年)

### 【参考文献】

小林美由紀 編著『子どもの保健テキスト 改訂第2版』(診断と治療社、2022年)  
平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本(内閣府  
文部科学省 厚生労働省、チャイルド本社、2017年)

### 【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	保育における保健活動の計画（防災も含む）及び評価、発育状況の把握	授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（予習と復習で1時間以上）	担当：辰野 浩美、 磯部 健一
2	乳幼児の身体計測と評価の実際	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。授業時間内で実施した演習の体験は次回までにまとめて提出する。（予習と復習で1時間以上）	担当：辰野 浩美、 磯部 健一
3	子どもの保健と保育の環境	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。授業時間内で実施した演習の体験は次回までにまとめて提出する。（予習と復習で1時間以上）	担当：辰野 浩美、 磯部 健一
4	乳幼児の養護(3歳未満児の抱き方・寝かせ方・おむつ交換)	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。授業時間内で実施した演習の体験は次回までにまとめて提出する。（予習と復習で1時間以上）	担当：辰野 浩美、 磯部 健一
5	乳幼児の養護(3歳未満児を対象とした授乳・調乳・離乳食・幼児食)	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。授業時間内で実施した演習の体験は次回までにまとめて提出する。（予習と復習で1時間以上）	担当：辰野 浩美、 磯部 健一
6	乳幼児の養護(特に3歳未満児の乳幼児の清潔)	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。授業時間内で実施した演習の体験は次回までにまとめて提出する。（予習と復習で1時間以上）	担当：辰野 浩美、 磯部 健一
7	体調不良や障害発生時の対応(一般看護、包帯法など)	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。授業時間内で実施した演習の体験は次回までにまとめて提出する。（予習と復習で1時間以上）	担当：辰野 浩美、 磯部 健一
8	感染症対策	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。授業時間内で実施した演習の体験は次回までにまとめて提出する。（予習と復習で1時間以上）	担当：磯部 健一
9	健康・安全管理の実際（衛生管理、事故防止及び安全対策）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。授業時間内で実施した演習の体験は次回までにまとめて提出する。（予習と復習で1時間以上）	担当：磯部 健一
10	災害への備えと危機管理	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。授業時間内で実施した演習の体験は次回までにまとめて提出する。（予習と復習で1時間以上）	担当：磯部 健一
11	子どもの応急処置	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。授業時間内で実施した演習の体験は次回までにまとめて提出する。（予習と復習で1時間以上）	担当：磯部 健一
12	子どもの救急処置及び救急蘇生法	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にま	担当：磯部 健一

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		とめておくこと。授業時間内で実施した演習の体験は次回までにまとめて提出する。（予習と復習で1時間以上）	
13	個別的な配慮を必要とする子どもへの対応（食物アレルギー等）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。授業時間内で実施した演習の体験は次回までにまとめて提出する。（予習と復習で1時間以上）	担当：磯部 健一
14	健康及び安全の管理の実施体制（母子保健・地域保健と保育及び地域との連携）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。授業時間内で実施した演習の体験は次回までにまとめて提出する。（予習と復習で1時間以上）	担当：磯部 健一
15	まとめ：要点の整理・質疑応答	講義内容の重要なポイントを資料として配布 担当：磯部 健一 する。質疑応答を行うのでまとめたノートを持参すること。（予習と復習で各回1時間以上）	担当：磯部 健一
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： HNS211  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもの食と栄養  
担当教員： 川染 節江(KAWASOME Setsue)

#### 【授業の紹介】

「子どもの食と栄養」は、子どもの心と身体の発育・発達に必要な、栄養と食生活について学ぶ授業です。

受講者は、保育に関わる諸学門、領域としての栄養学や保健学などの専門知識を身につけ保育者としての保育実践力と資質能力を高めることをめざします。

なお、保育士資格取得のための必修科目でもあります。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		規範意識	1
		指針・要領の理解	2
		保育に関わる専門的知識の習得	4
		洞察・判断する力	1
		保育を計画する力	1

#### 【到達目標】

1. 人が生命を維持し、成長するための栄養と食生活の関係を知らることができる。
2. 指針・要領に書かれてある事柄のうち、特に基本的な原則や理念に関する内容を理解する。
3. 保育に関わる栄養学の専門的知識を習得する。
4. 栄養学に関する様々な知識を理解することを通して、子どもの食生活と栄養について多角的に洞察・判断することができるようになり、保育実践力を身につけることができる。

#### 【成績の評価】

授業態度（10%）、実習レポート（10%）、定期試験（80%）を総合的に評価します。

講義内容のミニレポート、実習などのレポートを提出させて、理解度を深め、後日、返却することでフィードバックを行う。

#### 【使用テキスト】

小川 雄二編『子どもの食と栄養』（建帛社、2023年）

#### 【参考文献】

到達目標に関連した新聞記事やデータなどの資料を配布し保育者としての資質向上をめざします。

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、子どもの食と栄養とは何か、本講義を学ぶ目的は何かを確認する。	予習として、本授業のシラバスの内容を理解し、本講義の内容をあらかじめ把握してノートに記載し、毎回の講義内容をノートに整理すること（1時間）	
2	子どもの発育と栄養の特徴、食事の目的を理解する	指示したテキストページにより子どもの発育・発達と食生活との関連を予習しておくこと（1時間）	
3	子どもの食生活環境の現状把握と課題（朝食の欠食など、世界の子どもの栄養状態）	前回学習のテキストページを復習して自分なりのノートに整理しておくこと（1時間）	
4	子どもの食と栄養の特徴、子どもの生涯発達と食生活の関係	配布資料について専門用語など疑問点を調べ、確認すること（1時間）	資料配布（食事について）
5	栄養の基本的概念、栄養素の種類として、炭水化物・脂質・たんぱく質の特性と人の身体活動との関係	1回～5回までの講義内容を復習しておくこと（1時間）	資料配布（栄養）
6	栄養素の種類として、ビタミン・ミネラルの特性と身体の関係および栄養素の消化・吸収の機能を知る	栄養学の基本をしっかりと理解するように復習しノートに整理しておくこと（1時間）	
7	日本人の食事摂取基準（2020年度版）、PFCのエネルギーバランスについて知る	授業内容の「日本人の食事摂取基準」について、十分理解するように復習すること（1時間）	
8	食品の基礎知識、食品の分類、市販食品の現状、食品の選び方、食品成分表について知る	食品の分類方法について予習しておくこと（1時間）	
9	献立作成と調理の基本を知る	各自の前日3食の食事内容を記録し、問題点などを考察しておくこと（1時間）	資料配布（献立表）
10	調理実習 思春期の日常の望ましい食事づくりを学ぶ	思春期の1回分の食事づくりを体験（レポート作成）調理実習の予定（1時間）	
11	調理実習 子どものおやつづくりを体験する	同上	
12	子どもの発育・発達過程における栄養生理や食欲・味覚の仕組みなどを学ぶ	調理実習の体験から得た食事づくりに学んだ内容をまとめ提出すること（1時間）	
13	子どもの発育・発達とその評価方法	子どもの身体の発育・発達の評価方法をあらかじめ予習しておくこと（1時間）	
14	子どもの発育・発達と食生活（授乳期～幼児期）	指示したテキスト内容をあらかじめ目を通し、問題点をチェックしておくこと（1時間）	
15	重要項目についてまとめ、定期試験について連絡	まとめ、到達目標の各項目について自己評価を行ない、テストに臨むこと（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： HNS212

授業形態： 演習

科目名： 子どもの食と栄養

担当教員： 川染 節江(KAWASOME Setsue)

### 【授業の紹介】

本授業科目は「子どもの食と栄養」で学習した子どもの心身の発達と栄養との基本的な関連を基礎とし、乳児から幼児・学童期・思春期に至る各成長段階における子どもの食と栄養の関係性について学習します。また、食育の推進・子育て支援社会を支える保育者としての意識を自覚することをめざします。

なお、保育士資格取得のための必修科目でもあります。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		規範意識	1
		保育に関わる専門的知識の習得	4
		洞察・判断する力	2
		保育を計画する力	2

### 【到達目標】

1. 保育に関わる専門的知識として、心身の発育・発達を促進させる栄養学と食生活についての知識を習得することができる。

2. 子どもの発達段階に応じた栄養および食生活の問題点と対応策などについて、洞察し判断する保育実践力を向上させていくことをめざす。

### 【成績の評価】

授業態度（10%）、実習レポート（10%）、定期試験（80%）を総合的に評価します。

講義内容のミニレポート、実習などのレポートを提出させて、理解度を深め、後日、返却することでフィードバックを行う。

### 【使用テキスト】

小川 雄二 編『子どもの食と栄養』（建帛社、2017年）

### 【参考文献】

到達目標に関連した新聞記事やデータなどの資料を配布し保育者としての資質向上をめざします。

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（授業内容を周知し、学生の学ぶ意欲の向上を図ります）	シラバス内容にあらかじめ目を通して、到達目標や疑問点をチェックしておくこと。（1時間）また、毎回のノートを整理すること。	
2	離乳期の意義と食生活の関係（離乳期の必要性）	離乳期の必要性について指示したテキスト内容に目を通し、疑問点をチェックしておくこと（1時間）	
3	離乳期の意義と食生活の関係（離乳食の進め方）	離乳食品について調べておくこと（1時間）	
4	幼児期の食生活の特徴（幼児期の成長と食生活の関係）	幼児期の発育・発達の特徴と食生活との関係について考察しておくこと（1時間）	
5	幼児期の食生活の特徴（適切な幼児食や間食と問題点）	幼児食の特徴を復習しておくこと（1時間）	
6	学童期・思春期の食生活と特徴	学童期・思春期の食生活について、指示したテキスト内容に目を通しておくこと（1時間）	
7	妊娠期の母体と胎児の特徴	母体と胎児について、指示したテキスト内容に目を通しておくこと（1時間）	
8	妊娠期の栄養と食生活	胎児の栄養が出生後にいかに影響するかについて考察しておくこと（1時間）	
9	調理実習、幼児食、学童食づくりの体験	幼児食の調理体験（レポート作成）、調理実習の予定（1時間）	
10	調理実習、おやつづくりの体験	同上	
11	食育活動 保育園の例、食育推進基本計画	配布資料により食育基本法について把握すること（1時間）	
12	家庭における食育の必要性（食文化の継承、生活習慣病・肥満対策）	食文化の継承に関し、各自の郷土色を調べておくこと（1時間）	
13	児童福祉施設における食事と栄養	児童福祉施設の種類と利用する子どもの特徴について、指示したテキスト内容を復習すること（1時間）	
14	保育所・学校給食の変遷・現状・栄養教諭の役割・学校で食育活動	学校給食の歴史と現状を把握し、子どもの食生活全般について考察すること（1時間）	
15	各自の目標達成度の確認、まとめ及び定期試験について連絡	まとめ、到達目標を各自で自己評価するとともに、保育実践力を確認し、テストに臨むこと（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： CUI212  
授業形態： 講義  
科目名： 保育と教育のカリキュラム論  
担当教員： 佐々木 利子(SASAKI Toshiko)

#### 【授業の紹介】

幼稚園等では、保育者が子どもたちと楽しそうに遊び、生活が展開されていますが、すべての活動は、教育・保育のカリキュラムに基づいて行われています。この授業では、各幼稚園等において編成される教育・保育のカリキュラムについて、その意義や編成の方法を理解するとともに、実態に応じてカリキュラム・マネジメントしながら豊かな保育実践が行えるよう、学んでいきます。  
本授業科目は、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得のための必修科目です。  
なお、本授業科目では課題の指示や提出にあたりGoogleClassroomも使用します。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	指針・要領の理解	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		洞察・判断する力	2
		保育を計画する力	5

#### 【到達目標】

「保育学科のめざす保育者像」に基づき、次の3つを到達目標と設定します。  
1．幼児教育において、教育・保育のカリキュラムが有する役割や機能、並びに意義を、要領・指針等を基に理解することによって、使命感や倫理観を高めることができる。  
2．教育・保育のカリキュラム編成の基本原則、並びに幼稚園等の保育実践に即した教育・保育のカリキュラム編成の方法等、保育を計画するための専門的知識を習得することができる。  
3．園・所の教育・保育カリキュラム全体を、多角的に考えマネジメントすることの意義を理解し、豊かな保育実践の基盤を培うことができる。

#### 【成績の評価】

授業に取り組む意欲・関心・態度(20%)学習シート等の課題の記入や提出(40%)定期試験(40%)課題の返却により、個別及び全体での振り返りを行うことでフィードバックする。

#### 【使用テキスト】

- ・教育課程論(神長美津子・津金美智子・河合優子・塩谷香 編著、光生館 2018年)
- ・保育所保育指針解説(厚生労働省 フレーベル館 2018年)
- ・幼稚園教育要領解説(文部科学省 フレーベル館 2018年)
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説(内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館 2018年)

#### 【参考文献】

適宜紹介します。

#### 【実務経験】

有り

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。幼稚園・こども園で、教員・園長として教育・保育のカリキュラムを作成した経験を生かして授業を行います。

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、 「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼 保連携型認定こども園教育・保育要領」とは	復習として、授業内容を振り返りまとめると 共に振り返りシートに記入し、Classroomで 提出すること(2時間)	
2	教育・保育カリキュラムの基礎的概念	予習として、授業内容に関係する範囲の指定 教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の 関連個所を確認し、ノートにまとめておくこ と。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると 共に振り返りシートに記入し、Classroomで 提出すること(2時間)	
3	幼稚園・保育所・こども園の歴史的変遷の概 要及び保育をめぐる環境・現代の保育事情	予習として、授業内容に関係する範囲の指定 教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の 関連個所を確認し、ノートにまとめておくこ と。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると 共に振り返りシートに記入し、Classroomで 提出すること(2時間)	
4	幼稚園・保育所・こども園の生活と子ども理 解	予習として、授業内容に関係する範囲の指定 教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の 関連個所を確認し、ノートにまとめておくこ と。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると 共に振り返りシートに記入し、Classroomで 提出すること(2時間)	
5	教育要領・保育指針等における保育のねらい ・内容及び内容の取扱い	予習として、授業内容に関係する範囲の指定 教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の 関連個所を確認し、ノートにまとめておくこ と。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると 共に振り返りシートに記入し、Classroomで 提出すること(2時間)	
6	保育の循環と評価の意義	予習として、授業内容に関係する範囲の指定 教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の 関連個所を確認し、ノートにまとめておくこ と。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると 共に振り返りシートに記入し、Classroomで 提出すること(2時間) 保育指導案の作成(3時間)	
7	子どもの発達過程の概要	予習として、授業内容に関係する範囲の指定 教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の 関連個所を確認し、ノートにまとめておくこ と。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると 共に振り返りシートに記入し、Classroomで 提出すること(2時間) 保育指導案の作成(3時間)	
8	子どもの発達特性や発達過程を指導計画に生 かす方法の理解(総合的な遊びを通して)	予習として、授業内容に関係する範囲の指定 教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の 関連個所を確認し、ノートにまとめておくこ と。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると 共に振り返りシートに記入し、Classroomで 提出すること(2時間) 保育指導案の作成(3時間)	
9	幼稚園、保育所、こども園における教育・保 育カリキュラム(全体的指導)の実際	予習として、授業内容に関係する範囲の指定 教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の 関連個所を確認し、ノートにまとめておくこ と。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると 共に振り返りシートに記入し、Classroomで	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		提出すること(2時間) 保育指導案の作成(3時間)	
10	幼稚園、保育所、こども園における指導計画(月・週案等)の実際	予習として、授業内容に関係する範囲の指定教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の関連個所を確認し、ノートにまとめておくこと。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると共に振り返りシートに記入し、Classroomで提出すること(2時間) 指導案に基づく教材研究案の作成(2時間)	
11	教育・保育カリキュラムの編成と展開について	予習として、授業内容に関係する範囲の指定教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の関連個所を確認し、ノートにまとめておくこと。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると共に振り返りシートに記入し、Classroomで提出すること(2時間) 指導案に基づく教材研究案の作成(2時間)	
12	指導計画の作成と展開について（月の指導計画）	予習として、授業内容に関係する範囲の指定教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の関連個所を確認し、ノートにまとめておくこと。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると共に振り返りシートに記入し、Classroomで提出すること(2時間)	
13	指導計画の作成と展開について（週の指導計画）	予習として、授業内容に関係する範囲の指定教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の関連個所を確認し、ノートにまとめておくこと。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると共に振り返りシートに記入し、Classroomで提出すること(2時間)	
14	指導計画の作成と展開について（週案から保育指導案へ）	予習として、授業内容に関係する範囲の指定教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の関連個所を確認し、ノートにまとめておくこと。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると共に振り返りシートに記入し、Classroomで提出すること(2時間)	
15	幼稚園、保育所、こども園における保育の評価の実際	予習として、授業内容に関係する範囲の指定教科書を読むとともに、幼稚園教育要領等の関連個所を確認し、ノートにまとめておくこと。(1時間) 復習として、授業内容を振り返りまとめると共に振り返りシートに記入し、Classroomで提出すること(2時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： CUI101

授業形態： 講義

科目名： 保育・教育の方法及び技術

担当教員： 田中 弓子(TANAKA Yumiko), 中村 多見(NAKAMURA Tami)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力及びこれからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法及び技術に関する基礎的な知識・技能を身に付けます。また、パソコンを中心とした情報機器を活用（情報モラルを含む）し、教材作成や保育実践に関する基礎的な能力を身に付けます。

本授業科目は、保育学科の卒業必修科目です。また、幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目であり、かつ保育士資格取得のための選択必修科目です。

本授業科目では課題の提示や提出にあたりGoogle Classroomを使用することがあります。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	保育学科	規範意識	1
		協働・連携する力	1
		保育に関わる専門的知識の習得	3
		表現技術と創造力	2
		保育を計画する力	3

### 【到達目標】

1. これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法の基礎理論と実践（主体的・対話的で深い学びの実現など）を理解することができる。
2. 園・学級・子ども・保育者・保育室・教材など保育を構成する専門的知識と、多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした表現技術と創造力を培うための基礎を修得することができる。
3. 育みたい資質・能力と子ども理解などに基づいた保育計画及び評価の基礎的な考え方（PDCAサイクルなど）を理解することができる。
4. 保育現場で役立つ情報機器及び教材の活用の基本操作（情報モラルを含む）を身に付け、効果的な教材作成や保育実践に結び付ける基礎を修得することができる。

### 【成績の評価】

○第1～10回（田中）

授業の取り組みに対する課題（60%）、指導案の作成・提出（10%）

フィードバックは、授業内で課題の作成や調整・修正時に点検しながら行う。

○第11～15回（中村）

成績は、授業への出席時の課題提出（10%）とその出来栄え（20%）で評価する。フィードバックは、授業内で課題の作成や調整・修正時に点検しながら行う。

\* 第1～10回を担当する田中と第11～15回を担当する中村の評価を合わせ、100%とする。

### 【使用テキスト】

使用しません。

**【参考文献】**

- ・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）
- ・保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

**【実務経験】**

無し

**【実務経験と授業科目の関係性】**

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	保育のすすめかたについて	予習内容：シラバスを読み、授業内容を把握し、自分なりに保育の進め方を考えてみる（2時間）。 復習内容：授業で用いた指導案作成の基本を、授業後復習し、覚えるようにする（2時間）。	田中担当
2	環境構成について	予習内容：指示した資料を事前に読み、分からない用語を調べノートにまとめる（2時間）。 復習内容：授業で用いた指導案作成の基本を、授業後復習し、覚えるようにする（2時間）。	田中担当
3	指導案作成の基本について	予習内容：指示した資料を事前に読み、分からない用語を調べノートにまとめる（2時間）。 復習内容：授業で用いた指導案作成の基本を、授業後復習し、覚えるようにする（2時間）。	田中担当
4	主体的で対話的な保育の展開について	予習内容：指示した資料を事前に読み、分からない用語を調べノートにまとめる（2時間）。 復習内容：授業で用いた指導案作成の基本を、授業後復習し、覚えるようにする（2時間）。	田中担当
5	保育における導入・展開・まとめについて	予習内容：指示した資料を事前に読み、分からない用語を調べノートにまとめる（2時間）。 復習内容：授業で用いた指導案作成の基本を、授業後復習し、覚えるようにする（2時間）。	田中担当
6	保育者の姿勢について	予習内容：指示した資料を事前に読み、分からない用語を調べノートにまとめる（2時間）。 復習内容：授業で用いた指導案作成の基本を、授業後復習し、覚えるようにする（2時間）。	田中担当
7	環境としての保育者について	予習内容：指示した資料を事前に読み、分からない用語を調べノートにまとめる（2時間）。 復習内容：授業で用いた指導案作成の基本を、授業後復習し、覚えるようにする（2時間）。	田中担当
8	子ども理解について	予習内容：指示した資料を事前に読み、分からない用語を調べノートにまとめる（2時間）。 復習内容：授業で用いた指導案作成の基本を、授業後復習し、覚えるようにする（2時間）。	田中担当
9	保育実践について	予習内容：指示した資料を事前に読み、分からない用語を調べノートにまとめる（2時間）。 復習内容：授業で用いた指導案作成の基本を、授業後復習し、覚えるようにする（2時間）。	田中担当
10	子どもの実態に応じた保育の展開について	予習内容：指示した資料を事前に読み、分からない用語を調べノートにまとめる（2時間）。 復習内容：授業で用いた指導案作成の基本を、授業後復習し、覚えるようにする（2時	田中担当

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間）。	
11	保育に役立つ情報機器の活用 - 保育業務の効率化に必要な情報活用能力（情報モラルを含む）	予習内容：なし。 復習内容：今後の授業計画を踏まえ、必要な準備をする（3時間）。	中村担当
12	保育に役立つ情報機器の活用 - 保育教材づくりのために知っておくと便利なこと	予習内容：提示したWebページや資料を確認する（2時間）。 復習内容：保育教材づくりに必要なアイテムを準備する（3時間）。	中村担当
13	魅力的な保育教材づくり - ペープサート	予習内容：保育教材づくりに必要なアイテムを準備する（2時間）。 復習内容：ペープサートを完成させて、提出する（2時間）。	中村担当
14	魅力的な保育教材づくり - 音	予習内容：なし。 復習内容：アニメーションづくりに必要なアイテムを準備する（4時間）。	中村担当
15	魅力的な保育教材づくり - アニメーション	予習内容：なし。 復習内容：アニメーションを完成させて、提出する（4時間）。	中村担当
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI121  
 授業形態： 演習  
 科目名： 子どもと健康（運動遊び）  
 担当教員： 森本 将行(MORIMOTO Masayuki)

【授業の紹介】

本授業科目は卒業必修であり、幼稚園教諭二種免許状、保育士資格取得のための必修科目です。身体を動かす気持ち良さ、身体を動かす楽しさを感じることを通して、自ら運動しようとする意欲を育むことが乳幼児時期には求められます。また乳幼児期は、運動機能が急速に発達する時期であり、多様な動きを身に付けやすい時期でもあります。そのため、乳幼児期は多様な動きが経験できるように様々な遊びを取り入れることが大切であり、保育者自身が積極的に幼児と一緒に体を動かし、楽しい雰囲気を作ったりしながら、様々な遊びを伝えていくことが求められます。

この授業ではそのような知識や技術を獲得するために、まずは身体を使った遊びを実際に体験し、その遊びが持つ楽しさを体感していただきます。そして思わず体を動かしたくなり、子どもたちが存分に運動機能を発揮できるような環境作りや、用具の使い方も学びます。さらに後半では模擬保育に取り組んでいただき、幼児の興味関心に基づいた身体を使った遊びを創出できることを目指します。

その模擬保育の取り組みではアクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、発見学習、問題解決学習）を取り入れ、主体的で協働的な学びを目指していきます。

Google Classroom(クラスコード：wrkn16s)を使用し、ICT を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	指針・要領の理解	2
		保育に関わる専門的知識の習得	3
		表現技術と創造力	2
		保育を計画する力	3

【到達目標】

1. 乳幼児期の運動発達の特徴を理解することができる
2. 幼児期において多様な動きを獲得していくことの意義と重要性を理解できる
3. 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けることができる
4. 様々な遊びの場面を、幼児の多様な動きの経験と捉え、援助することができる
5. 幼児期の運動発達に沿った運動指導の留意点と教師の役割を理解することができる

【成績の評価】

- ・ 授業内容まとめ課題...30%
  - ・ 授業態度...30%
  - ・ 模擬保育の発表内容...30%
  - ・ 模擬保育の指導案・振り返りの内容...10%
- レポート等の評価については、オフィスアワーにてフィードバックします。

【使用テキスト】

使用しない

【参考文献】

文部科学省編 『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館、2018年）  
 厚生労働省編 『保育所保育指針解説』（フレーベル館、2018年）  
 内閣府・文部科学省・厚生労働省 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館、2018年）  
 片山喜章監修 『0～5歳児のちょこっとあそび じっくりあそび196』（ひかりのくに、2010年）  
 片山喜章監修 『運動会ラクラク！イキイキ！種目集』（ひかりのくに、2013年）

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育現場でクラス担任、運動遊び講師を兼任した経験を活かし、具体的な保育実践例を示しながら授業を行います。

**【科目等履修生の受入】**

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・幼児体育（運動遊び）の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「幼児体育とは」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく(30分)</li> <li>・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる(30分)</li> </ul>	
2	運動遊びを通した総合的な育ち<ふれあい遊び>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「ふれあい遊び」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく(30分)</li> <li>・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる(30分)</li> </ul>	
3	遊具、用具、器具などを使用しない運動遊び<鬼ごっこ>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「様々な鬼ごっこ」を調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく(30分)</li> <li>・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる(30分)</li> </ul>	
4	遊具、用具、器具を使った運動遊びとその指導技術法 <縄・鉄棒>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「幼児期の縄跳び・鉄棒について」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく(30分)</li> <li>・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる(30分)</li> </ul>	
5	遊具、用具、器具を使った運動遊びとその指導技術法 <小さなボール編>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「様々なボール遊び」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく(30分)</li> <li>・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる(30分)</li> </ul>	
6	遊具、用具、器具を使った運動遊びとその指導技術法 <ドッチボールなどの大きなボール編>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「協同的な運動遊び」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく(30分)</li> <li>・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる(30分)</li> </ul>	
7	遊具、用具、器具を使った運動遊びとその指導技術法 <ボールと多様な動き>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「ボールと他の遊具、用具、器具を組み合わせた遊び」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく(30分)</li> <li>・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる(30分)</li> </ul>	
8	遊具、用具、器具を使った運動遊びとその指導技術法 <フラフープ>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「フラフープを使った遊び」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく(30分)</li> <li>・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる(30分)</li> </ul>	
9	身近なものを使って親子でできる運動遊び	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「親子で出来る運動遊び」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として講義内容をノート等にまとめ記</li> </ul>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		録しておく（30分） ・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる（30分）	
10	多様な動きを促すサーキット遊び	・予習として、「サーキット遊び」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく（30分） ・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく（30分） ・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる（30分）	
11	乳幼児期の運動発達の特徴を踏まえた指導法 < 2歳児編 >	・予習として、「2歳児の発達の特徴」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく（30分） ・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく（30分） ・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる（30分）	
12	乳幼児期の運動発達の特徴を踏まえた指導法 < 3歳児編 >	・予習として、「3歳児の発達の特徴」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく（30分） ・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく（30分） ・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる（30分）	
13	乳幼児期の運動発達の特徴を踏まえた指導法 < 4歳児編 >	・予習として、「4歳児の発達の特徴」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく（30分） ・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく（30分） ・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる（30分）	
14	乳幼児期の運動発達の特徴を踏まえた指導法 < 5歳児編 >	・予習として、「5歳児の発達の特徴」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく（30分） ・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく（30分） ・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる（30分）	
15	遊具、用具、器具を使った運動遊びとその指導技術法 < パラバルーン編 >	・予習として、「パラバルーンの遊び方」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく（30分） ・復習として講義内容をノート等にまとめ記録しておく（30分） ・模擬保育の内容を検討し、計画を立てる（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI241  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもと環境  
担当教員： 佐々木 利子(SASAKI Toshiko)

### 【授業の紹介】

本授業では、領域「環境」の指導で必要となる感性を養い、教育内容に関する知識・技能を身に付けることをめざします。また、特に領域「環境」の指導の基盤となる、現代の乳幼児を取り巻く環境とその現代的課題、乳幼児と身近な環境との関わりの発達等についても学びます。

授業の実際では、屋外での自然と関わったり、栽培や工作をしたり、季節の行事について調べるなどの体験的な活動を多く取り入れ、保育者自身の感性を高めていながら、保育実践力を培っていきます。また、活動を通して、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の中の「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」「数量や図形、文字等への関心・感覚」について総合的に学んでいきます。

本授業科目は、幼稚園教諭二種免許状取得の必修科目及び保育士資格取得の選択必修科目です。  
なお、本授業科目では、課題の指示や確認のためにGoogleClassroomも使用します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	保育に関わる専門的知識の習得	4
		表現技術と創造力	3
		保育を計画する力	3

### 【到達目標】

- 1．乳幼児を取り巻く環境の諸側面（物的・人的・社会的等）と、乳幼児の発達におけるそれらの重要性について理解することができる。
- 2．乳幼児期の思考・科学的概念の発達を理解することができる。
- 3．「環境」の指導で必要となる感性を養うと共に、自然、社会事象などについての多様な知識を身に付けることができる。
- 4．要領・指針に示された「環境」領域のねらいを踏まえ、多彩な保育活動を創出する力を培うことができる。

### 【成績の評価】

授業内容に関する関心・発表の態度（20％）、課題の提出（40％）、まとめのレポート（40％）

課題については、書く視点を示すとともに、参考となる文章を紹介することで、次時の学習に生かす。フィールドワークやワークショップについては、教員が講評を行うことでフィードバックを行う。

### 【使用テキスト】

なし

### 【参考文献】

文部科学省『幼稚園教育要領 解説』（2018年3月）  
かこさとし著『こどもの行事 しぜんと生活』小峰書店（2013年）  
かがくのとも絵本 福音館書店

### 【実務経験】

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。幼稚園・こども園での経験を活かし、環境と関わる子どもの具体的な姿や事例を示しながら授業を行います。

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	環境に関わる保育者の役割	復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(30分) 栽培活動に向けての事前調査（栽培方法の下調べ等）を行い、方法をまとめておくこと(30分)	
2	現代社会の子どもを取り巻く環境の諸側面	予習として、事前周知された授業内容について関連資料を検索し、自分なりにまとめノートに記載しておくこと(30分) 復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(30分)	
3	乳幼児期にふさわしい生活と課題	予習として、事前周知された授業内容について関連資料を検索し、自分なりにまとめノートに記載しておくこと(30分) 復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(30分)	
4	自然との関わりをつくる（1）- 春をみつけよう -（フィールドワーク）	予習として、事前周知された授業内容について関連資料を検索し、自分なりにまとめノートに記載しておくこと(30分) 復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(30分)	
5	自然との関わりをつくる（2）- 植物を育てよう -（実践）	予習及び復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(30分) 栽培物の世話(水やり、草抜き、観察・記録等)を行うこと(30分)	
6	科学絵本について知見を深める	予習及び復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(20分) 栽培物の世話(水やり、草抜き、観察・記録等)を行うこと(20分) 絵本についての調べ学習を行い、発表準備をすること(20分)	
7	さまざまな環境との出会い - 四季折々の生活 -	予習及び復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(20分) 栽培物の世話(水やり、草抜き、観察・記録等)を行うこと(20分) ワークショップに向けての計画・準備を行うこと(20分)	
8	さまざまな環境との出会い - 春 -（ワークショップ）	予習及び復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(20分) 栽培物の世話(水やり、草抜き、観察・記録等)を行うこと(20分) ワークショップに向けての計画・準備を行うこと(20分)	
9	さまざまな環境との出会い - 夏 -（ワークショップ）	予習及び復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(20分) 栽培物の世話(水やり、草抜き、観察・記録等)を行うこと(20分) ワークショップに向けての計画・準備を行うこと(20分)	
10	さまざまな環境との出会い - 秋 -（ワークショップ）	予習及び復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るように	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ノートに記載しておくこと(20分) 栽培物の世話(水やり、草抜き、観察・記録等)を行うこと(20分) ワークショップに向けての計画・準備を行うこと(20分)	
11	さまざまな環境との出会い - 冬 - (ワークショップ)	予習及び復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(20分) 栽培物の世話(水やり、草抜き、観察・記録等)を行うこと(20分) ワークショップに向けての計画・準備を行うこと(20分)	
12	自然との関わりをつくる(3) - 野菜の生長と収穫 - (実践)	予習及び復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(20分) 栽培物の世話(水やり、草抜き、観察・記録等)を行うこと(20分) 野菜通信作成に向けての準備・下調べを行うこと(20分)	
13	自然との関わりをつくる(4) - 野菜通信の作成 -	予習及び復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(20分) 栽培物の世話(水やり、草抜き、観察・記録等)を行うこと(20分) 野菜通信作成に向けての準備・下調べを行うこと(20分)	
14	自然との関わりをつくる(5) - 子どもが自然と関わる姿 -	予習及び復習として、授業の内容を自分なりにまとめ次回以降の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(20分) 栽培物の世話(水やり、草抜き、観察・記録等)を行うこと(20分) ワークショップでの製作物の掲示・片付けなどの管理を行うこと(20分)	
15	社会生活との関わりをつくる(伝統文化・地域社会等) 授業のまとめ(全体の振り返り)	予習及び復習として、授業の内容を自分なりにまとめ後期授業の基礎資料と出来るようにノートに記載しておくこと(30分) 栽培物の世話(プランターの片づけ処理や清掃)を行うこと(30分)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI161  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもと言葉  
担当教員： 森本 将行(MORIMOTO Masayuki)

### 【授業の紹介】

本授業科目は幼稚園教諭二種免許状、保育士資格取得のための必修科目です。  
この授業は乳幼児が、豊かな言葉を獲得するため、言葉を使った表現を身に付けるため、乳幼児が想像する楽しさを広げるために必要な専門的事項に関する知識を学ぶ授業です。  
まずは子どもたちが、言葉を獲得していく過程を模擬的に体験することで理解し、子どもと生活を共にする保育者が担っている役割について解説していきます。また、子どもたちと様々な言葉が会うことを促す保育活動を創出することができるようになるため、模擬保育にも取り組みます。その際、アクティブ・ラーニング(ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、発見学習、問題解決学習)を取り入れ、他者と協動的な学びを目指していきます。  
Google Classroom(クラスコード：rfyca5j)を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	保育に関わる専門的知識の習得	4
		表現技術と創造力	3
		保育を計画する力	3

### 【到達目標】

1. 人間にとっての言葉の意義や機能を理解することができる。
2. 言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解できる
3. 乳幼児の発達における児童文化財の意義を理解し、基礎的な知識や技術を身に付けることができる。
4. 言葉の楽しさや美しさに気づき、保育活動を創出する基礎技術、知識、洞察力、保育実践力を身に付けることができる。
5. 模擬保育とその振り返りを通してより良い児童文化財の取り入れ方に改善できる。

### 【成績の評価】

- ・ 模擬保育 ...35% (教材作り15% 実践10% 指導計画及び振り返り10%)
  - ・ 模擬保育 (絵本の読み聞かせ)...10%
  - ・ 試験(授業内で実施)...40%
  - ・ 授業中の態度...15%
- 試験の結果については、オフィスアワーの時間に解説します。

### 【使用テキスト】

古橋和夫編著『保育者のための言語表現の技術 - 子どもとひらく児童文化財をもちいた保育実践 - <第2版>』(萌文書林、2019年)  
文部科学省編『幼稚園教育要領』(フレーベル館、2017年)  
文部科学省編『幼稚園教育要領解説』(フレーベル館、2018年)  
厚生労働省編『保育所保育指針』(フレーベル館、2017年)  
厚生労働省編『保育所保育指針解説』(フレーベル館、2018年)  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』(フレーベル館、2017年)  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』(フレーベル館、2018年)

### 【参考文献】

成田朋子編『新・保育実践を支える言葉』(福村出版、2018年)

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育園、幼稚園型こども園での勤務経験を活かし、具体的な保育実践例を示しながら授業を行います。

**【科目等履修生の受入】**

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション/言葉の意義と機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「言葉の意義」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめしておく(30分)</li> <li>・ペープサートの作成(30分)</li> </ul>	
2	子どもの言葉の育ちとその道すじ < 1歳頃までによく見られる姿 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、1歳頃までによく見られる言葉の特徴について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめしておく(30分)</li> <li>・ペープサートの作成(30分)</li> </ul>	
3	子どもの言葉の育ちとその道すじ < 1歳から2歳頃によく見られる姿 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、1歳から2歳頃によく見られる言葉の特徴について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめしておく(30分)</li> <li>・ペープサートの作成(30分)</li> </ul>	
4	子どもの言葉の育ちとその道すじ < 2歳から3歳頃によく見られる姿 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、2歳から3歳頃によく見られる言葉の特徴について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめしておく(30分)</li> <li>・ペープサートの作成(30分)</li> </ul>	
5	言葉遊びなどの言葉を豊かにする実践についての基礎的な知識(多様な経験)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「言葉が豊かとは？」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめしておく(30分)</li> <li>・ペープサートの作成(30分)</li> </ul>	
6	言葉の楽しさや美しさと、その具体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、自身が思う美しい言葉と楽しい言葉を集めておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめしておく(30分)</li> <li>・ペープサートの作成(30分)</li> </ul>	
7	言葉の楽しさや美しさに気付き、言葉を豊かにする実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、言葉を豊かにする実践について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめしておく(30分)</li> <li>・ペープサートの作成(30分)</li> </ul>	
8	乳幼児の発達における児童文化財の意義と、基本的な知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「児童文化財」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有</li> </ul>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・ペープサートの作成（30分）	
9	児童文化財（絵本・物語・紙芝居など）を活用する基礎技術	・予習として、絵本と紙芝居の違いについて調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・ペープサートの作成（30分）	
10	保育活動を創出する基礎技術と保育実践 ＜基礎技術の獲得＞	・予習として、保育者がペープサートなどを演じる際に配慮するべきことを調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）	
11	保育活動を創出する基礎技術と保育実践 ＜保育計画の作成＞	・予習として、自身が児童文化財を扱っている保育実践を動画に撮り、自己評価を行っておくこと（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）	
12	保育活動を創出する基礎技術と保育実践 ＜評価の仕方＞	・予習として、領域「言葉」に焦点を当てて保育実践を振り返る際のポイントについて調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）	
13	保育活動を創出する基礎技術と保育実践 ＜省察的实践＞	・予習として、領域「言葉」に焦点を当てた自身の保育実践の課題を明確化しておくこと（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）	
14	紙芝居の演じ方と絵本の読み聞かせ	・予習として、紙芝居の演じ方と絵本の読み聞かせについて調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）	
15	学びの振り返り・質疑・まとめ	・予習として、これまでの講義を振り返り、自身が理解できていない部分を明確にしておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）	
	定期試験（実施しない）		

科目ナンバリング： CUI171  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもと造形表現 【保A】  
担当教員： 辻野 栄一(TSUJINO Eiichi)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、造形表現に関する授業です。描画材料（水彩絵具、クレパス、マーカー等）の組成、様々な粘土や紙の特性などの子どもの造形表現に関わる専門的知識や思考力を学習しながら、基本的な描法や造形、ハサミやカッターナイフなどの道具の基本的な使い方など技能を学習します。また、子どもの成長や発達段階に応じた教材、カリキュラム、材料、用具、場所や空間などの環境を工夫する力を身につけます。さらに子どもたちならではの造形表現を理解し、正しく援助する力を身につけます。

本授業科目は保育学科の卒業必修科目です。加えて、本授業科目は幼稚園教諭二種免許状、及び保育士資格取得のための必修科目です。なお、学生への連絡等は、Google Classroomを通じて行います。クラスコードは、kyfn43yです。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	6
		保育を計画する力	2

### 【到達目標】

1. 保育に関する専門的な知識を習得しながら、子どもたちの造形表現活動に結びつけることができる。
2. 造形表現の基礎的な知識と技能を身につけ、素材を活かした表現や、発展させる造形力を身につけることができる。
3. 子どもたちの成長や実態に応じて、題材設定やねらいを明確にもちながら準備やプロセスを計画し、評価することができる。

### 【成績の評価】

課題作品及びその提出状況80%、受講態度などを20%で評価する。作品が完成するたびに講評会を設け、作品の全体的な傾向や作品個々の良い点をあげることによってフィードバックする。

### 【使用テキスト】

樋口一成 編著『幼児造形の基礎 ー乳幼児の造形表現と造形教材ー』（萌文書林 2018年）  
山口 真著『決定版！日本のおりがみ12か月』（ナツメ社 2016年）

### 【参考文献】

保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）  
幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府 文部科学省 厚生労働省）

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、造形表現とは、学習の仕方、絵の具等の材料、用具の説明 折り紙の練習 「つばき」「立体ハート」	予習として、本授業のシラバス内容について確認しておくこと。（30分） 復習として、再度折り紙の練習をしておくこと。（30分）	
2	子どもの発達段階と表現、モダンテクニック 「ドリッピング」「マーブリング」	予習として、モダンテクニックの「ドリッピング」「マーブリング」とはどのようなものをインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、それぞれの技法や注意すべき点について記述しておくこと。（30分）	
3	子どもの発達段階と表現、モダンテクニック 「スクラッチ」「パチック」	予習として、モダンテクニックの「スクラッチ」「パチック」とはどのようなものをインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、それぞれの技法や注意すべき点について記述しておくこと。（30分）	
4	モダンテクニック 「ステンシル」「スタンプ」	予習として、モダンテクニックの「ステンシル」「スタンプ」とはどのようなものをインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、それぞれの技法や注意すべき点について記述しておくこと。（30分）	
5	モダンテクニック 「にじみ」「デカルコマニー」	予習として、モダンテクニックの「にじみ」「デカルコマニー」とはどのようなものをインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、それぞれの技法や注意すべき点について記述しておくこと。（30分）	
6	モダンテクニック 「スパッタリング」「フロッタージュ」	予習として、モダンテクニックの「スパッタリング」「フロッタージュ」とはどのようなものをインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、それぞれの技法や注意すべき点について記述しておくこと。（30分）	
7	モダンテクニック 「コラージュ」	予習として、モダンテクニックの「コラージュ」とはどのようなものをインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、それぞれの技法や注意すべき点について記述しておくこと。（30分）	
8	大学祭階段装飾 「ほいくのくに」の6文字を含めた装飾デザイン	予習として、「ほいくのくに」の6文字を含めた装飾案を考え、下書きをしておくこと。（1時間） 復習内容：なし	
9	折り紙の練習 「うさぎ」「いちご」「つばめ」	予習内容：なし 復習として、再度折り紙の練習をしておくこと。（1時間）	
10	折り紙の練習 と小テスト 「カタツムリ」「ペンギン」	予習として、折り紙課題のの練習をしておくこと。（1時間） 復習内容：なし	
11	大学祭ポスター製作 設定されたテーマに沿って、アイデアを6点以上練る	予習として、大学祭「ほいくのくに」のテーマにちなんだアイデア展開をしておくこと。（30分） 復習として、アイデア展開した中から1番良いと思われるデザイン1点決めること。（30分）	
12	大学祭ポスター製作	予習として、アイデア展開した中から1番良	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	アイデアが決まったら、ケント紙に下描きする 色彩計画を立てる	いと思われるデザインをさらに大小の変化や構成をブラッシュアップすること。また、ポスターとしてどこに文字を入れるかを考える。（30分） 復習として、下描きしたもののどこに何色を塗るか計画を立てる。（30分）	
13	大学祭ポスター製作 アクリル絵の具で着彩 隣同士の色調だけでなく、全体を見る目を養う	予習として、広い面積、明るい色の部分から色を塗っていく着彩計画を立てる。（30分） 復習として、部分だけでなく全体を見ながら再度着彩計画を考える。（30分）	
14	大学祭ポスター製作 アクリル絵の具で着彩 画面全体の色調に留意しながら、彩色する	予習として、広い面積、明るい色の部分から色を塗っていく着彩計画を立てる。（30分） 復習として、部分だけでなく全体を見ながら再度着彩計画を考える。（30分）	
15	大学祭ポスター製作 アクリル絵の具で着彩 塗り残しがないように細部までアクリル絵の具で彩色する 作品講評会	予習として、細部の塗り残した部分を確認し、描いておく。（30分） 復習として、友達が描いたそれぞれの作品の中で目を引く絵のどこがすばらしいかを考え書き留めておくこと。（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI171  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもと造形表現 【保B】  
担当教員： 辻野 栄一(TSUJINO Eiichi)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、造形表現に関する授業です。描画材料（水彩絵具、クレパス、マーカー等）の組成、様々な粘土や紙の特性などの子どもの造形表現に関わる専門的知識や思考力を学習しながら、基本的な描法や造形、ハサミやカッターナイフなどの道具の基本的な使い方など技能を学習します。また、子どもの成長や発達段階に応じた教材、カリキュラム、材料、用具、場所や空間などの環境を工夫する力を身につけます。さらに子どもたちならではの造形表現を理解し、正しく援助する力を身につけます。

本授業科目は保育学科の卒業必修科目です。加えて、本授業科目は幼稚園教諭二種免許状、及び保育士資格取得のための必修科目です。なお、学生への連絡等は、Google Classroomを通じて行います。クラスコードは、kyfn43yです。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	6
		保育を計画する力	2

### 【到達目標】

1. 保育に関する専門的な知識を習得しながら、子どもたちの造形表現活動に結びつけることができる。
2. 造形表現の基礎的な知識と技能を身につけ、素材を活かした表現や、発展させる造形力を身につけることができる。
3. 子どもたちの成長や実態に応じて、題材設定やねらいを明確にもちながら準備やプロセスを計画し、評価することができる。

### 【成績の評価】

課題作品及びその提出状況80%、受講態度などを20%で評価する。作品が完成するたびに講評会を設け、作品の全体的な傾向や作品個々の良い点をあげることによってフィードバックする。

### 【使用テキスト】

樋口一成 編著『幼児造形の基礎 -乳幼児の造形表現と造形教材-』（萌文書林 2018年）  
山口 真著『決定版！日本のおりがみ12か月』（ナツメ社 2016年）

### 【参考文献】

保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）  
幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府 文部科学省 厚生労働省）

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、造形表現とは、学習の仕方、絵の具等の材料、用具の説明 折り紙の練習 「つばき」「立体ハート」	予習として、本授業のシラバス内容について確認しておくこと。（30分） 復習として、再度折り紙の練習をしておくこと。（30分）	
2	子どもの発達段階と表現、モダンテクニック 「ドリッピング」「マーブリング」	予習として、モダンテクニックの「ドリッピング」「マーブリング」とはどのようなものをインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、それぞれの技法や注意すべき点について記述しておくこと。（30分）	
3	子どもの発達段階と表現、モダンテクニック 「スクラッチ」「パチック」	予習として、モダンテクニックの「スクラッチ」「パチック」とはどのようなものをインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、それぞれの技法や注意すべき点について記述しておくこと。（30分）	
4	モダンテクニック 「ステンシル」「スタンプ」	予習として、モダンテクニックの「ステンシル」「スタンプ」とはどのようなものをインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、それぞれの技法や注意すべき点について記述しておくこと。（30分）	
5	モダンテクニック 「にじみ」「デカルコマニー」	予習として、モダンテクニックの「にじみ」「デカルコマニー」とはどのようなものをインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、それぞれの技法や注意すべき点について記述しておくこと。（30分）	
6	モダンテクニック 「スパッタリング」「フロッタージュ」	予習として、モダンテクニックの「スパッタリング」「フロッタージュ」とはどのようなものをインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、それぞれの技法や注意すべき点について記述しておくこと。（30分）	
7	モダンテクニック 「コラージュ」	予習として、モダンテクニックの「コラージュ」とはどのようなものをインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、それぞれの技法や注意すべき点について記述しておくこと。（30分）	
8	大学祭階段装飾 「ほいくのくに」の6文字を含めた装飾デザイン	予習として、「ほいくのくに」の6文字を含めた装飾案を考え、下書きをしておくこと。（1時間） 復習内容：なし	
9	折り紙の練習 「うさぎ」「いちご」「つばめ」	予習内容：なし 復習として、再度折り紙の練習をしておくこと。（1時間）	
10	折り紙の練習 と小テスト 「カタツムリ」「ペンギン」	予習として、折り紙課題のの練習をしておくこと。（1時間） 復習内容：なし	
11	大学祭ポスター製作 設定されたテーマに沿って、アイデアを6点以上練る	予習として、大学祭「ほいくのくに」のテーマにちなんだアイデア展開をしておくこと。（30分） 復習として、アイデア展開した中から1番良いと思われるデザイン1点決めること。（30分）	
12	大学祭ポスター製作	予習として、アイデア展開した中から1番良	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	アイデアが決まったら、ケント紙に下描きする 色彩計画を立てる	いと思われるデザインをさらに大小の変化や構成をブラッシュアップすること。また、ポスターとしてどこに文字を入れるかを考える。（30分） 復習として、下描きしたもののどこに何色を塗るか計画を立てる。（30分）	
13	大学祭ポスター製作 アクリル絵の具で着彩 隣同士の色調だけでなく、全体を見る目を養う	予習として、広い面積、明るい色の部分から色を塗っていく着彩計画を立てる。（30分） 復習として、部分だけでなく全体を見ながら再度着彩計画を考える。（30分）	
14	大学祭ポスター製作 アクリル絵の具で着彩 画面全体の色調に留意しながら、彩色する	予習として、広い面積、明るい色の部分から色を塗っていく着彩計画を立てる。（30分） 復習として、部分だけでなく全体を見ながら再度着彩計画を考える。（30分）	
15	大学祭ポスター製作 アクリル絵の具で着彩 塗り残しがないように細部までアクリル絵の具で彩色する 作品講評会	予習として、細部の塗り残した部分を確認し、描いておく。（30分） 復習として、友達が描いたそれぞれの作品の中で目を引く絵のどこがすばらしいかを考え書き留めておくこと。（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI173  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもと造形表現 【保A】  
担当教員： 辻野 栄一(TSUJINO Eiichi)

#### 【授業の紹介】

本授業科目は、幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目、保育士資格取得の選択必修科目です。保育者としての資質能力の一つである子どもの造形表現に関わる専門的知識と思考力・技能を習得します。そして表現力や立体感覚を身につけることを主としています。

なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通して行います。クラスコードは、ojsebd5 です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	6
		保育を計画する力	2

#### 【到達目標】

1. 造形表現の発展的な知識と技能を身につけることができる。
2. 素材や画材の特性を知り、色彩感覚や立体感覚を身につけることができる。
3. 独創的で工夫した技術や表現などを発展させることができる。
4. 造形教材の準備や子どもが表現するプロセスを理解し、造形教育を計画することができる。

#### 【成績の評価】

課題作品の提出状況と提出内容（70%）、折り紙小テスト（10%）、授業態度・意欲・準備物（20%）で評価します。課題についてはその都度中間チェックをし、採点基準を説明します。

#### 【使用テキスト】

山口 真著『決定版！日本のおりがみ12か月』（ナツメ社 2016年）

#### 【参考文献】

樋口一成 編著 『幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形教材』（萌文書林 2018年）  
奥 美佐子 著 『3・4・5歳児の造形あそび』（ひかりのくに 2017年）  
村田 夕紀、内本 久美 著 『2・3・4・5歳児の技法あそび実践ライブ』（ひかりのくに 2019年）  
保育所保育指針（厚生労働省、2017年3月告示）  
幼稚園教育要領（文部科学省、2017年3月告示）  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領（内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示）

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 授業の内容と進め方の説明 折り紙 カブトムシ、プチマト、おばけ	予習として、この授業のシラバスについて内容を確認しておくこと。（30分） 復習として、授業で行った折り紙を再度練習すること。（30分）	
2	染紙 和紙・インクを使った染紙	予習として、染紙についてインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、その技法や表現の仕方について書き留めておくこと。（30分）	
3	ドリームキャッチャー ドリームキャッチャーの土台製作	予習として、ドリームキャッチャーとは何かをインターネット等で検索して確認しておくこと。（30分） 復習として、ドリームキャッチャーの土台の修正箇所がないか確認し、修正しておくこと。（30分）	
4	ドリームキャッチャー たこ糸の編み込み	予習として、ドリームキャッチャーのたこ糸の編み込み方をインターネット等で検索して確認しておくこと。（30分） 復習として、糸の編み込みで修正箇所がないか確認し、修正しておくこと。（30分）	
5	ドリームキャッチャー 仕上げ装飾	予習として、ドリームキャッチャーの意図の編み込み方をインターネット等で検索して確認しておくこと。（30分） 復習として、糸の編み込みで修正箇所がないか確認し、修正しておくこと。（30分）	
6	折り紙 ライオン、キリン、リス	予習として、テキストを見て課題の折り方を確認しておくこと。（30分） 復習として、授業で行った折り紙を再度練習すること。（30分）	
7	折り紙 てぶくろ、かみとんぼ、折り紙の小テスト	予習として、テキストを見て課題の折り方を確認しておくこと。（30分） 復習として、授業で行った折り紙を再度練習しておくこと。（30分）	
8	かぶりもの製作 造形計画	予習として、前もって出された課題に対して、どのようなかぶりものにするかモチーフを考え、資料を用意しておくこと。（30分） 復習として、紙袋からどのように変形させて本体を製作するか構造を再度確認しておくこと。（30分）	
9	かぶりもの製作 本体の製作	予習として、造形計画を再度確認してのりしろ部分の細かな作業を確認しておくこと。（30分） 復習として、細部を確認し、補強しておくこと。（30分）	
10	かぶりもの製作 パーツの製作	予習として、耳や角等の接続パーツの造形計画を立てておくこと。（30分） 復習として、パーツを本体に接着しておくこと。（30分）	
11	かぶりもの製作 装飾	予習として、装飾として色彩計画を立て。材料や絵の具を用意しておくこと（30分） 復習として、細部を確認し、修正や加筆しておくこと。（30分）	
12	かぶりもの製作 仕上げ	予習として、仕上げとしての細部を確認し、必要な仕上げ材料や絵の具を用意しておくこと（30分） 習として、被り物製作の作業工程、注意すべき点等を記述しておくこと。（30分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
13	紙版画 下絵製作	予習として、紙版画のモチーフを何にするかを考え資料を用意しておくこと。また、1枚の画面としてどのような構成にするかアイデア展開しておくこと。（1時間） 復習内容：なし	
14	紙版画 版の製作	予習として、版となるモチーフのデザインを再度確認し、バック画面とのバランスを考えておくこと。（1時間） 復習内容：なし	
15	紙版画 刷り・仕上げ作業	予習として、メインとなる版の部分とバックの画面構成を再度確認し修正しておくこと。（30分） 復習として、紙版画の製作工程、注意すべき点等を記述しておくこと。（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI173  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもと造形表現 【保B】  
担当教員： 辻野 栄一(TSUJINO Eiichi)

#### 【授業の紹介】

本授業科目は、幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目、保育士資格取得の選択必修科目です。保育者としての資質能力の一つである子どもの造形表現に関わる専門的知識と思考力・技能を習得します。そして表現力や立体感覚を身につけることを主としています。

なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通して行います。クラスコードは、ojsebd5 です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	6
		保育を計画する力	2

#### 【到達目標】

1. 造形表現の発展的な知識と技能を身につけることができる。
2. 素材や画材の特性を知り、色彩感覚や立体感覚を身につけることができる。
3. 独創的で工夫した技術や表現などを発展させることができる。
4. 造形教材の準備や子どもが表現するプロセスを理解し、造形教育を計画することができる。

#### 【成績の評価】

課題作品の提出状況と提出内容（70%）、折り紙小テスト（10%）、授業態度・意欲・準備物（20%）で評価します。課題についてはその都度中間チェックをし、採点基準を説明します。

#### 【使用テキスト】

山口 真著『決定版！日本のおりがみ12か月』（ナツメ社 2016年） ISBN 978-4-8163-6004-6

#### 【参考文献】

樋口一成 編著 『幼児造形の基礎 乳幼児の造形表現と造形教材』（萌文書林 2018年）  
奥 美佐子 著 『3・4・5歳児の造形あそび』（ひかりのくに 2017年）  
村田 夕紀、内本 久美 著 『2・3・4・5歳児の技法あそび実践ライブ』（ひかりのくに 2019年）  
保育所保育指針（厚生労働省、2017年3月告示）  
幼稚園教育要領（文部科学省、2017年3月告示）  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領（内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示）

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 授業の内容と進め方の説明 折り紙 カプトムシ、プチトマト、おばけ	予習として、この授業のシラバスについて内容を確認しておくこと。（30分） 復習として、授業で行った折り紙を再度練習すること。（30分）	
2	染紙 和紙・インクを使った染紙	予習として、染紙についてインターネット等で検索してどのような技法かを確認しておくこと。（30分） 復習として、その技法や表現の仕方について書き留めておくこと。（30分）	
3	ドリームキャッチャー ドリームキャッチャーの土台製作	予習として、ドリームキャッチャーとは何かをインターネット等で検索して確認しておくこと。（30分） 復習として、ドリームキャッチャーの土台の修正箇所がないか確認し、修正しておくこと。（30分）	
4	ドリームキャッチャー たこ糸の編み込み	予習として、ドリームキャッチャーのたこ糸の編み込み方をインターネット等で検索して確認しておくこと。（30分） 復習として、糸の編み込みで修正箇所がないか確認し、修正しておくこと。（30分）	
5	ドリームキャッチャー 仕上げ装飾	予習として、どのような装飾仕上げにするか考えて材料を用意すること。（30分） 復習として、装飾仕上げの修正箇所がないか確認し、修正しておくこと。（30分）	
6	折り紙 ライオン、キリン、リス	予習として、テキストを見て課題の折り方を確認しておくこと。（30分） 復習として、授業で行った折り紙を再度練習すること。（30分）	
7	折り紙 てぶくろ、かみとんぼ、折り紙の小テスト	予習として、テキストを見て課題の折り方を確認しておくこと。（30分） 復習として、授業で行った折り紙を再度練習しておくこと。（30分）	
8	かぶりもの製作 造形計画	予習として、前もって出された課題に対して、どのようなかぶりものにするかモチーフを考え、資料を用意しておくこと。（30分） 復習として、紙袋からどのように変形させて本体を製作するか構造を再度確認しておくこと。（30分）	
9	かぶりもの製作 本体の製作	予習として、造形計画を再度確認してのりしる部分の細かな作業を確認しておくこと。（30分） 復習として、細部を確認し、補強しておくこと。（30分）	
10	かぶりもの製作 パーツの製作	予習として、耳や角等の接続パーツの造形計画を立てておくこと。（30分） 復習として、パーツを本体に接着しておくこと。（30分）	
11	かぶりもの製作 装飾	予習として、装飾として色彩計画を立て。材料や絵の具を用意しておくこと（30分） 復習として、細部を確認し、修正や加筆しておくこと。（30分）	
12	かぶりもの製作 仕上げ	予習として、仕上げとしての細部を確認し、必要な仕上げ材料や絵の具を用意しておくこと（30分） 復習として、被り物製作の作業工程、注意すべき点等を記述しておくこと。（30分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
13	紙版画 下絵製作	予習として、紙版画のモチーフを何にするかを考え資料を用意しておくこと。また、1枚の画面としてどのような構成にするかアイデア展開しておくこと。（1時間） 復習内容：なし	
14	紙版画 版の製作	予習として、版となるモチーフのデザインを再度確認し、バック画面とのバランスを考えておくこと。（1時間） 復習内容：なし	
15	紙版画 刷り・仕上げ作業	復習として、紙版画の製作工程、注意すべき点等を記述しておくこと。（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI181  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもと音楽表現 【保A】  
担当教員： 柴田 玲子(SHIBATA Reiko)

#### 【授業の紹介】

子どもの発達に音楽が果たす役割は非常に大きくまた重要で、保育所、幼稚園、認定こども園において音楽は生活の一部として取り入れられています。保育所、幼稚園、認定こども園で日常的に用いられている音楽の演奏や季節の歌などの弾き歌いに重点を置いてレパートリーを増やすとともに、さまざまな教材を用いて音楽表現の基本的知識・技術を習得し、感性を豊かにすることをめざします。本授業科目は保育学科の卒業必修科目です。また幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得のための必修科目でもあります。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisigma74です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

#### 【到達目標】

1. 音楽表現の専門的知識と技術の基礎を身につけることができる。
2. 実際に演奏することで表現することの楽しさを実感することができる。
3. 他者の音楽表現を聴くことで、イメージを豊かにすることができる。
4. 音楽表現の基礎技能を基盤とした保育実践力と創造力を身につけることができる。

#### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価します。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックします。

#### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)。

#### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、文部科学省、厚生労働省、2017年3月告示)

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～音楽経験の調査と演奏曲目の決定～	ピアノ演奏および弾き歌いの技術向上のためには毎日のコンスタントな練習が最も効果的です。後期開講の当該科目にも含め、年間を通して毎日練習し、その成果を持って次の授業に臨むようにしてください。配布した基礎知識に関する課題に記入し次回に提出する（毎日合計20分以上）。	
2	楽譜に関する基礎知識の確認 歌のレパートリーを増やそう ～知っている歌の旋律を弾く～ ～旋律を弾きながら歌う～	読譜に慣れるための練習シートに記入して次回に提出する。季節の歌(春夏)について調べ、歌詞も覚えて歌えるようにする。授業で扱った旋律に伴奏をつけて練習する。（毎日合計20分以上）	
3	歌のレパートリーを増やそう ～伴奏の練習から弾き歌いへ～	練習した弾き歌いを定着させてレパートリーとして保つ。（毎日20分以上）	
4	課題曲の理解 ～レベルに応じた伴奏の決定と練習～	課題曲（旋律・伴奏・弾き歌い）に取り組む。（毎日20分以上）	
5	発表予定課題曲の練習 ～歌とピアノのバランスを考える～	課題曲を完成する。（毎日20分以上）	
6	中間発表会(1) ～1-2曲を発表し、人前での弾き歌いを体験する～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて、残りの課題曲を練習する。余裕があれば、課題曲以外にも取り組む。（毎日合計20分以上）	
7	課題曲の練習 ～自由曲について今後の方針を決定する～	決められた曲を練習する。それ以外の楽曲にも目を向け、旋律だけでも弾いてみる。（毎日合計20分以上）	
8	発表予定弾き歌いの完成 ～歌の表現を深める～	授業時に指摘されたところを改善できるように練習する。（毎日20分以上）	
9	人前で弾き歌いをする練習 ～歌唱指導の基礎～	友達の演奏を聞いて気付いたことや自分の演奏の問題点をノートに書き出してみる。それに加えて、弾き歌いだけでなく歌唱指導の要素が入った場合、自分にはどのような技術が不足しているか振り返る。発表予定の曲について完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
10	中間発表会(2) ～人前での演奏において平常心を保つことや歌と伴奏の調和の達成をめざす～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて練習する。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて ～演奏する曲の決定と練習～	決められた曲を練習する。（毎日20分以上）	
12	発表会に演奏予定の曲を完成する	一層完成度を高め、明るい表現やバランスの取れた弾き歌いをめざす。発表会に演奏予定以外の曲にも目を向ける。（毎日合計20分以上）	
13	人前で自分を表現できる練習 ～歌唱指導の基礎～	発表予定の曲について安定した演奏ができるように練習する。歌唱指導の反省点や学びについて記録しておく。（毎日合計20分以上）	
14	まとめの発表会	担当教員からの講評をもとに振り返る。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		発表した課題曲や自由曲、これまでに取り組んだ曲をレパートリーとして保つ。 後期課題曲より1曲以上を選び、練習する。 （毎日合計20分以上）	
15	後期「子どもと音楽表現II」課題曲の研究とレベルに応じた伴奏の決定	後期課題曲を含め、レパートリーを増やすことを心がけて夏休みを過ごし、「子どもと音楽表現II」の授業でその成果を披露できるように計画的に練習を続ける。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI181

授業形態： 演習

科目名： 子どもと音楽表現 【保A】

担当教員： 西村 京子(NISHIMURA Kyoko)

### 【授業の紹介】

子どもの発達に音楽が果たす役割は非常に大きくまた重要で、保育所、幼稚園、認定こども園において音楽は生活の一部として取り入れられています。保育所、幼稚園、認定こども園で日常的に用いられている音楽の演奏や季節の歌などの弾き歌いに重点を置いてレパートリーを増やすとともに、さまざまな教材を用いて音楽表現の基本的知識・技術を習得し、感性を豊かにすることをめざします。本授業科目は保育学科の卒業必修科目です。また幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得のための必修科目でもあります。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisigma74です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2．自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

### 【到達目標】

1. 音楽表現の専門的知識と技術の基礎を身につけることができる。
2. 実際に演奏することで表現することの楽しさを実感することができる。
3. 他者の音楽表現を聴くことで、イメージを豊かにすることができる。
4. 音楽表現の基礎技能を基盤とした保育実践力と創造力を身につけることができる。

### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価します。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックします。

### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)。

### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、文部科学省、厚生労働省、2017年3月告示)

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～音楽経験の調査と演奏曲目の決定～	ピアノ演奏および弾き歌いの技術向上のためには毎日のコンスタントな練習が最も効果的です。後期開講の当該科目にも含め、年間を通して毎日練習し、その成果を持って次の授業に臨むようにしてください。配布した基礎知識に関する課題に記入し次回に提出する（毎日合計20分以上）。	
2	楽譜に関する基礎知識の確認 歌のレパートリーを増やそう ～知っている歌の旋律を弾く～ ～旋律を弾きながら歌う～	読譜に慣れるための練習シートに記入して次回に提出する。季節の歌(春夏)について調べ、歌詞も覚えて歌えるようにする。授業で扱った旋律に伴奏をつけて練習する。（毎日合計20分以上）	
3	歌のレパートリーを増やそう ～伴奏の練習から弾き歌いへ～	練習した弾き歌いを定着させてレパートリーとして保つ。（毎日20分以上）	
4	課題曲の理解 ～レベルに応じた伴奏の決定と練習～	課題曲（旋律・伴奏・弾き歌い）に取り組む。（毎日20分以上）	
5	発表予定課題曲の練習 ～歌とピアノのバランスを考える～	課題曲を完成する。（毎日20分以上）	
6	中間発表会(1) ～1-2曲を発表し、人前での弾き歌いを体験する～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて、残りの課題曲を練習する。余裕があれば、課題曲以外にも取り組む。（毎日合計20分以上）	
7	課題曲の練習 ～自由曲について今後の方針を決定する～	決められた曲を練習する。それ以外の楽曲にも目を向け、旋律だけでも弾いてみる。（毎日合計20分以上）	
8	発表予定弾き歌いの完成 ～歌の表現を深める～	授業時に指摘されたところを改善できるように練習する。（毎日20分以上）	
9	人前で弾き歌いをする練習 ～歌唱指導の基礎～	友達の演奏を聞いて気付いたことや自分の演奏の問題点をノートに書き出してみる。それに加えて、弾き歌いだけでなく歌唱指導の要素が入った場合、自分にはどのような技術が不足しているか振り返る。発表予定の曲について完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
10	中間発表会(2) ～人前での演奏において平常心を保つことや歌と伴奏の調和の達成をめざす～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて練習する。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて ～演奏する曲の決定と練習～	決められた曲を練習する。（毎日20分以上）	
12	発表会に演奏予定の曲を完成する	一層完成度を高め、明るい表現やバランスの取れた弾き歌いをめざす。発表会に演奏予定以外の曲にも目を向ける。（毎日合計20分以上）	
13	人前で自分を表現できる練習 ～歌唱指導の基礎～	発表予定の曲について安定した演奏ができるように練習する。歌唱指導の反省点や学びについて記録しておく。（毎日合計20分以上）	
14	まとめの発表会	担当教員からの講評をもとに振り返る。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		発表した課題曲や自由曲、これまでに取り組んだ曲をレパートリーとして保つ。 後期課題曲より1曲以上を選び、練習する。 （毎日合計20分以上）	
15	後期「子どもと音楽表現II」課題曲の研究とレベルに応じた伴奏の決定	後期課題曲を含め、レパートリーを増やすことを心がけて夏休みを過ごし、「子どもと音楽表現II」の授業でその成果を披露できるように計画的に練習を続ける。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI181  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもと音楽表現 【保A】  
担当教員： 渡辺 磨奈(WATANABE Mana)

#### 【授業の紹介】

子どもの発達に音楽が果たす役割は非常に大きくまた重要で、保育所、幼稚園、認定こども園において音楽は生活の一部として取り入れられています。保育所、幼稚園、認定こども園で日常的に用いられている音楽の演奏や季節の歌などの弾き歌いに重点を置いてレパートリーを増やすとともに、さまざまな教材を用いて音楽表現の基本的知識・技術を習得し、感性を豊かにすることをめざします。本授業科目は保育学科の卒業必修科目です。また幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得のための必修科目でもあります。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisigma74です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

#### 【到達目標】

1. 音楽表現の専門的知識と技術の基礎を身につけることができる。
2. 実際に演奏することで表現することの楽しさを実感することができる。
3. 他者の音楽表現を聴くことで、イメージを豊かにすることができる。
4. 音楽表現の基礎技能を基盤とした保育実践力と創造力を身につけることができる。

#### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価します。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックします。

#### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)。

#### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、文部科学省、厚生労働省、2017年3月告示)

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～音楽経験の調査と演奏曲目の決定～	ピアノ演奏および弾き歌いの技術向上のためには毎日のコンスタントな練習が最も効果的です。後期開講の当該科目にも含め、年間を通して毎日練習し、その成果を持って次の授業に臨むようにしてください。配布した基礎知識に関する課題に記入し次回に提出する（毎日合計20分以上）。	
2	楽譜に関する基礎知識の確認 歌のレパートリーを増やそう ～知っている歌の旋律を弾く～ ～旋律を弾きながら歌う～	読譜に慣れるための練習シートに記入して次回に提出する。季節の歌(春夏)について調べ、歌詞も覚えて歌えるようにする。授業で扱った旋律に伴奏をつけて練習する。（毎日合計20分以上）	
3	歌のレパートリーを増やそう ～伴奏の練習から弾き歌いへ～	練習した弾き歌いを定着させてレパートリーとして保つ。（毎日20分以上）	
4	課題曲の理解 ～レベルに応じた伴奏の決定と練習～	課題曲（旋律・伴奏・弾き歌い）に取り組む。（毎日20分以上）	
5	発表予定課題曲の練習 ～歌とピアノのバランスを考える～	課題曲を完成する。（毎日20分以上）	
6	中間発表会(1) ～1-2曲を発表し、人前での弾き歌いを体験する～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて、残りの課題曲を練習する。余裕があれば、課題曲以外にも取り組む。（毎日合計20分以上）	
7	課題曲の練習 ～自由曲について今後の方針を決定する～	決められた曲を練習する。それ以外の楽曲にも目を向け、旋律だけでも弾いてみる。（毎日合計20分以上）	
8	発表予定弾き歌いの完成 ～歌の表現を深める～	授業時に指摘されたところを改善できるように練習する。（毎日20分以上）	
9	人前で弾き歌いをする練習 ～歌唱指導の基礎～	友達の演奏を聞いて気付いたことや自分の演奏の問題点をノートに書き出してみる。それに加えて、弾き歌いだけでなく歌唱指導の要素が入った場合、自分にはどのような技術が不足しているか振り返る。発表予定の曲について完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
10	中間発表会(2) ～人前での演奏において平常心を保つことや歌と伴奏の調和の達成をめざす～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて練習する。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて ～演奏する曲の決定と練習～	決められた曲を練習する。（毎日20分以上）	
12	発表会に演奏予定の曲を完成する	一層完成度を高め、明るい表現やバランスの取れた弾き歌いをめざす。発表会に演奏予定以外の曲にも目を向ける。（毎日合計20分以上）	
13	人前で自分を表現できる練習 ～歌唱指導の基礎～	発表予定の曲について安定した演奏ができるように練習する。歌唱指導の反省点や学びについて記録しておく。（毎日合計20分以上）	
14	まとめの発表会	担当教員からの講評をもとに振り返る。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		発表した課題曲や自由曲、これまでに取り組んだ曲をレパートリーとして保つ。 後期課題曲より1曲以上を選び、練習する。 （毎日合計20分以上）	
15	後期「子どもと音楽表現II」課題曲の研究とレベルに応じた伴奏の決定	後期課題曲を含め、レパートリーを増やすことを心がけて夏休みを過ごし、「子どもと音楽表現II」の授業でその成果を披露できるように計画的に練習を続ける。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI181

授業形態： 演習

科目名： 子どもと音楽表現 【保A】

担当教員： 出木浦 孝(DEKIURA Takashi)

### 【授業の紹介】

子どもの発達に音楽が果たす役割は非常に大きくまた重要で、保育所、幼稚園、認定こども園において音楽は生活の一部として取り入れられています。保育所、幼稚園、認定こども園で日常的に用いられている音楽の演奏や季節の歌などの弾き歌いに重点を置いてレパートリーを増やすとともに、さまざまな教材を用いて音楽表現の基本的知識・技術を習得し、感性を豊かにすることをめざします。本授業科目は保育学科の卒業必修科目です。また幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得のための必修科目でもあります。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisigma74です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2．自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

### 【到達目標】

1. 音楽表現の専門的知識と技術の基礎を身につけることができる。
2. 実際に演奏することで表現することの楽しさを実感することができる。
3. 他者の音楽表現を聴くことで、イメージを豊かにすることができる。
4. 音楽表現の基礎技能を基盤とした保育実践力と創造力を身につけることができる。

### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価します。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックします。

### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)。

### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、文部科学省、厚生労働省、2017年3月告示)

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～音楽経験の調査と演奏曲目の決定～	ピアノ演奏および弾き歌いの技術向上のためには毎日のコンスタントな練習が最も効果的です。後期開講の当該科目にも含め、年間を通して毎日練習し、その成果を持って次の授業に臨むようにしてください。配布した基礎知識に関する課題に記入し次回に提出する（毎日合計20分以上）。	
2	楽譜に関する基礎知識の確認 歌のレパートリーを増やそう ～知っている歌の旋律を弾く～ ～旋律を弾きながら歌う～	読譜に慣れるための練習シートに記入して次回に提出する。季節の歌(春夏)について調べ、歌詞も覚えて歌えるようにする。授業で扱った旋律に伴奏をつけて練習する。（毎日合計20分以上）	
3	歌のレパートリーを増やそう ～伴奏の練習から弾き歌いへ～	練習した弾き歌いを定着させてレパートリーとして保つ。（毎日20分以上）	
4	課題曲の理解 ～レベルに応じた伴奏の決定と練習～	課題曲（旋律・伴奏・弾き歌い）に取り組む。（毎日20分以上）	
5	発表予定課題曲の練習 ～歌とピアノのバランスを考える～	課題曲を完成する。（毎日20分以上）	
6	中間発表会(1) ～1-2曲を発表し、人前での弾き歌いを体験する～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて、残りの課題曲を練習する。余裕があれば、課題曲以外にも取り組む。（毎日合計20分以上）	
7	課題曲の練習 ～自由曲について今後の方針を決定する～	決められた曲を練習する。それ以外の楽曲にも目を向け、旋律だけでも弾いてみる。（毎日合計20分以上）	
8	発表予定弾き歌いの完成 ～歌の表現を深める～	授業時に指摘されたところを改善できるように練習する。（毎日20分以上）	
9	人前で弾き歌いをする練習 ～歌唱指導の基礎～	友達の演奏を聞いて気付いたことや自分の演奏の問題点をノートに書き出してみる。それに加えて、弾き歌いだけでなく歌唱指導の要素が入った場合、自分にはどのような技術が不足しているか振り返る。発表予定の曲について完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
10	中間発表会(2) ～人前での演奏において平常心を保つことや歌と伴奏の調和の達成をめざす～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて練習する。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて ～演奏する曲の決定と練習～	決められた曲を練習する。（毎日20分以上）	
12	発表会に演奏予定の曲を完成する	一層完成度を高め、明るい表現やバランスの取れた弾き歌いをめざす。発表会に演奏予定以外の曲にも目を向ける。（毎日合計20分以上）	
13	人前で自分を表現できる練習 ～歌唱指導の基礎～	発表予定の曲について安定した演奏ができるように練習する。歌唱指導の反省点や学びについて記録しておく。（毎日合計20分以上）	
14	まとめの発表会	担当教員からの講評をもとに振り返る。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		発表した課題曲や自由曲、これまでに取り組んだ曲をレパートリーとして保つ。 後期課題曲より1曲以上を選び、練習する。 （毎日合計20分以上）	
15	後期「子どもと音楽表現II」課題曲の研究とレベルに応じた伴奏の決定	後期課題曲を含め、レパートリーを増やすことを心がけて夏休みを過ごし、「子どもと音楽表現II」の授業でその成果を披露できるように計画的に練習を続ける。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI181

授業形態： 演習

科目名： 子どもと音楽表現 【保B】

担当教員： 出木浦 孝(DEKIURA Takashi)

### 【授業の紹介】

子どもの発達に音楽が果たす役割は非常に大きくまた重要で、保育所、幼稚園、認定こども園において音楽は生活の一部として取り入れられています。保育所、幼稚園、認定こども園で日常的に用いられている音楽の演奏や季節の歌などの弾き歌いに重点を置いてレパートリーを増やすとともに、さまざまな教材を用いて音楽表現の基本的知識・技術を習得し、感性を豊かにすることをめざします。本授業科目は保育学科の卒業必修科目です。また幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得のための必修科目でもあります。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisigma74です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2．自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

### 【到達目標】

1. 音楽表現の専門的知識と技術の基礎を身につけることができる。
2. 実際に演奏することで表現することの楽しさを実感することができる。
3. 他者の音楽表現を聴くことで、イメージを豊かにすることができる。
4. 音楽表現の基礎技能を基盤とした保育実践力と創造力を身につけることができる。

### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価します。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックします。

### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)。

### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、文部科学省、厚生労働省、2017年3月告示)

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～音楽経験の調査と演奏曲目の決定～	ピアノ演奏および弾き歌いの技術向上のためには毎日のコンスタントな練習が最も効果的です。後期開講の当該科目にも含め、年間を通して毎日練習し、その成果を持って次の授業に臨むようにしてください。配布した基礎知識に関する課題に記入し次回に提出する（毎日合計20分以上）。	
2	楽譜に関する基礎知識の確認 歌のレパートリーを増やそう ～知っている歌の旋律を弾く～ ～旋律を弾きながら歌う～	読譜に慣れるための練習シートに記入して次回に提出する。季節の歌(春夏)について調べ、歌詞も覚えて歌えるようにする。授業で扱った旋律に伴奏をつけて練習する。（毎日合計20分以上）	
3	歌のレパートリーを増やそう ～伴奏の練習から弾き歌いへ～	練習した弾き歌いを定着させてレパートリーとして保つ。（毎日20分以上）	
4	課題曲の理解 ～レベルに応じた伴奏の決定と練習～	課題曲（旋律・伴奏・弾き歌い）に取り組む。（毎日20分以上）	
5	発表予定課題曲の練習 ～歌とピアノのバランスを考える～	課題曲を完成する。（毎日20分以上）	
6	中間発表会(1) ～1-2曲を発表し、人前での弾き歌いを体験する～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて、残りの課題曲を練習する。余裕があれば、課題曲以外にも取り組む。（毎日合計20分以上）	
7	課題曲の練習 ～自由曲について今後の方針を決定する～	決められた曲を練習する。それ以外の楽曲にも目を向け、旋律だけでも弾いてみる。（毎日合計20分以上）	
8	発表予定弾き歌いの完成 ～歌の表現を深める～	授業時に指摘されたところを改善できるように練習する。（毎日20分以上）	
9	人前で弾き歌いをする練習 ～歌唱指導の基礎～	友達の演奏を聞いて気付いたことや自分の演奏の問題点をノートに書き出してみる。それに加えて、弾き歌いだけでなく歌唱指導の要素が入った場合、自分にはどのような技術が不足しているか振り返る。発表予定の曲について完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
10	中間発表会(2) ～人前での演奏において平常心を保つことや歌と伴奏の調和の達成をめざす～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて練習する。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて ～演奏する曲の決定と練習～	決められた曲を練習する。（毎日20分以上）	
12	発表会に演奏予定の曲を完成する	一層完成度を高め、明るい表現やバランスの取れた弾き歌いをめざす。発表会に演奏予定以外の曲にも目を向ける。（毎日合計20分以上）	
13	人前で自分を表現できる練習 ～歌唱指導の基礎～	発表予定の曲について安定した演奏ができるように練習する。歌唱指導の反省点や学びについて記録しておく。（毎日合計20分以上）	
14	まとめの発表会	担当教員からの講評をもとに振り返る。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		発表した課題曲や自由曲、これまでに取り組んだ曲をレパートリーとして保つ。 後期課題曲より1曲以上を選び、練習する。 （毎日合計20分以上）	
15	後期「子どもと音楽表現II」課題曲の研究とレベルに応じた伴奏の決定	後期課題曲を含め、レパートリーを増やすことを心がけて夏休みを過ごし、「子どもと音楽表現II」の授業でその成果を披露できるように計画的に練習を続ける。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI181

授業形態： 演習

科目名： 子どもと音楽表現 【保B】

担当教員： 西村 京子(NISHIMURA Kyoko)

### 【授業の紹介】

子どもの発達に音楽が果たす役割は非常に大きくまた重要で、保育所、幼稚園、認定こども園において音楽は生活の一部として取り入れられています。保育所、幼稚園、認定こども園で日常的に用いられている音楽の演奏や季節の歌などの弾き歌いに重点を置いてレパートリーを増やすとともに、さまざまな教材を用いて音楽表現の基本的知識・技術を習得し、感性を豊かにすることをめざします。本授業科目は保育学科の卒業必修科目です。また幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得のための必修科目でもあります。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisigma74です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2．自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

### 【到達目標】

1. 音楽表現の専門的知識と技術の基礎を身につけることができる。
2. 実際に演奏することで表現することの楽しさを実感することができる。
3. 他者の音楽表現を聴くことで、イメージを豊かにすることができる。
4. 音楽表現の基礎技能を基盤とした保育実践力と創造力を身につけることができる。

### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価します。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックします。

### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)。

### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、文部科学省、厚生労働省、2017年3月告示)

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～音楽経験の調査と演奏曲目の決定～	ピアノ演奏および弾き歌いの技術向上のためには毎日のコンスタントな練習が最も効果的です。後期開講の当該科目にも含め、年間を通して毎日練習し、その成果を持って次の授業に臨むようにしてください。配布した基礎知識に関する課題に記入し次回に提出する（毎日合計20分以上）。	
2	楽譜に関する基礎知識の確認 歌のレパートリーを増やそう ～知っている歌の旋律を弾く～ ～旋律を弾きながら歌う～	読譜に慣れるための練習シートに記入して次回に提出する。季節の歌(春夏)について調べ、歌詞も覚えて歌えるようにする。授業で扱った旋律に伴奏をつけて練習する。（毎日合計20分以上）	
3	歌のレパートリーを増やそう ～伴奏の練習から弾き歌いへ～	練習した弾き歌いを定着させてレパートリーとして保つ。（毎日20分以上）	
4	課題曲の理解 ～レベルに応じた伴奏の決定と練習～	課題曲（旋律・伴奏・弾き歌い）に取り組む。（毎日20分以上）	
5	発表予定課題曲の練習 ～歌とピアノのバランスを考える～	課題曲を完成する。（毎日20分以上）	
6	中間発表会(1) ～1-2曲を発表し、人前での弾き歌いを体験する～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて、残りの課題曲を練習する。余裕があれば、課題曲以外にも取り組む。（毎日合計20分以上）	
7	課題曲の練習 ～自由曲について今後の方針を決定する～	決められた曲を練習する。それ以外の楽曲にも目を向け、旋律だけでも弾いてみる。（毎日合計20分以上）	
8	発表予定弾き歌いの完成 ～歌の表現を深める～	授業時に指摘されたところを改善できるように練習する。（毎日20分以上）	
9	人前で弾き歌いをする練習 ～歌唱指導の基礎～	友達の演奏を聞いて気付いたことや自分の演奏の問題点をノートに書き出してみる。それに加えて、弾き歌いだけでなく歌唱指導の要素が入った場合、自分にはどのような技術が不足しているか振り返る。発表予定の曲について完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
10	中間発表会(2) ～人前での演奏において平常心を保つことや歌と伴奏の調和の達成をめざす～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて練習する。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて ～演奏する曲の決定と練習～	決められた曲を練習する。（毎日20分以上）	
12	発表会に演奏予定の曲を完成する	一層完成度を高め、明るい表現やバランスの取れた弾き歌いをめざす。発表会に演奏予定以外の曲にも目を向ける。（毎日合計20分以上）	
13	人前で自分を表現できる練習 ～歌唱指導の基礎～	発表予定の曲について安定した演奏ができるように練習する。歌唱指導の反省点や学びについて記録しておく。（毎日合計20分以上）	
14	まとめの発表会	担当教員からの講評をもとに振り返る。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		発表した課題曲や自由曲、これまでに取り組んだ曲をレパートリーとして保つ。 後期課題曲より1曲以上を選び、練習する。 （毎日合計20分以上）	
15	後期「子どもと音楽表現II」課題曲の研究とレベルに応じた伴奏の決定	後期課題曲を含め、レパートリーを増やすことを心がけて夏休みを過ごし、「子どもと音楽表現II」の授業でその成果を披露できるように計画的に練習を続ける。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI181  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもと音楽表現 【保B】  
担当教員： 渡辺 磨奈(WATANABE Mana)

#### 【授業の紹介】

子どもの発達に音楽が果たす役割は非常に大きくまた重要で、保育所、幼稚園、認定こども園において音楽は生活の一部として取り入れられています。保育所、幼稚園、認定こども園で日常的に用いられている音楽の演奏や季節の歌などの弾き歌いに重点を置いてレパートリーを増やすとともに、さまざまな教材を用いて音楽表現の基本的知識・技術を習得し、感性を豊かにすることをめざします。本授業科目は保育学科の卒業必修科目です。また幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得のための必修科目でもあります。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisigma74です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

#### 【到達目標】

1. 音楽表現の専門的知識と技術の基礎を身につけることができる。
2. 実際に演奏することで表現することの楽しさを実感することができる。
3. 他者の音楽表現を聴くことで、イメージを豊かにすることができる。
4. 音楽表現の基礎技能を基盤とした保育実践力と創造力を身につけることができる。

#### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価します。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックします。

#### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)。

#### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、文部科学省、厚生労働省、2017年3月告示)

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～音楽経験の調査と演奏曲目の決定～	ピアノ演奏および弾き歌いの技術向上のためには毎日のコンスタントな練習が最も効果的です。後期開講の当該科目にも含め、年間を通して毎日練習し、その成果を持って次の授業に臨むようにしてください。配布した基礎知識に関する課題に記入し次回に提出する（毎日合計20分以上）。	
2	楽譜に関する基礎知識の確認 歌のレパートリーを増やそう ～知っている歌の旋律を弾く～ ～旋律を弾きながら歌う～	読譜に慣れるための練習シートに記入して次回に提出する。季節の歌(春夏)について調べ、歌詞も覚えて歌えるようにする。授業で扱った旋律に伴奏をつけて練習する。（毎日合計20分以上）	
3	歌のレパートリーを増やそう ～伴奏の練習から弾き歌いへ～	練習した弾き歌いを定着させてレパートリーとして保つ。（毎日20分以上）	
4	課題曲の理解 ～レベルに応じた伴奏の決定と練習～	課題曲（旋律・伴奏・弾き歌い）に取り組む。（毎日20分以上）	
5	発表予定課題曲の練習 ～歌とピアノのバランスを考える～	課題曲を完成する。（毎日20分以上）	
6	中間発表会(1) ～1-2曲を発表し、人前での弾き歌いを体験する～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて、残りの課題曲を練習する。余裕があれば、課題曲以外にも取り組む。（毎日合計20分以上）	
7	課題曲の練習 ～自由曲について今後の方針を決定する～	決められた曲を練習する。それ以外の楽曲にも目を向け、旋律だけでも弾いてみる。（毎日合計20分以上）	
8	発表予定弾き歌いの完成 ～歌の表現を深める～	授業時に指摘されたところを改善できるように練習する。（毎日20分以上）	
9	人前で弾き歌いをする練習 ～歌唱指導の基礎～	友達の演奏を聞いて気付いたことや自分の演奏の問題点をノートに書き出してみる。それに加えて、弾き歌いだけでなく歌唱指導の要素が入った場合、自分にはどのような技術が不足しているか振り返る。発表予定の曲について完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
10	中間発表会(2) ～人前での演奏において平常心を保つことや歌と伴奏の調和の達成をめざす～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて練習する。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて ～演奏する曲の決定と練習～	決められた曲を練習する。（毎日20分以上）	
12	発表会に演奏予定の曲を完成する	一層完成度を高め、明るい表現やバランスの取れた弾き歌いをめざす。発表会に演奏予定以外の曲にも目を向ける。（毎日合計20分以上）	
13	人前で自分を表現できる練習 ～歌唱指導の基礎～	発表予定の曲について安定した演奏ができるように練習する。歌唱指導の反省点や学びについて記録しておく。（毎日合計20分以上）	
14	まとめの発表会	担当教員からの講評をもとに振り返る。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		発表した課題曲や自由曲、これまでに取り組んだ曲をレパートリーとして保つ。 後期課題曲より1曲以上を選び、練習する。 （毎日合計20分以上）	
15	後期「子どもと音楽表現II」課題曲の研究とレベルに応じた伴奏の決定	後期課題曲を含め、レパートリーを増やすことを心がけて夏休みを過ごし、「子どもと音楽表現II」の授業でその成果を披露できるように計画的に練習を続ける。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI181  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもと音楽表現 【保B】  
担当教員： 柴田 玲子(SHIBATA Reiko)

#### 【授業の紹介】

子どもの発達に音楽が果たす役割は非常に大きくまた重要で、保育所、幼稚園、認定こども園において音楽は生活の一部として取り入れられています。保育所、幼稚園、認定こども園で日常的に用いられている音楽の演奏や季節の歌などの弾き歌いに重点を置いてレパートリーを増やすとともに、さまざまな教材を用いて音楽表現の基本的知識・技術を習得し、感性を豊かにすることをめざします。本授業科目は保育学科の卒業必修科目です。また幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得のための必修科目でもあります。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisigma74です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2．自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

#### 【到達目標】

1. 音楽表現の専門的知識と技術の基礎を身につけることができる。
2. 実際に演奏することで表現することの楽しさを実感することができる。
3. 他者の音楽表現を聴くことで、イメージを豊かにすることができる。
4. 音楽表現の基礎技能を基盤とした保育実践力と創造力を身につけることができる。

#### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価します。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックします。

#### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)。

#### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府、文部科学省、厚生労働省、2017年3月告示)

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～音楽経験の調査と演奏曲目の決定～	ピアノ演奏および弾き歌いの技術向上のためには毎日のコンスタントな練習が最も効果的です。後期開講の当該科目にも含め、年間を通して毎日練習し、その成果を持って次の授業に臨むようにしてください。配布した基礎知識に関する課題に記入し次回に提出する（毎日合計20分以上）。	
2	楽譜に関する基礎知識の確認 歌のレパートリーを増やそう ～知っている歌の旋律を弾く～ ～旋律を弾きながら歌う～	読譜に慣れるための練習シートに記入して次回に提出する。季節の歌(春夏)について調べ、歌詞も覚えて歌えるようにする。授業で扱った旋律に伴奏をつけて練習する。（毎日合計20分以上）	
3	歌のレパートリーを増やそう ～伴奏の練習から弾き歌いへ～	練習した弾き歌いを定着させてレパートリーとして保つ。（毎日20分以上）	
4	課題曲の理解 ～レベルに応じた伴奏の決定と練習～	課題曲（旋律・伴奏・弾き歌い）に取り組む。（毎日20分以上）	
5	発表予定課題曲の練習 ～歌とピアノのバランスを考える～	課題曲を完成する。（毎日20分以上）	
6	中間発表会(1) ～1-2曲を発表し、人前での弾き歌いを体験する～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて、残りの課題曲を練習する。余裕があれば、課題曲以外にも取り組む。（毎日合計20分以上）	
7	課題曲の練習 ～自由曲について今後の方針を決定する～	決められた曲を練習する。それ以外の楽曲にも目を向け、旋律だけでも弾いてみる。（毎日合計20分以上）	
8	発表予定弾き歌いの完成 ～歌の表現を深める～	授業時に指摘されたところを改善できるように練習する。（毎日20分以上）	
9	人前で弾き歌いをする練習 ～歌唱指導の基礎～	友達の演奏を聞いて気付いたことや自分の演奏の問題点をノートに書き出してみる。それに加えて、弾き歌いだけでなく歌唱指導の要素が入った場合、自分にはどのような技術が不足しているか振り返る。発表予定の曲について完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
10	中間発表会(2) ～人前での演奏において平常心を保つことや歌と伴奏の調和の達成をめざす～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した課題曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて練習する。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて ～演奏する曲の決定と練習～	決められた曲を練習する。（毎日20分以上）	
12	発表会に演奏予定の曲を完成する	一層完成度を高め、明るい表現やバランスの取れた弾き歌いをめざす。発表会に演奏予定以外の曲にも目を向ける。（毎日合計20分以上）	
13	人前で自分を表現できる練習 ～歌唱指導の基礎～	発表予定の曲について安定した演奏ができるように練習する。歌唱指導の反省点や学びについて記録しておく。（毎日合計20分以上）	
14	まとめの発表会	担当教員からの講評をもとに振り返る。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		発表した課題曲や自由曲、これまでに取り組んだ曲をレパートリーとして保つ。 後期課題曲より1曲以上を選び、練習する。 （毎日合計20分以上）	
15	後期「子どもと音楽表現II」課題曲の研究とレベルに応じた伴奏の決定	後期課題曲を含め、レパートリーを増やすことを心がけて夏休みを過ごし、「子どもと音楽表現II」の授業でその成果を披露できるように計画的に練習を続ける。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI182  
 授業形態： 演習  
 科目名： 子どもと音楽表現 【保A】  
 担当教員： 柴田 玲子(SHIBATA Reiko)

【授業の紹介】

子どもと音楽表現Iで修得した音楽表現の基礎的な知識を深めるとともに、レパートリーを増やし、音楽表現技術のさらなる向上をめざします。また、他の学生の演奏を聴いたり一緒に歌ったりすること、そして模擬的な歌唱指導に取り組みます。本授業科目は幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目、及び保育士資格取得のための選択必修科目です。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisgma74です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

【到達目標】

1. 音楽表現の指導法に関する理論的基盤を習得することができる。
2. さまざまな表現を体験することによって、表現技術の多様性に気づくことができる。
3. 協働して表現することによって、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。
4. 保育実践力をさらに高めることができる。
5. 教材研究により音楽の役割を理解することができる。

【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価する。  
 発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックする。

【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)

【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
 保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
 幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～「子どもと音楽表現I」における課題を各自で振り返り、本授業でめざすことを明確化した上で楽曲に取り組む～	「子どもと音楽表現I」で身に付けた「毎日のコンスタントな練習」を継続し、音楽表現技術のさらなる向上に努める。 また、観察参加や大学祭で子どもたちと触れ合う機会にうたやリズムなど、子どもの音楽的表現に注目し、気付いたことをノートに記録する。（毎日合計20分以上）	
2	夏休みに練習した曲について余裕を持って弾き歌いできるように完成度を高める	弾き歌いの練習。 課題曲に取り組む。 季節の歌(秋冬)について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
3	人前で演奏し、その場にいる人から共感を得ることができるような表現をめざす ～グループの友達と相互に高め合うことができるように活動を工夫する～	弾き歌いの練習。 発表会に向けて課題曲・自由曲の弾き歌いがより表現豊かになるように取り組む。友達の演奏から新しく発見できたことをノートに書き出し、自分の演奏に反映させる。 発表会に向けて完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
4	中間発表会(1) ～夏休みの成果を振り返る～	担当教員からの講評をもとに振り返る。 発表した課題曲をレパートリーとして保つ。 次回発表会に向けて曲を選択し練習する。 課題曲のすべてが合格した者は、これ以後、弾き歌い自由曲と共にピアノ曲も選択して練習を開始する。（毎日合計20分以上）	
5	ピアノ演奏法について各自の問題点を再確認、歌についても子どもに伝わる表現になっているかを考え、担当教員の指導を参考に練習に反映する	授業で扱った曲について指摘されたところが修正できるように練習を工夫する。動物の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
6	各自が取り組む曲についてピアノや歌の問題点を修正しながら安定した弾き歌いになるように練習する	完成度を高めるために練習法を工夫する。生活の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
7	発表会で演奏する曲を完成する	弾き歌いの練習。手遊び歌について調べ、動作と共に歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
8	人前で演奏する練習 ～子どもにもわかりやすい表現になっているか相互に話し合う～	弾き歌いの練習。 歌とピアノのバランス、歌詞に合った表現に気をつける。「ほいくのくに」で発見した子どもの言動に見られる音楽的表現をノートに書き留め、次々回の授業で発表する。（毎日合計20分以上）	
9	中間発表会(2) ～弾き歌い課題曲・自由曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて曲を選択し練習する。（毎日合計20分以上）	
10	新しく練習した曲の指導を受ける ～弾き歌いのレパートリーを豊かに～	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。行事に関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて演奏する曲を再確認・決定する	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。クリスマスに関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
12	弾き歌いのレパートリーを豊かに ～今後どのような曲を弾いていきたいか考	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。発表会に向けて指摘された部分を修正できるように工	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	え、担当教員と各自のレベルにあった楽譜について相談する～	夫して練習する。（毎日合計20分以上）	
13	グループ内発表会 ～前期「子どもと音楽表現」と併せて9ヶ月間の学びを振り返る～	発表会に向けて安定した演奏になるように時間をかけて練習する。（毎日20分以上）	
14	まとめの発表会 ～弾き歌い課題曲・自由曲・ピアノ曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つため各自で練習する。（毎日合計20分以上）	
15	弾き歌いのまとめ ～実習に向けた準備、就職活動におけるピアノの必要性～	1年間取り組んできた弾き歌い・ピアノの今後も維持していくために、鍵盤に触れる機会をなるべく多く取る。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI182

授業形態： 演習

科目名： 子どもと音楽表現 【保A】

担当教員： 西村 京子(NISHIMURA Kyoko)

### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現Iで修得した音楽表現の基礎的な知識を深めるとともに、レパートリーを増やし、音楽表現技術のさらなる向上をめざします。また、他の学生の演奏を聴いたり一緒に歌ったりすること、そして模擬的な歌唱指導に取り組みます。本授業科目は幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目、及び保育士資格取得のための選択必修科目です。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisgma74です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

### 【到達目標】

1. 音楽表現の指導法に関する理論的基盤を習得することができる。
2. さまざまな表現を体験することによって、表現技術の多様性に気づくことができる。
3. 協働して表現することによって、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。
4. 保育実践力をさらに高めることができる。
5. 教材研究により音楽の役割を理解することができる。

### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価する。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックする。

### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)

### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示)

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～「子どもと音楽表現I」における課題を各自で振り返り、本授業でめざすことを明確化した上で楽曲に取り組む～	「子どもと音楽表現I」で身に付けた「毎日のコンスタントな練習」を継続し、音楽表現技術のさらなる向上に努める。 また、観察参加や大学祭で子どもたちと触れ合う機会にうたやリズムなど、子どもの音楽的表現に注目し、気付いたことをノートに記録する。（毎日合計20分以上）	
2	夏休みに練習した曲について余裕を持って弾き歌いできるように完成度を高める	弾き歌いの練習。 課題曲に取り組む。 季節の歌(秋冬)について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
3	人前で演奏し、その場にいる人から共感を得ることができるような表現をめざす ～グループの友達と相互に高め合うことができるように活動を工夫する～	弾き歌いの練習。 発表会に向けて課題曲・自由曲の弾き歌いがより表現豊かになるように取り組む。友達の演奏から新しく発見できたことをノートに書き出し、自分の演奏に反映させる。 発表会に向けて完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
4	中間発表会(1) ～夏休みの成果を振り返る～	担当教員からの講評をもとに振り返る。 発表した課題曲をレパートリーとして保つ。 次回発表会に向けて曲を選択し練習する。 課題曲のすべてが合格した者は、これ以後、弾き歌い自由曲と共にピアノ曲も選択して練習を開始する。（毎日合計20分以上）	
5	ピアノ演奏法について各自の問題点を再確認、歌についても子どもに伝わる表現になっているかを考え、担当教員の指導を参考に練習に反映する	授業で扱った曲について指摘されたところが修正できるように練習を工夫する。動物の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
6	各自が取り組む曲についてピアノや歌の問題点を修正しながら安定した弾き歌いになるように練習する	完成度を高めるために練習法を工夫する。生活の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
7	発表会で演奏する曲を完成する	弾き歌いの練習。手遊び歌について調べ、動作と共に歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
8	人前で演奏する練習 ～子どもにもわかりやすい表現になっているか相互に話し合う～	弾き歌いの練習。 歌とピアノのバランス、歌詞に合った表現に気をつける。「ほいくのくに」で発見した子どもの言動に見られる音楽的表現をノートに書き留め、次々回の授業で発表する。（毎日合計20分以上）	
9	中間発表会(2) ～弾き歌い課題曲・自由曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて曲を選択し練習する。（毎日合計20分以上）	
10	新しく練習した曲の指導を受ける ～弾き歌いのレパートリーを豊かに～	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。行事に関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて演奏する曲を再確認・決定する	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。クリスマスに関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
12	弾き歌いのレパートリーを豊かに ～今後どのような曲を弾いていきたいか考	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。発表会に向けて指摘された部分を修正できるように工	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	え、担当教員と各自のレベルにあった楽譜について相談する～	夫して練習する。（毎日合計20分以上）	
13	グループ内発表会 ～前期「子どもと音楽表現」と併せて9ヶ月間の学びを振り返る～	発表会に向けて安定した演奏になるように時間をかけて練習する。（毎日20分以上）	
14	まとめの発表会 ～弾き歌い課題曲・自由曲・ピアノ曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つため各自で練習する。（毎日合計20分以上）	
15	弾き歌いのまとめ ～実習に向けた準備、就職活動におけるピアノの必要性～	1年間取り組んできた弾き歌い・ピアノの今後も維持していくために、鍵盤に触れる機会をなるべく多く取る。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI182  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもと音楽表現 【保A】  
担当教員： 渡辺 磨奈(WATANABE Mana)

#### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現Iで修得した音楽表現の基礎的な知識を深めるとともに、レパートリーを増やし、音楽表現技術のさらなる向上をめざします。また、他の学生の演奏を聴いたり一緒に歌ったりすること、そして模擬的な歌唱指導に取り組みます。本授業科目は幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目、及び保育士資格取得のための選択必修科目です。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisgma74です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

#### 【到達目標】

1. 音楽表現の指導法に関する理論的基盤を習得することができる。
2. さまざまな表現を体験することによって、表現技術の多様性に気づくことができる。
3. 協働して表現することによって、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。
4. 保育実践力をさらに高めることができる。
5. 教材研究により音楽の役割を理解することができる。

#### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価する。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックする。

#### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)

#### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示)

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～「子どもと音楽表現I」における課題を各自で振り返り、本授業でめざすことを明確化した上で楽曲に取り組む～	「子どもと音楽表現I」で身に付けた「毎日のコンスタントな練習」を継続し、音楽表現技術のさらなる向上に努める。 また、観察参加や大学祭で子どもたちと触れ合う機会にうたやリズムなど、子どもの音楽的表現に注目し、気付いたことをノートに記録する。（毎日合計20分以上）	
2	夏休みに練習した曲について余裕を持って弾き歌いできるように完成度を高める	弾き歌いの練習。 課題曲に取り組む。 季節の歌(秋冬)について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
3	人前で演奏し、その場にいる人から共感を得ることができるような表現をめざす ～グループの友達と相互に高め合うことができるように活動を工夫する～	弾き歌いの練習。 発表会に向けて課題曲・自由曲の弾き歌いがより表現豊かになるように取り組む。友達の演奏から新しく発見できたことをノートに書き出し、自分の演奏に反映させる。 発表会に向けて完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
4	中間発表会(1) ～夏休みの成果を振り返る～	担当教員からの講評をもとに振り返る。 発表した課題曲をレパートリーとして保つ。 次回発表会に向けて曲を選択し練習する。 課題曲のすべてが合格した者は、これ以後、弾き歌い自由曲と共にピアノ曲も選択して練習を開始する。（毎日合計20分以上）	
5	ピアノ演奏法について各自の問題点を再確認、歌についても子どもに伝わる表現になっているかを考え、担当教員の指導を参考に練習に反映する	授業で扱った曲について指摘されたところが修正できるように練習を工夫する。動物の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
6	各自が取り組む曲についてピアノや歌の問題点を修正しながら安定した弾き歌いになるように練習する	完成度を高めるために練習法を工夫する。生活の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
7	発表会で演奏する曲を完成する	弾き歌いの練習。手遊び歌について調べ、動作と共に歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
8	人前で演奏する練習 ～子どもにもわかりやすい表現になっているか相互に話し合う～	弾き歌いの練習。 歌とピアノのバランス、歌詞に合った表現に気をつける。「ほいくのくに」で発見した子どもの言動に見られる音楽的表現をノートに書き留め、次々回の授業で発表する。（毎日合計20分以上）	
9	中間発表会(2) ～弾き歌い課題曲・自由曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて曲を選択し練習する。（毎日合計20分以上）	
10	新しく練習した曲の指導を受ける ～弾き歌いのレパートリーを豊かに～	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。行事に関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて演奏する曲を再確認・決定する	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。クリスマスに関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
12	弾き歌いのレパートリーを豊かに ～今後どのような曲を弾いていきたいか考	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。発表会に向けて指摘された部分を修正できるように工	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	え、担当教員と各自のレベルにあった楽譜について相談する～	夫して練習する。（毎日合計20分以上）	
13	グループ内発表会 ～前期「子どもと音楽表現」と併せて9ヶ月間の学びを振り返る～	発表会に向けて安定した演奏になるように時間をかけて練習する。（毎日20分以上）	
14	まとめの発表会 ～弾き歌い課題曲・自由曲・ピアノ曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つため各自で練習する。（毎日合計20分以上）	
15	弾き歌いのまとめ ～実習に向けた準備、就職活動におけるピアノの必要性～	1年間取り組んできた弾き歌い・ピアノの今後も維持していくために、鍵盤に触れる機会をなるべく多く取る。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI182

授業形態： 演習

科目名： 子どもと音楽表現 【保A】

担当教員： 出木浦 孝(DEKIURA Takashi)

### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現Iで修得した音楽表現の基礎的な知識を深めるとともに、レパートリーを増やし、音楽表現技術のさらなる向上をめざします。また、他の学生の演奏を聴いたり一緒に歌ったりすること、そして模擬的な歌唱指導に取り組みます。本授業科目は幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目、及び保育士資格取得のための選択必修科目です。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisgma74です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

### 【到達目標】

1. 音楽表現の指導法に関する理論的基盤を習得することができる。
2. さまざまな表現を体験することによって、表現技術の多様性に気づくことができる。
3. 協働して表現することによって、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。
4. 保育実践力をさらに高めることができる。
5. 教材研究により音楽の役割を理解することができる。

### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価する。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックする。

### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)

### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示)

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～「子どもと音楽表現I」における課題を各自で振り返り、本授業でめざすことを明確化した上で楽曲に取り組む～	「子どもと音楽表現I」で身に付けた「毎日のコンスタントな練習」を継続し、音楽表現技術のさらなる向上に努める。 また、観察参加や大学祭で子どもたちと触れ合う機会にうたやリズムなど、子どもの音楽的表現に注目し、気付いたことをノートに記録する。（毎日合計20分以上）	
2	夏休みに練習した曲について余裕を持って弾き歌いできるように完成度を高める	弾き歌いの練習。 課題曲に取り組む。 季節の歌(秋冬)について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
3	人前で演奏し、その場にいる人から共感を得ることができるような表現をめざす ～グループの友達と相互に高め合うことができるように活動を工夫する～	弾き歌いの練習。 発表会に向けて課題曲・自由曲の弾き歌いがより表現豊かになるように取り組む。友達の演奏から新しく発見できたことをノートに書き出し、自分の演奏に反映させる。 発表会に向けて完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
4	中間発表会(1) ～夏休みの成果を振り返る～	担当教員からの講評をもとに振り返る。 発表した課題曲をレパートリーとして保つ。 次回発表会に向けて曲を選択し練習する。 課題曲のすべてが合格した者は、これ以後、弾き歌い自由曲と共にピアノ曲も選択して練習を開始する。（毎日合計20分以上）	
5	ピアノ演奏法について各自の問題点を再確認、歌についても子どもに伝わる表現になっているかを考え、担当教員の指導を参考に練習に反映する	授業で扱った曲について指摘されたところが修正できるように練習を工夫する。動物の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
6	各自が取り組む曲についてピアノや歌の問題点を修正しながら安定した弾き歌いになるように練習する	完成度を高めるために練習法を工夫する。生活の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
7	発表会で演奏する曲を完成する	弾き歌いの練習。手遊び歌について調べ、動作と共に歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
8	人前で演奏する練習 ～子どもにもわかりやすい表現になっているか相互に話し合う～	弾き歌いの練習。 歌とピアノのバランス、歌詞に合った表現に気をつける。「ほいくのくに」で発見した子どもの言動に見られる音楽的表現をノートに書き留め、次々回の授業で発表する。（毎日合計20分以上）	
9	中間発表会(2) ～弾き歌い課題曲・自由曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて曲を選択し練習する。（毎日合計20分以上）	
10	新しく練習した曲の指導を受ける ～弾き歌いのレパートリーを豊かに～	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。行事に関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて演奏する曲を再確認・決定する	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。クリスマスに関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
12	弾き歌いのレパートリーを豊かに ～今後どのような曲を弾いていきたいか考	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。発表会に向けて指摘された部分を修正できるように工	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	え、担当教員と各自のレベルにあった楽譜について相談する～	夫して練習する。（毎日合計20分以上）	
13	グループ内発表会 ～前期「子どもと音楽表現」と併せて9ヶ月間の学びを振り返る～	発表会に向けて安定した演奏になるように時間をかけて練習する。（毎日20分以上）	
14	まとめの発表会 ～弾き歌い課題曲・自由曲・ピアノ曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つため各自で練習する。（毎日合計20分以上）	
15	弾き歌いのまとめ ～実習に向けた準備、就職活動におけるピアノの必要性～	1年間取り組んできた弾き歌い・ピアノの今後も維持していくために、鍵盤に触れる機会をなるべく多く取る。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI182

授業形態： 演習

科目名： 子どもと音楽表現 【保B】

担当教員： 出木浦 孝(DEKIURA Takashi)

### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現Iで修得した音楽表現の基礎的な知識を深めるとともに、レパートリーを増やし、音楽表現技術のさらなる向上をめざします。また、他の学生の演奏を聴いたり一緒に歌ったりすること、そして模擬的な歌唱指導に取り組みます。本授業科目は幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目、及び保育士資格取得のための選択必修科目です。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisgma74です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

### 【到達目標】

1. 音楽表現の指導法に関する理論的基盤を習得することができる。
2. さまざまな表現を体験することによって、表現技術の多様性に気づくことができる。
3. 協働して表現することによって、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。
4. 保育実践力をさらに高めることができる。
5. 教材研究により音楽の役割を理解することができる。

### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価する。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックする。

### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)

### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示)

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～「子どもと音楽表現I」における課題を各自で振り返り、本授業でめざすことを明確化した上で楽曲に取り組む～	「子どもと音楽表現I」で身に付けた「毎日のコンスタントな練習」を継続し、音楽表現技術のさらなる向上に努める。 また、観察参加や大学祭で子どもたちと触れ合う機会にうたやリズムなど、子どもの音楽的表現に注目し、気付いたことをノートに記録する。（毎日合計20分以上）	
2	夏休みに練習した曲について余裕を持って弾き歌いできるように完成度を高める	弾き歌いの練習。 課題曲に取り組む。 季節の歌(秋冬)について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
3	人前で演奏し、その場にいる人から共感を得ることができるような表現をめざす ～グループの友達と相互に高め合うことができるように活動を工夫する～	弾き歌いの練習。 発表会に向けて課題曲・自由曲の弾き歌いがより表現豊かになるように取り組む。友達との演奏から新しく発見できたことをノートに書き出し、自分の演奏に反映させる。 発表会に向けて完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
4	中間発表会(1) ～夏休みの成果を振り返る～	担当教員からの講評をもとに振り返る。 発表した課題曲をレパートリーとして保つ。 次回発表会に向けて曲を選択し練習する。 課題曲のすべてが合格した者は、これ以後、弾き歌い自由曲と共にピアノ曲も選択して練習を開始する。（毎日合計20分以上）	
5	ピアノ演奏法について各自の問題点を再確認、歌についても子どもに伝わる表現になっているかを考え、担当教員の指導を参考に練習に反映する	授業で扱った曲について指摘されたところが修正できるように練習を工夫する。動物の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
6	各自が取り組む曲についてピアノや歌の問題点を修正しながら安定した弾き歌いになるように練習する	完成度を高めるために練習法を工夫する。生活の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
7	発表会で演奏する曲を完成する	弾き歌いの練習。手遊び歌について調べ、動作と共に歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
8	人前で演奏する練習 ～子どもにもわかりやすい表現になっているか相互に話し合う～	弾き歌いの練習。 歌とピアノのバランス、歌詞に合った表現に気をつける。「ほいくのくに」で発見した子どもの言動に見られる音楽的表現をノートに書き留め、次々回の授業で発表する。（毎日合計20分以上）	
9	中間発表会(2) ～弾き歌い課題曲・自由曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて曲を選択し練習する。（毎日合計20分以上）	
10	新しく練習した曲の指導を受ける ～弾き歌いのレパートリーを豊かに～	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。行事に関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて演奏する曲を再確認・決定する	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。クリスマスに関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
12	弾き歌いのレパートリーを豊かに ～今後どのような曲を弾いていきたいか考	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。発表会に向けて指摘された部分を修正できるように工	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	え、担当教員と各自のレベルにあった楽譜について相談する～	夫して練習する。（毎日合計20分以上）	
13	グループ内発表会 ～前期「子どもと音楽表現」と併せて9ヶ月間の学びを振り返る～	発表会に向けて安定した演奏になるように時間をかけて練習する。（毎日20分以上）	
14	まとめの発表会 ～弾き歌い課題曲・自由曲・ピアノ曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つため各自で練習する。（毎日合計20分以上）	
15	弾き歌いのまとめ ～実習に向けた準備、就職活動におけるピアノの必要性～	1年間取り組んできた弾き歌い・ピアノの今後も維持していくために、鍵盤に触れる機会をなるべく多く取る。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI182

授業形態： 演習

科目名： 子どもと音楽表現 【保B】

担当教員： 西村 京子(NISHIMURA Kyoko)

### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現Iで修得した音楽表現の基礎的な知識を深めるとともに、レパートリーを増やし、音楽表現技術のさらなる向上をめざします。また、他の学生の演奏を聴いたり一緒に歌ったりすること、そして模擬的な歌唱指導に取り組みます。本授業科目は幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目、及び保育士資格取得のための選択必修科目です。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisgma74です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

### 【到達目標】

1. 音楽表現の指導法に関する理論的基盤を習得することができる。
2. さまざまな表現を体験することによって、表現技術の多様性に気づくことができる。
3. 協働して表現することによって、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。
4. 保育実践力をさらに高めることができる。
5. 教材研究により音楽の役割を理解することができる。

### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価する。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックする。

### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)

### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示)

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～「子どもと音楽表現I」における課題を各自で振り返り、本授業でめざすことを明確化した上で楽曲に取り組む～	「子どもと音楽表現I」で身に付けた「毎日のコンスタントな練習」を継続し、音楽表現技術のさらなる向上に努める。 また、観察参加や大学祭で子どもたちと触れ合う機会にうたやリズムなど、子どもの音楽的表現に注目し、気付いたことをノートに記録する。（毎日合計20分以上）	
2	夏休みに練習した曲について余裕を持って弾き歌いできるように完成度を高める	弾き歌いの練習。 課題曲に取り組む。 季節の歌(秋冬)について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
3	人前で演奏し、その場にいる人から共感を得ることができるような表現をめざす ～グループの友達と相互に高め合うことができるように活動を工夫する～	弾き歌いの練習。 発表会に向けて課題曲・自由曲の弾き歌いがより表現豊かになるように取り組む。友達の演奏から新しく発見できたことをノートに書き出し、自分の演奏に反映させる。 発表会に向けて完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
4	中間発表会(1) ～夏休みの成果を振り返る～	担当教員からの講評をもとに振り返る。 発表した課題曲をレパートリーとして保つ。 次回発表会に向けて曲を選択し練習する。 課題曲のすべてが合格した者は、これ以後、弾き歌い自由曲と共にピアノ曲も選択して練習を開始する。（毎日合計20分以上）	
5	ピアノ演奏法について各自の問題点を再確認、歌についても子どもに伝わる表現になっているかを考え、担当教員の指導を参考に練習に反映する	授業で扱った曲について指摘されたところが修正できるように練習を工夫する。動物の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
6	各自が取り組む曲についてピアノや歌の問題点を修正しながら安定した弾き歌いになるように練習する	完成度を高めるために練習法を工夫する。生活の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
7	発表会で演奏する曲を完成する	弾き歌いの練習。手遊び歌について調べ、動作と共に歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
8	人前で演奏する練習 ～子どもにもわかりやすい表現になっているか相互に話し合う～	弾き歌いの練習。 歌とピアノのバランス、歌詞に合った表現に気をつける。「ほいくのくに」で発見した子どもの言動に見られる音楽的表現をノートに書き留め、次々回の授業で発表する。（毎日合計20分以上）	
9	中間発表会(2) ～弾き歌い課題曲・自由曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて曲を選択し練習する。（毎日合計20分以上）	
10	新しく練習した曲の指導を受ける ～弾き歌いのレパートリーを豊かに～	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。行事に関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて演奏する曲を再確認・決定する	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。クリスマスに関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
12	弾き歌いのレパートリーを豊かに ～今後どのような曲を弾いていきたいか考	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。発表会に向けて指摘された部分を修正できるように工	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	え、担当教員と各自のレベルにあった楽譜について相談する～	夫して練習する。（毎日合計20分以上）	
13	グループ内発表会 ～前期「子どもと音楽表現」と併せて9ヶ月間の学びを振り返る～	発表会に向けて安定した演奏になるように時間をかけて練習する。（毎日20分以上）	
14	まとめの発表会 ～弾き歌い課題曲・自由曲・ピアノ曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つため各自で練習する。（毎日合計20分以上）	
15	弾き歌いのまとめ ～実習に向けた準備、就職活動におけるピアノの必要性～	1年間取り組んできた弾き歌い・ピアノの今後も維持していくために、鍵盤に触れる機会をなるべく多く取る。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI182  
授業形態： 演習  
科目名： 子どもと音楽表現 【保B】  
担当教員： 渡辺 磨奈(WATANABE Mana)

#### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現Iで修得した音楽表現の基礎的な知識を深めるとともに、レパートリーを増やし、音楽表現技術のさらなる向上をめざします。また、他の学生の演奏を聴いたり一緒に歌ったりすること、そして模擬的な歌唱指導に取り組みます。本授業科目は幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目、及び保育士資格取得のための選択必修科目です。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisgma74です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

#### 【到達目標】

1. 音楽表現の指導法に関する理論的基盤を習得することができる。
2. さまざまな表現を体験することによって、表現技術の多様性に気づくことができる。
3. 協働して表現することによって、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。
4. 保育実践力をさらに高めることができる。
5. 教材研究により音楽の役割を理解することができる。

#### 【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価する。  
発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックする。

#### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)

#### 【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示)

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～「子どもと音楽表現I」における課題を各自で振り返り、本授業でめざすことを明確化した上で楽曲に取り組む～	「子どもと音楽表現I」で身に付けた「毎日のコンスタントな練習」を継続し、音楽表現技術のさらなる向上に努める。 また、観察参加や大学祭で子どもたちと触れ合う機会にうたやリズムなど、子どもの音楽的表現に注目し、気付いたことをノートに記録する。（毎日合計20分以上）	
2	夏休みに練習した曲について余裕を持って弾き歌いできるように完成度を高める	弾き歌いの練習。 課題曲に取り組む。 季節の歌(秋冬)について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
3	人前で演奏し、その場にいる人から共感を得ることができるような表現をめざす ～グループの友達と相互に高め合うことができるように活動を工夫する～	弾き歌いの練習。 発表会に向けて課題曲・自由曲の弾き歌いがより表現豊かになるように取り組む。友達の演奏から新しく発見できたことをノートに書き出し、自分の演奏に反映させる。 発表会に向けて完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
4	中間発表会(1) ～夏休みの成果を振り返る～	担当教員からの講評をもとに振り返る。 発表した課題曲をレパートリーとして保つ。 次回発表会に向けて曲を選択し練習する。 課題曲のすべてが合格した者は、これ以後、弾き歌い自由曲と共にピアノ曲も選択して練習を開始する。（毎日合計20分以上）	
5	ピアノ演奏法について各自の問題点を再確認、歌についても子どもに伝わる表現になっているかを考え、担当教員の指導を参考に練習に反映する	授業で扱った曲について指摘されたところが修正できるように練習を工夫する。動物の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
6	各自が取り組む曲についてピアノや歌の問題点を修正しながら安定した弾き歌いになるように練習する	完成度を高めるために練習法を工夫する。生活の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
7	発表会で演奏する曲を完成する	弾き歌いの練習。手遊び歌について調べ、動作と共に歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
8	人前で演奏する練習 ～子どもにもわかりやすい表現になっているか相互に話し合う～	弾き歌いの練習。 歌とピアノのバランス、歌詞に合った表現に気をつける。「ほいくのくに」で発見した子どもの言動に見られる音楽的表現をノートに書き留め、次々回の授業で発表する。（毎日合計20分以上）	
9	中間発表会(2) ～弾き歌い課題曲・自由曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて曲を選択し練習する。（毎日合計20分以上）	
10	新しく練習した曲の指導を受ける ～弾き歌いのレパートリーを豊かに～	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。行事に関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて演奏する曲を再確認・決定する	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。クリスマスに関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
12	弾き歌いのレパートリーを豊かに ～今後どのような曲を弾いていきたいか考	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。発表会に向けて指摘された部分を修正できるように工	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	え、担当教員と各自のレベルにあった楽譜について相談する～	夫して練習する。（毎日合計20分以上）	
13	グループ内発表会 ～前期「子どもと音楽表現」と併せて9ヶ月間の学びを振り返る～	発表会に向けて安定した演奏になるように時間をかけて練習する。（毎日20分以上）	
14	まとめの発表会 ～弾き歌い課題曲・自由曲・ピアノ曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つため各自で練習する。（毎日合計20分以上）	
15	弾き歌いのまとめ ～実習に向けた準備、就職活動におけるピアノの必要性～	1年間取り組んできた弾き歌い・ピアノの今後も維持していくために、鍵盤に触れる機会をなるべく多く取る。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI182  
 授業形態： 演習  
 科目名： 子どもと音楽表現 【保B】  
 担当教員： 柴田 玲子(SHIBATA Reiko)

【授業の紹介】

子どもと音楽表現Iで修得した音楽表現の基礎的な知識を深めるとともに、レパートリーを増やし、音楽表現技術のさらなる向上をめざします。また、他の学生の演奏を聴いたり一緒に歌ったりすること、そして模擬的な歌唱指導に取り組みます。本授業科目は幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目、及び保育士資格取得のための選択必修科目です。なお、学生への連絡等はGoogle Classroomを通じて行います。クラスコードはisgma74です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	温かさ	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		表現技術と創造力	5
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

【到達目標】

1. 音楽表現の指導法に関する理論的基盤を習得することができる。
2. さまざまな表現を体験することによって、表現技術の多様性に気づくことができる。
3. 協働して表現することによって、他者の表現を受け止め共感し、より豊かな表現につなげていくことができる。
4. 保育実践力をさらに高めることができる。
5. 教材研究により音楽の役割を理解することができる。

【成績の評価】

中間発表会及びまとめの発表会(90%)、日常の取り組み(10%)で評価する。  
 発表内容について教員から講評を受けることでフィードバックする。

【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」(小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年)

【参考文献】

上記テキスト以外の子どもの歌の楽譜(担当教員よりその都度指示する)  
 保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
 幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示)

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション ～「子どもと音楽表現I」における課題を各自で振り返り、本授業でめざすことを明確化した上で楽曲に取り組む～	「子どもと音楽表現I」で身に付けた「毎日のコンスタントな練習」を継続し、音楽表現技術のさらなる向上に努める。 また、観察参加や大学祭で子どもたちと触れ合う機会にうたやリズムなど、子どもの音楽的表現に注目し、気付いたことをノートに記録する。（毎日合計20分以上）	
2	夏休みに練習した曲について余裕を持って弾き歌いできるように完成度を高める	弾き歌いの練習。 課題曲に取り組む。 季節の歌(秋冬)について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
3	人前で演奏し、その場にいる人から共感を得ることができるような表現をめざす ～グループの友達と相互に高め合うことができるように活動を工夫する～	弾き歌いの練習。 発表会に向けて課題曲・自由曲の弾き歌いがより表現豊かになるように取り組む。友達の演奏から新しく発見できたことをノートに書き出し、自分の演奏に反映させる。 発表会に向けて完成度を高める。（毎日合計20分以上）	
4	中間発表会(1) ～夏休みの成果を振り返る～	担当教員からの講評をもとに振り返る。 発表した課題曲をレパートリーとして保つ。 次回発表会に向けて曲を選択し練習する。 課題曲のすべてが合格した者は、これ以後、弾き歌い自由曲と共にピアノ曲も選択して練習を開始する。（毎日合計20分以上）	
5	ピアノ演奏法について各自の問題点を再確認、歌についても子どもに伝わる表現になっているかを考え、担当教員の指導を参考に練習に反映する	授業で扱った曲について指摘されたところが修正できるように練習を工夫する。動物の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
6	各自が取り組む曲についてピアノや歌の問題点を修正しながら安定した弾き歌いになるように練習する	完成度を高めるために練習法を工夫する。生活の歌について調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
7	発表会で演奏する曲を完成する	弾き歌いの練習。手遊び歌について調べ、動作と共に歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
8	人前で演奏する練習 ～子どもにもわかりやすい表現になっているか相互に話し合う～	弾き歌いの練習。 歌とピアノのバランス、歌詞に合った表現に気をつける。「ほいくのくに」で発見した子どもの言動に見られる音楽的表現をノートに書き留め、次々回の授業で発表する。（毎日合計20分以上）	
9	中間発表会(2) ～弾き歌い課題曲・自由曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つ。次回発表会に向けて曲を選択し練習する。（毎日合計20分以上）	
10	新しく練習した曲の指導を受ける ～弾き歌いのレパートリーを豊かに～	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。行事に関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
11	まとめの発表会に向けて演奏する曲を再確認・決定する	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。クリスマスに関係した歌を調べ、歌詞を覚えて歌えるようにする。（毎日合計20分以上）	
12	弾き歌いのレパートリーを豊かに ～今後どのような曲を弾いていきたいか考	弾き歌いの練習・ピアノ曲の練習。発表会に向けて指摘された部分を修正できるように工	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	え、担当教員と各自のレベルにあった楽譜について相談する～	夫して練習する。（毎日合計20分以上）	
13	グループ内発表会 ～前期「子どもと音楽表現」と併せて9ヶ月間の学びを振り返る～	発表会に向けて安定した演奏になるように時間をかけて練習する。（毎日20分以上）	
14	まとめの発表会 ～弾き歌い課題曲・自由曲・ピアノ曲～	担当教員からの講評をもとに振り返る。発表した曲をレパートリーとして保つため各自で練習する。（毎日合計20分以上）	
15	弾き歌いのまとめ ～実習に向けた準備、就職活動におけるピアノの必要性～	1年間取り組んできた弾き歌い・ピアノの今後も維持していくために、鍵盤に触れる機会をなるべく多く取る。（毎日20分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI111  
授業形態： 演習  
科目名： 保育内容総論  
担当教員： 有馬 則子 (ARIMA Noriko)

### 【授業の紹介】

教育・保育の基準である「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」の解説を読み解きながら、幼児の自発的な活動を通しての総合的な指導の在り方を学んでいきます。また、グループワークでの事例演習を通して幼児を理解する目を養い、実態に応じてカリキュラム・マネジメントできる豊かな保育実践的能力を培っていきます。

本授業科目は、保育学科の卒業必修科目です。加えて、幼稚園教諭二種免許状、そして保育士資格取得のための必修科目でもあります。また、本授業科目の単位を認定されていることが、1年次後期の「保育実習」を履修するための条件となっています。

授業の連絡にあたりGoogle Classroomを使用します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	2
		指針・要領の理解	4
		保育に関わる専門的知識の習得	4

### 【到達目標】

1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された幼児教育の基本、各領域のねらい及び内容を理解できる。
2. 幼児の発達や学びの過程を理解し、子ども理解に根ざした保育を構想する力を身に付けることができる。

### 【成績の評価】

- ・事例演習やグループワークを含め、授業への参加意欲・態度（20%）、学習シート等への記入や課題提出（40%）、定期試験（40%）を合わせて総合的に評価します。
- ・授業の振り返りや学習シートは添削して返却したり、以降の授業で活用したりすることでフィードバックします。
- ・15回の授業のうち、12回以上の出席が必要です。なお授業態度として、授業開始のチャイムが鳴り終わるまでに着席していることと、長時間の居眠り等が無いことが出席の条件です。

### 【使用テキスト】

- ・乳幼児 教育・保育シリーズ『保育内容総論』（神長美津子・津金美智子・田代幸代 編著、光生館、2018年3月30日初版発行）
- ・幼稚園教育要領解説（文部科学省、平成30年3月）
- ・保育所保育指針解説（厚生労働省、平成30年3月）
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（内閣府・文部科学省・厚生労働省、平成30年3月）

### 【参考文献】

授業の中で適宜紹介します。

### 【実務経験】

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。幼稚園・こども園で、教員や園長として教育・保育に携わった経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 保育の基本とその内容	復習として、授業内容を自分なりにまとめておくこと(1時間)。	
2	生きる力を育むことの必要性	予習として、事前に出された課題について調べ、事前配付された学習シートに記載して授業時に提出すること(30分)。 復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(30分)。	
3	幼児教育において育みたい資質・能力(三つの柱)及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)	予習として、指定する教科書の指示したページに目を通し、まとめたことを事前学習シートに記載して授業時に提出すること(30分)。 復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(30分)。	
4	「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」における教育・保育の内容の考え方	予習として、事前に出された課題について調べ、授業時にグループワークの中で発表できるようにしておくこと(30分)。 復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(30分)。	
5	保育内容の変遷	予習として、事前に出された課題について調べ、授業時にグループワークの中で発表できるようにしておくこと(40分)。 復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(20分)。	
6	遊びを通した総合的な指導	予習として、事前に出された課題について調べ、授業時にグループワークの中で発表できるようにしておくこと(30分)。 復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(30分)。	
7	幼児期の教育と小学校教育の接続・連携	予習として、専門用語などの意味を調べ、配布されている事前学習シートに記載して授業時に提出すること(30分)。 復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(30分)。	
8	子ども理解に基づく保育の展開	予習として、専門用語などの意味を調べ、配布されている事前学習シートに記載して授業時に提出すること(30分)。 復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(30分)。	
9	指導計画作成の考え方と作成の実際	予習として、専門用語などの意味を調べ、配布された事前学習シートに記載して授業時に提出すること(30分)。 復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(30分)。	
10	指導計画の評価・改善と保育者の役割、園行事の考え方	予習として、指定する教科書の指示したページに目を通し、まとめたことを事前学習シートに記載して授業時に提出すること(30分)。 復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(30分)。	
11	「ひと」「もの」「こと」との関わりを深め	予習として、指定する教科書の指示したペー	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	る環境の構成と教材研究	ジに目を通し、まとめたことを事前学習シートに記載して授業時に提出すること(30分)。復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(30分)。	
12	保育記録を書くことの意義と実際	予習として、専門用語などの意味を調べ、配布された事前学習シートに記載して授業時に提出すること(30分)。復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(30分)。	
13	子ども理解を深める保育者の基本的な姿勢（事例演習）	予習として、事前に出された課題について調べ、授業時にグループワークの中で発表できるようにしておくこと(30分)。復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(30分)。	
14	子ども理解に基づく保育の展開（事例演習）	予習として、事前に出された課題について調べ、授業時にグループワークの中で発表できるようにしておくこと(30分)。復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(30分)。	
15	保育の現状と課題	予習として、指定する教科書の指示したページに目を通し、まとめたことを事前学習シートに記載して授業時に提出すること(30分)。復習として、授業内容に関する教科書等に目を通し、自分なりに内容をまとめておくこと(30分)。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： CUI222  
授業形態： 演習  
科目名： 保育内容 - 健康  
担当教員： 田中 弓子(TANAKA Yumiko)

### 【授業の紹介】

幼稚園教育要領等に示された保育内容健康でのねらい及び内容について、専門領域との関連から幼稚園教育等において育みたい資質・能力を理解する。加えて、具体的な指導場面を想定して保育案等を作成する能力の向上のため、幼児の発達や成長の姿の意味を理解する。さらに、健康に関する多彩な保育活動を創出する基礎技能（ICT等を含む）を基盤とした保育実践力（知識、技法、態度を含む）を向上させる。本授業科目は、幼稚園教諭二種免許状、及び保育士資格取得のための必修科目でもある。本授業科目では、課題の提示や提出にあたりGoogle Classroomを使用することがある。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	1
		指針・要領の理解	2
		洞察・判断する力	3
		保育を計画する力	4

### 【到達目標】

1. 幼稚園教育要領及び保育所保育指針に示された教育及び保育の基本を踏まえ、保育内容健康のねらい及び内容（指導上の留意点を含む）や幼児の発達や学びの過程を全体的に理解することができる。
2. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育案を構想する方法（評価を含む）を身に付けることができる。
3. 近年の動向を踏まえた模擬的な実践活動とその振り返りを通じて、改善や資質向上に向けた視点を身に付けることができる。
4. 他の内容との関連性や小学校の教科等とのつながり、多様な教材や情報機器の活用に基づいた実りある保育実践を創出するための洞察・判断力などを身に付けることができる。

### 【成績の評価】

授業時の学習シートの内容（30%）、指導案の作成・提出（30%）、最終のまとめ（40%）で評価する。学習シート、指導案、最終のまとめの振り返りは、次回の授業等の時間を用いてフィードバックする。

### 【使用テキスト】

幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）  
保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）

### 【参考文献】

適宜紹介する。

### 【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	幼稚園教育要領等における保育内容 - 健康について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を行う（30分）。	
2	保育内容 - 健康におけるねらいについて	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を行う（30分）。	
3	保育内容 - 健康における指導上の留意点について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を行う（30分）。	
4	保育内容 - 健康を視点とした幼稚園教育等における評価について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を行う（30分）。	
5	保育内容 - 健康における幼児期の経験および小学校との接続について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を行う（30分）。	
6	現代社会における幼児の健康について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を行う（30分）。	
7	保育内容 - 健康における幼児の経験について（ICT等の活用法理解を含む）	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を行う（30分）。	
8	保育内容 - 健康における教材研究について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を行う（30分）。	
9	保育内容 - 健康における指導案作成について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を行う（30分）。	
10	指導案にもとづいた保育実践について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		行う（30分）。	
11	保育実践の反省と課題について（1）（教材活用の振り返り）	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を行う（30分）。	
12	保育実践の反省と課題について（2）（保育の展開の振り返り）	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を行う（30分）。	
13	保育現場で行われている保育実践について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を行う（30分）。	
14	様々な保育実践の共有について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を授業前に読み、分からない言葉を調べ、ノートにまとめる（30分）。 復習内容：指導案作成準備および教材作成を行う（30分）。	
15	最終のまとめ（要点の整理と質疑応答）	予習内容：これまでの学習シートを振り返り、最終のまとめに備える（30分）。 復習内容：最終のまとめを振り返る（30分）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI231  
授業形態： 演習  
科目名： 保育内容 - 人間関係  
担当教員： 中村 多見(NAKAMURA Tami)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、領域「人間関係」における保育のねらい及び内容を理解し、子どもたちの人と関わる力を育む保育について考えます。人間は、誰かとつながることで生かされている存在です。つまり、人間関係は「生きる力」の原点と言ってもよいでしょう。人間関係が希薄化する現代社会の中、幼稚園や保育所は、乳幼児期の子どもたちにとって、人との関わりを経験する貴重な場になりつつあります。この窮状に対して、保育者には子どもたちに「人と関わる力」を育てること、子どもたちの人間関係を家庭や園から地域に向けて押し広げていくことが求められています。子どもたちがより豊かで強くつながり合える人間関係をつくり、それを社会のなかで役立て、幸福に生きることを実現させるために、乳児保育における3つの視点と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児における5領域の視点から総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得します。

本授業科目は、幼稚園教諭二種免許状および保育士資格取得のための必修科目です。

本授業科目では、授業前後の課題や資料等を配信・提出するにあたりGoogle Classroomを使用します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	1
		温かさ	1
		協働・連携する力	2
		指針・要領の理解	2
		洞察・判断する力	2
		保育を計画する力	2

### 【到達目標】

1. 子どもの「人と関わる力」を育てることの重要性を理解し、領域「人間関係」に基づく幼稚園・保育所の役割を果たそうと思う使命感・倫理観を高めることができる。
2. 長期的な視点に立って、子どもの「基礎的な人と関わる力」を育てようとする子ども-保育者関係を構築できる人間性を育むことができる。
3. 領域「人間関係」に関するねらいと内容に関する専門的知識を身に付け、子どもの「人と関わる力」の発達とその育て方についての思考力を深めることができる。
4. 子どもの「人と関わる力」を育て伸ばすための保育実践力を発揮できるようになる。

### 【成績の評価】

成績は、毎回の授業内容のまとめ（10%）と定期試験の結果（90%）で総合的に評価します。授業内容のまとめは毎回点検することでフィードバックします。

### 【使用テキスト】

田代和美・榎本眞実編著『演習 保育内容「人間関係」 - 基礎的事項の理解と指導法 -』（建帛社、2019年）

**【参考文献】**

幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）

保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）

幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

**【実務経験】**

無し

**【実務経験と授業科目の関係性】**

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・私たちにとっての人間関係とは	予習内容：履修ガイド及びシラバスを予め確認する（30分）。 復習内容：本授業の内容をまとめ、提出する（30分）。	計1時間
2	現代の乳幼児を取り巻く人間関係	予習内容：テキストを読んで、予習課題に取り組む（30分）。 復習内容：本授業の内容をまとめ、提出する（30分）。	計1時間
3	領域「人間関係」のねらい及び内容及び評価	同上	計1時間
4	0歳児の人との関わりと保育	同上	計1時間
5	1歳児の人との関わりと保育	同上	計1時間
6	2歳児の人との関わりと保育	同上	計1時間
7	3歳児の遊びと人間関係	同上	計1時間
8	4歳児の遊びと人間関係	同上	計1時間
9	5歳児の遊びと人間関係	同上	計1時間
10	特別な支援を必要とする子どもの人間関係を支える	同上	計1時間
11	子どもの育ちを支える保護者と保育者の人間関係	同上	計1時間
12	育ちを支える保育者同士の人間関係	予習内容：テキストを読んで、予習課題に取り組む（30分）。 復習内容：本授業の内容とロールプレイの感想をまとめ、提出する（30分）。	計1時間
13	子どもの人間関係を育む学級経営	同上	計1時間
14	指導案作成から保育へ：人間関係力を育てる	同上	計1時間
15	2年間の振り返り：人間関係力を育てるグループワーク	予習内容：なし。 復習内容：グループワークの内容をまとめ、提出する（1時間）。	計1時間
	定期試験(実施する)		合計15時間

科目ナンバリング： CUI242  
授業形態： 演習  
科目名： 保育内容 - 環境  
担当教員： 佐々木 利子(SASAKI Toshiko)

### 【授業の紹介】

領域「環境」では、子どもが、「周囲の様々な環境（人、もの、自然、社会、文化など）に好奇心や探究心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う」ことをめざします。そのため、保育者には、乳幼児期にふさわしい環境づくりや子どもの育ちや学びをとらえる力量が求められます。15回の授業の前半では、領域「環境」に関する専門的知識を学び、後半では、具体的指導場面での事例や演習を通して、子どもの育ちを支える保育の構想力や実践力を培っていきます。

子どもを取り巻く環境や乳幼児保育・教育の動向、今日的課題などについても常に関心をもっておく必要があります。

本授業科目は、幼稚園教諭二種免許状及び保育士資格取得のための必修科目です。  
なお、本授業科目では課題の指示や確認のためにGoogleClassroomも使用します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	指針・要領の理解	2
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		洞察・判断する力	3
		保育を計画する力	3

### 【到達目標】

- 1．保育所保育指針・幼稚園教育要領等に示された乳幼児教育・保育の基本を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容を理解する。
- 2．乳幼児の発達や学びの過程を理解し、乳幼児期にふさわしい遊びや生活をつくるための基礎的知識や技能を身に付け、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する力を培うことができる。
- 3．領域「環境」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を知り、保育者としての資質向上に向けて継続的に学ぼうとする意欲を高めることができるようになる。

### 【成績の評価】

授業に取り組む意欲・関心・態度（20％）、個人発表やワークシート等への記入及び課題の提出（40％）、定期試験（40％）  
提出物等課題の返却時、個別及び全体での振り返りを行うことによりフィードバックする。

### 【使用テキスト】

神長美津子・堀越紀香・佐々木晃編著「乳幼児教育・保育シリーズ『保育内容 環境』」（光生館、2018年3月）

### 【参考文献】

平成29年告示「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」  
文部科学省「幼稚園教育要領解説」（フレーベル館 平成30年3月）  
レイチェル・カーソン著 上遠恵子訳「センス・オブ・ワンダー」（新潮社 1996年）

### 【実務経験】

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。幼稚園・こども園で、教員・園長として保育に携わってきた経験からの具体的な事例を示しながら授業を行います。

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	授業概要と保育の基本としての環境	復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分) 自然に関する個別発表の内容をまとめ用紙に記入する(30分)	
2	領域「環境」の考え方と内容	予習として授業内容に関係する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	
3	乳児期の育ちと環境との関わり	予習として授業内容に関係する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	
4	1歳以上3歳未満児の育ちと環境との関わり	予習として授業内容に関係する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	
5	3、4歳児の育ちと環境との関わり	予習として授業内容に関係する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	
6	環境と関わる力を育む保育（地域に視野を広げることで遊びが豊かに展開される）	予習として授業内容に関係する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	
7	環境と関わる力を育む保育（フィールドワークを通して）	予習として授業内容に関係する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	
8	環境と関わる力を育む保育（遊びや生活の中で思考力の芽生えを培う）	予習として授業内容に関係する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	
9	保育の構想の実際（園の環境をデザインする）	予習として授業内容に関係する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
10	子どもの育ちをつなぐ（乳児期からの3歳未満児）	予習として授業内容に関する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	
11	子どもの育ちをつなぐ（3歳以上児として）	予習として授業内容に関する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	
12	5歳児の育ちと環境との関わり	予習として授業内容に関する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	
13	環境と関わる力を育む保育（伝統や文化に親しむ伝承遊びや歌・絵本など）	予習として授業内容に関する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	
14	幼児理解と評価（記録と映像資料等の活用）	予習として授業内容に関する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	
15	保育者に求められること	予習として授業内容に関する範囲のテキストを読むと共に、幼稚園教育要領等の関連箇所を確認し、ノートにまとめておくこと(30分) 復習として授業内容を振り返りまとめるとともに、振り返りシートに記入しclassroomで提出すること(30分)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： CUI262  
 授業形態： 演習  
 科目名： 保育内容 - 言葉  
 担当教員： 森本 将行(MORIMOTO Masayuki)

【授業の紹介】

本授業科目は幼稚園教諭二種免許状、保育士資格取得のための必修科目です。  
 領域「言葉」は、「経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞くこととする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う」ことを目指す領域です。これを幼稚園教育の基本を踏まえ、幼児の発達に即した主体的で対話的な深い学びを通じた保育で実現させていきます。そのため、幼稚園教育要領に示された領域「言葉」における「ねらい及び内容」について、その背景となる専門領域と関連させて理解を深めていきます。また、乳幼児の発達に即した保育者の役割、子どもが聞く、話す、文字等に関心をもつことの意義を理論的・実践的に学び、その具体的な方法を身に付けていきます。  
 本授業ではアクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、発見学習、問題解決学習）を取り入れ、他者と協働的に学んでいきます。  
 Google Classroom(クラスコード：me6xbqp)を使用し、ICT を活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	保育学科	指針・要領の理解	4
		洞察・判断する力	3
		保育を計画する力	3

【到達目標】

1. 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「言葉」のねらい及び内容を理解することができる
2. 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「言葉」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想することができるようになる
3. 模擬保育とその振り返りを通して、保育活動を創出する基礎技術、知識、洞察力、保育実践力を身に付けることができる。
4. 領域「言葉」のねらい及び内容に沿った具体的な保育を想定し、指導案を作成することができるようになる

【成績の評価】

- ・ 授業中の態度...15%
  - ・ 課題（なまえ絵本）...20%
  - ・ 課題（手袋人形）...10%
  - ・ 試験(授業内で実施)...40%
  - ・ 模擬保育の計画・内容・振り返り...15%
- 試験の結果については、オフィスアワーの時間に解説をする。

【使用テキスト】

文部科学省編『幼稚園教育要領』（フレーベル館、2018年）  
 文部科学省編『幼稚園教育要領解説』（フレーベル館、2018年）  
 厚生労働省編『保育所保育指針』（フレーベル館、2018年）  
 厚生労働省編『保育所保育指針解説』（フレーベル館、2018年）  
 内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（フレーベル館、2018年）  
 内閣府・文部科学省・厚生労働省編『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館、2018年）

**【参考文献】**

戸田雅美編著『演習 保育内容「言葉」』（建帛社、2009年）

戸田雅美編著『演習 保育内容 言葉 - 基礎的事項の理解と指導法 - 』（建帛社、2019年）

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育園、幼稚園型こども園での勤務経験を活かし、具体的な保育実践例を示しながら授業を行います。

**【科目等履修生の受入】**

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、言葉の役割について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・手袋人形orなまえ絵本の作成(30分)</li> </ul>	
2	保育活動を創出する基礎技術と保育実践 <教材作成>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある手袋人形の動画を視聴し、保育活動としてのポイント考え、ノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・手袋人形orなまえ絵本の作成(30分)</li> </ul>	
3	子どもの言葉の育ちとその道すじ～認知の発達 ~ <二項関係・三項関係>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「二項関係・三項関係」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・手袋人形orなまえ絵本の作成(30分)</li> </ul>	
4	子どもの言葉の育ちとその道すじ～認知の発達 ~ <象徴機能・内言・外言>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「象徴機能」「内言・外言」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・手袋人形orなまえ絵本の作成(30分)</li> </ul>	
5	保育活動を創出する基礎技術と保育実践 <実践発表>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、領域「言葉」に焦点を当てた保育者の関わりや配慮事項を意識し、実践発表の準備を行う(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・なまえ絵本の作成(30分)</li> </ul>	
6	領域「言葉」のねらいと内容及び評価・小学校の教科等との繋がり～小学校教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、領域「言葉」と教科の繋がりや違いについて調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・なまえ絵本の作成(30分)</li> </ul>	
7	言葉の獲得と集団保育の意義 ~ コミュニケーションとしての機能 ~	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「集団と言葉」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・なまえ絵本の作成(30分)</li> </ul>	
8	言葉の獲得と集団保育の意義 ~ 聞く・話す意欲を育むために ~	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「聞く・話す意欲を育むために」ということについて調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有</li> </ul>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・なまえ絵本の作成(30分)	
9	言葉の育ちを支える保育の実際～未満児の言葉の育ちを支える～	・予習として、未満児の言葉の特徴と援助方法について調べ、ノート等にまとめておく(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・なまえ絵本の作成(30分)	
10	言葉の育ちを支える保育の実際～以上児からの言葉の育ちを支える～	・予習として、前回の講義内で配布された資料から、言葉の育ちを促す以上児との関わりをまとめておく(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・なまえ絵本の作成(30分)	
11	領域「言葉」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を知る	・予習として特に、領域「言葉」を意識した環境作りについて調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・なまえ絵本の作成(30分)	
12	言葉を豊かにする保育教材の作成と取り入れ方(計画・振り返り・改善)	・予習として、自分で作成した保育教材を使用した保育実践を動画で撮影し、それを基に振り返りを行っておくこと(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）	
13	言葉を豊かにする保育実践とその振り返りを通じた保育の改善	・予習として、言葉の領域の関連が強い活動の評価の仕方について調べ、ノート等にまとめておくこと(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）	
14	言葉遊びの保育への取り入れ方と、その具体	・予習として、「言葉遊び」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）	
15	学びの振り返りと質疑・まとめ	・予習として、今まで講義を振り返り、理解できていないところなど、自身の課題を明確にしておくこと(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI172  
授業形態： 演習  
科目名： 保育内容 - 造形表現  
担当教員： 辻野 栄一(TSUJINO Eiichi)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、造形表現に関する授業です。授業の内容として、幼児における「表出」と「表現」の違いや、そのメカニズム、造形表現の変遷を学習します。主に幼稚園教諭等として多彩な教育活動を創出する基礎技能を基盤とした実践力を身につけるために、子どもの造形表現に関わる専門的知識と思考力・技能を修得します。教材、カリキュラム、材料、用具、場所や空間などの環境を工夫する力を学習します。また、子どもたちの成長や発達段階を踏まえて、子どもたちならではの造形表現を理解し、正しく援助する力を身につけます。

本授業科目は幼稚園教諭二種免許状、及び保育士資格取得のための必修科目でもあります。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	保育学科	指針・要領の理解	1
		洞察・判断する力	2
		表現技術と創造力	6
		保育を計画する力	1

### 【到達目標】

- 1 指針・要領に書かれてある事柄のうち、造形表現に関わる内容を理解することができる。
- 2 子どもの作品を共感的に受け入れ、造形表現を多面的に理解しようとすることができる。
- 3 造形表現の基礎的な知識と技能を身につけ、素材を活かした表現や発展させる創造力を身につけることができる。
- 4 子どもの成長や実態に応じて、造形表現の内容やプロセス、環境を理解し、計画することができる。

### 【成績の評価】

課題作品及びその提出状況を60%、折り紙小テスト10%、学外授業レポート10%、受講態度などを20%で評価する。作品が完成するたびに講評会を設け、作品の全体的な傾向や作品個々の良い点をあげることによってフィードバックする。

### 【使用テキスト】

保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）  
幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府 文部科学省 厚生労働省）  
樋口一成 編著『幼児造形の基礎－乳幼児の造形表現と造形教材－』（萌文書林 2018年）

### 【参考文献】

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

### 【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、造形表現とは、学習の仕方について 4コマ漫画の課題説明、立体物製作の課題説明	予習として、この授業のシラバスを確認しておくこと。（30分） 復習として、4コマ漫画のストーリーを考えると。（30分）	
2	立体物製作「きれいなサカナを作ろう」 アイデア展開（6案）を考える。アイデアが決まったら、色彩計画を立てカラードフォルム紙の色を選択	予習として、立体物製作の装飾デザインを考えておくこと。（30分） 復習として、どのデザインにするかを考えて色彩計画を立てておくこと。（30分）	
3	立体物製作「きれいなサカナを作ろう」 参考作品紹介 型紙をカラードフォルム紙に転写	予習として、立体物製作の色彩計画を考え、素材を用意しておくこと。（30分） 復習として、装飾デザインをブラッシュアップしておくこと。（30分）	
4	立体物製作「きれいなサカナを作ろう」 転写した形（パーツ）をカッターナイフやハサミで丁寧に切る	予習として、立体物製作の色彩計画を考え、素材を用意しておくこと。（30分） 復習として、装飾デザインをブラッシュアップしておくこと。（30分）	
5	立体物製作「きれいなサカナを作ろう」 それぞれのパーツを、ボンドで接着しながら組み立てる	予習として、立体物製作の色彩計画を考え、素材を用意しておくこと。（30分） 復習として、装飾デザインをブラッシュアップしておくこと。（30分）	
6	立体物製作「きれいなサカナを作ろう」 カラードフォルムやトータルカラーなどで、頭部やウロコ、ヒレなど製作	予習として、立体物製作の色彩計画を考え、素材を用意しておくこと。（30分） 復習として、装飾デザインをブラッシュアップしておくこと。（30分）	
7	立体物製作「きれいなサカナを作ろう」 カラードフォルムやトータルカラーなどで、頭部やウロコ、ヒレなど製作 作品講評会	予習として、細部の色彩計画を考え、素材を用意しておくこと。（30分） 復習として、作業工程や注意すべき点を記述してまとめておくこと。（30分）	
8	ちぎり絵 テーマ「秋」	予習として、テーマにそってアイデア展開をしておくこと。（30分） 復習として、さらに修正箇所があれば修正すること。（30分）	
9	四コマ漫画 起承転結を用いたストーリーのアイデア展開	予習として、アイデア展開をさらにブラッシュアップしてよりよい構成にしておくこと。（30分） 復習として、下描きを見直し。修正箇所があれば修正する（30分）	
10	紙粘土工作 テーマ「食品」 紙粘土を使った成型	予習として、紙粘土で作るテーマ「食品」の何を作るかを決めて、その資料を用意すること。（30分） 復習として、紙粘土で成形した作品の修正箇所がないか確認し、修正しておくこと。（30分）	
11	四コマ漫画 鉛筆による下書き	予習として、アイデア展開をさらにブラッシュアップしてよりよい構成にしておくこと。（30分） 復習として、下描きを見直し。修正箇所があれば修正する（30分）	
12	四コマ漫画 ペンによる仕上げ	予習として、下描きから白と黒のバランスを考えておくこと。（30分） 復習として、ペンによる仕上げを見直し。修正箇所があれば修正する（30分）	
13	紙粘土工作 着彩	予習として、紙粘土の着彩計画を立て、アクリル絵の具を準備しておくこと。（30分） 復習として、塗り残しがないか、テカリが必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>要な部分がないかを確認し、修正しておくこと。（30分）</p>	
14	<p>紙粘土工作 着彩仕上げ</p>	<p>予習として、見本画像と見比べて彩色仕上げのより細かな個所を確認し修正すること。アクリル絵の具を準備しておくこと。（30分） 復習として、紙粘土工作の作業工程、注意すべき点等を書き留めておくこと。（30分）</p>	
15	<p>四コマ漫画 発表</p>	<p>予習として、4コマ漫画の発表の準備しておくこと。（30分） 復習として、指摘事項について修正すること。（30分）</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： CUI183  
授業形態： 演習  
科目名： 保育内容 - 音楽表現  
担当教員： 柴田 玲子(SHIBATA Reiko)

### 【授業の紹介】

保育者自身が子どもにとって望ましい音楽環境になることを目指して、ピアノや歌だけでなく、音楽の幅広い可能性を体験することができる授業です。子どもが何かに感動してそれを表現した時、それを受けとめて感動を共有し増幅できる保育者が望ましいと思います。保育活動の中でどのように音楽的要素を取り入れるかについても考える機会にできるはずです。

本授業科目は幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目、保育士資格取得のための選択必修科目です。学生への連絡等はGoogle Classroomを使用します。クラスコードはtyro6prです。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3．高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	指針・要領の理解	2
		洞察・判断する力	1
		表現技術と創造力	3
		保育を計画する力	2
		子どもと関わる力	2

### 【到達目標】

- 1．領域「表現」のねらいと内容を理解しそれを念頭において感性豊かに子どもと関わるができる。  
・・・学修成果『指針・要領の理解』と対応
- 2．子どもの些細な表現も見逃さずに捉え、的確な対応ができる。  
・・・学修成果『洞察・判断する力』と対応
- 3．音楽の様々な技術を修得し、その場に応じて想像豊かに実践することができる。  
・・・学修成果『表現技術と想像力』と対応
- 4．保育の様々な場面で必要な音楽的要素を見極め、子どもの音楽環境を整えることができる。  
・・・学修成果『保育を計画する力』と対応

### 【成績の評価】

課題に取り組む姿勢(20%)、提出物(60%)、楽譜に関する基礎知識の理解度(20%)  
課題・提出物はその都度添削して返却する。

### 【使用テキスト】

子どものうた村保育の木(小川宜子他編、ドレミ楽譜出版社、2008年)  
その他、必要な資料はその都度配布する。

### 【参考文献】

幼稚園教育要領(文部科学省、2017年3月告示)  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領(内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示)  
保育所保育指針(厚生労働省、2017年3月告示)  
小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 音楽編(文部科学省、2018年)

### 【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	指針・要領における「豊かな感性」とは何か	予習：数日間に亘って「感動したこと」を記録する。（30分） 復習：自らの感性はどの部分が豊かなのか、どこが豊かでないのかについて考えたことを課題シート1に記入する。（30分）	
2	指針・要領における「表現」の理解	予習：乳児は何をどのように表現しているのか、予想できることを5つ以上課題シート1に記入し提出する。（30分） 復習：指針・要領の五領域で「表現」以外の四領域それぞれについて「感性」「表現」に関係すると思われる部分を課題シート2に記入する。（30分）	
3	音楽的感性と音楽表現	予習：指針・要領の五領域「表現」の「内容」すべてを音楽の立場からどう読み取れるのかを考え、前回配布した学習シート3-1に記入する。（30分） 復習：音楽的感性を育むためにどのような環境が望ましいのか課題シート3にまとめる。（30分）	
4	楽譜の基礎知識	復習：課題シート4 - 練習問題 - に取り組む（1時間）	
5	器楽活動への導入・保育で用いる楽器	予習：保育の場で使うと予想される楽器名・使い方について知っていることをメモし発表できるようにしておく。（30分） 復習：課題シート5 - 器楽合奏へのアレンジ - に取り組む。（1時間）	
6	楽譜の基礎知識に関する小テスト リズム感をどう育むか	予習：「楽譜の基礎知識」について十分に勉強する。（1時間） 復習：独自のリズム遊びを考え、課題シート6に簡単な指導案を作成して記入する。（1時間）	
7	リトミックとは何か リトミックの要素を取り入れた保育	予習：リトミックの歴史について文献で調べ、前回配布した学習シート7-1にまとめる。（30分） 復習：リトミックに関する課題シート7に取り組む。（30分）	
8	「ことば」から「うた」へ	復習：自作の「うた」を配布した五線紙の大譜表に正しく記入する。（1時間）	
9	おはなしや劇に「うた」を 「うた」にできる場面の選択 歌詞としてふさわしい言葉	予習：「うた」を入れるのにふさわしいと思う絵本やセリフ劇の台本を2種類以上探し持参する。（30分） 復習：3場面以上について歌詞の案を作り、学習シート9を完成して次回持参する。（30分）	
10	おはなしや劇に「うた」を 決定した歌詞に旋律や伴奏をつける	復習：自作の曲の楽譜を完成し、次回持参する。（1時間）	
11	おはなしや劇に「うた」を 曲の調整・完成と演奏練習	復習：自作曲弾き歌いの練習（1時間）	
12	おはなしや劇に「うた」を	復習：学習シート12を完成して次回提出す	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	作品の発表と振り返り	る。（30分）	
13	歌唱指導の方法 教材研究と指導案	復習：指定した曲の教材研究と指導案を課題シート13に記入して次回提出する。（2時間）	
14	歌唱指導の方法 指導案に沿った模擬保育	復習：模擬保育の反省を踏まえて修正した指導案を作成し次回提出する。（1時間）	
15	保育者に求められる感性と技術	予習：学習シート1～3，課題シート1～3を読み直しておく。（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI252

授業形態： 演習

科目名： 保育の表現技術発展演習

担当教員： 辻野 栄一(TSUJINO Eiichi), 柴田 玲子(SHIBATA Reiko)

### 【授業の紹介】

「子どもと造形表現」、「子どもと音楽表現」を発展させた内容で、特に公務員をめざす学生に最適な授業です。1年次の授業で獲得した技術や表現力をさらに高め、また深めていきます。本授業科目は、保育士資格取得のための選択必修科目でもあります。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	洞察・判断する力	2
		表現技術と創造力	6
		保育を計画する力	2

### 【到達目標】

1. より高い表現技術を習得することができる。
2. その場に応じた表現を判断することができる。
3. より多彩な表現力を習得することができる。
4. 教材研究、楽曲分析を通して、対象の本質に目を向けることができる。

### 【成績の評価】

毎時の成果物の内容（40％）授業への取組の姿勢（40％）研究成果発表会の内容（20％）で評価します。毎時の成果を個別に評価することでフィードバックします。

### 【使用テキスト】

「子どものうた村 保育の木」（小川宜子 他編集、ドレミ楽譜出版社、2008年）  
その他、授業時にプリントを配布します。

### 【参考文献】

上記以外の子どもの歌の楽譜（担当教員よりその都度指示する）  
保育所保育指針（厚生労働省、2017年3月告示）  
幼稚園教育要領（文部科学省、2017年3月告示）  
幼保連携型認定こども園教育・保育要領（内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示）  
樋口一成 編著『幼児造形の基礎 ―乳幼児の造形表現と造形教材―』（萌文書林 2018年）

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション。造形表現・音楽表現の重要性を理解する。 造形表現・デッサンとクロッキーについて	予習として、この授業のシラバスについて内容を確認しておくこと。（30分） 復習として、デッサンとクロッキーの違いについて他の人に説明できるようにしておくこと。（30分）	担当：辻野栄一
2	クロッキー 人物の表現	予習として、的確にものを捉え、すばやく描くクロッキーについて、インターネット等で検索して、どのような描き方、用具の使い方があるのか調べておくこと。（30分） 復習として、身の回りにあるものをモチーフとしてクロッキーをしてみる。（30分）	担当：辻野栄一
3	デッサン 自分の腕	予習として、デッサンについて、インターネット等で検索して、どのような描き方、用具の使い方があるのか調べておくこと。（30分） 復習として、より細かな部分を観察して、気が付いたところを加筆すること。（30分）	担当：辻野栄一
4	デッサン 花	予習として、花をモチーフとしたデッサンについて、インターネット等で検索して、どのような描き方、用具の使い方があるのか調べておくこと。（30分） 復習として、より細かな部分を観察して、気が付いたところを加筆すること。（30分）	担当：辻野栄一
5	壁面デザインの下絵作成 秋をテーマに	予習として、秋をテーマとした壁面デザイン案を考えておくこと。（30分） 復習として、指摘されたことについて修正・加筆すること。（30分）	担当：辻野栄一
6	ポスターの下絵作成 イベント告知 運動会	予習として、運動会をテーマとしたデザイン案を考えておくこと。（30分） 復習として、指摘されたことについて修正・加筆すること。（30分）	担当：辻野栄一
7	園児に対する指示をホワイトボードに描くための下絵作成	予習として、前もって出された課題に対するデザイン案を考えておくこと。（30分） 復習として、指摘されたことについて修正・加筆すること。（30分）	担当：辻野栄一
8	音楽表現に必要な教材研究 歌詞の理解と楽曲分析の基本	音楽表現については以下毎時の復習課題が次の授業への予習となる。  指定した歌について教材研究と弾き歌いの練習をして次回の授業で発表する。（1時間）	担当：柴田玲子
9	音楽表現に必要な教材研究 表現につながる導入の工夫	歌詞につながる導入とそれを活かす弾き歌いの方法を考え、課題シートにまとめる。（1時間）	担当：柴田玲子
10	弾き歌い 選曲と伴奏の選択	設定した場面にふさわしい曲を自ら選び、弾き歌いを練習して次回の授業で発表する。（1時間）	担当：柴田玲子
11	弾き歌い 子どもが興味を抱く働きかけ	弾き歌いに際して「子どもが興味を抱く」という意味を振り返り、ポイントをノートにまとめる。（1時間）	担当：柴田玲子
12	音楽表現に必要な教材研究 コードネームの理解と演奏への反映	課題シートでコードネームの知識を定着させ、次回に活かせるように準備する。（1時間）	担当：柴田玲子
13	音楽表現に必要な教材研究 歌の伴奏を自らが作る方法	子どもと音楽表現のテキストから3曲以上を選択し、コードによる伴奏を考え演奏できるように準備する。（1時間）	担当：柴田玲子

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
14	弾き歌い 明るい表現とは何か	選択した曲について十分に研究し、それを反映した弾き歌いができるように練習する。 （1時間）	担当：柴田玲子
15	研究成果発表会	弾き歌いについて学んだことを課題シートにまとめ、提出する。（1時間）	担当：柴田玲子
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI284  
授業形態： 演習  
科目名： ピアノ特別演習【保A】  
担当教員： 柴田 玲子(SHIBATA Reiko)

#### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現 に引き続き、総合的に学科のめざす保育者像への前進となる授業です。  
原則として、学外の先生に指導を受けていない学生のために個人レッスン形態で行います。保育の現場で実際に役に立つ実力を身につける方法は時間をかけて個々に練習することしかありませんが、曲の選び方やちょっとした練習法のコツなど、的確な助言があると能率的に正しい方向へ進めることができます。  
ピアノの演奏に関しては、授業開始時点で個々に技術や表現力が大きく異なっています。一人ひとりの進路に合わせて課題を設定し、就職試験、そして現場で実力が発揮できるよう、計画的に授業を進めます

。本授業科目は保育士資格取得のための選択必修科目です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	自律心	3
		表現技術と創造力	7

#### 【到達目標】

1. 保育の現場で役立つ技術や表現力を獲得することができる
2. 場面に合わせてより高度な音楽的表現で対応できる能力を身につけることができる
3. 実習や就職試験に自信をもって臨むことができる

#### 【成績の評価】

担当教員全員の前で演奏することによるまとめの発表会90%、各担当教員による、普段の取組の姿勢に対する評価10%。  
演奏発表内容に関して教員から講評を受けることでフィードバックします。

#### 【使用テキスト】

ソナチネアルバム、ソナタアルバムその他

#### 【参考文献】

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション及び演奏曲の決定	決定した演奏曲の練習（各自の経験度等に応じて読譜、片手ずつの練習、両手の練習等）に取りかかる。（毎日20分以上）	
2	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜、経験者：読譜及びイメージング）	練習成果に対して教員からアドバイス、指導を受け、それを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上）	
3	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜及びメロディの理解、経験者：メロディと伴奏の理解）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
4	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（前半）、経験者：和音の理解（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
5	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（後半）、経験者：和音の理解（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
6	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（全体）、経験者：和音の理解（全体））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
7	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の理解、経験者：メロディと伴奏の関係）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
8	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（前半）、経験者：スムーズな演奏（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
9	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（後半）、経験者：スムーズな演奏（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 また、学生同士で弾き合いを行い、他者の演奏で気づいたことを話し合ってみる。自分では気づかなかった欠点やその克服方法を知ることができる場合がある。	
10	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（前半）、経験者：強弱の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
11	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（後半）、経験者：テンポと表情記号の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
12	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（全体）、経験	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	者：適切なテンポで演奏する）	む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
13	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：強弱を伴う演奏、経験者：適切な表現で演奏する）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 学生同士で弾き合いを行い、気づいたことを話し合う。	
14	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：適切なテンポで演奏する、経験者：暗譜で演奏する） クラス内で成果発表し、教員から講評を受けるとともに、まとめの発表会の準備をする	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
15	まとめの発表会（ひとりずつ教員全員の前で演奏発表し、教員から講評を受ける）	人前での演奏で普段通りできたこと、できなかったことを各自でリスト化し、その原因と対策を考える（60分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI284

授業形態： 演習

科目名： ピアノ特別演習【保A】

担当教員： 西村 京子(NISHIMURA Kyoko)

### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現 に引き続き、総合的に学科のめざす保育者像への前進となる授業です。原則として、学外の先生に指導を受けていない学生のために個人レッスン形態で行います。保育の現場で実際に役に立つ実力を身につける方法は時間をかけて個々に練習することしかありませんが、曲の選び方やちょっとした練習法のコツなど、的確な助言があると能率的に正しい方向へ進めることができます。ピアノの演奏に関しては、授業開始時点で個々に技術や表現力が大きく異なっています。一人ひとりの進路に合わせて課題を設定し、就職試験、そして現場で実力が発揮できるよう、計画的に授業を進めます。

本授業科目は保育士資格取得のための選択必修科目です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	自律心	3
		表現技術と創造力	7

### 【到達目標】

1. 保育の現場で役立つ技術や表現力を獲得することができる
2. 場面に合わせてより高度な音楽的表現で対応できる能力を身につけることができる
3. 実習や就職試験に自信をもって臨むことができる

### 【成績の評価】

担当教員全員の前で演奏することによるまとめの発表会90%、各担当教員による、普段の取組の姿勢に対する評価10%。  
演奏発表内容に関して教員から講評を受けることでフィードバックします。

### 【使用テキスト】

ソナチネアルバム、ソナタアルバムその他

### 【参考文献】

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション及び演奏曲の決定	決定した演奏曲の練習（各自の経験度等に応じて読譜、片手ずつの練習、両手の練習等）に取りかかる。（毎日20分以上）	
2	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜、経験者：読譜及びイメージング）	練習成果に対して教員からアドバイス、指導を受け、それを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上）	
3	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜及びメロディの理解、経験者：メロディと伴奏の理解）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
4	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（前半）、経験者：和音の理解（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
5	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（後半）、経験者：和音の理解（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
6	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（全体）、経験者：和音の理解（全体））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
7	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の理解、経験者：メロディと伴奏の関係）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
8	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（前半）、経験者：スムーズな演奏（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
9	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（後半）、経験者：スムーズな演奏（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 また、学生同士で弾き合いを行い、他者の演奏で気づいたことを話し合ってみる。自分では気づかなかった欠点やその克服方法を知ることができる場合がある。	
10	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（前半）、経験者：強弱の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
11	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（後半）、経験者：テンポと表情記号の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
12	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（全体）、経験	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	者：適切なテンポで演奏する）	む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
13	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：強弱を伴う演奏、経験者：適切な表現で演奏する）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 学生同士で弾き合いを行い、気づいたことを話し合う。	
14	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：適切なテンポで演奏する、経験者：暗譜で演奏する） クラス内で成果発表し、教員から講評を受けるとともに、まとめの発表会の準備をする	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
15	まとめの発表会（ひとりずつ教員全員の前で演奏発表し、教員から講評を受ける）	人前での演奏で普段通りできたこと、できなかったことを各自でリスト化し、その原因と対策を考える（60分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI284  
授業形態： 演習  
科目名： ピアノ特別演習【保A】  
担当教員： 渡辺 磨奈(WATANABE Mana)

#### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現 に引き続き、総合的に学科のめざす保育者像への前進となる授業です。  
原則として、学外の先生に指導を受けていない学生のために個人レッスン形態で行います。保育の現場で実際に役に立つ実力を身につける方法は時間をかけて個々に練習することしかありませんが、曲の選び方やちょっとした練習法のコツなど、的確な助言があると能率的に正しい方向へ進めることができます。  
ピアノの演奏に関しては、授業開始時点で個々に技術や表現力が大きく異なっています。一人ひとりの進路に合わせて課題を設定し、就職試験、そして現場で実力が発揮できるよう、計画的に授業を進めます

。本授業科目は保育士資格取得のための選択必修科目です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	自律心	3
		表現技術と創造力	7

#### 【到達目標】

1. 保育の現場で役立つ技術や表現力を獲得することができる
2. 場面に合わせてより高度な音楽的表現で対応できる能力を身につけることができる
3. 実習や就職試験に自信をもって臨むことができる

#### 【成績の評価】

担当教員全員の前で演奏することによるまとめの発表会90%、各担当教員による、普段の取組の姿勢に対する評価10%。  
演奏発表内容に関して教員から講評を受けることでフィードバックします。

#### 【使用テキスト】

ソナチネアルバム、ソナタアルバムその他

#### 【参考文献】

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション及び演奏曲の決定	決定した演奏曲の練習（各自の経験度等に応じて読譜、片手ずつの練習、両手の練習等）に取りかかる。（毎日20分以上）	
2	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜、経験者：読譜及びイメージング）	練習成果に対して教員からアドバイス、指導を受け、それを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上）	
3	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜及びメロディの理解、経験者：メロディと伴奏の理解）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
4	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（前半）、経験者：和音の理解（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
5	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（後半）、経験者：和音の理解（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
6	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（全体）、経験者：和音の理解（全体））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
7	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の理解、経験者：メロディと伴奏の関係）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
8	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（前半）、経験者：スムーズな演奏（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
9	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（後半）、経験者：スムーズな演奏（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 また、学生同士で弾き合いを行い、他者の演奏で気づいたことを話し合ってみる。自分では気づかなかった欠点やその克服方法を知ることができる場合がある。	
10	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（前半）、経験者：強弱の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
11	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（後半）、経験者：テンポと表情記号の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
12	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（全体）、経験	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	者：適切なテンポで演奏する）	む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
13	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：強弱を伴う演奏、経験者：適切な表現で演奏する）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 学生同士で弾き合いを行い、気づいたことを話し合う。	
14	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：適切なテンポで演奏する、経験者：暗譜で演奏する） クラス内で成果発表し、教員から講評を受けるとともに、まとめの発表会の準備をする	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
15	まとめの発表会（ひとりずつ教員全員の前で演奏発表し、教員から講評を受ける）	人前での演奏で普段通りできたこと、できなかったことを各自でリスト化し、その原因と対策を考える（60分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI284

授業形態： 演習

科目名： ピアノ特別演習【保A】

担当教員： 出木浦 孝(DEKIURA Takashi)

### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現 に引き続き、総合的に学科のめざす保育者像への前進となる授業です。原則として、学外の先生に指導を受けていない学生のために個人レッスン形態で行います。保育の現場で実際に役に立つ実力を身につける方法は時間をかけて個々に練習することしかありませんが、曲の選び方やちょっとした練習法のコツなど、的確な助言があると能率的に正しい方向へ進めることができます。ピアノの演奏に関しては、授業開始時点で個々に技術や表現力が大きく異なっています。一人ひとりの進路に合わせて課題を設定し、就職試験、そして現場で実力が発揮できるよう、計画的に授業を進めます。

。本授業科目は保育士資格取得のための選択必修科目です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	自律心	3
		表現技術と創造力	7

### 【到達目標】

1. 保育の現場で役立つ技術や表現力を獲得することができる
2. 場面に合わせてより高度な音楽的表現で対応できる能力を身につけることができる
3. 実習や就職試験に自信をもって臨むことができる

### 【成績の評価】

担当教員全員の前で演奏することによるまとめの発表会90%、各担当教員による、普段の取組の姿勢に対する評価10%。  
演奏発表内容に関して教員から講評を受けることでフィードバックします。

### 【使用テキスト】

ソナチネアルバム、ソナタアルバムその他

### 【参考文献】

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション及び演奏曲の決定	決定した演奏曲の練習（各自の経験度等に応じて読譜、片手ずつの練習、両手の練習等）に取りかかる。（毎日20分以上）	
2	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜、経験者：読譜及びイメージング）	練習成果に対して教員からアドバイス、指導を受け、それを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上）	
3	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜及びメロディの理解、経験者：メロディと伴奏の理解）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
4	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（前半）、経験者：和音の理解（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
5	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（後半）、経験者：和音の理解（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
6	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（全体）、経験者：和音の理解（全体））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
7	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の理解、経験者：メロディと伴奏の関係）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
8	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（前半）、経験者：スムーズな演奏（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
9	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（後半）、経験者：スムーズな演奏（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 また、学生同士で弾き合いを行い、他者の演奏で気づいたことを話し合ってみる。自分では気づかなかった欠点やその克服方法を知ることができる場合がある。	
10	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（前半）、経験者：強弱の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
11	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（後半）、経験者：テンポと表情記号の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
12	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（全体）、経験	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	者：適切なテンポで演奏する）	む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
13	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：強弱を伴う演奏、経験者：適切な表現で演奏する）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 学生同士で弾き合いを行い、気づいたことを話し合う。	
14	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：適切なテンポで演奏する、経験者：暗譜で演奏する） クラス内で成果発表し、教員から講評を受けるとともに、まとめの発表会の準備をする	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
15	まとめの発表会（ひとりずつ教員全員の前で演奏発表し、教員から講評を受ける）	人前での演奏で普段通りできたこと、できなかったことを各自でリスト化し、その原因と対策を考える（60分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI284

授業形態： 演習

科目名： ピアノ特別演習【保B】

担当教員： 出木浦 孝(DEKIURA Takashi)

### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現 に引き続き、総合的に学科のめざす保育者像への前進となる授業です。原則として、学外の先生に指導を受けていない学生のために個人レッスン形態で行います。保育の現場で実際に役に立つ実力を身につける方法は時間をかけて個々に練習することしかありませんが、曲の選び方やちょっとした練習法のコツなど、的確な助言があると能率的に正しい方向へ進めることができます。ピアノの演奏に関しては、授業開始時点で個々に技術や表現力が大きく異なっています。一人ひとりの進路に合わせて課題を設定し、就職試験、そして現場で実力が発揮できるよう、計画的に授業を進めます。

。本授業科目は保育士資格取得のための選択必修科目です。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	自律心	3
		表現技術と創造力	7

### 【到達目標】

1. 保育の現場で役立つ技術や表現力を獲得することができる
2. 場面に合わせてより高度な音楽的表現で対応できる能力を身につけることができる
3. 実習や就職試験に自信をもって臨むことができる

### 【成績の評価】

担当教員全員の前で演奏することによるまとめの発表会90%、各担当教員による、普段の取組の姿勢に対する評価10%。  
演奏発表内容に関して教員から講評を受けることでフィードバックします。

### 【使用テキスト】

ソナチネアルバム、ソナタアルバムその他

### 【参考文献】

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション及び演奏曲の決定	決定した演奏曲の練習（各自の経験度等に応じて読譜、片手ずつの練習、両手の練習等）に取りかかる。（毎日20分以上）	
2	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜、経験者：読譜及びイメージング）	練習成果に対して教員からアドバイス、指導を受け、それを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上）	
3	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜及びメロディの理解、経験者：メロディと伴奏の理解）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
4	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（前半）、経験者：和音の理解（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
5	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（後半）、経験者：和音の理解（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
6	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（全体）、経験者：和音の理解（全体））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
7	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の理解、経験者：メロディと伴奏の関係）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
8	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（前半）、経験者：スムーズな演奏（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
9	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（後半）、経験者：スムーズな演奏（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 また、学生同士で弾き合いを行い、他者の演奏で気づいたことを話し合ってみる。自分では気づかなかった欠点やその克服方法を知ることができる場合がある。	
10	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（前半）、経験者：強弱の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
11	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（後半）、経験者：テンポと表情記号の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
12	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（全体）、経験	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	者：適切なテンポで演奏する）	む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
13	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：強弱を伴う演奏、経験者：適切な表現で演奏する）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 学生同士で弾き合いを行い、気づいたことを話し合う。	
14	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：適切なテンポで演奏する、経験者：暗譜で演奏する） クラス内で成果発表し、教員から講評を受けるとともに、まとめの発表会の準備をする	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
15	まとめの発表会（ひとりずつ教員全員の前で演奏発表し、教員から講評を受ける）	人前での演奏で普段通りできたこと、できなかったことを各自でリスト化し、その原因と対策を考える（60分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI284  
授業形態： 演習  
科目名： ピアノ特別演習【保B】  
担当教員： 西村 京子(NISHIMURA Kyoko)

#### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現 に引き続き、総合的に学科のめざす保育者像への前進となる授業です。  
原則として、学外の先生に指導を受けていない学生のために個人レッスン形態で行います。保育の現場で実際に役に立つ実力を身につける方法は時間をかけて個々に練習することしかありませんが、曲の選び方やちょっとした練習法のコツなど、的確な助言があると能率的に正しい方向へ進めることができます。  
ピアノの演奏に関しては、授業開始時点で個々に技術や表現力が大きく異なっています。一人ひとりの進路に合わせて課題を設定し、就職試験、そして現場で実力が発揮できるよう、計画的に授業を進めます

。本授業科目は保育士資格取得のための選択必修科目です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	自律心	3
		表現技術と創造力	7

#### 【到達目標】

1. 保育の現場で役立つ技術や表現力を獲得することができる
2. 場面に合わせてより高度な音楽的表現で対応できる能力を身につけることができる
3. 実習や就職試験に自信をもって臨むことができる

#### 【成績の評価】

担当教員全員の前で演奏することによるまとめの発表会90%、各担当教員による、普段の取組の姿勢に対する評価10%。  
演奏発表内容に関して教員から講評を受けることでフィードバックします。

#### 【使用テキスト】

ソナチネアルバム、ソナタアルバムその他

#### 【参考文献】

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション及び演奏曲の決定	決定した演奏曲の練習（各自の経験度等に応じて読譜、片手ずつの練習、両手の練習等）に取りかかる。（毎日20分以上）	
2	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜、経験者：読譜及びイメージング）	練習成果に対して教員からアドバイス、指導を受け、それを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上）	
3	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜及びメロディの理解、経験者：メロディと伴奏の理解）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
4	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（前半）、経験者：和音の理解（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
5	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（後半）、経験者：和音の理解（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
6	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（全体）、経験者：和音の理解（全体））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
7	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の理解、経験者：メロディと伴奏の関係）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
8	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（前半）、経験者：スムーズな演奏（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
9	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（後半）、経験者：スムーズな演奏（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 また、学生同士で弾き合いを行い、他者の演奏で気づいたことを話し合ってみる。自分では気づかなかった欠点やその克服方法を知ることができる場合がある。	
10	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（前半）、経験者：強弱の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
11	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（後半）、経験者：テンポと表情記号の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
12	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（全体）、経験	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	者：適切なテンポで演奏する）	む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
13	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：強弱を伴う演奏、経験者：適切な表現で演奏する）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 学生同士で弾き合いを行い、気づいたことを話し合う。	
14	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：適切なテンポで演奏する、経験者：暗譜で演奏する） クラス内で成果発表し、教員から講評を受けるとともに、まとめの発表会の準備をする	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
15	まとめの発表会（ひとりずつ教員全員の前で演奏発表し、教員から講評を受ける）	人前での演奏で普段通りできたこと、できなかったことを各自でリスト化し、その原因と対策を考える（60分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI284  
授業形態： 演習  
科目名： ピアノ特別演習【保B】  
担当教員： 渡辺 磨奈(WATANABE Mana)

#### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現 に引き続き、総合的に学科のめざす保育者像への前進となる授業です。  
原則として、学外の先生に指導を受けていない学生のために個人レッスン形態で行います。保育の現場で実際に役に立つ実力を身につける方法は時間をかけて個々に練習することしかありませんが、曲の選び方やちょっとした練習法のコツなど、的確な助言があると能率的に正しい方向へ進めることができます。  
ピアノの演奏に関しては、授業開始時点で個々に技術や表現力が大きく異なっています。一人ひとりの進路に合わせて課題を設定し、就職試験、そして現場で実力が発揮できるよう、計画的に授業を進めます

。本授業科目は保育士資格取得のための選択必修科目です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	自律心	3
		表現技術と創造力	7

#### 【到達目標】

1. 保育の現場で役立つ技術や表現力を獲得することができる
2. 場面に合わせてより高度な音楽的表現で対応できる能力を身につけることができる
3. 実習や就職試験に自信をもって臨むことができる

#### 【成績の評価】

担当教員全員の前で演奏することによるまとめの発表会90%、各担当教員による、普段の取組の姿勢に対する評価10%。  
演奏発表内容に関して教員から講評を受けることでフィードバックします。

#### 【使用テキスト】

ソナチネアルバム、ソナタアルバムその他

#### 【参考文献】

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション及び演奏曲の決定	決定した演奏曲の練習（各自の経験度等に応じて読譜、片手ずつの練習、両手の練習等）に取りかかる。（毎日20分以上）	
2	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜、経験者：読譜及びイメージング）	練習成果に対して教員からアドバイス、指導を受け、それを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上）	
3	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜及びメロディの理解、経験者：メロディと伴奏の理解）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
4	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（前半）、経験者：和音の理解（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
5	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（後半）、経験者：和音の理解（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
6	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（全体）、経験者：和音の理解（全体））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
7	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の理解、経験者：メロディと伴奏の関係）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
8	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（前半）、経験者：スムーズな演奏（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
9	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（後半）、経験者：スムーズな演奏（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 また、学生同士で弾き合いを行い、他者の演奏で気づいたことを話し合ってみる。自分では気づかなかった欠点やその克服方法を知ることができる場合がある。	
10	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（前半）、経験者：強弱の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
11	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（後半）、経験者：テンポと表情記号の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
12	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（全体）、経験	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	者：適切なテンポで演奏する）	む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
13	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：強弱を伴う演奏、経験者：適切な表現で演奏する）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 学生同士で弾き合いを行い、気づいたことを話し合う。	
14	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：適切なテンポで演奏する、経験者：暗譜で演奏する） クラス内で成果発表し、教員から講評を受けるとともに、まとめの発表会の準備をする	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
15	まとめの発表会（ひとりずつ教員全員の前で演奏発表し、教員から講評を受ける）	人前での演奏で普段通りできたこと、できなかったことを各自でリスト化し、その原因と対策を考える（60分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： CUI284  
授業形態： 演習  
科目名： ピアノ特別演習【保B】  
担当教員： 柴田 玲子(SHIBATA Reiko)

#### 【授業の紹介】

子どもと音楽表現 に引き続き、総合的に学科のめざす保育者像への前進となる授業です。  
原則として、学外の先生に指導を受けていない学生のために個人レッスン形態で行います。保育の現場で実際に役に立つ実力を身につける方法は時間をかけて個々に練習することしかありませんが、曲の選び方やちょっとした練習法のコツなど、的確な助言があると能率的に正しい方向へ進めることができます。  
ピアノの演奏に関しては、授業開始時点で個々に技術や表現力が大きく異なっています。一人ひとりの進路に合わせて課題を設定し、就職試験、そして現場で実力が発揮できるよう、計画的に授業を進めます

。本授業科目は保育士資格取得のための選択必修科目です。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	自律心	3
		表現技術と創造力	7

#### 【到達目標】

1. 保育の現場で役立つ技術や表現力を獲得することができる
2. 場面に合わせてより高度な音楽的表現で対応できる能力を身につけることができる
3. 実習や就職試験に自信をもって臨むことができる

#### 【成績の評価】

担当教員全員の前で演奏することによるまとめの発表会90%、各担当教員による、普段の取組の姿勢に対する評価10%。  
演奏発表内容に関して教員から講評を受けることでフィードバックします。

#### 【使用テキスト】

ソナチネアルバム、ソナタアルバムその他

#### 【参考文献】

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション及び演奏曲の決定	決定した演奏曲の練習（各自の経験度等に応じて読譜、片手ずつの練習、両手の練習等）に取りかかる。（毎日20分以上）	
2	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜、経験者：読譜及びイメージング）	練習成果に対して教員からアドバイス、指導を受け、それを踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上）	
3	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：読譜及びメロディの理解、経験者：メロディと伴奏の理解）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
4	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（前半）、経験者：和音の理解（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
5	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（後半）、経験者：和音の理解（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
6	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：メロディ演奏（全体）、経験者：和音の理解（全体））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
7	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の理解、経験者：メロディと伴奏の関係）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
8	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（前半）、経験者：スムーズな演奏（前半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
9	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：伴奏の演奏（後半）、経験者：スムーズな演奏（後半））	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 また、学生同士で弾き合いを行い、他者の演奏で気づいたことを話し合ってみる。自分では気づかなかった欠点やその克服方法を知ることができる場合がある。	
10	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（前半）、経験者：強弱の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
11	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（後半）、経験者：テンポと表情記号の意味）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
12	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：両手の演奏（全体）、経験	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイス、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	者：適切なテンポで演奏する）	む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
13	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：強弱を伴う演奏、経験者：適切な表現で演奏する）	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。 学生同士で弾き合いを行い、気づいたことを話し合う。	
14	個々のレベルに応じた演奏技術・表現力の研究（初心者：適切なテンポで演奏する、経験者：暗譜で演奏する） クラス内で成果発表し、教員から講評を受けるとともに、まとめの発表会の準備をする	前回の練習成果に対して教員から受けたアドバイスを、指導を踏まえたうえで練習に取り組む。（毎日20分以上） 疑問を感じた場合はノートに書き出しておく。	
15	まとめの発表会（ひとりずつ教員全員の前で演奏発表し、教員から講評を受ける）	人前での演奏で普段通りできたこと、できなかったことを各自でリスト化し、その原因と対策を考える（60分以上）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PRA101

授業形態： 演習

科目名： 保育実習指導 -

担当教員： 森本 将行(MORIMOTO Masayuki), 有馬 則子(ARIMA Noriko)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、保育士資格取得のための必修科目です。

この授業は、保育実習を円滑に進めるために必要な基礎的な知識や態度の習得を目指します。保育実習の意義や目的を理解することからはじまり、実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護、守秘義務など、保育に携わる者にとって最も重要な事項も学びます。また児童福祉施設の役割と機能、保育者の役割や職務内容、保育所保育指針を基にした保育内容についても具体的に学んでいきます。

本授業ではアクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、発見学習、問題解決学習）を取り入れ、主体的で協働的な学びを目指します。

Google Classroom(クラスコード：grgs1o6)を使用し、ICT を活用した双方向型授業を実施します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		規範意識	2
		自律心	1
		指針・要領の理解	1
		保育に関わる専門的知識の習得	1
		洞察・判断する力	1
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

### 【到達目標】

1. 保育実習の意義・目的を理解することができる
2. 実習に対する心構えと誠実に向き合う姿勢、倫理観を高めることができるようになる
3. 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする方法を学ぶことができる
4. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について具体的に学ぶことができる。
5. 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に学ぶことができる。
6. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にすることができる



【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・実習に際しての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「守秘義務」について調べ、その内容をノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
2	保育実習の概要と目的、実習の内容を理解する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「実習の目的・意義」について調べ、その内容をノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
3	保育士の職業倫理と子どもの権利条約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「子どもの権利条約」「全国保育士倫理綱領」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
4	保育士の専門性と業務内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「保育士の専門性と業務内容」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
5	保育所、児童福祉施設等の役割や機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、保育実習に施設での実習が含まれる理由を調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
6	保育所保育指針に基づく保育の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「環境を通して、養護及び教育を一体的に行う」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
7	施設における子どもの生活と環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「施設は子どもが帰る場所」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
8	実習に際しての留意事項 <身だしなみ>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、「保育者の身なり」について調べ、その内容をノート等にまとめたり、資料を集めておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワード</li> </ul>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		を3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する（30分）	
9	実習に際しての留意事項 <心構え>	・予習として、「実習生としての心構え」について調べ、その内容をノート等にまとめてたり、資料を集めておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する（30分）	
10	既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ、保育の実践力を習得する	・予習として、講義内で友だちに紹介する手遊びの練習をしておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する（30分）	
11	講義のまとめ・質疑応答	・予習として、今までの講義資料などを自分なりにまとめておく（60分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する（30分）	
12	自らの実習課題を明確化する <自己分析・自己理解>	・予習として、前回の授業の最後に課された課題に取り組み、提出すること（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する（30分）	
13	自らの実習課題を明確化する <目指すべき姿を理解する>	・予習として、前回の授業の最後に課された課題に取り組み、提出すること（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する（30分）	
14	見学実習 に向けた事前学習<保育所>	・予習として、見学実習先（保育所）について調べ、その内容をノート等にまとめてたり、資料を集めておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する（30分）	見学実習先や日程などの詳細については、調整が出来次第、お伝えします。
15	見学実習 に向けた事前学習<施設>	・予習として、見学実習先（施設）について調べ、その内容をノート等にまとめてたり、資料を集めておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・手遊びを調べ、ネタ帳を作成する（30分）	見学実習先や日程などの詳細については、調整が出来次第、お伝えします。
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PRA102

授業形態： 演習

科目名： 保育実習指導 -

担当教員： 森本 将行(MORIMOTO Masayuki), 有馬 則子(ARIMA Noriko)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育実習指導 - 」を履修していることが受講の条件となります。

この授業は、保育実習を円滑に進めるために必要な基礎的な知識や態度の習得を目指します。また記録の仕方、指導案の考え方、教材準備、保育実技などの技能の習得も目指します。そして、保育実習に向けた具体的な準備にも取り組みます。保育実習の全体計画を作成する中で、より実習内容の理解を深め、自らの実習課題を明確にすることにも取り組みます。さらに実習後に、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にすることにも取り組みます。

本授業ではアクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、発見学習、問題解決学習）を取り入れ、主体的で協働的な学びを目指します。

Google Classroom(クラスコード：grgs1o6)を使用し、ICT を活用した双方向型授業を実施します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者 に温かく接することのできる豊かな人 間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎 技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		規範意識	2
		自律心	1
		指針・要領の理解	1
		保育に関わる専門的知識の習得	1
		洞察・判断する力	1
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

### 【到達目標】

1. 保育実習の意義・目的を理解することができる
2. 実習に対する心構えと誠実に向き合う姿勢、倫理観を高めることができるようになる
3. 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする方法を学ぶことができる
4. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について具体的に学ぶことができる。
5. 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に学ぶことができる。
6. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にすることができる

## 【成績の評価】

授業中の態度...10%

見学実習...10%

試験(授業内で実施)...50%

課題(保育実習全体計画)...15%

課題(わらべうた収集)...15%

ただし、欠席や遅刻が多い、実習に意欲が感じられない、子どもの最善の利益が守られない可能性が高いなどと実習担当者が判断した場合、保育実習を中止することがあります。

試験の結果は、オフィスアワー時に解説することによってフィードバックします。

「保育実習」「保育実習指導 - 」「保育実習指導 - 」は形式上、それぞれ個別に単位認定がされますが、カリキュラム編成上、「保育実習」「保育実習指導 - 」と同時期に単位が認定されません。

「保育実習」「保育実習指導 - 」「保育実習指導 - 」は、それぞれが有機的に連動し、学修成果が測られる性格を有する科目のため、単独で単位が認定されることはありません。

## 【使用テキスト】

近喰晴子・寅屋壽廣・松田純子編『保育実習』（中央法規、2019年）

高松大学・高松短期大学編『保育実習の手引き』（2019年）

厚生労働省編『保育所保育指針』（フレーベル館、2018年）

厚生労働省編『保育所保育指針解説』（フレーベル館、2018年）

内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（フレーベル館、2018年）

内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館、2018年）

## 【参考文献】

適宜紹介します。

## 【実務経験】

有り

## 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育園、幼稚園型こども園での勤務経験を活かし、具体的な保育実践例を示しながら授業を行います。

## 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、改めて保育実習の目的と意義を学び直しておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・わらべ歌遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
2	見学実習 < 保育所 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、以前取り組んだ事前学習に目を通し、自身の課題を確認しておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・わらべ歌遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
3	見学実習 < 施設 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、以前取り組んだ事前学習に目を通し、自身の課題を確認しておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・わらべ歌遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
4	見学実習の振り返りとまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、見学実習での学びをノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・わらべ歌遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
5	実習施設について事前学習 < 実習施設の理解を深める >	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、振り分けられた実習施設について調べ、ノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・わらべ歌遊びを調べ、ネタ帳作成(30分)</li> </ul>	
6	実習施設について事前学習 < 昨年度の実習報告 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、実習施設について知りたいこと、調べても情報がなかったことをノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・わらべ歌遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
7	自らの実習課題を明確化する < 保育実習計画作成 >	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、ここまで講義内容を踏まえ、自身の保育実習の課題を明確にしておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・わらべ歌遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
8	保育実習関係書類作成指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある資料を基に関係書類の作</li> </ul>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		成しておく(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分) ・わらべ歌遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)	
9	保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価 <記録と自己評価の方法>	・予習として、記録と自己評価の方法について調べてノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分) ・わらべ歌遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)	
10	保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価 <計画の立て方>	・予習として、保育計画の立て方について調べて、ノート等にまとめたり、資料を集めたりしておく(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分) ・わらべ歌遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)	
11	保育実習事前・事後の取り組み	・予習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある資料を基に、一度お礼状を作成しておくこと(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分) ・わらべ歌遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)	
12	実習生としての心構えと身なり	・予習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある資料を活用し、実習生としての心構えと、実習生としての身なりについて学んでおくこと(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分) ・わらべ歌遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)	
13	講義のまとめと質疑応答	・予習として、今までの講義を振り返り、疑問点などを挙げておくこと(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)	
14	実習直前、最終確認	・予習として、本講義までに保育実習の事前学習と、名札作成に取り組み、持参すること(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)	
15	保育実習 中間報告	・予習として、保育実習での学びをノート等にまとめておくこと(30分) ・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワード	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		を3個あげ、それについて調べてノート等に まとめておく（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PRA103  
 授業形態： 実習  
 科目名： 保育実習  
 担当教員： 森本 将行(MORIMOTO Masayuki)

【授業の紹介】

本授業科目は、保育士資格取得のための必修科目であり、「保育実習指導 - 」 「保育実習指導 - 」を履修していることが受講の条件となります。  
 保育実習は、その習得した教科全体の知識、技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養うため、児童に対する理解を通じて保育の理論と実践の関係について習熟させることが目的です。保育実習はその第一段階です。  
 保育実習は「保育所実習」と「施設実習」からなっており、それぞれの実習を「おおむね10日、90時間以上」という期間で取り組みます。その期間中は記録に基づく省察・自己評価を繰り返すことを求めています。実習の主な内容として保育所実習は 保育所の役割と機能の理解 子どもの理解 保育内容・保育環境の理解 保育の計画・観察・記録の具体的理解 専門職としての保育士の役割と職業倫理の具体的理解であり、施設実習は 施設の役割と機能の理解 施設における子どもの理解 施設における子どもの生活と環境の理解 計画と記録の具体的な理解 専門職としての保育士の役割と倫理の具体的な理解であり、それらに取り組んでいきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1．子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		2．自分に厳しく、子どもと保護者 に温かく接することのできる豊かな人 間性
		3．高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎 技能を基盤とした保育実践力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		望ましい行動	1
		規範意識	1
		自律心	1
		温かさ	1
		協働・連携する力	1
		洞察・判断する力	1
		表現技術と創造力	1
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

【到達目標】

- 1．保育所、児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解することができる。
- 2．観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深めることができるようになる
- 3．既習の教科目の内容を踏まえ、子どもの保育及び保護者への支援について総合的に理解することができる
- 4．保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に学ぼうとすることができる
- 5．保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぼうとすることができる

## 【成績の評価】

- ・実習園からの評価...80%
  - ・実習日誌等...10%
  - ・事後の振り返り...10%
- 事後指導やオフィスアワー時にて評価の解説をすることでフィードバックします

「保育実習」「保育実習指導 - -」「保育実習指導 - -」は形式上、それぞれ個別に単位が認定されますが、カリキュラム編成上、「保育実習」と同時期に単位が認定されます。  
「保育実習」「保育実習指導 - -」「保育実習指導 - -」は、それぞれが有機的に連動し、学修成果が測られる性格を有する科目のため、単独で単位が認定されることはありません。

## 【使用テキスト】

高松大学・高松短期大学編『保育実習の手引き』（2019年）  
厚生労働省編『保育所保育指針』（フレーベル館、2018年）  
厚生労働省編『保育所保育指針解説』（フレーベル館、2018年）  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（フレーベル館、2018年）  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館、2018年）

## 【参考文献】

なし

## 【実務経験】

有り

## 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育園、幼稚園型こども園での勤務経験を活かし、具体的な保育実践例を示しながら授業を行います。

## 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	事前指導	・実習施設について調べる（2時間）	保育実習指導 - 、保育実習指導 -にて実施
2	保育実習 全体計画作成	・保育実習 の課題を明確化し、計画を作成し、提出すること（3時間）	保育実習指導 - にて実施
3	事前書類作成	・保育実習 の評価を基に課題を明確化し、計画を作成し、提出すること（1時間）	保育実習指導 - にて実施
4	オリエンテーション	・実習施設にて実施していただき、報告書を提出すること（1時間） ・事前に質問内容を考え、まとめておく（2時間）	
5	【A期間】観察実習・参加実習・助手実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する（2時間）	観察とあるがそれだけを行うのではなく、参加、助手を行いながら同時に観察を行っていく
6	【A期間】参加実習・助手実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する（2時間） ・事前に指導案を作成し、実習生自身が保育者となり、一日で指示された場面の保育を行う（3時間）	
7	【A期間】部分実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する（2時間） ・事前に指導案を作成し、実習生自身が保育者となり、一日の保育を行う（3時間）	
8	【A期間】実習施設との振り返り	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する（2時間）	
9	【A期間】実習事後	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する（2時間） ・保育実習 全体の振り返りを行い、実施施設に提出すること（3時間）	
10	中間報告	・A期間での学びと、報告すべき内容をまとめておく（3時間）	
11	【B期間】観察実習・参加実習・助手実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する（2時間）	観察とあるがそれだけを行うのではなく、参加、助手を行いながら同時に観察を行っていく
12	【B期間】参加実習・助手実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する（2時間） ・事前に指導案を作成し、実習生自身が保育者となり、一日で指示された場面の保育を行う。（3時間）	
13	【B期間】部分実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する（2時間） ・事前に指導案を作成し、実習生自身が保育者となり、一日の保育を行う（3時間）	
14	【B期間】実習施設との振り返り	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する（2時間）	
15	【B期間】実習事後	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する（2時間） ・保育実習 全体の振り返りを行い、実施施設に提出すること（3時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
16	成績通知	・実施施設からの評価を受け取る前に、自己評価を行っておくこと(2時間)	保育実習指導にて実施
17	事後指導	・自己評価と他者評価を基に今後の課題を明確化すること(3時間)	保育実習指導にて実施
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PRA204  
 授業形態： 演習  
 科目名： 保育実習指導  
 担当教員： 森本 将行(MORIMOTO Masayuki)

【授業の紹介】

本授業科目は、保育士資格取得のための選択必修科目であり、「保育実習」「保育実習指導 - 」  
 「保育実習指導 - 」の単位認定がされていることが受講の条件となります。

この授業は保育実習の意義や目的の理解を深めていきます。また保育実習での学びと既習の教科目の内容を関連付け、保育の実践力も培います。さらに保育士の専門性や職業倫理、子どもの人権と最善の利益を考慮するという点についても、保育実習での経験を生かし、具体的な保育実践と結びつけて理解していきます。

実践と省察を積み重ねる態度を身に付け、保育に対する課題や認識を明確にできることを目指し、保育実習の事前指導、事後指導も行います。事前指導では保育実習における自身の課題を明確し、事後指導では自己評価と他者評価を踏まえ、保育者として新たな課題を見出すことに取り組みます。

本授業では積極的にアクティブ・ラーニング(ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、発見学習、問題解決学習)を取り入れ、主体的で協働的な学びを目指します。

Google Classroom(クラスコード：s3t34dz)を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		規範意識	2
		自律心	2
		指針・要領の理解	2
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

【到達目標】

1. 保育実習の意義と目的を理解し、保育所保育指針に基づいた保育を総合的に理解できるようになる
2. 既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ保育を計画、実践できるようになる。
3. 保育の観察、記録及び自己評価等を踏まえた保育の改善について、実践や事例を通して理解する
4. 保育士の専門性と職業倫理について理解深め、誠実さを持って保育に向き合うことができる
5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、自身の保育に対する課題や認識を明確にすることができる

## 【成績の評価】

- ・授業中の態度...10%
  - ・提出物...10%
  - ・試験(授業内で実施)...25%
  - ・課題(保育実習のまとめ)...40%
  - ・課題(ちょこっと遊び収集)...15%
- ただし、欠席や遅刻が多い、実習に意欲が感じられない、子どもの最善の利益が守られない可能性が高いなどと実習担当者が判断した場合、保育実習を中止することがあります。

試験の結果は、オフィスアワー時に解説することによってフィードバックします。

「保育実習」「保育実習指導」は形式上、それぞれ個別に単位が認定されますが、カリキュラム編成上、「保育実習」と同時期に単位が認定されます。  
「保育実習」「保育実習指導」は、それぞれが有機的に連動し、学修成果が測られる性格を有する科目のため、単独で単位が認定されることはありません。

## 【使用テキスト】

近喰晴子・寅屋壽廣・松田純子編『保育実習』（中央法規、2019年）  
高松大学・高松短期大学編『保育実習の手引き』（2019年）  
厚生労働省編『保育所保育指針』（フレーベル館、2018年）  
厚生労働省編『保育所保育指針解説』（フレーベル館、2018年）  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（フレーベル館、2018年）  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館、2018年）

## 【参考文献】

適宜紹介します。

## 【実務経験】

有り

## 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育園、幼稚園型こども園での勤務経験を活かし、具体的な保育実践例を示しながら授業を行います。

## 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、保育実習 の学びをまとめておき、その内容をノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
2	保育実習 の意義と目的の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、保育実習 の意義を調べ、その内容をノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
3	保育実習 の課題を明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、実習施設からの評価を受け、そのような結果に至った理由を考慮しておく(30分)</li> <li>・復習として、保育実習 の評価を基に保育実習 の課題を明確にする(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
4	実習生としての立ち振る舞い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、実習生としての立ち振る舞いについて調べ、その内容をノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
5	保育実習 全体計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、保育実習 の全体計画を作成する(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
6	子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、保育実習 の経験を振り返り、子どもの最善の利益を考慮した保育の具体例をノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
7	養護と教育が一体となって行われる保育の具体的理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習 で、養護と教育が一体となって行われたと思う保育の具体例をノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
8	環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育の具体的理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、生活や遊びを通して総合的に行う保育について調べ、その内容をノート等にまとめておく(30分)</li> </ul>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する（30分）</li> </ul>	
9	指導計画の作成・実践・観察・記録・評価の流れの理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、生活や遊びを通して総合的に行う保育における計画、実践、観察、記録、評価の流れについて調べ、その内容をノート等にまとめてとっておく（30分）</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する（30分）</li> </ul>	
10	保育実習関係書類作成指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、保育実習 の経験を基に保育実習関係書類を作成しておく（30分）</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する（30分）</li> </ul>	
11	保育実習 全体計画の中間評価と改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、自身で立てた保育実習 全体計画の中間評価しておく（30分）</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する（30分）</li> </ul>	
12	実習直前、最終確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある資料を基に実習のマナーなどを復習しておく（30分）</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）</li> </ul>	
13	保育実習 成績通知と学びのまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、保育実習 の自己評価をノート等にまとめてとっておく（30分）</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）</li> </ul>	
14	保育実習まとめと今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、保育実習 、保育実習（保育実習）を通じた学びを、ノート等にまとめておく（30分）</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）</li> </ul>	
15	保育実習報告会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、報告すべき内容をまとめ、ノート等に整理しておく（30分）</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分）</li> </ul>	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PRA205  
 授業形態： 実習  
 科目名： 保育実習  
 担当教員： 森本 将行(MORIMOTO Masayuki)

【授業の紹介】

本授業科目は、保育士資格取得のための選択必修科目であり、「保育実習」「保育実習指導 - 」  
 「保育実習指導 - 」の単位が認定されていること、「保育実習指導 - 」を履修していることが受講の  
 条件となります。

保育実習は、その習得した教科全体の知識、技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養  
 うため、児童に対する理解を通じて保育の理論と実践の関係について習熟させることが目的です。

保育実習 では保育実習 での経験や学びを基に 保育所の役割や機能の具体的展開 観察に基づく保  
 育の理解 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 指導計画の作成・実践・観察  
 ・記録・評価 保育士の業務と職業倫理 自己の課題の明確化、ということをも具体的な実践と結び付け  
 りしながら、理解を深めていきます。

また、保育実習 の評価などを踏まえ、自身で保育者としての課題を明確にし、計画的にその課題に取り  
 組みます。さらに、日々記録に基づく省察・自己評価を繰り返しながら、実習に取り組むことが強く求  
 められます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1．子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		2．自分に厳しく、子どもと保護者 に温かく接することのできる豊かな人 間性
		3．高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎 技能を基盤とした保育実践力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		望ましい行動	1
		規範意識	1
		自律心	1
		温かさ	1
		協働・連携する力	1
		洞察・判断する力	1
		表現技術と創造力	1
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

【到達目標】

- 1．保育所の役割や機能について、具体的な実践を通して理解を深めることができる。
- 2．子どもの観察や関わりの視点をより明確にし、保育の理解を深めることができるようになる
- 3．既習の教科目や保育実習 の経験を踏まえ、子どもの保育及び子育て支援について総 合的に理解  
することができる
- 4．保育の計画・実践・観察・記録及び自己評価等について、実際に取り組み、理解を深めること  
ができるようになる
- 5．保育士の業務内容や職業倫理について、具体的な実践に結びつけて理解することができる。
- 6．実習における自己の課題を明確化することができる。

## 【成績の評価】

- ・実習園からの評価...80%
  - ・実習日誌等...10%
  - ・事後の振り返り...10%
- 事後指導やオフィスアワー時にて評価の解説をすることでフィードバックします。

「保育実習」「保育実習指導」は形式上、それぞれ個別に単位が認定されますが、カリキュラム編成上、「保育実習」と同時期に単位が認定されます。  
「保育実習」「保育実習指導」は、それぞれが有機的に連動し、学修成果が測られる性格を有する科目のため、単独で単位が認定されることはありません。

## 【使用テキスト】

高松大学・高松短期大学編『保育実習の手引き』（2019年）  
厚生労働省編『保育所保育指針』（フレーベル館、2018年）  
厚生労働省編『保育所保育指針解説』（フレーベル館、2018年）  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（フレーベル館、2018年）  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館、2018年）

## 【参考文献】

なし

## 【実務経験】

有り

## 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育園、幼稚園型こども園での勤務経験を活かし、具体的な保育実践例を示しながら授業を行います。

## 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容(時間) / 復習内容(時間)	備考
1	事前指導	・実習施設について調べる(2時間)	保育実習指導にて実施
2	保育実習 全体計画作成	・保育実習 の評価を基に課題を明確化し、計画を作成し、提出すること(2時間)	保育実習指導にて実施
3	事前書類作成	・丁寧かつ正確に作成し、提出すること(2時間)	保育実習指導にて実施
4	オリエンテーション	・実習施設にて実施していただき、報告書を提出すること(1時間) ・事前に質問内容を考え、まとめておく(1時間)	
5	観察実習・参加実習・助手実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する(2時間)	観察とあるがそれだけを行うのではなく、参加、助手を行いながら同時に観察を行っていく
6	参加実習・助手実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する(2時間)	
7	部分実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する(2時間) ・事前に指導案を作成し、実習生自身が保育者となり、一日の中で指示された場面の保育を行う(2時間)	
8	全日実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する(2時間) ・事前に指導案を作成し、実習生自身が保育者となり、一日の保育を行う(2時間)	
9	実習施設との振り返り	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する(2時間)	
10	実習事後	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する(2時間) ・保育実習 全体の振り返りを行い、実施施設に提出すること(2時間)	
11	成績通知	・実施施設からの評価を受け取る前に、自己評価を行っておくこと(2時間)	保育実習指導にて実施
12	事後指導	・自己評価と他者評価を基に今後の課題を明確化すること(2時間)	保育実習指導にて実施
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PRA206  
 授業形態： 演習  
 科目名： 保育実習指導  
 担当教員： 森本 将行(MORIMOTO Masayuki)

【授業の紹介】

本授業科目は、保育士資格取得のための選択必修科目であり、「保育実習」「保育実習指導 - 」  
 「保育実習指導 - 」の単位認定がされていることが受講の条件となります。

この授業は保育実習の意義や目的の理解を深めていきます。また保育実習での学びと既習の教科目の内容を関連付け、保育の実践力も培います。さらに保育士の専門性や職業倫理、子どもの人権と最善の利益を考慮するという点についても、保育実習での経験を生かし、具体的な保育実践と結びつけて理解していきます。

実践と省察を積み重ねる態度を身に付け、保育に対する課題や認識を明確にできることを目指し、保育実習の事前指導、事後指導も行います。事前指導では保育実習における自身の課題を明確し、事後指導では自己評価と他者評価を踏まえ、保育者として新たな課題を見出すことに取り組みます。

本授業では積極的にアクティブ・ラーニング(ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、発見学習、問題解決学習)を取り入れ、主体的で協働的な学びを目指し、ます。

Google Classroom(クラスコード：s3t34dz)を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者 に温かく接することのできる豊かな人 間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎 技能を基盤とした保育実践力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		規範意識	2
		自律心	2
		指針・要領の理解	2
		保育を計画する力	2

【到達目標】

1. 保育実習の意義と目的を理解することができる
2. 既習の教科目の内容やその関連性を踏まえ保育を計画、実践できるようになる
3. 観察、記録及び自己評価等を踏まえた援助の改善について、実践や事例を通して理解することができる
4. 施設保育士の専門性と職業倫理について理解深め、誠実さを持って実習に向き合うことができる
5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、自身の課題や認識を明確にすることができる

## 【成績の評価】

- ・授業中の態度...10%
- ・提出物...10%
- ・試験(授業内で実施)...25%
- ・課題(保育実習のまとめ)...40%
- ・課題(遊びのネタ収集)...15%

ただし、欠席や遅刻が多い、実習に意欲が感じられない、子どもの最善の利益が守られない可能性が高いなどと実習担当者が判断した場合、保育実習を中止することがあります。

試験の結果は、オフィスアワー時に解説することによってフィードバックします。

「保育実習」「保育実習指導」は形式上、それぞれ個別に単位が認定されますが、カリキュラム編成上、「保育実習」と同時期に単位が認定されます。  
「保育実習」「保育実習指導」は、それぞれが有機的に連動し、学修成果が測られる性格を有する科目のため、単独で単位が認定されることはありません。

## 【使用テキスト】

近喰晴子・寅屋壽廣・松田純子編『保育実習』（中央法規、2019年）  
高松大学・高松短期大学編『保育実習の手引き』（2019年）

## 【参考文献】

- ・保育所保育指針解説（フレーベル館、2018年）
  - ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（フレーベル館、2018年）
- その他、適宜紹介します。

## 【実務経験】

有り

## 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育園、幼稚園型こども園での勤務経験を活かし、具体的な保育実践例を示しながら授業を行います。

## 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、保育実習 の学びをまとめておき、その内容をノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
2	保育実習 の意義と目的の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、実習施設からの評価を受け、そのような結果に至った理由を考えておく(30分)</li> <li>・復習として、保育実習 の評価を基に保育実習 の課題を明確にする(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
3	保育実習 の課題を明確化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、保育実習 の評価がそのような結果になった要因を考えておく(30分)</li> <li>・復習として、保育実習 の評価を基に保育実習 の課題を明確にする(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
4	実習生としての立ち振る舞い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、実習生としての立ち振る舞いについて調べ、その内容をノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
5	保育実習 全体計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、保育実習 の全体計画を作成する(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
6	子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、保育実習 の経験を振り返り、子どもの最善の利益を考慮した保育の具体例をノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
7	養護と教育が一体となって行われる保育の具体的理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育実習 で、養護と教育が一体となって行われたと思う保育の具体例をノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワードを3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する(30分)</li> </ul>	
8	環境を通して行う援助の具体的理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習として、環境を通して行う援助について調べ、その内容をノート等にまとめておく(30分)</li> <li>・復習として、Google Classroomの【共有フォルダ】内にある講義資料からキーワード</li> </ul>	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		を3個あげ、それについて調べてノート等にまとめておく（30分） ・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する（30分）	
9	指導計画の作成・実践・観察・記録・評価の流れの理解	・予習として、生活や遊びを通して総合的に 行う保育における計画、実践、観察、記録、 評価の流れについて調べ、その内容をノート 等にまとめておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フ ォルダ】内にある講義資料からキーワードを 3個あげ、それについて調べてノート等にま とめておく（30分） ・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する （30分）	
10	保育実習関係書類作成指導	・予習として、保育実習 の経験を基に保育 実習関係書類を作成しておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フ ォルダ】内にある講義資料からキーワードを 3個あげ、それについて調べてノート等にま とめておく（30分） ・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する （30分）	
11	保育実習 全体計画の中間評価と改善	・予習として、自身で立てた保育実習 全体 計画の中間評価しておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フ ォルダ】内にある講義資料からキーワードを 3個あげ、それについて調べてノート等にま とめておく（30分） ・ちょこっと遊びを調べ、ネタ帳を作成する （30分）	
12	実習直前、最終確認	・予習として、Google Classroomの【共有フ ォルダ】内にある資料を基に実習のマナーな などを復習しておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フ ォルダ】内にある講義資料からキーワードを 3個あげ、それについて調べてノート等にま とめておく（30分）	
13	保育実習 成績通知と学びのまとめ	・予習として、保育実習 の自己評価をノ ート等にまとめておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フ ォルダ】内にある講義資料からキーワードを 3個あげ、それについて調べてノート等にま とめておく（30分）	
14	保育実習まとめと今後の課題	・予習として、保育実習 、保育実習 を通 じた学びを、ノート等にまとめておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フ ォルダ】内にある講義資料からキーワードを 3個あげ、それについて調べてノート等にま とめておく（30分）	
15	保育実習報告会	・予習として、報告すべき内容をまとめ、ノ ート等に整理しておく（30分） ・復習として、Google Classroomの【共有フ ォルダ】内にある講義資料からキーワードを 3個あげ、それについて調べてノート等にま とめておく（30分）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PRA207  
 授業形態： 実習  
 科目名： 保育実習  
 担当教員： 森本 将行(MORIMOTO Masayuki)

【授業の紹介】

本授業科目は、保育士資格取得のための選択必修科目であり、「保育実習」「保育実習指導 - 」  
 「保育実習指導 - 」の単位が認定されていること、「保育実習指導 - 」を履修していることが受講の  
 条件となります。

保育実習は、その習得した教科全体の知識、技能を基礎とし、これらを総合的に実践する応用能力を養  
 うため、児童に対する理解を通じて保育の理論と実践の関係について習熟させることが目的です。

保育実習では、保育実習での経験や学びを基に、保育所以外の児童福祉施設等の役割と機能の理解  
 と保育士の多様な業務と職業倫理について具体的に理解を深めていきます。また受容し、共感する態度  
 を培う個人差や生活環境に伴う子ども（利用者）のニーズの把握と子ども理解 個別支援計画の作成し  
 実践する 子ども（利用者）の家族への支援と対応についての具体的な理解 各施設における多様な専門  
 職との連携・協働の具体的な理解 地域社会との連携・協働の理解、ということにも取り組み、施設にお  
 ける支援の実際について理解を深めます。

そして、保育実習の評価などを踏まえ、自身で保育者としての課題を明確にし、計画的にその課題に  
 取り組みます。さらに、日々記録に基づく省察・自己評価を繰り返しながら、実習に取り組むことが強く  
 求められます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1．子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		2．自分に厳しく、子どもと保護者 に温かく接することのできる豊かな人 間性
		3．高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力
		4．多彩な保育活動を創出する基礎 技能を基盤とした保育実践力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		望ましい行動	1
		規範意識	1
		自律心	1
		温かさ	1
		協働・連携する力	1
		洞察・判断する力	1
		表現技術と創造力	1
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

【到達目標】

- 1．既習の教科目や保育実習の経験を踏まえ、児童福祉施設等（保育所以外）の役割や機能について実践  
を通して、理解することができる。
- 2．家庭と地域の生活実態にふれ、子ども家庭福祉、社会的養護、障害児支援に対する理解をもとに、保  
護者支援、家庭支援のための知識、技術、判断力を習得することができる。
- 3．施設保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解することができる。
- 4．実習における自己の課題を明確化することができる。

## 【成績の評価】

- ・実習園からの評価...80%
  - ・実習日誌等...10%
  - ・事後の振り返り...10%
- 事後指導やオフィスアワー時にて評価の解説をすることでフィードバックします。

「保育実習」「保育実習指導」は形式上、それぞれ個別に単位が認定されますが、カリキュラム編成上、「保育実習」と同時期に単位が認定されます。  
「保育実習」「保育実習指導」は、それぞれが有機的に連動し、学修成果が測られる性格を有する科目のため、単独で単位が認定されることはありません。

## 【使用テキスト】

高松大学・高松短期大学編『保育実習の手引き』（2019年）  
厚生労働省編『保育所保育指針』（フレーベル館、2018年）  
厚生労働省編『保育所保育指針解説』（フレーベル館、2018年）  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（フレーベル館、2018年）  
内閣府・文部科学省・厚生労働省『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（フレーベル館、2018年）

## 【参考文献】

なし

## 【実務経験】

有り

## 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育園、幼稚園型こども園での勤務経験を活かし、具体的な保育実践例を示しながら授業を行います。

## 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容(時間) / 復習内容(時間)	備考
1	事前指導	・実習施設について調べる(2時間)	保育実習指導にて実施
2	保育実習 全体計画作成	・保育実習 の評価を基に課題を明確化し、計画を作成し、提出すること(2時間)	保育実習指導にて実施
3	事前書類作成	・丁寧かつ正確に作成し、提出すること(2時間)	保育実習指導にて実施
4	オリエンテーション	・実習施設にて実施していただき、報告書を提出すること(1時間) ・事前に質問内容を考え、まとめておく(1時間)	
5	観察実習・参加実習・助手実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する(2時間)	観察とあるがそれだけを行うのではなく、参加、助手を行いながら同時に観察を行っていく
6	参加実習・助手実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する(2時間)	
7	部分実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する(2時間) ・事前に指導案を作成し、実習生自身が保育者となり、一日の中で指示された場面の保育を行う(2時間)	
8	全日実習	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する(2時間) ・事前に指導案を作成し、実習生自身が保育者となり、一日の保育を行う(2時間)	
9	実習施設との振り返り	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する(2時間)	
10	実習事後	・日々の実習記録に丁寧かつ誠実に取り組み、毎日提出する(2時間) ・保育実習 全体の振り返りを行い、実施施設に提出すること(2時間)	
11	成績通知	・実施施設からの評価を受け取る前に、自己評価を行っておくこと(2時間)	保育実習指導にて実施
12	事後指導	・自己評価と他者評価を基に今後の課題を明確化すること(2時間)	保育実習指導にて実施
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PRA111  
授業形態： 演習  
科目名： 観察参加  
担当教員： 佐々木 利子(SASAKI Toshiko)

### 【授業の紹介】

実習協力園にて、保育者や子どもの様子を観察しながら、保育に参加する授業である。観察参加の目的・目標・方法等の概要、現場に出る心得等の理解及び観察の方法等を学んだ後、実際に幼稚園に出向く。幼稚園では、保育の流れを理解し、保育者や子どもの具体的な行動を記録したり、保育者の補助をしながら子どもとかかわる中で、多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力に関する知識、技法、態度を修得する。さらに、子どもの思いを理解することや、保育者の援助の実際とその意図を考え、記録にまとめる。

本授業科目は幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目である。また、本授業科目の単位を認定されることが、2年次前期の「教育実習」を履修するための条件となっている。

本授業科目では課題の提示や提出にあたりGoogle Classroomを使用することがある。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎 技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	2
		望ましい行動	2
		指針・要領の理解	1
		保育に関わる専門的知識の習得	1
		洞察・判断する力	1
		子どもと関わる力	3

### 【到達目標】

1. 幼児とのかかわりを通して、その実態や課題を把握するとともに、保育者としての使命感及び豊かな人間性を育むことができる。
2. 指導教員等の実施する保育の視点をもって観察し、事実即して記録するとともに、保育職の意義を理解することによって使命感や倫理観を高めることができる。
3. 教育実習園の学校経営方針及び特色ある教育活動並びにそれらを実施するための組織体制について理解することができる。
4. 学級担任等の補助的な役割を担うことで、多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力を身につけることができる。

### 【成績の評価】

学内指導での学習シートの記入・提出（15%）、幼稚園観察および記録の内容（60%）、最終のまとめ（25%）

学習シート、観察記録、最終のまとめは、次回授業時間等を用いてフィードバックを行う。

### 【使用テキスト】

幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）

幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

### 【参考文献】

適宜紹介する

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

幼稚園・こども園で、教員・園長としての現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行う。

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	観察参観学生としての心得および遵守事項について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	
2	観察参加学生としての課題および観察の視点について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	
3	観察参加園の歴史、教育方針、園組織および園での役割について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	
4	観察記録の必要性および記入上の留意事項について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	
5	観察参加園の1日の生活について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	
6	1日の生活と保育者の援助について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	
7	子どもの遊びと個々の子どもの特性の理解について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	
8	子どもの年齢と発達について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	
9	保育者の援助とその意図について（1）（実習生自身で探る）	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	
10	保育者の援助とその意図について（2）（保育者に確認し、理解を深める）	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		分）。	
11	屋内外の道具と保育環境（安全管理）について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	
12	子どもの活動に注目した観察参加記録の課題について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	
13	保育者の援助に注目した観察参加記録の課題について	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	
14	保育者の職務内容を観察した振り返りについて	予習内容：幼稚園教育要領および幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読み、分からない言葉を調べノートにまとめる（30分）。 復習内容：子どもの活動、保育者の援助および環境構成について観察記録を作成する（30分）。	
15	最終のまとめ（要点の整理・質疑応答）	予習内容：最終のまとめに向けて、これまでの学習シートを見直す（30分）。 復習内容：最終のまとめの内容を振り返る（30分）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PRA212  
 授業形態： 演習  
 科目名： 教育実習事前事後指導  
 担当教員： 佐々木 利子(SASAKI Toshiko)

### 【授業の紹介】

教育実習が円滑に実施され、より効果的に目標が達成されるよう、実習の事前・事後指導を行う授業である。事前指導としては、実習の目的等の概要、実習生としての心得の理解、指導案作成や教材研究、子ども理解など保育者の役割について学ぶ。実習開始前には幼稚園に出向き、子どもや実践活動の状況を、体験を通して学び取る。事後指導としては、振り返りをもとに、各自の課題を明確にしていく。

本学の場合、実習園の協力を得て長期にわたる（1年後期から2年の教育実習開始直前まで）現場体験を可能にしているため、幼児の実態、幼稚園の保育状況を十分理解したうえでの実習により、質の高い保育実践力を身に付けることができるようにしている。

本授業科目は幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目である。

本授業科目では課題の提示や提出にあたりGoogle Classroomを使用することがある。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に 向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者 に温かく接することのできる豊かな人 間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察 力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎 技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		規範意識	2
		自律心	2
		指針・要領の理解	2
		保育を計画する力	2

### 【到達目標】

1. 教育実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、保育者としての規範意識、自律心、使命感および倫理観を培い、その責任を自覚したうえで意欲的に教育実習に参加することができる。
2. 教育実習で行われる研究保育等に備え保育計画に関する知識を習得できる。
3. 教育実習を通して得られた知識と経験をふりかえり、自己課題の明確化を通して豊かな人間性を育むとともに、教員免許取得までにさらに修得することが必要な知識や技能を理解することができる。

### 【成績の評価】

履修にあたって、身だしなみ等の事前指導を行う。これを誠実に守ることが履修の条件となる。授業参加の態度及び学習シート等の記入・提出（40%）、指導案の提出（30%）、最終のまとめ（30%）の総合点で評価する。指導案については、個別に添削し返却することでフィードバックする。最終のまとめは、授業中にフィードバックを行う。

### 【使用テキスト】

幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）  
 幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

### 【参考文献】

幼稚園教育実習要項（高松短期大学）

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

幼稚園・こども園で、教員・園長としての現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行う。

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、教育実習の概要	予習内容：観察参加及び教育実習における各自の課題を見出し、ノートにまとめておくとともに、実技演習や教材準備など積極的に取り組むこと（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記録にまとめる（30分）。	
2	教育実習の心得、態度	予習内容：観察参加及び教育実習における各自の課題を見出し、ノートにまとめておくとともに、実技演習や教材準備など積極的に取り組むこと（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記録にまとめる（30分）。	
3	日誌・指導案の書き方	予習内容：観察参加及び教育実習における各自の課題を見出し、ノートにまとめておくとともに、実技演習や教材準備など積極的に取り組むこと（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記録にまとめる（30分）。	
4	実習園の概要を知る・保育の流れを把握する	予習内容：観察参加及び教育実習における各自の課題を見出し、ノートにまとめておくとともに、実技演習や教材準備など積極的に取り組むこと（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記録にまとめる（30分）。	
5	幼児の活動を体験する	予習内容：観察参加及び教育実習における各自の課題を見出し、ノートにまとめておくとともに、実技演習や教材準備など積極的に取り組むこと（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記録にまとめる（30分）。	
6	保育者の関わりを学ぶ	予習内容：観察参加及び教育実習における各自の課題を見出し、ノートにまとめておくとともに、実技演習や教材準備など積極的に取り組むこと（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記録にまとめる（30分）。	
7	保育者の援助とその意図を理解する	予習内容：観察参加及び教育実習における各自の課題を見出し、ノートにまとめておくとともに、実技演習や教材準備など積極的に取り組むこと（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記録にまとめる（30分）。	
8	前期教育実習の心得、実習生としての役割の最終確	予習内容：観察参加及び教育実習における各自の課題を見出し、ノートにまとめておくとともに、実技演習や教材準備など積極的に取り組むこと（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記録にまとめる（30分）。	
9	前期教育実習の省察を行う	予習内容：観察参加及び教育実習における各自の課題を見出し、ノートにまとめておくとともに、実技演習や教材準備など積極的に取り組むこと（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記録にまとめる（30分）。	
10	課題に対する対策を立てる	予習内容：観察参加及び教育実習における各自の課題を見出し、ノートにまとめておくとともに、実技演習や教材準備など積極的に取り組むこと（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		録にまとめる（30分）。	
11	教材研究の方法	予習内容：観察参加及び教育実習における各自の課題を見出し、ノートにまとめておくとともに、実技演習や教材準備など積極的に取り組むこと（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記録にまとめる（30分）。	
12	研究保育に向けて(指導案の作成)	予習内容：なし。 復習内容：研究保育を意識した指導案を作成する（60分）。	
13	前日指導実習に向けて(注意事項の把握と計画)	予習内容：観察参加及び教育実習における各自の課題を見出し、ノートにまとめておくとともに、実技演習や教材準備など積極的に取り組むこと（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記録にまとめる（30分）。	
14	後期教育実習の概要、目標の整理	予習内容：観察参加及び教育実習における各自の課題を見出し、ノートにまとめておくとともに、実技演習や教材準備など積極的に取り組むこと（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記録にまとめる（30分）。	
15	最終のまとめ（要点の整理と質疑応答）	予習内容：最終のまとめに向けてこれまでの学習シートを振り返る（30分）。 復習内容：幼稚園現場で学んだ内容を観察記録にまとめる（30分）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： PRA213  
 授業形態： 実習  
 科目名： 教育実習  
 担当教員： 佐々木 利子(SASAKI Toshiko)

【授業の紹介】

前期・後期の各2週間、実習園にて保育者と同様の勤務を行いながら、保育の内容・方法、保育者の役割や子どもとのかかわり方等を学ぶ。教育実習事前指導として実習園での事前学習を行うため、子どもや園の様子をある程度認識したうえでの実習となる。さらに、多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力を養うための知識、技法、態度を修得する。  
 本学建学の精神にある「理論と実践の接点を開拓する」ために、事前指導で確認した課題をもとに、理論に根差した保育実践力を身に付ける機会にもなる。  
 本授業科目は幼稚園教諭二種免許状取得のための必修科目である。  
 本授業科目では課題の提示や提出にあたりGoogle Classroomを使用することがある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	1
		望ましい行動	1
		規範意識	1
		自律心	1
		温かさ	1
		協働・連携する力	1
		洞察・判断する力	1
		表現技術と創造力	1
		保育を計画する力	1
		子どもと関わる力	1

【到達目標】

1. 幼稚園教育要領及び幼児の実態を踏まえた適切な指導案（保育の計画）を作成し、保育を実践することができる。
2. 保育に必要な基礎的表現技法と創造力（話法、保育形態、保育展開、環境構成等）を実地に即して身に付けるとともに、幼児の体験との関連を考慮しながら適切な場面で情報機器を活用することができる。
3. 学級担任の役割と職務内容および保育に関わる専門的知識を実地に即して理解し、保育者としての使命感および倫理観を培い、将来保育者になるうえでの能力や適性を考えるとともに課題を自覚することができる。
4. 様々な活動の場面で適切に幼児とかかわり、洞察・判断する力を培うとともに豊かな人間性を育むことができる。

【成績の評価】

幼稚園からの評価に基づいて成績評価する。具体的には、実習への取り組み（10%）、幼児理解（15%）、幼児との関わり（15%）、指導の立案（15%）、指導の実際（15%）、環境整備（15%）、勤務態度（15%）である。また、教育実習事前事後指導と有機的に連動するため、どちらか一方の成績だけが認定されることはない。

**【使用テキスト】**

幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）

幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

**【参考文献】**

幼稚園教育実習要項（高松短期大学）

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

幼稚園・こども園で、教員・園長としての現場での保育・教育の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行う。

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	<p>前期&lt;第1週&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習園の概要を知る</li> <li>2. 1日の流れを把握する</li> <li>3. 幼児の遊びの状況を理解し参加する</li> <li>4. 年齢段階により遊び、生活、課題への取り組みの違いを知る</li> <li>5. 幼児の行動観察、記録とその活用について学ぶ</li> <li>6. 実習記録のとり方、反省、評価について学ぶ</li> <li>7. 安全に対する配慮、清掃、環境整備のしかたを知る</li> </ol>	<p>予習内容（教育実習前）：教育実習園に関する事前学習を行った上で、教育実習で使用する教材（絵本の読み聞かせ、ペープサート、ピアノ）の準備を行う。                      復習内容（教育実習後）：課題となったこと（教材作成、ピアノ練習など）の克服に向け取り組む。教育実習前と後を合わせて60時間行う。</p>	
2	<p>&lt;第2週&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 年間指導計画の中での現在の保育を理解する</li> <li>2. 配属クラスの個々の子どもの特徴を知る</li> <li>3. いろいろな子どもとの関係を深める</li> <li>4. 保育の中の指導と援助のあり方を探る</li> <li>5. 部分実習をする</li> <li>6. 保育実践の反省、評価を受ける</li> <li>7. 園行事に参加し、行事の在り方について考える</li> </ol>	<p>第1週部分を参照</p>	
3	<p>後期&lt;第3週&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前期から比べて子どもの成長発達を理解する</li> <li>2. グループダイナミックスの様子を知る</li> <li>3. 学級経営について学ぶ（グループ編成、当番活動を含む）</li> <li>4. 特別な配慮を必要とする子どもへのかかわり方を知る</li> <li>5. 季節の行事に関しての保育を知る</li> <li>6. 研究保育をする（保育計画を立案し、実践する）</li> <li>7. 保育実践の反省、評価を受け、その問題点を整理する</li> <li>8. 園と家庭のとの連携についてその意義と方法を知る</li> </ol>	<p>第1週部分を参照</p>	
4	<p>&lt;第4週&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育室の環境整備・経営について知り実践する</li> <li>2. 幼稚園教諭について職務内容を理解する</li> <li>3. 地域との協力関係、幼稚園の社会的意義を理解する</li> <li>4. 園の特色ある保育についての理解を深める</li> <li>5. 子育て支援についての特別保育（預かり、延長、未就園児保育等）の現状を知る</li> <li>6. 全日保育の計画、実践をする</li> <li>7. 総合的に子ども・保護者・幼稚園を理解する</li> <li>8. 実習反省会、お別れ会</li> <li>9. これからの課題についてまとめ、助言を受ける</li> </ol>	<p>第1週部分を参照</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： COM101

授業形態： 演習

科目名： 保育職基礎演習

担当教員： 相馬 宗胤(SOMA Munetane), 中村 多見(NAKAMURA Tami), 田中 弓子(TANAKA Yumiko), 佐々木 利子(SASAKI Toshiko), 有馬 則子(ARIMA Noriko), 辻野 栄一(TSUJINO Eiichi), 森本 将行(MORIMOTO Masayuki)

### 【授業の紹介】

皆さんは、本学に入学したことで「保育者（先生）になること」を“あこがれ”から現実的な“目標”へと切り換えました。しかし、その“目標”までの道筋がどのようなものであるのか、どのように進んでいけば良いのか、まだはっきりとしたイメージは持っていないかもしれません。

高松短期大学保育学科のオリジナルな授業科目である「保育職基礎演習」では、短大での学びの基本、保育学科で取り組む実習や行事、保育学生に求められる習慣などについて学び、考え、身に付けていくことをめざしています。

本授業科目は、保育学科の卒業必修科目です。卒業のためには、本科目の単位を認定されていることが必要です。

第1回の授業にて、当授業科目の計画や受講に当たってのルールなどについて説明します。ルールなどが守れない場合、受講を禁止する場合があります。また、課題の連絡や提出にあたり、Google Classroomを使用します。Google Classroomの使用法やクラスコードは、保育学科のオリエンテーションの時に連絡・説明します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	2
		望ましい行動	2
		規範意識	2
		自律心	2
		温かさ	1
		協働・連携する力	1

### 【到達目標】

1. 保育学生としての過ごし方を理解し、学びの習慣を身に付けている。
2. 保育学生として相応しい服装、言葉遣い、振る舞いを理解・実践し、学科のルールを守って行動することができる。
3. 自分自身がめざす理想の保育者像・人間像を思い描き、取り組むべき事柄を考えることができる。

### 【成績の評価】

- ・ 授業に取り組む関心・意欲・態度（25%）
- ・ 学習シート等の課題の記入や提出（75%）

課題を返却し、振り返りを行うことでフィードバックします。

### 【使用テキスト】

授業ごとにプリントを配布します。

### 【参考文献】

- ・ 「保育所保育指針」（厚生労働省、2017年3月告示）。
- ・ 「幼稚園教育要領」（文部科学省、2017年3月告示）。
- ・ 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示）。

その他、授業時に適宜紹介します。

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業科目では、一部の授業を実務経験がある教員が担当しています。

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業オリエンテーション / 「探究活動」の趣旨や進め方を理解する	予習内容：なし。 復習内容：手帳やメモアプリなどを用意し、この授業のスケジュールを記入しておく（30分）。2年生が取り組んできた探究活動について情報を集める（30分）。	相馬担当 / 中村担当
2	2年間の学生生活に見通しを持つ / めざしたい保育者像を考える	予習内容：なし。 復習内容：学習シートを読み直す（30分）授業の中で話し合い、考えたことを学習シートにまとめ、提出する（30分）。	田中担当 / 相馬担当
3	保育の仕事や保育者の役割を確認する	予習内容：保育者の役割を調べ、ノートなどにまとめておく（30分） 復習内容：自身が目指す保育者象を、具体的にノートなどに記入し、まとめておく（30分）。	森本担当
4	自己分析をする	予習内容：自己紹介文を考える（30分）。 復習内容：自己分析を踏まえ、やってみたい探究活動について考えたことをまとめ、提出する（30分）。	中村担当
5	身の周りの危険から身を守る	予習内容：なし。 復習内容：指示された内容のレポートを書き、提出する（1時間）	森本担当
6	レポートの書き方の基本について学ぶ	予習内容：なし。 復習内容：指示された内容のレポートを書き、提出する（1時間）。	相馬担当
7	「ほいくのくに」の取り組みを理解する	予習内容：なし。 復習内容：同じ研究室の学生とどのような催し物にするかを相談し、今後のスケジュールを計画しておくこと。（1時間）	辻野担当
8	地域の園や施設を知り、ボランティアについて理解する		森本・有馬担当
9	学生生活を再確認する	予習内容：第2回授業の「2年間の学生生活に見通しを持つ」で使用した学習シートを読んでおく（1時間）。 復習内容：なし	田中担当
10	教員主導の「探究活動」の体験計画を立てる	予習内容：なし。 復習内容：体験する教員主導の「探究活動」について、自分なりに調べて準備する（1時間）。	中村担当
11	「卒業生懇談会」に参加する	予習内容：保育所・こども園・幼稚園についてこれまでの授業等を基に自分なりに調べて基礎知識とする。（1時間） 復習内容：なし	佐々木担当
12	引き続き、「卒業生懇談会」に参加する	予習内容：卒業生への質問シートを基に、自分なりの質問事項を考えておく（1時間） 復習内容：なし	佐々木担当
13	「探究活動」の体験談と6,7月の探究活動の計画をまとめ・発表する	予習内容：教員主導の「探究活動」に参加した体験談をまとめ、6,7月にやってみたい探究活動について目標や計画を具体的に考えておく（1時間）。 復習内容：なし	中村担当
14	6,7月の「探究活動」の成果をまとめ・発表する	予習内容：6,7月に取り組んだ探究活動の成果を毎回探究活動メモにまとめて提出する（1時間）。	中村担当

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習内容：なし。	
15	前期の授業を振り返り、夏休みの計画を考える	予習内容：なし 復習内容：授業時に説明した実習課題を行う（1時間）。	田中担当
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： COM102

授業形態： 演習

科目名： 保育職基礎演習

担当教員： 相馬 宗胤(SOMA Munetane), 中村 多見(NAKAMURA Tami), 田中 弓子(TANAKA Yumiko), 佐々木 利子(SASAKI Toshiko), 有馬 則子(ARIMA Noriko), 辻野 栄一(TSUJINO Eiichi), 森本 将行(MORIMOTO Masayuki)

### 【授業の紹介】

高松短期大学保育学科のオリジナルな授業科目である「保育職基礎演習」では、短大での学びの基本、保育学科で取り組む実習や行事、保育学生に求められる習慣などについて学び、考え、身に付けていくことをめざしています。

後期の「保育職基礎演習」では、前期の「保育職基礎演習」よりも、授業内容が実践的・専門的なものとなります。たとえば、「ほいくのくに」の準備・運営・振り返りを通して、遊びを構想すること、仲間と協力すること、子どもや保護者と関わることなど、様々な事柄を総合的に学んでいきます。また、「連続講座」では、保育学科の教員がそれぞれ自身の専門領域に関する講座を開講します。皆さんは、自身の興味・関心に基づき、理論系と実践系から一つずつ講座を選択し、講座担当教員の下、専門的なテーマについて学んでいきます。

本授業科目は、保育学科の卒業必修科目です。

授業で提示される規程やマナーが守れない場合、受講を禁止する場合があります。

また、課題の連絡や提出にあたり、Google Classroomを使用します。前期に使用した「保育職基礎演習」のクラスルームを継続して使用します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	使命感	2
		望ましい行動	2
		規範意識	2
		自律心	1
		温かさ	1
		協働・連携する力	2

### 【到達目標】

1. 前期から継続して、保育学生としての過ごし方を理解し、学びの習慣を身に付けている。
2. 前期から継続して、保育学生として相応しい服装、言葉遣い、振る舞いを理解・実践し、学科のルールを守って行動することができている。
3. 「ほいくのくに」の準備、実践、振り返りを通して、保育者の専門性（仲間との協力、安全のための配慮、遊びの追究、援助の仕方など）を高めることができている。
4. 「連続講座」への参加を通して、保育に関わる専門的な事柄や保育に関する問題について学び、自分自身が興味・関心のあるテーマを見つけることができている。

### 【成績の評価】

- ・「ほいくのくに」での取り組み（40%）
- ・「連続講座」での取り組み（40%）
- ・それ以外の授業に取り組む関心・意欲・態度、及び学習シート等の課題の記入や提出（20%）

課題を返却し、振り返りを行うことでフィードバックします。

### 【使用テキスト】

授業ごとにプリントを配布します。

**【参考文献】**

- ・「保育所保育指針」（厚生労働省、2017年3月告示）。
- ・「幼稚園教育要領」（文部科学省、2017年3月告示）。
- ・「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示）。

その他、授業時に適宜紹介します。

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業科目では、一部の授業を実務経験がある教員が担当しています。

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業オリエンテーション／前期と夏休みの生活習慣を振り返り、望ましい生活習慣を考える	予習内容：なし。 復習内容：手帳やメモアプリなどを用意し、この授業のスケジュールを記入しておく（30分）。 前期の生活習慣を振り返り、今後に向けての望ましい計画を立て学習シートに記入する（30分）。	相馬担当／有馬担当
2	「ほいくのくに」に向けた後期のスケジュールを理解する／キャリアデザインを確認する	予習内容：なし。 復習内容：なし。同じ研究室の学生と後期スケジュールについて再度計画・確認しておくこと。また、ポスター、チラシ配布の際の電話連絡や訪問時の話す内容を確認しておくこと（1時間）。	辻野担当／佐々木担当
3	「連続講座」を受講する（前半1回目）	予習・復習内容：各講座で指示された課題に取り組む（計1時間）。	各教員担当
4	「連続講座」を受講する（前半2回目）	予習・復習内容：同上。	各教員担当
5	「連続講座」を受講する（前半3回目）	予習・復習内容：同上。	各教員担当
6	「ほいくのくに」の準備を進める	予習・復習内容：各研究室で計画している催し物の準備作業を進める（1時間）。	各教員担当
7	引き続き、「ほいくのくに」の準備を進める	予習・復習内容：各研究室で計画している催し物の準備作業を進める（1時間）。	各教員担当
8	「ほいくのくに」の本番に取り組む	予習内容：各研究室ごとに行う催し物の受け入れ態勢として、安全面や小道具等のチェックをしておくこと（30分）。 復習内容：催し物に対する不具合や後片付けができていないかチェックをしておくこと（30分）。	各教員担当
9	引き続き、「ほいくのくに」の本番に取り組む	予習内容：各研究室ごとに行う催し物の受け入れ態勢として、安全面や小道具等のチェックをしておくこと（30分）。 復習内容：催し物の後片付けができていないかチェックをしておくこと（30分）。	各教員担当
10	「ほいくのくに」を振り返る	予習内容：「ほいくのくに」を振り返り、準備・本番での取り組みで、気になったこと等を書き留めておくこと（計1時間）。 復習内容：なし	各教員担当
11	「連続講座」を受講する（後半1回目）	予習・復習内容：各講座で指示された課題に取り組む（計1時間）。	各教員担当
12	「連続講座」を受講する（後半2回目）	予習・復習内容：同上。	各教員担当
13	「連続講座」を受講する（後半3回目）	予習・復習内容：同上。	各教員担当
14	高松市職員から現場のことや学生時代のことを聴く	予習内容：保育所・こども園・幼稚園について、これまでの授業等で学んだ内容を基に確認をしておく。現場保育者への質問内容について考えておく（1時間）	有馬・佐々木担当

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習内容：なし	
15	後期に行った「探究活動」の成果をまとめ・発表する	予習内容：後期に取り組んだ探究活動の成果を毎回探究活動メモにまとめて提出する（1時間）。 復習内容：なし。	中村担当
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： COM203

授業形態： 演習

科目名： 保育・教職実践演習（保・幼）

担当教員： 田中 弓子(TANAKA Yumiko), 中村 多見(NAKAMURA Tami), 佐々木 利子(SASAKI Toshiko), 相馬 宗胤(SOMA Munetane), 有馬 則子(ARIMA Noriko), 辻野 栄一(TSUJINO Eiichi), 森本 将行(MORIMOTO Masayuki)

#### 【授業の紹介】

保育実習ならびに教育実習を終えた学生を対象に、保育者（先生）になるための2年間の学びを、これまでの学びの復習を含めて総括するとともに、足りない内容を補完する授業です。また、保育者としての最低限の資質能力を有しているかどうかを確認する授業でもあります。

本授業科目は、幼稚園教諭二種免許状、及び保育士資格取得のための必修科目です。なお、本授業科目では課題の指示や提出にあたりGoogleClassroomも使用することもあります。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
202104～202404	保育学科	使命感	2
		望ましい行動	2
		規範意識	1
		自律心	1
		温かさ	1
		協働・連携する力	1
		表現技術と創造力	1
		保育を計画する力	1

#### 【到達目標】

1. 2年間の学びの総括として、これまで以上に保育を多角的に考えることができる。
2. 保育者の役割を広く理解し、使命感や責任感、社会性をより高めることができる。
3. 多様な学びの機会を活かし、子ども理解をより深めることができる。
4. 保育計画や教材研究を通じ、保育内容の指導力を高めることができる。

#### 【成績の評価】

授業に取り組む意欲・関心・態度（20%）、模擬保育での発表および学習シートやポートフォリオ等の課題の記入や提出（80%）で評価します。

課題の返却により振り返りを行うことでフィードバックします。

#### 【使用テキスト】

その都度プリントを配布します。

#### 【参考文献】

保育所保育指針解説（厚生労働省、フレーベル館、2018年）

幼稚園教育要領解説（文部科学省、フレーベル館、2018年）

幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説（内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館、2018年）

**【実務経験】**

有り

**【実務経験と授業科目の関係性】**

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育園、幼稚園、こども園での保育・教育の現場経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行います。

**【科目等履修生の受入】**

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／これからの授業の進めかた	予習内容：本科目のシラバスを確認する（30分）。 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	担当：田中
2	これまでの学びの振り返り	予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと（30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	担当：相馬
3	現役保育者の講話を聴くことを通して保育職の実際を実感し、今何をすべきかを理解する	予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと（30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	担当：佐々木
4	第3回をふまえ、現役保育者と意見交換する	予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと（30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	担当者全員
5	保育者に求められる立ち居振る舞いを実践する	予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと（30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	担当者全員
6	第5回の実践を相互評価する	予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づ	担当者全員

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>いたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	
7	保育現場における危機管理の基本を理解する	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	担当：有馬
8	さまざまな事例を通して、危機管理の実際を学ぶ	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	担当：有馬
9	特別支援教育の実際について学ぶ	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	担当：佐々木
10	保こ幼小連携の取り組みの実際を学ぶ	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	担当：佐々木

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	クラス経営のあり方、方法を学ぶ	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	担当：有馬
12	保護者の思いを知る	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	担当：田中
13	保育者の倫理を再確認する	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	担当：相馬
14	さまざまな事例を通して保育者の倫理を深める	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	担当：相馬
15	保育職・教職の意義と役割について理解を深める	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと</p>	担当：田中

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(30分) 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す(30分)。	
16	保育現場におけるトラブル対応についてディスカッションを行う	予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと (30分) 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す(30分)。	担当：田中
17	保育内容にかかわるロールプレイング教材研究	予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと (30分) 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す(30分)。	担当：辻野
18	保育内容にかかわるロールプレイング教材研究を深める	予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと (30分) 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す(30分)。	担当：辻野
19	保育内容にかかわるロールプレイング作品作り	予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと (30分) 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す(30分)。	担当：辻野
20	保育内容にかかわるロールプレイング保育にいかす	予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさ	担当：辻野

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>らなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	
21	保育内容にかかわるロールプレイング運動あそび	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	担当：森本
22	保育内容にかかわるロールプレイング運動あそびを深める	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	担当：森本
23	社会性と対人関係	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	担当：中村
24	実地調査事前指導	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。</p>	担当：田中

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
25	<p>実地調査：時期や発達をふまえた環境構成と保育の展開の実際を調査する</p>	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと (30分) 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す(30分)。</p>	<p>担当：田中</p>
26	<p>実地調査：保育の各場面における保育者の関わりの実際を調査する</p>	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと (30分) 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す(30分)。</p>	<p>担当：田中</p>
27	<p>実地調査事後指導</p>	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと (30分) 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す(30分)。</p>	<p>担当：田中</p>
28	<p>社会性と対人関係ロールプレイング</p>	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと (30分) 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す(30分)。</p>	<p>担当：中村</p>
29	<p>保育者にふさわしい常識やマナーを再確認する</p>	<p>予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと</p>	<p>担当：佐々木</p>

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		（30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	
30	総括：保育者としてふさわしい資質を習得できたか自ら振り返る	予習内容：各回の内容に即してこれまでの授業で使用したテキストの該当箇所を復習し、ノート等にまとめておくこと。また、保育補助ボランティア活動等を積極的に行い、気づいたことをノート等に記録し、保育技術のさらなる向上をめざすこと。さらには、保育に関するさまざまなニュースをリサーチし、課題を発見し、自分自身の見解をノート等にまとめ、問題解決に対する意欲を高めておくこと （30分） 復習内容：授業で用いた学習シートを読み直す（30分）。	担当：相馬
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： COM121  
授業形態： 演習  
科目名： 保育学研究法  
担当教員： 相馬 宗胤(SOMA Munetane)

### 【授業の紹介】

本授業科目は「研究の仕方」をテーマとした授業です。具体的には、レポートを書けるようになることをめざします。本科目の前半では、論証文の基本的性質やレポートの細かなルールなどに関する講義を行い、書く練習を積み重ねます。後半では、複数のレポート課題を課します。前半で学んだことを踏まえて、各レポートを完成させていくというのが、この授業の基本構造です。そして、レポート課題に取り組んでいくことを通して、保育に関する問題・現象について深い理解へと到達することをめざしつつ、保育者に求められる問題発見能力や問題解決能力を身に付けることをめざします。

本授業科目は、保育学科の卒業必修科目です。

なお、本授業科目では、授業時間中にノートPCを使用します。また、Google ClassroomやWordなどを使用した作業課題を多く課しますので、問題なく使用できるよう準備しておいてください。詳細（クラスコード含む）は、第1回授業時に連絡します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	2. 自分に厳しく、子どもと保護者に温かく接することのできる豊かな人間性
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	自律心	3
		協働・連携する力	1
		保育に関わる専門的知識の習得	2
		洞察・判断する力	4

### 【到達目標】

1. 良い論証文の特徴を理解できている。
2. 論証文に必要な要素を満たしたレポートを書くことができている。
3. レポートについて、低いレベルのもので満足するのではなく、より良い文章表現や内容となるよう、向上心を持って取り組むことができている。

### 【成績の評価】

- ・ 中間テストの得点（25%）
- ・ 課題レポート1の得点（25%）
- ・ 課題レポート2の得点（25%）
- ・ 上記以外の課題の得点（25%）

### 【使用テキスト】

適宜、授業中に配布します。

### 【参考文献】

- ・ 「保育所保育指針」（厚生労働省、2017年3月告示）。
- ・ 「幼稚園教育要領」（文部科学省、2017年3月告示）。
- ・ 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」（内閣府・文部科学省・厚生労働省、2017年3月告示）。

その他、授業時に適宜紹介します。

### 【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	授業の説明／論証文の基本 論証文に求められる基本条件	【授業後】授業後の課題に取り組む（1時間）。	
2	論証文の基本 信頼できる情報の探し方・集め方	同上。	
3	論証文の基本 情報の書き方	同上。	
4	論証文の基本 読み手への配慮（読みやすく分かりやすい文章作り）	同上。	
5	論証文の基本 論証文の完成までのステップ	同上。	
6	これまでの授業内容の確認（中間テスト）と解説	【授業前】中間テストのために、これまで学んできたレポートの書き方の基本について復習する（1時間）。	
7	課題レポート1への取り組み アウトラインの作成、資料収集を行う。	【授業後】次回授業までに資料を読んでおき、レポートを書くために必要な情報をまとめておく（2時間）。	
8	課題レポート1への取り組み 執筆を進める。	【授業後】次回授業までにレポート1のドラフトを完成させる（2時間）。	
9	課題レポート1への取り組み ひとまず完成させたレポートを確認し合い、不十分な点や改善点を確認する。	【授業後】提出期日までにレポート1を完成させる（2時間）。	
10	課題レポート2への取り組み テーマについて調べる。	【授業後】次回授業までに資料を収集する（2時間）。	
11	課題レポート2への取り組み アウトラインの作成、資料収集を行う。	【授業後】次回授業までに集めた資料を読み、レポートを書くために必要な情報をまとめておく（2時間）。	
12	課題レポート2への取り組み 執筆を進める。	【授業後】次回授業までにレポート2の第1ドラフトを完成させる（2時間）。	
13	課題レポート2への取り組み 第1ドラフト）を確認し合い、不十分な点や改善点を確認する。	【授業後】次回授業までにレポート2の第2ドラフトを完成させる（2時間）。	
14	課題レポート2への取り組み 第2ドラフト）を確認し合い、不十分な点や改善点を確認する。	【授業後】提出期日までにレポート2を完成させる（2時間）。	
15	卒業研究に向けた準備	【授業後】卒業研究の研究テーマについて考え、調べたことや考えたことなどをノート等にまとめる（1時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： COM222  
授業形態： 演習  
科目名： 卒業研究【心理学】  
担当教員： 中村 多見(NAKAMURA Tami)

#### 【授業の紹介】

本授業科目は、保育学科での2年間の学びの総まとめです。1年次の保育学研究法で培った研究手法等を用いて卒業論文と卒業研究レジュメを作成し、発表会での審査を受けることによって、保育者に求められる専門性を総合的に涵養します。

本授業科目は、卒業必修科目です。

本授業科目では、授業前後の課題や資料等を配信・提出するにあたりGoogle Classroomを使用します。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		保育に関わる専門的知識の習得	4
		洞察・判断する力	2
		保育を計画する力	2

#### 【到達目標】

1. 研究態度を身につけることができる。
2. テーマに関連する資料を的確に検索・収集・読解することができる。
3. 資料に基づき、論理的に研究成果を構成・記述することができる。
4. 研究成果をわかりやすく発表することができる。

#### 【成績の評価】

各回の進捗状況(30%)、取り組みの姿勢(30%)、発表会における発表および質疑(40%)の3点で総合的に成績を評価します。フィードバックは、研究室担当教員による個別指導と卒業研究発表会における学科教員の講評により返します。

#### 【使用テキスト】

なし

#### 【参考文献】

- ・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）
- ・保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	前期オリエンテーション	予習内容：学生便覧及び履修ガイド、シラバスを予め確認する（30分）。 復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（30分）。	学生の所属研究室の 教員担当
2	研究テーマの絞り込み - これまでの授業の中から	予習・復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（計1時間）。	学生の所属研究室の 教員担当
3	研究テーマの絞り込み - 観察参加・保育実習の経験から	同上	学生の所属研究室の 教員担当
4	研究テーマの絞り込み - 図書館の文献・インターネット検索から	同上	学生の所属研究室の 教員担当
5	研究テーマの相談・決定	同上	学生の所属研究室の 教員担当
6	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献探し	同上	学生の所属研究室の 教員担当
7	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献選び	同上	学生の所属研究室の 教員担当
8	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献決め	同上	学生の所属研究室の 教員担当
9	論文構成の検討 - 概要をまとめる	同上	学生の所属研究室の 教員担当
10	論文構成の検討 - 章立てを考える	同上	学生の所属研究室の 教員担当
11	論文構成の検討 - 節立てを考える	同上	学生の所属研究室の 教員担当
12	論文構成の相談・決定	同上	学生の所属研究室の 教員担当
13	論文の執筆 - 「はじめに」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
14	「はじめに」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の 教員担当
15	前期の振り返り	同上	学生の所属研究室の 教員担当
16	後期オリエンテーション	同上	学生の所属研究室の 教員担当
17	論文の執筆 - 「本論（前半）」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
18	論文の執筆 - 「本論（後半）」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
19	「本論」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の 教員担当
20	論文の執筆 - 「おわりに」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
21	論文の執筆 - 「引用・参考文献」	同上	学生の所属研究室の 教員担当

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
22	「おわりに」「引用・参考文献」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の教員担当
23	論文の仕上げ	同上	学生の所属研究室の教員担当
24	発表用レジユメの作成 - 論文の背景・動機・目的、論文の構成、主要参考文献	同上	学生の所属研究室の教員担当
25	発表用レジユメの作成 - 論文の要旨	同上	学生の所属研究室の教員担当
26	発表用レジユメの教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の教員担当
27	発表用レジユメの仕上げ	同上	学生の所属研究室の教員担当
28	発表の練習および全体のまとめ	同上	学生の所属研究室の教員担当
29	卒業研究発表会における発表および質疑応答	予習内容：卒業研究発表会の準備をする（1時間）。 復習内容：なし。	各発表会場の教員担当
30	卒業研究発表会の振り返り	予習・復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（計1時間）。	学生の所属研究室の教員担当
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： COM222  
授業形態： 演習  
科目名： 卒業研究【保育第1】  
担当教員： 田中 弓子(TANAKA Yumiko)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、保育学科での2年間の学びの総まとめです。1年次の保育学研究法で培った研究手法等を用いて卒業論文と卒業研究レジュメを作成し、発表会での審査を受けることによって、保育者に求められる専門性を総合的に涵養します。

本授業科目は、卒業必修科目です。

本授業科目では、授業前後の課題や資料等を配信・提出するにあたりGoogle Classroomを使用します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		保育に関わる専門的知識の習得	4
		洞察・判断する力	2
		保育を計画する力	2

### 【到達目標】

1. 研究態度を身につけることができる。
2. テーマに関連する資料を的確に検索・収集・読解することができる。
3. 資料に基づき、論理的に研究成果を構成・記述することができる。
4. 研究成果をわかりやすく発表することができる。

### 【成績の評価】

各回の進捗状況(30%)、取り組みの姿勢(30%)、発表会における発表および質疑(40%)の3点で総合的に成績を評価します。フィードバックは、研究室担当教員による個別指導と卒業研究発表会における学科教員の講評により返します。

### 【使用テキスト】

なし

### 【参考文献】

- ・幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省)
- ・保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省)

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	前期オリエンテーション	予習内容：学生便覧及び履修ガイド、シラバスを予め確認する（30分）。 復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（30分）。	学生の所属研究室の 教員担当
2	研究テーマの絞り込み - これまでの授業の中から	予習・復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（計1時間）。	学生の所属研究室の 教員担当
3	研究テーマの絞り込み - 観察参加・保育実習の経験から	同上	学生の所属研究室の 教員担当
4	研究テーマの絞り込み - 図書館の文献・インターネット検索から	同上	学生の所属研究室の 教員担当
5	研究テーマの相談・決定	同上	学生の所属研究室の 教員担当
6	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献探し	同上	学生の所属研究室の 教員担当
7	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献選び	同上	学生の所属研究室の 教員担当
8	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献決め	同上	学生の所属研究室の 教員担当
9	論文構成の検討 - 概要をまとめる	同上	学生の所属研究室の 教員担当
10	論文構成の検討 - 章立てを考える	同上	学生の所属研究室の 教員担当
11	論文構成の検討 - 節立てを考える	同上	学生の所属研究室の 教員担当
12	論文構成の相談・決定	同上	学生の所属研究室の 教員担当
13	論文の執筆 - 「はじめに」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
14	「はじめに」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の 教員担当
15	前期の振り返り	同上	学生の所属研究室の 教員担当
16	後期オリエンテーション	同上	学生の所属研究室の 教員担当
17	論文の執筆 - 「本論（前半）」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
18	論文の執筆 - 「本論（後半）」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
19	「本論」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の 教員担当
20	論文の執筆 - 「おわりに」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
21	論文の執筆 - 「引用・参考文献」	同上	学生の所属研究室の 教員担当

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
22	「おわりに」「引用・参考文献」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の教員担当
23	論文の仕上げ	同上	学生の所属研究室の教員担当
24	発表用レジユメの作成 - 論文の背景・動機・目的、論文の構成、主要参考文献	同上	学生の所属研究室の教員担当
25	発表用レジユメの作成 - 論文の要旨	同上	学生の所属研究室の教員担当
26	発表用レジユメの教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の教員担当
27	発表用レジユメの仕上げ	同上	学生の所属研究室の教員担当
28	発表の練習および全体のまとめ	同上	学生の所属研究室の教員担当
29	卒業研究発表会における発表および質疑応答	予習内容：卒業研究発表会の準備をする（1時間）。 復習内容：なし。	各発表会場の教員担当
30	卒業研究発表会の振り返り	予習・復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（計1時間）。	学生の所属研究室の教員担当
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： COM222  
授業形態： 演習  
科目名： 卒業研究【保育第2】  
担当教員： 森本 将行(MORIMOTO Masayuki)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、保育学科での2年間の学びの総まとめです。1年次の保育学研究法で培った研究手法等を用いて卒業論文と卒業研究レジュメを作成し、発表会での審査を受けることによって、保育者に求められる専門性を総合的に涵養します。

本授業科目は、卒業必修科目です。

本授業科目では、授業前後の課題や資料等を配信・提出するにあたりGoogle Classroomを使用します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		保育に関わる専門的知識の習得	4
		洞察・判断する力	2
		保育を計画する力	2

### 【到達目標】

1. 研究態度を身につけることができる。
2. テーマに関連する資料を的確に検索・収集・読解することができる。
3. 資料に基づき、論理的に研究成果を構成・記述することができる。
4. 研究成果をわかりやすく発表することができる。

### 【成績の評価】

各回の進捗状況(30%)、取り組みの姿勢(30%)、発表会における発表および質疑(40%)の3点で総合的に成績を評価します。フィードバックは、研究室担当教員による個別指導と卒業研究発表会における学科教員の講評により返します。

### 【使用テキスト】

なし

### 【参考文献】

- ・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）
- ・保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

### 【実務経験】

有り

### 【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。保育園、幼稚園型こども園での勤務経験を活かし、具体的な保育実践例を示しながら授業を行います。

### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	前期オリエンテーション	予習内容：学生便覧及び履修ガイド、シラバスを予め確認する（30分）。 復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（30分）。	学生の所属研究室の 教員担当
2	研究テーマの絞り込み - これまでの授業の中から	予習・復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（計1時間）。	学生の所属研究室の 教員担当
3	研究テーマの絞り込み - 観察参加・保育実習の経験から	同上	学生の所属研究室の 教員担当
4	研究テーマの絞り込み - 図書館の文献・インターネット検索から	同上	学生の所属研究室の 教員担当
5	研究テーマの相談・決定	同上	学生の所属研究室の 教員担当
6	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献探し	同上	学生の所属研究室の 教員担当
7	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献選び	同上	学生の所属研究室の 教員担当
8	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献決め	同上	学生の所属研究室の 教員担当
9	論文構成の検討 - 概要をまとめる	同上	学生の所属研究室の 教員担当
10	論文構成の検討 - 章立てを考える	同上	学生の所属研究室の 教員担当
11	論文構成の検討 - 節立てを考える	同上	学生の所属研究室の 教員担当
12	論文構成の相談・決定	同上	学生の所属研究室の 教員担当
13	論文の執筆 - 「はじめに」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
14	「はじめに」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の 教員担当
15	前期の振り返り	同上	学生の所属研究室の 教員担当
16	後期オリエンテーション	同上	学生の所属研究室の 教員担当
17	論文の執筆 - 「本論（前半）」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
18	論文の執筆 - 「本論（後半）」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
19	「本論」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の 教員担当
20	論文の執筆 - 「おわりに」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
21	論文の執筆 - 「引用・参考文献」	同上	学生の所属研究室の 教員担当

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
22	「おわりに」「引用・参考文献」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の教員担当
23	論文の仕上げ	同上	学生の所属研究室の教員担当
24	発表用レジユメの作成 - 論文の背景・動機・目的、論文の構成、主要参考文献	同上	学生の所属研究室の教員担当
25	発表用レジユメの作成 - 論文の要旨	同上	学生の所属研究室の教員担当
26	発表用レジユメの教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の教員担当
27	発表用レジユメの仕上げ	同上	学生の所属研究室の教員担当
28	発表の練習および全体のまとめ	同上	学生の所属研究室の教員担当
29	卒業研究発表会における発表および質疑応答	予習内容：卒業研究発表会の準備をする（1時間）。 復習内容：なし。	各発表会場の教員担当
30	卒業研究発表会の振り返り	予習・復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（計1時間）。	学生の所属研究室の教員担当
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： COM222  
授業形態： 演習  
科目名： 卒業研究【美術】  
担当教員： 辻野 栄一(TSUJINO Eiichi)

#### 【授業の紹介】

本授業科目は、保育学科での2年間の学びの総まとめです。1年次の保育学研究法で培った研究手法等を用いて卒業論文と卒業研究レジュメを作成し、発表会での審査を受けることによって、保育者に求められる専門性を総合的に涵養します。

本授業科目は、卒業必修科目です。

本授業科目では、授業前後の課題や資料等を配信・提出するにあたりGoogle Classroomを使用します。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		保育に関わる専門的知識の習得	4
		洞察・判断する力	2
		保育を計画する力	2

#### 【到達目標】

1. 研究態度を身につけることができる。
2. テーマに関連する資料を的確に検索・収集・読解することができる。
3. 資料に基づき、論理的に研究成果を構成・記述することができる。
4. 研究成果をわかりやすく発表することができる。

#### 【成績の評価】

各回の進捗状況(30%)、取り組みの姿勢(30%)、発表会における発表および質疑(40%)の3点で総合的に成績を評価します。フィードバックは、研究室担当教員による個別指導と卒業研究発表会における学科教員の講評により返します。

#### 【使用テキスト】

なし

#### 【参考文献】

- ・幼稚園教育要領（平成29年3月告示 文部科学省）
- ・保育所保育指針（平成29年3月告示 厚生労働省）
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省）

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	前期オリエンテーション	予習内容：学生便覧及び履修ガイド、シラバスを予め確認する（30分）。 復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（30分）。	学生の所属研究室の 教員担当
2	研究テーマの絞り込み - これまでの授業の中から	予習・復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（計1時間）。	学生の所属研究室の 教員担当
3	研究テーマの絞り込み - 観察参加・保育実習の経験から	同上	学生の所属研究室の 教員担当
4	研究テーマの絞り込み - 図書館の文献・インターネット検索から	同上	学生の所属研究室の 教員担当
5	研究テーマの相談・決定	同上	学生の所属研究室の 教員担当
6	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献探し	同上	学生の所属研究室の 教員担当
7	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献選び	同上	学生の所属研究室の 教員担当
8	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献決め	同上	学生の所属研究室の 教員担当
9	論文構成の検討 - 概要をまとめる	同上	学生の所属研究室の 教員担当
10	論文構成の検討 - 章立てを考える	同上	学生の所属研究室の 教員担当
11	論文構成の検討 - 節立てを考える	同上	学生の所属研究室の 教員担当
12	論文構成の相談・決定	同上	学生の所属研究室の 教員担当
13	論文の執筆 - 「はじめに」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
14	「はじめに」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の 教員担当
15	前期の振り返り	同上	学生の所属研究室の 教員担当
16	後期オリエンテーション	同上	学生の所属研究室の 教員担当
17	論文の執筆 - 「本論（前半）」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
18	論文の執筆 - 「本論（後半）」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
19	「本論」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の 教員担当
20	論文の執筆 - 「おわりに」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
21	論文の執筆 - 「引用・参考文献」	同上	学生の所属研究室の 教員担当

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
22	「おわりに」「引用・参考文献」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の教員担当
23	論文の仕上げ	同上	学生の所属研究室の教員担当
24	発表用レジユメの作成 - 論文の背景・動機・目的、論文の構成、主要参考文献	同上	学生の所属研究室の教員担当
25	発表用レジユメの作成 - 論文の要旨	同上	学生の所属研究室の教員担当
26	発表用レジユメの教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の教員担当
27	発表用レジユメの仕上げ	同上	学生の所属研究室の教員担当
28	発表の練習および全体のまとめ	同上	学生の所属研究室の教員担当
29	卒業研究発表会における発表および質疑応答	予習内容：卒業研究発表会の準備をする（1時間）。 復習内容：なし。	各発表会場の教員担当
30	卒業研究発表会の振り返り	予習・復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（計1時間）。	学生の所属研究室の教員担当
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： COM222  
授業形態： 演習  
科目名： 卒業研究【教育学】  
担当教員： 相馬 宗胤(SOMA Munetane)

#### 【授業の紹介】

本授業科目は、保育学科での2年間の学びの総まとめです。1年次の保育学研究法で培った研究手法等を用いて卒業論文と卒業研究レジュメを作成し、発表会での審査を受けることによって、保育者に求められる専門性を総合的に涵養します。

本授業科目は、卒業必修科目です。

本授業科目では、授業前後の課題や資料等を配信・提出するにあたりGoogle Classroomを使用します。

#### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

#### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		保育に関わる専門的知識の習得	4
		洞察・判断する力	2
		保育を計画する力	2

#### 【到達目標】

1. 研究態度を身につけることができる。
2. テーマに関連する資料を的確に検索・収集・読解することができる。
3. 資料に基づき、論理的に研究成果を構成・記述することができる。
4. 研究成果をわかりやすく発表することができる。

#### 【成績の評価】

各回の進捗状況(30%)、取り組みの姿勢(30%)、発表会における発表および質疑(40%)の3点で総合的に成績を評価します。フィードバックは、研究室担当教員による個別指導と卒業研究発表会における学科教員の講評により返します。

#### 【使用テキスト】

なし

#### 【参考文献】

- ・幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省)
- ・保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省)

#### 【実務経験】

無し

#### 【実務経験と授業科目の関係性】

#### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	前期オリエンテーション	予習内容：学生便覧及び履修ガイド、シラバスを予め確認する（30分）。 復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（30分）。	学生の所属研究室の 教員担当
2	研究テーマの絞り込み - これまでの授業の中から	予習・復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（計1時間）。	学生の所属研究室の 教員担当
3	研究テーマの絞り込み - 観察参加・保育実習の経験から	同上	学生の所属研究室の 教員担当
4	研究テーマの絞り込み - 図書館の文献・インターネット検索から	同上	学生の所属研究室の 教員担当
5	研究テーマの相談・決定	同上	学生の所属研究室の 教員担当
6	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献探し	同上	学生の所属研究室の 教員担当
7	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献選び	同上	学生の所属研究室の 教員担当
8	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献決め	同上	学生の所属研究室の 教員担当
9	論文構成の検討 - 概要をまとめる	同上	学生の所属研究室の 教員担当
10	論文構成の検討 - 章立てを考える	同上	学生の所属研究室の 教員担当
11	論文構成の検討 - 節立てを考える	同上	学生の所属研究室の 教員担当
12	論文構成の相談・決定	同上	学生の所属研究室の 教員担当
13	論文の執筆 - 「はじめに」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
14	「はじめに」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の 教員担当
15	前期の振り返り	同上	学生の所属研究室の 教員担当
16	後期オリエンテーション	同上	学生の所属研究室の 教員担当
17	論文の執筆 - 「本論（前半）」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
18	論文の執筆 - 「本論（後半）」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
19	「本論」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の 教員担当
20	論文の執筆 - 「おわりに」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
21	論文の執筆 - 「引用・参考文献」	同上	学生の所属研究室の 教員担当

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
22	「おわりに」「引用・参考文献」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の教員担当
23	論文の仕上げ	同上	学生の所属研究室の教員担当
24	発表用レジユメの作成 - 論文の背景・動機・目的、論文の構成、主要参考文献	同上	学生の所属研究室の教員担当
25	発表用レジユメの作成 - 論文の要旨	同上	学生の所属研究室の教員担当
26	発表用レジユメの教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の教員担当
27	発表用レジユメの仕上げ	同上	学生の所属研究室の教員担当
28	発表の練習および全体のまとめ	同上	学生の所属研究室の教員担当
29	卒業研究発表会における発表および質疑応答	予習内容：卒業研究発表会の準備をする（1時間）。 復習内容：なし。	各発表会場の教員担当
30	卒業研究発表会の振り返り	予習・復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（計1時間）。	学生の所属研究室の教員担当
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： COM222

授業形態： 演習

科目名： 卒業研究【幼児教育】

担当教員： 佐々木 利子(SASAKI Toshiko),有馬 則子(ARIMA Noriko)

### 【授業の紹介】

本授業科目は、保育学科での2年間の学びの総まとめです。1年次の保育学研究法で培った研究手法等を用いて卒業論文と卒業研究レジュメを作成し、発表会での審査を受けることによって、保育者に求められる専門性を総合的に涵養します。

本授業科目は、卒業必修科目です。

本授業科目では、授業前後の課題や資料等を配信・提出するにあたりGoogle Classroomを使用します。

### 【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
202104～202404	保育学科	1. 子どもの命と成長に対し誠実に向き合う使命感と倫理観
		3. 高度な専門的知識と的確な洞察力や判断力
		4. 多彩な保育活動を創出する基礎技能を基盤とした保育実践力

### 【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
202104～202404	保育学科	望ましい行動	2
		保育に関わる専門的知識の習得	4
		洞察・判断する力	2
		保育を計画する力	2

### 【到達目標】

1. 研究態度を身につけることができる。
2. テーマに関連する資料を的確に検索・収集・読解することができる。
3. 資料に基づき、論理的に研究成果を構成・記述することができる。
4. 研究成果をわかりやすく発表することができる。

### 【成績の評価】

各回の進捗状況(30%)、取り組みの姿勢(30%)、発表会における発表および質疑(40%)の3点で総合的に成績を評価します。フィードバックは、研究室担当教員による個別指導と卒業研究発表会における学科教員の講評により返します。

### 【使用テキスト】

なし

### 【参考文献】

- ・幼稚園教育要領(平成29年3月告示 文部科学省)
- ・保育所保育指針(平成29年3月告示 厚生労働省)
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領(平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省)

### 【実務経験】

無し

### 【実務経験と授業科目の関係性】

### 【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	前期オリエンテーション	予習内容：学生便覧及び履修ガイド、シラバスを予め確認する（30分）。 復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（30分）。	学生の所属研究室の 教員担当
2	研究テーマの絞り込み - これまでの授業の中から	予習・復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（計1時間）。	学生の所属研究室の 教員担当
3	研究テーマの絞り込み - 観察参加・保育実習の経験から	同上	学生の所属研究室の 教員担当
4	研究テーマの絞り込み - 図書館の文献・インターネット検索から	同上	学生の所属研究室の 教員担当
5	研究テーマの相談・決定	同上	学生の所属研究室の 教員担当
6	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献探し	同上	学生の所属研究室の 教員担当
7	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献選び	同上	学生の所属研究室の 教員担当
8	研究テーマの関連文献・資料収集 - 文献決め	同上	学生の所属研究室の 教員担当
9	論文構成の検討 - 概要をまとめる	同上	学生の所属研究室の 教員担当
10	論文構成の検討 - 章立てを考える	同上	学生の所属研究室の 教員担当
11	論文構成の検討 - 節立てを考える	同上	学生の所属研究室の 教員担当
12	論文構成の相談・決定	同上	学生の所属研究室の 教員担当
13	論文の執筆 - 「はじめに」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
14	「はじめに」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の 教員担当
15	前期の振り返り	同上	学生の所属研究室の 教員担当
16	後期オリエンテーション	同上	学生の所属研究室の 教員担当
17	論文の執筆 - 「本論（前半）」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
18	論文の執筆 - 「本論（後半）」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
19	「本論」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の 教員担当
20	論文の執筆 - 「おわりに」	同上	学生の所属研究室の 教員担当
21	論文の執筆 - 「引用・参考文献」	同上	学生の所属研究室の 教員担当

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
22	「おわりに」「引用・参考文献」の教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の教員担当
23	論文の仕上げ	同上	学生の所属研究室の教員担当
24	発表用レジユメの作成 - 論文の背景・動機・目的、論文の構成、主要参考文献	同上	学生の所属研究室の教員担当
25	発表用レジユメの作成 - 論文の要旨	同上	学生の所属研究室の教員担当
26	発表用レジユメの教員による指導・添削	同上	学生の所属研究室の教員担当
27	発表用レジユメの仕上げ	同上	学生の所属研究室の教員担当
28	発表の練習および全体のまとめ	同上	学生の所属研究室の教員担当
29	卒業研究発表会における発表および質疑応答	予習内容：卒業研究発表会の準備をする（1時間）。 復習内容：なし。	各発表会場の教員担当
30	卒業研究発表会の振り返り	予習・復習内容：所属研究室の指導教員から指示された課題に取り組む（計1時間）。	学生の所属研究室の教員担当
	定期試験(実施しない)		